日本協会、40回目の〝誕生日〟迎う

あす、日本ハンドボール協会は、40回目の〝誕生日〟を迎える。

大正11年(一九二二)、大谷武一氏(故人)によって、我が国へ伝えられたハンドボールは、教材として高い評価をうけ、いちはやく学校体育に採りいれられるなどしたが、競技スポーツとしては伸びぬままに過ぎた。

昭和13年2月2日、それまでの眠りを破り競技団体として発足したのは、15年（一九四〇）に予定された東京オリンピックへ備えてのものであった。

不幸にも、この大会は開かれず、新生・日本協会は苦難の道を歩むことになる。

10年、20年、30年……。灯された小さな火を、多くの人々が懸命に守りつづけた。

果てしない大海原に浮かんだ小舟を多くの人々が必死に漕ぎつづけた。

いま、日本ハンドボール界はようやくにして、守りつづけた火が消えぬ確信と、漕ぎつづけた舟が沈まぬ自信を得たところである。

改めて、これまでハンドボールに関係されたすべてのかたがたに深い敬意を表したい。

さて、日本協会はミュンヘン（一九七二）、モントリオール（一九七六）と二つのオリンピックを経験したことで大きなステップを踏み出し、前途への希望を、いちだんと高めているが、今ほど〝難しい時期〟もかってない。

一方で、国際競技会などに参加するのを意義としていた時代が過ぎ去りつつあること、一方でスポーツが人々の日常生活に関りあいを、いっそう深めていることである。

競技団体は、この二つの流れに対応できる力を否応なしに求められることとなろう。

個人々の情熱は、もちろん飛躍の根源であろうが、卒直に云うなら、それだけに頼る時代は終った。今後は、いかに組織として行動できるか、だ。

日本協会は、いっときたりとも現状に足踏みすることは許されない。

これまでの40年に示した以上のエネルギーを燃やし、新しい体制による、新しい路線を切り開き、力強い前進の姿勢をとる時期も、今をおいて他にないのである。

40年前の一点の火が、やがて大きな炎となることを信じ、新たな決意を固める日――それが昭和52年2月2日ではなかろうか。

本誌150号にあたって

正直のところ、創刊した当時（昭和35年5月）、本誌が、これほど長く、しかも、極めて順調につづくとは思っていなかった。

競技団体の機関誌というのはどちらかと云えば官報的で、面白味に乏しく、愛好者なら誰でもとびつく、といった内容にはしにくいからである。

にも拘らず、年ごとに読者が増え、支持が高まったのは、いかにハンドボール界の人たちがハンドボールのニューズで埋まった刊行物を待ち望んでいるかを示すものであろう。

しかし、その背景に、いぜんとして、ハンドボールが、マスコミの扱いに恵れぬという淋しさがかくされていることを見落してはなるまい。

もし仮に、ハンドボールが新聞紙上に大きなスペースで伝えられ、テレビに華々しく登場し、商業ペースに乗った専門誌が刊行されていたとしたら、本誌が150号にたどりつく年月は、かなり遅れたと思う。胸中は複雑である。

そういった意味で、本誌は関係者、愛好者に代表される内部への情報機関として活動する一方、外部に対してPR誌的な役割を果たすような内容を、今後はいっそう盛りこんでいかなければならないだろう。

「この話を機関誌に……」というムードを、これまで以上に高めたいし、審判部のような全国ネットワークを設け、通信網情報網を充実させることも手がけなければなるまい。

また、球界の論壇としての活用も推し進めたい。

過去の149冊を読みかえした時執筆者が限られていることに気づく。読者の発言も、起きたことがらへの批判、注文に片寄り新しい道を示すたくましい提案が少ない。

本誌も〝新しい時代〟に入るべきであろう。

最後になったがこの17年間、歴代の編集委員を勇気づけて下さった全読者、多忙のなか無理な注文にも拘らず寄稿して下さる記者クラブ各位、貴重な写真を提供していただいている各社写真部、フォート・キシモト、山田真市氏に感謝の意を表したい。

また、専門知識の乏しい編集陣にもかかわらず、毎号、みごとにまとめあげて下さる高橋活版所(学術社)、一冊々々の仕事になる発送をお願いしている日本協会事務局の皆さんにも、この場をお借りしてお礼申しあげたい。

次代になう若い力躍動!!（表紙写真）

40年の歴史を刻んだ日本ハンドボール界。次代をになう若い力の躍動こそ明日への光だ――昭和51年8月・熊本学童オリンピックから（熊本日々新聞社提供）

「ハンドボール」
昭和52年2月号(第150号)目次

日本ハンドボール界
主なできごと

日本協会発足以前

▽大谷武一氏、日本体育学会夏期講習会で「ハンドボール」を紹介（大正11年8月）

▽改正学校体操教授要目（中学、男子実業学校、男女師範）に加えられる（大正15年5月）

▽国際アマチュア・ハンドボール連盟がアムステルダムで創立され日本陸上競技連盟の名称で日本も加盟。（昭和3年）

▽昭和6年1月、東京市会は「オリンピック東京招致案」を可決ハンドボールの実施も考慮されることになり、昭和9年日本陸上競技連盟内に日本送球協会創立準備委員会（委員長・平沼亮三）が設けられた（6～9年）

▽日本最初の本格的ハンドボール講習会がドイツ・ライプチヒ体育大のパムペル氏を主任講師として東京代々木西原の体育研究所で行われた（10年7月22～24日）

▽高等女学校、高等小学校、女子実業学校教材要目に採用される（11年）

▽ベルリン五輪（11年8月）

▽ワルシャワで開かれた国際オリンピック（IOC）委員会では昭和15年の東京オリンピックでハンドボールをふくむ22競技実施、会期9月21日から16日間と決めた（12年6月）

▽日本初のハンドボールチームとして慶大ハンドボールクラブが誕生、つづいて文理大（現・東京教育大－筑波大）、青山師範、日体などにチーム発足（12年4月～11月）

▽初の公式大会として第1回関東選手権開く（12年10月22日・文部省体育研究所グランド）

▽第9回明治神宮体育大会に陸上競技の一部として参加。

この大会を第1回全日本ハンドボール選手権とした（12年11月11・12日・文部省体育研究所グランド）

▽全国体育指導者伝達及び養成講習会開く（12年12月25、26、27日・文部省体育研究所グランド）

▽日本陸連総会において送球委員会を独立団体にすることを決定（12年12月）

昭和13年

▽初の地方協会（当時は支部と呼称）として岡山県送球連盟発足（1月）

▽日本送球（ハンドボール）協会正式発足。（2月2日・赤坂「幸楽」にて発会式）

国際アマチュアハンドボール連盟への日本代表権も日本陸連から譲渡された。

▽初代会長に平沼亮三氏（2月2日）

▽東京オリンピック・ハンドボール代表候補選手第1回合宿練習会開く（3月15日～19日・慶大日吉グランド）

▽国際ハンドボール競技規則を完訳、全国頒布（4月）

▽関東学生送球連盟が発足し、第1回リーグ戦開く（5月）

▽**日本体育協会に加盟を認められる**（5月31日）

▽日支事変など国際情勢の変化から昭和15年の東京オリンピック返上が決められ、聖火の下でハンドボールをという夢がたたれた（7月）

▽初の国際試合として来日中のヒットラー・ユーゲント選抜チームと日体が対戦（9月16日・神宮）

▽第1回東西対抗開く（11月21日・南甲子園運動場）

昭和14年

▽傷兵慰問体育大会として関東学生選抜紅白試合（3月19日・戸山運動場）

▽大阪府中等学校体育連盟が送球部の新設決める（4月）

▽初の実業団(男子)・倉敷絹織岡山誕生、早大と招待試合（7月・岡山）

昭和15年

▽紀元二千六百年奉祝東亜競技大会種目として日体対在日ドイツ選抜軍の対抗戦行う。（6月9日神宮16日奈良橿原）

▽慶大、早大滞同して朝鮮遠征、咸興、元山、平壌などを転戦（7月）

▽明治神宮体育大会初の独立種目として参加、第3回全日本選手権を兼ねて開く。女子部門も新設され女子最初の全国大会となる（10月27日～29日神宮ほか）

▽第1回全日本中等学校選手権（男子のみ）開く。（10月27日～29日神宮）

昭和16年

▽初のラジオ中継としてNHK大阪が第3回東西対抗をとりあげる（1月19日・南甲子園運動場）

▽明治神宮体育大会種目からはずれる。

▽第1回関西選手権開く（12月）

昭和17年

▽第2代会長に永井松三氏（4月）

▽すべての競技団体は大日本体育会に統括され「大日本体育会送球部会(部長・永井松三)」となる

▽訪日ドイツ艦隊と在日ドイツ人混成の「ドイツチーム」と全日本学生・OB選抜軍が対戦（11月29日・神宮）

昭和18年

▽学徒送球規則制定

学徒体育振興会主催の女子専門学校送球選手権開く

▽枢軸国交歓球技会会として在日ドイツ人選抜と日本選抜（関東学生OB）が対戦。（12月5日・神宮）

昭和19年 ▽第2次世界大戦の戦火はげしくなり、送球（ハンドボール）は、女子球技の普及奨励種目として、活動の火が残る。

昭和20年 ▽戦後初の試合として一高対日体、関東学生・OB懇親試合行われる（12月2日・日産球技場）

昭和21年 ▽戦後初の公式試合として復活第1回（通算第5回）東西対抗開く（1月20日・西宮）

▽日本送球協会復活準備委員会結成（2月）

▽**日本送球協会復活**（4月）

▽学生界復活記念試合・関東学生OB対現役を日本送球協会、学徒体育振興会共催で開く（5月12日・女高師グランド）

▽関東学生リーグ復活（6月）

▽第3代会長に式場隆三郎氏（9月）

▽すべての公式呼称を送球からハンドボールに変えた（10月）

▽第1回国体が開かれ、ハンドボールも正式種目として参加（11月・西宮）

▽初の東西大学定期戦として早大対関学定期戦はじまる（11月）

昭和22年 ▽国際アマチュアハンドボール連盟は、国際ハンドボール連盟(IHF)の名で新発足（1月）

▽用具配給制度とられる（1月）

▽初の女子東西対抗開く（1月・西宮）

▽初の高校（旧制）全国大会開く（7月・京都）

▽第2回国体で一般男女、中学男女の4部門確立（10月）

昭和23年 ▽関西学生連盟が発足（1月）

▽初の高校男女東西対抗開く（1月＝神宮）

▽初の関西学生リーグ戦始まる（5月）

▽第3回国体が開かれ天皇杯、皇后杯得点順位争いはじまる。中学男女は高校男女に変わる（10月・久留米）

▽全日本学生連盟結成。その事業として東西学生王座（後の全日本学生王座）、全日本学生選抜東西対抗始まる（11、12月）

昭和24年 ▽全国高体連ハンドボール部発足

▽「協会規約」の整備なり、最高議決機関として全国評議員会を置く。

昭和25年 ▽女子東西対抗3年ぶりで復活（1月・丸亀）

▽全日本選手権が復活され、第1回として新発足（1月・一宮＝昭和24年度事業）

▽渡欧する東竜太郎IOC委員にIHFへの連絡依頼（5月）

▽第2次大戦後、IHFから初めての通信をうける（6月）

▽初の全日本高校（新制）選手権開く（8月・藤井寺）

▽IHFから送られた「一九四七年版国際ルール」を完訳、オフサイドライン削除。第5回国体から適用（8月〜10月）

昭和26年 ▽パリにおける第2回IHF総会で日本の仮加盟決まる（10月）

▽高校男女東西対抗、一般女子東西対抗終会となる(11月・今治)

昭和27年 ▽式場会長と外山准二理事長をヨーロッパ・ハンドボール界の視察に派遣（6月）

▽ルール改正「オフサイド」全面廃止、第7回国体から適用。

▽ザールブリュッケンで開かれた第4回IHF総会で日本の正式加盟（注・再加盟）承認（9月15日）

▽初の室内公式試合として大阪クラブ対大阪学生選抜が対戦（12月3日・大阪府立体育会館）

昭和28年 ▽初のナイトゲームとして第8回早大対関学定期戦行う（6月25日・西宮）

▽全日本選手権を全日本総合選手権に改称（8月）

▽西ドイツチーム（男子）招へいを計画するも実現せず。

昭和29年 ▽関東学連から6校が脱退、東京6大学リーグを結成（4月）

▽初の全日本総合室内選手権開かれる(12月・大阪府立体育会館)

昭和30年 ▽関東学連と東京6大学リーグ合併（9月）

▽自衛隊にチーム結成がみられるようになる。

▽公認審判員制度確立へ（12月）

昭和31年 ▽西ドイツ選抜軍（第4回世界11人制選手権優勝）が来日、日本側8戦8敗（9月、各地）

▽バウマン・IHF会長来日（9月・東京）

▽関東学連から4校脱退（32年4月さらに1校脱退）し、東京都学連結成（10月）

▽ハンドボール初のテレビ中継としてNHKが第3回全日本総合室内選手権をとりあげる（12月28日、大阪）

昭和32年 ▽ルール改正（11人制）が行われ35メートル・ライン新設（4月）

▽**女子の公式試合はすべて7人制となる**（4月）

▽桜台高(愛知)、全日本高校選手権5連勝（8月）

▽東西学生王座を全日本学生王座に改称（12月、東京）

昭和33年 ▽一般男子東西対抗終会となる（2月、東京）

▽関東学連へ東京都学連復帰（6月）

▽全日本学生選手権はじまる（7月、東京）

▽全日本教職員選手権はじまる（8月、東京）

昭和34年 ▽第5回世界男子11人制選手権（6月・ウィーン）に初参加を決め、遠征メンバー発表（2月）

▽ミュンヘンで行われた第55回IOC総会で昭和38年に東京都でオリンピックが開かれることが決まり、ハンドボールの実施有望となる（5月）

▽第5回世界男子11人制選手権出場とりやめ（5月）

▽東京オリンピック開催種目検討小委員会は、ハンドボールなどの削減を決めた（12月）

昭和35年 ▽機関誌「ハンドボール」創刊（5月）

▽ルーマニア選抜軍（第5回世界男子11人制選手権2位）が来日日本側10戦10敗（6月、各地）

▽全日本実業団選手権はじまる（12月、広島）

昭和36年 ▽初の海外遠征として全日本男子が第4回世界男子7人制選手権（3月・西ドイツ）に参加。西ドイツ、チェコ、フランス、イスラエルなどを転戦（3〜4月）

▽**IOC総会、東京オリンピックにおけるハンドボール除外を正式決定**（6月、アテネ）

▽日体大（男子）韓国に遠征6戦6勝（10月）

昭和37年 ▽全日本女子が第2回世界女子7人制選手権（7月・ルーマニア）に初参加。

西ドイツ、ルーマニア、フランスなどを転戦。（6～7月）

▽全日本高校男子選抜が韓国遠征6戦5勝1分（8月）

▽全日本総合選手権男子で地区（ブロック）予選制を採用（8月）

昭和38年 ▽**すべての国内公式試合（男女）を7人制に一本化。26年にわたる11人制の歴史を閉じる**（4月）

▽韓国学生選抜軍が来日、国内における初の7人制国際試合となる（6月）

▽国体に「教員の部」加える（10月）

▽全日本学生が第1回世界学生選手権（1月・スウェーデン）に参加、スウェーデン、西ドイツ、デンマーク、フランスなどを転戦（37年12月～1月）

▽韓国高校選抜が初の来日(12月)

昭和39年 ▽全日本男子が第5回世界男子7人制選手権（3月・チェコ）に参加。ノルウェーに18－14で勝ち世界選手権で初の1勝をあげる。

▽フランス男子ステラ・サンモールが来日。予定された女子は来日せず（6月）

▽全日本総合室内男子、推せん制を採用（12月）

昭和40年 ▽全日本男子が中国遠征（4月）

▽沖縄協会発足（7月）

▽全日本学生女子選手権はじまる（7月・東京）

▽IOC総会、一九七二年(昭47)のオリンピック大会でハンドボールを行うことに決定（10月、マドリッド）

▽全日本実業団連盟発足（10月）

▽全日本女子が第3回世界女子7人制選手権（11月・西ドイツ）に参加。ポーランドに6－5で勝ち世界選手権女子で初の1勝をあげる。

▽全日本総合室内を全日本選抜と改称。出場チームは日本協会の厳選による推せんチームに限定（12月）

昭和41年 ▽**47都道府県協会**（沖縄を含む）**出揃う**（4月）

▽IOC総会、一九七二年オリンピック開催地をミュンヘン（西ドイツ）に決める（4月、ローマ）

▽全日本実連、日本協会へ加盟（4月）

▽ミュンヘンオリンピック第一次強化候補選手男子28人を発表（9月）

▽中国ナショナルチーム来日。日本側1勝8敗（9月）

▽ハンドボール少年団全国結成交歓会開く（9月、横浜）

▽ナショナルチームの常設決める

昭和42年 ▽全日本男子が第6回世界男子7人制選手権（1月・スウェーデン）に参加。ノルウェーから一勝をあげるが悲願の決勝リーグ進出ならず。

▽第4代会長に鈴木達雄氏(2月)

▽全国スポーツ少年団大会の教科目に参加（8月、本栖湖）

▽初の公認コーチ講習会開く（9月、東京）

▽西ドイツ男女選抜が来日。外国女子チームの来日は初めて。日本側男子3勝10敗、女子5勝6敗。

▽女子（成年）25分ハーフに。

昭和43年 ▽第5代会長に田村正衛氏（2月）

▽中断していた日韓高校交流再開下関中央工(山口)が遠征(8月)

▽西ドイツ・スポーツユーゲント三菱鉛筆（女子、神奈川）と交歓（8月）

▽第4回世界女子7人制選手権流れる（9月）

▽ミュンヘンに備え選手強化対策本部発足（10月）

▽国体高校部門、選抜・混成チームの出場認める（10月）

▽「中学校学習指導要領」（案）にハンドボール復活（12月）

▽全日本学生王座決定戦、21年の幕閉じる（12月）

▽大洋デパート(熊本女子)三冠王

昭和44年 ▽全日本教職員連盟発足(1月)、日本協会へ加盟。

▽日本協会、理事長制解く(3月)

▽復審制採用（4月）

▽初の全国自衛隊選抜大会開く（6月）

▽全日本男子、欧州へ強化遠征、タシマイダン杯大会(ユーゴ)で3位（5～7月）

▽学生女子東西対抗始まる(9月)

▽日本協会、合議制から再び理事長制を採る(9月)

▽大洋デパート(熊本)、全国4大タイトル独占

昭和45年 ▽第7回世界男子選手権に出場（2月・フランス）

▽オリンピック対策委設置(4月)

▽全日本自衛隊連盟が発足（4月）

▽初の外国学生(単独)チーム・成均館大（韓国）来日（7月）

▽台湾チーム（台中県小学教師選抜軍）初来日（8月）

▽全国中学校指導者講習会開く（8月）

▽近森克彦、西ドイツ全国リーグ「ハンブルグSV」に加わり活躍（10月）

▽大洋デパート、2年連続4冠王の偉業成る

昭和46年 ▽男女の日韓社会人交流実現（男＝45年11月、女子＝2月）

▽全自衛隊連盟の日本協会加盟承認（4月）

▽ヨーロッパ男子チャンピオン、グンメルスバッハ(西ドイツ)来日（4月）

▽A・B級審判員審査に初のペーパーテスト（5月）

▽スウェーデン男子ナショナルチーム来日（9月、各地）

▽全日本高校選手権、男子で47都道府県代表出揃う（8月）

▽ミュンヘンオリンピックアジア予選で全勝、出場権を握る（11月、東京）

▽アジア各国代表者会議を開催（11月、東京）

▽全日本総合、新システムで実施〝室内〟開催となる(12月東京)

▽全日本女子、第4回世界選手権に出場（12月・オランダ）

昭和47年 ▽THW・キール、GW・ダンケルセン（西ドイツ）相次ぎ来日（3、4月）

▽初の全国中学生大会開く（8月愛知県）

▽第14回IHF総会で渡辺和美氏理事に。日本人で初（8月、ニュールンベルグ）

▽**全日本男子、ミュンヘンオリンピック出場、11位**（8月）

▽全日本ジュニア(男子)を編成、初合宿（3月）

昭和48年

▽「協会レベルで台湾との自主交流行わず」の態度決める（1月）

▽日本協会登録に底辺対象の「Cランク」新設（4月）

▽西ドイツ男子FA・ギョッピンゲン来日（4月）

▽沖縄特別国体～高校女子～開く（5月）

▽**全日本高校選手権、男女47都道府県代表勢揃いの宿願成る（8月）**

▽日韓高校交流に初の女子(8月)

▽全日本教職員選手権に女子の部新設（8月）

▽ミュンヘン五輪の勝者・ユーゴナショナル招待（9月）

▽西ドイツからOSC・ラインハウゼン(女)来日（9月）

▽第5回世界女子選手権参加、10位（12月、ユーゴ）

▽大同製鋼(愛知)、全国4大タイトル独占

昭和49年

▽第8回世界選手権参加、12位（2月、東ドイツ）

▽木野実、日本選手で初の公式国際試合出場50回を記録（3月）

▽デンマーク男子スタジオン・IF来日（4月）

▽「3部（技術・審判・普及指導）合同会議」が発足、初代議長に安藤純光氏選任（5月）

▽全日本実業団男子、初のサーキット化（6月）

▽荒川清美理事長、日本体協訪独スポーツ少年団々長として遠征（7月）

▽初の教員養成大学研修会開く（8月）

▽ヒュークベルグIHF会長来日（8月）

▽全日本女子、オランダ国際優勝（10月）

▽初の全日本高専選手権大会開く（8月）

▽東ドイツとの交流なり、男子ナショナル来日（9月）

▽アジア競技大会種目へ加入なる（9月）

▽大同製鋼、2年連続全国タイトル独占

昭和50年

▽評議員制に代り代議員制施行へ（1月）

▽第6回世界学生選手権(男子)へ12年ぶりに参加、10位（1月）

▽第7回世界女子選手権アジア予選決勝・日本対イスラエル戦（2試合）警備上の問題から「密室試合」で決行（2月、東京）

▽スペイン男子バロンマノ・グラノリエルス来日（4月）

▽プレ・オリンピックに全日本男子出場、4位（10月）

▽国体年令別を採用（10月）

▽小松市立女子高(石川)、高校女子で2度目の2冠（全日本高校、国体少年女子の部）獲得

▽第6回世界女子選手権(ソ連)参加(10位)と第2回東ドイツ交流（11・12月）

▽大同製鋼、3年連続全国タイトル独占

昭和51年

▽史上初の女子オリンピック候補選手発表（2月）

▽アジア連盟結成（1月・クウェート）

▽男子、モントリオールオリンピックアジア予選で優勝（3月）

▽安藤純光、佐野和夫両国際審判員、初のIHF指名によりアジア予選担当（3月）

▽スウェーデン男子ドロット・ハルムスタート来日（4月）

▽アジア連盟に加盟を申請(6月)

▽女子、モントリオールオリンピック「3大陸代表決定戦」で優勝（6月、アメリカ）

▽**モントリオールオリンピックに男女揃って出場、女子5位、男子9位（7月）**

▽蔵田照美、モントリオールオリンピック女子個人最高得点選手に（7月）

▽日本リーグ（男女）発足(9月)

▽立石電機(熊本、女子)、全国4大タイトル独占

昭和52年

▽第7回世界学生選手権に出場、8位（1月、ポーランド）

▽日中交流再開の見通し強まる（1月）

▽日本協会、40回目の〝誕生日〟迎える（2月2日）

天皇陛下のお歌にハンドボール

佐賀新聞によると、1月6日宮内庁から佐賀県に、天皇陛下が佐賀国体（51年10月）へおなりになった時の思い出を詠まれたお歌三首が伝えられた。

このうちの一つにハンドボール会場・神埼町でのお歌がありハンドボール界で話題となっている。

天皇陛下のお歌

ゆく秋をおしみつつけふは
若人の　ハンドボールを神埼に見つ

MEMO

日本協会の歴代理事長は次の各氏。

①中園進（専務理事・昭和13年）
②松本良三（13年～17年）
③斉藤一男（18年）
④佐藤八郎（21年～22年）
⑤外山准二（23年～27年）
⑥西　敏郎（28年）
⑦高嶋　冽（29年～41年）
⑧荒川清美（42年～在任中）

日本ハンドボール界 主要記録

第Ⅰ部・オリンピック、世界選手権 国際試合

オリンピック 《男子》

ミュンヘン

（一九七二（昭47）年8月）

【日本代表】▽コーチ兼選手（FP）近森克彦（大崎電気）▽GK本田洋（大阪イーグルス）、下里敏彦（大崎電気）▽FP木野実（主）、早川清孝（以上湧永薬品）、野田清、中井武三（以上大同製鋼）、飯田誠行（大崎電気）、新実俊夫（本田技研鈴鹿）、有永修二（東京海上火災）、氷海正行（千葉教員ク）、佐々木健一（中大）＝平均身長180cm

▽予選リーグD組

ユーゴ 20（9－7、11－7）14 日本

	【日本】	得	得	【ユーゴ】	
GK	本田	0	0	アルスラナギッチ	GK
GK	下里	0	0	シビコビッチ	GK
FP	木野	3	1	プリバニック	
FP	近森	2	3	ホルバト	
FP	野田	4	4	ラブルニッチ	
FP	飯田	2	2	ミルヤク	
FP	有永	2	4	ポプララヤク	
FP	氷海	0	1	ポクビク	
FP	中井	1	3	ラザレビッチ	
FP	早川	0	0	カラリッチ	
FP	新実	0	0	ビドビッチ	
FP	佐々木	0	2	メスコビッチ	

20 （2） 7MT （3） 14

ハンガリー 20（10－5、10－7）12 日本

	【日本】	得	得	【ハンガリー】	
GK	本田	0	0	ホルバト	GK
GK	下里	0	0	バルタロス	GK
FP	近森	3	2	カロ	
FP	中井	2	6	バルガ	
FP	木野	3	1	K・バス	
FP	野田	2	4	マロシ	
FP	有永	1	1	S・バス	
FP	飯田	0	2	シモ	
FP	氷海	1	0	ハルカ	
FP	新実	0	4	スリチラー	
FP	早川	0	0	アドルセン	
FP	佐々木	0			

20 （2） 7MT （0） 12

日本 20（11－7、9－9）16 アメリカ

	【日本】	得	得	【アメリカ】	
GK	本田	0	0	リブニャク	GK
GK	下里	0	0	エデス	GK
FP	飯田	7	4	アブラハムソン	
FP	有永	1	1	フェルカート	
FP	近森	3	4	ロジャース	
FP	野田	4	2	ベーカー	
FP	木野	2	0	シュレジンガー	
FP	中井	2	3	バークホルツ	
FP	佐々木	0	1	スパークス	
FP	氷海	1	0	マシューズ	
FP	新実	0	1	ディカロゲロ	
FP	早川	0	0	アブラム	

16 （2） 7MT （0） 20

▽9〜12位トーナメント1回戦

ノルウェー 19（11－8、8－9）17 日本

	【日本】	得	得	【ノルウェー】	
GK	本田	0	0	バイ	GK
GK	下里	0	0	オクセター	GK
FP	木野	1	3	アンクレ	
FP	近森	2	2	ライナートセン	
FP	飯田	1	3	I・ハンセン	
FP	野田	4	1	ローズ	
FP	早川	0	3	ハバーベン	
FP	有永	5	5	T・ハンセン	
FP	中井	3	2	ウルダル	
FP	氷海	0			
FP	新実	0			
FP	佐々木	1			

19 （4） 7MT （1） 17

▽11・12位決定戦

日本 19（8－6、11－12）18 アイスランド

	【日本】	得	得	【アイスランド】	
GK	本田	0	0	フィンボガソン	GK
GK	下里	0			
FP	木野	3	1	スカラソン	
FP	近森	4	2	ビョーグビンソン	
FP	野田	1	1	シグスティンソン	
FP	有永	4	1	O・ジョンソン	
FP	氷海	3	0	ガンナーソン	
FP	早川	0	7	ホールスティンソン	
FP	新実	0	0	アクセルソン	
FP	佐々木	0	1	オグムンドセン	
FP	飯田	4	5	マグヌソン	
FP	中井	0	0	グロンダール	

18 （2） 7MT （0） 19

【最終順位】①ユーゴ＝初優勝②チェコ③ルーマニア④東ドイツ⑤ソ連⑥西ドイツ⑦スウェーデン⑧ハンガリー⑨ノルウェー⑩ポーランド⑪日本⑫アイスランド⑬デーマーク⑭アメリカ⑮スペイン⑯チュニジア

モントリオール

（一九七六（昭51）年8月）

【日本代表】▽監督 竹野奉昭▽コーチ 東嘉伸▽GK本田洋（大阪イーグルス）、柴田正章（本田技研鈴鹿）▽FP藤中憲二、中井武三、松原光三、花輪博（以上大同製鋼）、木野実（主）、穂積豊彦（以上湧永薬品）、佐藤要二（本田技研鈴鹿）、佐々木健一（三景）、菊池悟（東京12チャンネルHC）、蒲生晴明（中大）、平均身長＝180・8cm

▽予選リーグA組

ソ連 26（15－11、11－5）16 日本

	【日本】	得	得	【ソ連】	
GK	本田	0	0	イチェンコ	GK
GK	柴田	0	0	トミン	GK
FP	藤中	6	0	フェジュキン	
FP	中井	0	6	マキシモフ	
FP	木野	2	5	アンピロゴフ	
FP	佐藤	4	7	チェルニショフ	
FP	花輪	1	2	クシニリュク	
FP	菊池	1	2	クラフゾフ	
FP	穂積	1	1	クリモフ	
FP	松原	0	2	ラグチン	
FP	佐々木	0	1	キドヤエフ	
FP	蒲生	1	0	レザノフ	

26 （2） PT （4） 16

西ドイツ 19（8－11、11－5）16 日本

	【日本】	得	得	【西ドイツ】	
GK	本田	0	0	ホフマン	GK
GK	柴田	0	0	ラウエル	GK
FP	中井	0	3	ハーン	
FP	佐藤	3	2	クルースパイス	
FP	藤中	6	0	スペングラー	
FP	木野	0	2	デッカルム	
FP	菊池	1	5	アーレット	
FP	蒲生	2	3	ブラント	
FP	松原	3	0	ボットヒヤー	
FP	花輪	1	2	クレイブリンク	
FP	佐々木	0	2	ブッシュ	
FP	穂積	0	0	ベッカー	

19 （2） 7MT （3） 16

	【日本】	得	得	【デンマーク】	
GK	本田	0	0	ヨルゲンセン	GK
GK	柴田	0	0	ピクニク	GK
FP	木野	5	0	イエンセン	
FP	中井	3	1	ダル・ニールセン	
FP	佐藤	2	1	ボック	
FP	花輪	1	2	フラントゼン	
FP	菊池	1	1	フリョーム	
FP	藤中	3	6	パジ	
FP	佐々木	1	7	ラルセン	
FP	穂積	0	2	アンデルセン	
FP	蒲生	1	0	ムンカゲル	
FP	松原	0	1	ペーテルセン	

21 （4） FT （2） 17

デンマーク 21（13－6、8－11）17 日本

ユーゴ 26（13－10、13－12）22 日本

	【日本】	得	【ユーゴ】	得
GK	本田	0	アルスラナデッチ	0
GK	柴田	0	ゾルコ	0
FP	中井	0	ラゼノビッチ	1
FP	藤中	6	カラリッチ	2
FP	佐藤	2	パビセビッチ	0
FP	菊池	2	セルダルデッチ	2
FP	木野	2	ホルバト	1
FP	蒲生	6	クリポカピッチ	2
FP	佐々木	1	チムコ	2
FP	穂積	0	ミルヤク	12
FP	松原	2	ポポビッチ	4
FP	花輪	1	ポクラヤク	0
PT	(2)	22	(6)	26

日本 25（16－10、9－9）19 カナダ

	【日本】	得	【カナダ】	得
GK	本田	0	ルフェーブル	0
GK	柴田	0	パワー	0
FP	藤中	3	シャノン	1
FP	中井	3	ランバート	1
FP	佐藤	5	フェルダイス	5
FP	松原	5	ジョンソン	0
FP	蒲生	2	デゾルモウ	3
FP	花輪	2	ビーンズ	2
FP	佐々木	0	サンマルタン	2
FP	穂積	0	デルサン	2
FP	木野	0	ダフィン	1
FP	菊池	5	ブランクノー	1
PT	(5)	25	(2)	18

▽9・10位決定戦

日本 27（15－12、12－8）20 アメリカ

	【日本】	得	【アメリカ】	得
GK	本田	0	リブニヤク	0
GK	柴田	0	グランツ	0
FP	木野	0	アブラハムソン	4
FP	藤中	2	ベーカー	5
FP	中井	4	Ra・ディーン	6
FP	花輪	5	ジョンソン	0
FP	蒲生	5	ロジャース	1
FP	菊池	3	Rn・ディーン	4
FP	佐藤	5	セラペト	0
FP	佐々木	1	スパークス	0
FP	穂積	1	ディカロゲロ	0
FP	松原	1	バーニング	0
PT	(6)	27	(4)	20

【最終順位】①ソ連＝初優勝②ルーマニア③ポーランド④西ドイツ⑤ユーゴ⑥ハンガリー⑦チェコ⑧デンマーク⑨日本⑩アメリカ⑪カナダ。チュニジアは途中棄権。

参考資料　ベルリンオリンピック（一九三六年）順位＝11人制①ドイツ②オーストリア③スイス④ハンガリー⑤ルーマニア⑥アメリカ。日本は不参加
▽ヘルシンキオリンピック（一九五二）スウェーデン対デンマーク男子の公開試合

オリンピック予選《男子》

ミュンヘン アジア地域予選

（一九七一（昭46）年11月・東京ほか）

【日本代表】▽監督　村田弘▽コーチ　竹野奉昭▽GK下里敏彦（大崎電気）、本田洋（大阪イーグルス）、大村久（全日体大）▽FP飯田誠行、近森克彦、東一敏（以上大崎電気）、野田清、藤中憲二、中井武三（以上大同製鋼）、木野実（主）、早川清孝（以上湧永薬品）、新実俊夫、大江隆夫（以上芝浦工大）、有永修二（東京海上火災）、斉藤光男（群馬教員ク）、氷海正行（日体大）、平均身長＝179・5cm

日本 15（7－3、8－1）4 イスラエル

	【日本】	得
K	本田	0
K	大村	0
F	飯田	3
F	藤中	1
F	木野	2
F	野田	3
F	近森	1
F	有永	3
F	大江	0
F	中井	2
F	早川	0
F	新実	0
7MT	(4)	15

日本 20（10－4、10－5）9 韓国

	【日本】	得
K	本田	0
K	大村	0
F	飯田	0
F	中井	4
F	野田	3
F	有永	3
F	近森	2
F	木野	4
F	大江	1
F	早川	3
F	東	0
F	氷海	0
7MT	(1)	20

日本 18（12－2、6－5）7 イスラエル

	【日本】	得
K	本田	0
K	下里	0
F	有永	2
F	木野	3
F	野田	2
F	飯田	6
F	藤中	2
F	近森	1
F	新実	0
F	中井	2
F	斉藤	0
F	早川	0
7MT	(2)	18

日本 21（13－3、8－4）7 韓国

	【日本】	得
K	本田	0
K	大村	0
F	近森	3
F	木野	6
F	有永	3
F	中井	1
F	野田	4
F	飯田	1
F	氷海	2
F	大江	0
F	藤中	1
F	東	0
7MT	(7)	21

【最終順位】①日本②イスラエル③韓国

モントリオール アジア地域予選

▽第1次（一九七六（昭51）年3月・台北）

【日本代表】▽団長　神田清（日本協会常務理事）▽渉外　伊藤和夫▽監督　竹野奉昭▽コーチ　東嘉伸▽GK本田洋（大阪イーグルス）、柴田正章（本田技研鈴鹿）、斉藤将一郎（日体大）▽FP藤中憲二、中井武三、花輪博、松原光三（以上大同製鋼）、木野実、穂積豊彦（以上湧永薬品）、佐藤要二（本田技研鈴鹿）、佐々木健一（三景）、菊池悟（東京12チャンネルHC）村田幸男（法大）、蒲生晴明（中大）、平均身長＝180・9cm

日本 40（22－5、18－8）13 台湾

	【日本】	得
K	本田	0
K	斉藤	0
F	木野	2
F	藤中	1
F	中井	5
F	佐藤	7
F	花輪	4
F	佐々木	9
F	蒲生	5
F	穂積	2
F	村田	5
F	松原	0
PT	(0)	40

日本 25（11－9、14－6）15 韓国

	【日本】	得
K	本田	0
K	斉藤	0
F	藤中	6
F	中井	1
F	佐藤	6
F	菊池	6
F	蒲生	1
F	木野	2
F	佐々木	2
F	村田	1
F	松原	0
F	花輪	0
PT	(3)	25

日本 42（18－5、24－11）16 台湾

	【日本】	得
K	柴田	0
K	斉藤	0
F	蒲生	5
F	藤中	3
F	中井	6
F	木野	4
F	佐藤	3
F	村田	6
F	穂積	7
F	花輪	1
F	菊池	4
F	松原	3
PT	(1)	42

日本 20（8－6、12－9）15 韓国

	【日本】	得
K	本田	0
K	柴田	0
F	中井	5
F	佐藤	1
F	藤中	1
F	菊池	2
F	穂積	1
F	木野	2
F	村田	1
F	蒲生	3
F	花輪	2
F	松原	2
PT	(0)	20

【最終順位】①日本②韓国③台湾

▽第2次＝決勝（一九七六（昭51）年4月・テルアビブ）

【日本代表】▽団長　林達夫（日本協会副会長）▽監督、コーチ、選手は第1次予選に同じ

日本 17（7－7、10－8）15 イスラエル

	【日本】	得
K	本田	1
K	柴田	0
F	木野	0
F	菊池	3
F	中井	1
F	藤中	3
F	蒲生	3
F	佐藤	1
F	佐々木	3
F	村田	0
F	松原	2
F	花輪	0
PT	(1)	17

日本 18（10－9、8－6）15 イスラエル

	【日本】	得
K	本田	0
K	斉藤	0
F	藤中	2
F	中井	4
F	木野	4
F	佐藤	6
F	蒲生	2
F	菊池	0
F	佐々木	0
F	村田	0
F	穂積	0
F	花輪	0
PT	(4)	18

MEMO

オリンピックでハンドボール競技が行われたのはベルリン（一九三六）、ミュンヘン（一九七二）、モントリオール（一九七六）の3回だけ。女子はモントリオールで初採用。

日本にとって惜しまれるのは、一九四〇（昭15）に予定された東京大会で実施（11人制・男子のみ）が決まっていながら、戦火のため返上になったこと。昭和13年には強化選手の合宿も行われたほどだった。

オリンピック

《女子》

モントリオール（一九七六（昭51）年8月）

【日本代表】▽監督　井　薫▽GK　和田祥子（立石電機）、久保徳子（ジャスコ）▽FP島田夏枝（主）、蔵田照美、山下恵美子、紀野奈々美（以上立石電機）、加藤美起子、穂積美保子（以上日本ビクター）、松下仁美、河田栄子（以上ジャスコ）、古佐原ひろ子（東京重機）、小森久里子（ブラザー工業）＝平均身長163・2cm

▽リーグ

ハンガリー 25（15―11、10―7）18 日本

	【日本】	得	得	【ハンガリー】
GK	和田	0	0	ブイドーソ
GK	久保	0	0	ベルセニー
FP	古佐原	2	2	ステルビンスキー
FP	島田	3	2	シク
FP	蔵田	5	1	レルケス
FP	松下	6	7	バダス
FP	山下	1	4	ネメト
FP	河田	1	1	アンジャール
FP	小森	0	4	M・ナジ
FP	加藤	0	1	トース・ハルサニ
FP	紀野	0	1	I・ナジ
FP	穂積	0	2	ラキ
PT	(6)	18	25	(4)

東ドイツ 24（12―7、12―3）10 日本

	【日本】	得	得	【東ドイツ】
GK	和田	0	0	ゾベル
GK	久保	0	0	パスキー
FP	島田	1	0	バドレク
FP	蔵田	3	4	マッツ
FP	河田	1	4	クラウゼ
FP	古佐原	0	4	ジーフェルト
FP	山下	0	3	ティーツ
FP	加藤	0	0	ロスト
FP	小森	1	0	ウーリク
FP	紀野	0	7	リヒター
FP	穂積	0	2	ボース
FP	松下	4	0	ミカエリス
PT	(5)	10	24	(5)

ルーマニア 21（8―9、13―11）20 日本

	【日本】	得	得	【ルーマニア】
GK	和田	0	0	イオネスク
GK	久保	0	0	イオニーカ
FP	古佐原	3	2	ソス
FP	山下	0	5	アルジール
FP	松下	3	2	ラクスタ
FP	島田	5	3	ミクロス
FP	蔵田	7	2	ホビンク
FP	小森	2	0	コジョカール
FP	紀野	0	0	ピチゴイ
FP	河田	0	4	ボシク
FP	加藤	0	0	ラコビックス
FP	穂積	0	3	サス
PT	(3)	20	21	(2)

ソ連 31（16―4、15―5）9 日本

	【日本】	得	得	【ソ連】
GK	和田	0	0	シェルチュク
GK	久保	0	0	ロボーワ
FP	蔵田	4	4	ベレジュナヤ
FP	山下	1	6	パンチュク
FP	松下	1	1	カルローワ
FP	古佐原	0	4	ツルチナ
FP	島田	2	5	マカレツ
FP	河田	1	7	シュビナ
FP	紀野	0	1	リトシェンコ
FP	小森	0	1	ボブルス
FP	穂積	0	2	チェサイチワ
FP	加藤	0	0	ルシチェンコ
PT	(4)	9	31	(5)

日本 15（8―3、7―11）14 カナダ

	【日本】	得	得	【カナダ】
GK	和田	0	0	チュナード
GK	久保	0	0	ホーレ
FP	島田	0	1	ハートビス
FP	古佐原	1	3	レマイアー
FP	蔵田	9	2	テトロー
FP	松下	1	3	バリオス
FP	山下	2	1	パリゾー
FP	河田	0	0	ジェニエル
FP	小森	2	2	ロバーツ
FP	加藤	0	2	シャーレット
FP	紀野	0	0	バルタザール
FP	穂積	0	0	プルドム
PT	(6)	15	14	(5)

【最終順位】①ソ連②東ドイツ③ハンガリー④ルーマニア⑤日本⑥カナダ（2・3位は得失点差による）

モントリオール「3大陸」代表予選（一九七六（昭51）年7月ミルウォーキー市＝アメリカ）

【日本代表】▽監督　井　薫▽コーチ　鈴木義男▽GK和田、久保▽FP島田、蔵田、山下、紀野、加藤、穂積、松下、河田、古佐原、小森＝選手は前掲のオリンピック代表と同一

日本 20（9―6、11―3）9 チュニジア

	【日本】	得	得	【チュニジア】
GK	和田	0	0	エスチェイク
GK	久保	0	0	オムラーヌ
FP	古佐原	3	0	ラマミ
FP	島田	4	1	ケリーヒ
FP	蔵田	2	2	レン・ムラト
FP	加藤	0	2	グイザニ
FP	松下	5	1	ベン・スメン
FP	河田	0	2	ハンマムミ
FP	山下	4	1	カムマシ
FP	紀野	0	0	ハウダ・ムラト
FP	小森	2	0	ロージール
FP	穂積	0	0	スマドチ
		20	9	

日本 23（11―10、12―7）17 アメリカ

	【日本】	得
K	久保	1
K	和田	0
F	島田	6
F	山下	0
F	松下	1
F	古佐原	3
F	蔵田	6
F	河田	0
F	加藤	0
F	小森	2
F	紀野	0
F	穂積	4
		23

日本 18（9―1、9―7）8 チュニジア

	【日本】	得
K	和田	0
K	久保	0
F	山下	2
F	蔵田	1
F	紀野	0
F	島田	6
F	松下	3
F	河田	1
F	加藤	0
F	穂積	0
F	小森	3
F	古佐原	2
		18

日本 19（8―6、11―6）12 アメリカ

	【日本】	得	得	【アメリカ】
GK	和田	0	0	トダロ
GK	久保	0	0	マック・ラーエ
FP	古佐原	3	0	ミラー
FP	蔵田	2	1	ハント
FP	山下	1	2	フォレスト
FP	松下	9	0	ライ
FP	加藤	0	1	リンドセイ
FP	島田	3	2	ドワイト
FP	紀野	0	0	ハーレ
FP	穂積	0	1	ホルムス
FP	小森	1	5	リリース
FP	河田	0	0	フルヤニク
		19	12	

【最終順位】①日本②アメリカ③チュニジア

MEMO

モントリオール大会の女子最多得点選手は日本の蔵田照美。5試合で28ゴールをあげたもので、オリンピック、世界選手権で日本選手がこのような好成績をあげたのは男女を通じ初めて。

世界選手権〈男子〉

第4回

（一九六一（昭36）年3月・西ドイツ）

【日本代表】▽団長　式場隆三郎（日本協会々長）▽監督　高嶋冽▽コーチ　松本重雄▽マネ　中沢重夫▽技術研究員　荒川清美▽渉外　境井秀三▽GK福本弘（芝浦工大）、今野邦彦（大崎電気）▽FP近藤金博(主)、尾藤嘉郎、村上善英、田口侑義、山田幸男、佐藤宏輔(以上芝浦工大)、竹野奉昭、宮原藤支男(以上大崎電気)、深江幸次郎(全関学)、服部和記（桜丘会）、井上裕人（日体大）、高村武彦（関大）＝平均身長169・3㎝

▽予選リーグC組

チェコ 38（23—5　15—5）10 日本

	【日本】	得
GK	福本	0
GK	今野	0
FP	村上	0
FP	佐藤	1
FP	深江	3
FP	服部	0
FP	高村	0
FP	田口	1
FP	山田幸	1
FP	竹野	4
FP	近藤	0
	ST 59	10

	【チェコ】	得
GK	ビヒア	0
GK	アルノシュト	0
FP	ルーシャ	2
FP	マレス	6
FP	ハブリク	5
FP	ラダ	7
FP	ヘルマン	5
FP	ルコジク	2
FP	トロヤーン	9
FP	ズーダ	2
FP	プロバズニク	0
	ST 59	38

ルーマニア 29（15—4　14—7）11 日本

	【日本】	得
GK	福本	0
GK	今野	0
FP	村上	0
FP	竹野	6
FP	山田	0
FP	佐藤	2
FP	深江	0
FP	服部	2
FP	田口	0
FP	井上	1
FP	宮原	0
	ST 49	11

	【ルーマニア】	得
GK	レドル	0
GK	ボーゴレアン	0
FP	デマン	2
FP	イバネスク	7
FP	コバッツ	1
FP	ナト	0
FP	ナデア	2
FP	コスタケ弟	2
FP	モーゼル	1
FP	オテリア	3
FP	コーマネスク	1
	ST 56	29

【最終順位】①ルーマニア＝初優勝②チェコ③スウェーデン④西ドイツ⑤デンマーク⑥アイスランド⑦ノルウェー⑧フランス。※日本順位なし

第5回

（一九六四（昭39）3月・チェコ）

【日本代表】▽団長　渡辺和美（東京協会々長）▽監督　高嶋冽▽総務　鷲尾武治▽マネ　片瀬喜代次▽GK今野邦彦(主)、福本弘（以上大崎電気）、尾形譲(立大)▽FP竹野奉昭、宮原藤支男、田口侑義、北村尚英、井上素行、宮原宏金田純男、餅原正脩（以上大崎電気）、住広尚三、新繁樹(以上芝浦工大)、東嘉伸（大阪教員）＝平均身長171・1㎝

▽予選リーグD組

日本 18（9—10　9—4）14 ノルウェー

ソ連 40（17—4　23—6）10 日本

ルーマニア 36（20—5　16—7）12 日本

	【日本】	得
GK	福本	0
FP	竹野	9
FP	東	1
FP	宮原藤	0
FP	田口	0
FP	北村	5
FP	住広	3
	7MT (2)	18

	【ノルウェー】	得
GK	ロルフ	0
GK	ピータース	0
FP	アルヌレフ	0
FP	キール	2
FP	エジェル	2
FP	トライグベ	4
FP	カールルジョグ	1
FP	アリドル	1
FP	クヌト	2
FP	エリク	0
FP	ペール	2
	7MT (2)	14

	【日本】	得
GK	福本	0
GK	尾形	0
FP	竹野	2
FP	東	0
FP	宮原藤	1
FP	田口	1
FP	北村	0
FP	住広	3
FP	新	1
FP	井上	2
FP	金田	0
	7MT (1)	10

	【ソ連】	得
GK	A・ジマル	0
FP	エリック	7
FP	R・ユーリ	4
FP	バレリー	9
FP	ビタウタス	1
FP	アルベルタース	5
FP	T・ジマル	6
FP	ゲオルジェー	1
FP	ミクナイル	7
FP	Z・ユーリ	0
	7MT (0)	40

	【日本】	得
GK	福本	0
GK	尾形	0
FP	竹野	6
FP	東	3
FP	宮原藤	0
FP	田口	0
FP	北村	0
FP	住広	1
FP	新	1
FP	井上	1
	7MT (1)	12

	【ルーマニア】	得
GK	ボコレン	0
FP	モーゼル	5
FP	グルイア	7
FP	ナデア	2
FP	コスタケ弟	3
FP	オテリア	5
FP	イワネスク	7
FP	イアコブ	4
FP	ボベスク	3
FP	ニカ	0
	7MT (4)	36

【最終順位】①ルーマニア＝2連勝②スウェーデン③チェコ④西ドイツ⑤ソ連⑥ユーゴ⑦デンマーク⑧ハンガリー　※日本順位なし

第6回

（一九六七（昭42）年1月・スウェーデン）

【日本代表】▽団長　馬場太郎（日本協会副会長）▽監督　村田弘▽コーチ　勝繁夫・稲石三二▽コーチ兼マネ　中沢重夫▽GK　尾形譲(立大)、竹下洋一(中大)▽FP　近藤信行、関根邦夫、近森克彦、山田透(以上芝浦工大)、木野実、北村文雄（以上立大）、青木義男（主・大阪イーグルス）、江名英彦(全立大)、北井晴次(埼玉教員)、吉金勇(常盤工業)、飯端寿昭（関学）、飯田誠行（同志社大）、大西武三（東京教大）＝平均身長174・6㎝

▽予選リーグB組

ハンガリー 30（16—13　14—12）25 日本

西ドイツ 38（21—15　17—12）27 日本

日本 21（10—9　11—7）16 ノルウェー

	【日本】	得
GK	尾形	0
GK	竹下	0
FP	北井	1
FP	木野	6
FP	近森	2
FP	飯田	2
FP	江名	0
FP	飯端	12
FP	近藤	2
FP	北村	0
FP	青木	0
	7MT (0)	25

	【ハンガリー】	得
GK	J・コバック	0
GK	ティマール	0
FP	クレイン	2
FP	トノチズキイ	1
FP	カロ	4
FP	マロシ	5
FP	L・コバック	8
FP	シモン	2
FP	アドラジャン	1
FP	バルガ	6
FP	フェンニョ	1
	7MT (6)	30

	【日本】	得
GK	尾形	0
GK	竹下	0
FP	北井	3
FP	青木	0
FP	江名	3
FP	木野	8
FP	近森	4
FP	飯田	0
FP	関根	1
FP	飯端	7
FP	近藤	1
	7MT (2)	27

	【西ドイツ】	得
GK	デュエル	0
FP	バルテルス	6
FP	フェルドホフ	6
FP	ヘーゲル	1
FP	オニジェ	3
FP	ルブキング	10
FP	ムウレイスン	3
FP	シュワンツ	3
FP	シュミット	5
FP	フリッツ	1
	7MT (2)	38

	【日本】	得
GK	尾形	0
GK	竹下	0
FP	山田	0
FP	北井	4
FP	江名	1
FP	木野	9
FP	近森	2
FP	飯田	0
FP	飯端	4
FP	近藤	1
FP	青木	0
	7MT (1)	21

	【ノルウェー】	得
GK	バイエ	0
GK	クレペラス	0
FP	バエク	1
FP	カペエレン	1
FP	ションフェルト	3
FP	レイネルセン	3
FP	ホイランド	0
FP	ルンドバーグ	1
FP	ハンセン	2
FP	J・A・グンネルド	5
FP	グルデン	0
	7MT (1)	16

【最終順位】①チェコ＝初優勝②デンマーク③ルーマニア④ソ連⑤スウェーデン⑥西ドイツ⑦ユーゴ⑧ハンガリー　※日本順位なし

第7回

（一九七〇（昭45）年2月・フランス）

【日本代表】▽団長　田村正衛（日本協会々長）▽監督　村田弘▽コーチ兼選手(FP)、竹野奉昭（大崎電気）▽GK本田洋(日体大)、下里敏彦(大崎電気)▽FP　近藤信行、近森克彦、飯田誠行、東一敏(以上大崎電気)、木野実、早川清孝(以上湧永薬品)、藤中憲二、

斉藤光男（以上日体大）、江名英彦（三景）、野田清（大同製鋼）、中井武三（同志社大）＝平均身長178・4㎝

▽予選リーグB組

チェコ 19（11-7, 8-2）9 日本

【日本】	得		得	【チェコ】
本田	0	GK	0	アーノスト
下里	0	GK	0	スカルバン
飯田	0	FP	1	クリムシク
近森	1	FP	5	マレス
木野	2	FP	1	ブルーナン
東	1	FP	2	カヴァン
近藤	2	FP	3	ズーダス
野田	2	FP	2	ベネス
早川	1	FP	1	クラナトン
江名	0	FP	1	ヘルマン
藤中	0	FP	1	ハブリク
竹野	0	FP	2	コネツニ
9	(2)	7MT	(2)	19

日本 17（9-7, 8-10）17 ユーゴ 引き分け

【日本】	得		得	【ユーゴ】
本田	0	GK	0	コスティク
下里	0	GK	0	ヤクセコビク
飯田	3	FP	6	ザグメスター
江名	1	FP	3	ポポビク
近藤	0	FP	0	ホルバト
近森	6	FP	4	ポクラヤク
野田	3	FP	3	ラザレビッチ
木野	4	FP	0	カルリッチ
竹野	0	FP	0	ミルコビッチ
東	0	FP	1	ラブルニッチ
早川	0	FP	0	プリパニク
藤中	0	FP	0	ブガルスキー
17	(4)	7MT	(4)	17

日本 21（11-8, 10-7）15 アメリカ

▽9〜12位決定戦

日本 20（8-10, 12-9）19 アイスランド

日本 22（9-6, 13-7）13 フランス

【日本】	得		得	【アメリカ】
本田	0	GK	0	エデス
下里	0	GK	0	B・セウテ
飯田	3	FP	1	ネイラー
斉藤	3	FP	1	トリンクス
近森	2	FP	3	ユラク
木野	2	FP	0	ポンシク
近藤	3	FP	4	バークホルツ
野田	2	FP	2	マッカルディ
藤中	0	FP	1	K・セウテ
東	3	FP	2	ダンカン
江名	1	FP	0	ラバーベラ
竹野	2	FP	1	ウィッティ
21	(1)	7MT	(2)	15

【日本】	得		得	【アイスランド】
本田	0	GK	0	フィンボゴソン
下里	0	GK	0	エインルソン
飯田	3	FP	1	ストムクルソン
近森	3	FP	0	ブトルギンソン
木野	6	FP	5	マグノソン
早川	0	FP	1	S・ジョンソン
東	2	FP	1	シグスティンソン
藤中	0	FP	1	O・ジョンソン
野田	5	FP	5	I・オスカーソン
中井	0	FP	2	ハルスティンソン
江名	1	FP	2	スババルソン
竹野	0	FP	1	A・オスカーソン
20	(2)	7MT	(2)	19

【日本】	得		得	【フランス】
本田	0	GK	0	フェリナク
下里	0	GK	0	B・セレント
木野	4	FP	1	R・リキャルド
野田	2	FP	1	M・リキャルド
近森	1	FP	0	ドリュアイス
近藤	1	FP	3	リラルジェ
飯田	7	FP	1	ゲルマイン
江名	3	FP	1	アグーニュ
早川	1	FP	2	エチェベリー
東	2	FP	1	ニタ
斉藤	1	FP	2	ポルテス
竹野	0	FP	1	カリテ
22	(0)	7MT	(0)	13

ソ連 27（16-6, 11-6）12 日本

【日本】	得		得	【ソ連】
本田	0	GK	0	ウィルソン
下里	0	GK	0	イチェンコ
近森	4	FP	0	ソロムコ
木野	2	FP	6	マキシモフ
野田	0	FP	2	フクハカーゼ
飯田	4	FP	2	シャジュ
早川	0	FP	5	クリモフ
中井	0	FP	4	マショリン
東	1	FP	6	パノフ
近藤	1	FP	1	ズドレンコ
藤中	0	FP	1	コジュコフ
竹野	0	FP	0	シェフチェンコ
12	(1)	7MT	(3)	27

【最終順位】①ルーマニア＝3度目②東ドイツ③ユーゴ④デンマーク⑤西ドイツ⑥スウェーデン⑦チェコ⑧デンマーク⑨ソ連⑩日本⑪アイスランド⑫フランス

第8回

◆アジア地域予選（一九七四（昭49）年2月・イスラエル）

【日本代表】▽団長 林達夫（日本協会副会長）▽監督 北川勇喜▽FP兼コーチ 木野実（湧永薬品）▽GK 本田洋（大阪イーグルス）、柳川清（大同製鋼）▽FP 藤中憲二、中井武三、花輪博、柳川実（以上大同製鋼）、佐藤要二（本田技研鈴鹿）、大江隆夫（芝浦ク）、夏目真治（中京大）、菊池悟（早大）、村田幸男（法大）、蒲生晴明（中大）＝平均身長179・3㎝

▽第1戦

日本 14（8-8, 6-6）14 イスラエル 引き分け

【日本】	得	
本田	0	K
柳川清	0	K
蒲生	2	F
菊池	0	F
木野	0	F
中井	3	F
大江	0	F
藤中	6	F
花輪	0	F
佐藤	2	F
村田	1	F
柳川実	0	F
14	(1)	7MT

▽第2戦

日本 18（8-7, 10-7）14 イスラエル

【日本】	得	
本田	0	K
柳川清	0	K
木野	7	F
佐藤	4	F
中井	2	F
柳川実	3	F
大江	0	F
藤中	2	F
蒲生	0	F
村田	0	F
花輪	0	F
菊池	0	F
18	(1)	7MT

◆本大会（一九七四（昭49）3月・東ドイツ）・メンバーは予選に同じ

▽予選リーグC組

東ドイツ 31（18-7, 13-9）16 日本

【日本】	得		得	【東ドイツ】
本田	0	GK	0	ボイクト
柳川清	0	GK	0	ウェイス
蒲生	0	FP	7	ガンショフ
木野	2	FP	3	P・ロスト
藤中	6	FP	0	ハイルデブラント
佐藤	4	FP	4	ボヘーム
菊池	1	FP	7	ラッケンマッハ
花輪	1	FP	2	エンゲル
村田	0	FP	3	ピエック
大江	0	FP	4	カエルレルト
柳川実	0	FP	1	ローズ
中井	2	FP	0	シュミット
16	(0)	7MT	(4)	31

ソ連 25（12-11, 13-7）18 日本

日本 29（16-9, 13-9）18 アメリカ

▽9〜12位決定戦

ブルガリア 23（10-10, 13-12）22 日本

【日本】	得		得	【ソ連】
本田	0	GK	0	イチェンコ
柳川清	0	GK	0	シスチェフ
中井	2	FP	4	マキシモフ
藤中	1	FP	0	ピノフ
木野	0	FP	3	クラウゾフ
佐藤	6	FP	2	ウサティ
蒲生	1	FP	2	クリモフ
菊池	2	FP	3	ラグティン
村田	0	FP	0	クライフ
花輪	3	FP	5	マショリン
夏目	0	FP	6	オガネゾーフ
柳川実	3	FP	0	レザノフ
18	(2)	7MT	(4)	25

【日本】	得		得	【アメリカ】
本田	0	GK	0	エデス
柳川清	0	GK	0	リブニャク
中井	6	GK	4	アブラハムソン
藤中	4	GK	4	バークホルツ
大江	0	GK	4	ロジャース
佐藤	10	GK	1	ベーカー
蒲生	0	GK	3	ナイロール
菊池	3	GK	2	スパークス
村田	0	GK	0	モーゼ
花輪	2	GK	0	ヴィンクラー
夏目	0	GK	0	セサーラペード
柳川実	4	GK	0	ハルディマン
29	(6)	7MT	(5)	18

【日本】	得		得	【ブルガリア】
本田	0	GK	0	S・ジョルジェフ
柳川清	0	GK	0	ラザロフ
藤中	6	FP	0	ブラスチェフ
中井	4	FP	0	A・アンゲロフ
佐藤	6	FP	0	クリストフ
大江	0	FP	0	G・ジョルジェフ
菊池	1	FP	8	アラドスチョフ
蒲生	1	FP	9	ナッチェフ
村田	0	FP	0	マツスキー
柳川実	1	FP	2	デウチノフ
木野	3	FP	1	G・アンゲロフ
花輪	0	FP	3	ステファノフ
22	(3)	7MT	(2)	23

西ドイツ 30（15-12, 15-12）24 日本

	日本	得	得	西ドイツ
GK	本田	0	0	ドグス
GK	柳川清	0	0	メイヤー
FP	中井	1	2	ヴェルツ
FP	佐藤	7	0	エムリック
FP	木野	0	1	ブッヒャー
FP	藤中	11	9	ベステベ
FP	大江	0	2	シュミット
FP	菊池	2	2	モーラー
FP	村田	0	3	ヴェーネルト
FP	柳川実	2	3	グローニング
FP	花輪	1	1	スペングラー
FP	蒲生	0	7	デッカルム
	7MT（4）	24	30	（3）

スウェーデン 28（14－10、14－11）21 日本

	日本	得	得	スウェーデン
GK	本田	0	0	グスタフソン
GK	柳川清	0	0	カールソン
FP	藤中	2	6	ビョ・アンデルソン
FP	中井	4	2	ボー・アンデルソン
FP	木野	4	5	フィッシェルストローム
FP	佐藤	7	1	ハンソン
FP	柳川実	2	3	セーゲルスタット
FP	花輪	0	0	センソン
FP	蒲生	1	3	ヨンソン
FP	菊池	1	0	マルシニアク
FP	村田	0	4	ソーデバーグ
FP	夏目	0	4	ヴェストリング
	7MT（3）	21	28	（1）

【最終順位】①ルーマニア＝2連勝②東ドイツ③ユーゴ④ポーランド⑤チェコ⑥ソ連⑦ハンガリー⑧デンマーク⑨西ドイツ⑩スウェーデン⑪ブルガリア⑫日本

参考記録

◆第1回（一九三八（昭13）年・ドイツ）

①ドイツ②オーストリア③スウェーデン④デンマーク

◆第2回（一九五四（昭29）・スウェーデン）

①スウェーデン＝初優勝②西ドイツ③チェコ④スイス⑤デンマーク⑥フランス

◆第3回（一九五八（昭33）・東ドイツ）

①スウェーデン＝2連勝②チェコ③ドイツ（東西混成）④デンマーク⑤ポーランド⑥ノルウェー⑦ハンガリー⑧ユーゴ

（注）以上3回は日本不出場

世界選手権〈女子〉

第2回

（一九六二（昭37）年7月・ルーマニア）

【日本代表】▽団長 出口林次郎（日本協会副会長）▽監督 高嶋冽▽ヘッドコーチ 北川浩▽コーチ 宮原俊隆▽マネ 塩川安賢▽技術研究員 亀岡成昌▽GK山田帆浪（レナウン）、古谷芳枝（大崎電気）篠崎益野（愛知紡）▽FP沢田勝子 青木悠子、山崎鉒子、塚原米子、磯部昌子（以上愛知紡）宇井敬子 深津久仁子、田村うた子、黒川泰恵（以上大崎電気）、竹本千恵子、太田美紀子（以上レナウン）、西村八千代（大洋デパート）＝平均身長156・2cm

▽予選リーグB組

ハンガリー 17（6－3、11－5）8 日本

	日本	得	得	ハンガリー
GK	篠崎	0	0	ホルドーネ
GK	山田	0	0	ローテルネル
FP	沢田	1	0	ハンタス
FP	磯部	2	2	チェルハイネ
FP	青木	0	2	バルガ
FP	山崎	0	1	バログ
FP	宇井	2	1	シュッツ
FP	西村	3	4	ロムハーネ
FP	田村	0	2	ヨナ
FP	黒川	0	5	ハエクネ
FP	太田	0	0	オランネ
		8	17	

デンマーク 12（5－3、7－4）7 日本

	日本	得	得	デンマーク
GK	山田	0	0	ヘルガン
GK	篠崎	0	0	イエンセン
FP	磯部	5	0	オステルガルト
FP	青木	0	0	クリステンセン
FP	山崎	0	3	コッホ
FP	宇井	0	1	スコット
FP	田村	0	4	ニールセン
FP	沢田	0	0	マルシュトランド
FP	太田	0	0	ビッレモーゼン
FP	西村	2	3	ニールスセン
FP	黒川	0	1	クラメル
		7	12	

▽7～9位決定リーグ

ポーランド 16（9－5、7－5）10 日本

西ドイツ 15（8－5、7－1）6 日本

【最終順位】①ルーマニア＝初優勝②デンマーク③チェコ④ユーゴ⑤ハンガリー⑥ソ連⑦ポーランド⑧西ドイツ⑨日本

	日本	得	得	ポーランド
GK	篠崎	0	0	グニーダ
GK	山田	0	0	リンダ
FP	山崎	1	2	ズワボフスカ
FP	磯部	0	5	ミハレスカ
FP	沢田	2	3	ドボラ
FP	青木	0	2	カブリス
FP	宇井	4	1	ドウデ
FP	黒川	0	0	ソワダ
FP	田村	0	0	シャルロッテ
FP	太田	1	0	ペルナ
FP	西村	2	3	コラルチック
		10	16	

	日本	得	得	西ドイツ
GK	山田	0	0	ハーラッハ
GK	篠崎	0		
FP	沢田	0	3	ホーランド
FP	磯部	0	3	ブルマイスター
FP	青木	0	1	ゾンレビッチ
FP	山崎	0	1	ブハイト
FP	宇井	0	1	バルンス
FP	西村	4	2	ヘルテル
FP	田村	2	3	フォン・ドリス
FP	黒川	0	1	プロミエス
FP	太田	0	0	フリース
		6	15	

第3回

◆一次予選（一九六五（昭40）年10月・チェコ）

【日本代表】▽団長兼監督 高嶋冽（日本協会理事長）▽コーチ 宮原俊隆▽マネ 岩崎美栄子▽サブマネ 伊藤せつ子▽GK古谷芳枝 川崎幸子（以上大崎電気）▽FP宇井敬子（主）、笠原喜代子、黒川泰恵、早川清美、鈴木功子、永井昭子、加藤井子（以上大崎電気）、久蓮松美和子、高山やよい、新保いく子（以上大洋デパート）＝平均身長157・6cm

▽第1戦

チェコ 17（8－5、9－4）9 日本

	日本	得
K	古谷	0
K	川崎	0
F	宇井	2
F	久蓮松	0
F	笠原	1
F	黒川	0
F	早川	2
F	鈴木	4
F	永井	0
F	新保	0
F	加藤	0
F	高山	0
	7MT（2）	9

▽第2戦

チェコ 17（10－4、7－1）5 日本

	日本	得
K	古谷	0
K	川崎	0
F	宇井	1
F	久蓮松	1
F	笠原	0
F	黒川	1
F	早川	0
F	鈴木	1
F	永井	1
F	新保	0
F	加藤	0
F	高山	0
	7MT（1）	5

（注）日本は2敗となり本大会への出場資格を失ったが、ソ連が大会直前に棄権、IHFはオランダ、日本を繰り上げ出場候補国としオランダの辞退から、日本が浮上することとなった。

◆本大会（一九六五（昭40）年11月・西ドイツ）▽予選リーグA組

西ドイツ 15（7－6、8－1）7 日本

	日本	得	得	西ドイツ
GK	古谷	0	0	イレネ
GK	川崎	0	0	ヤコブ
FP	宇井	4	2	キュール
FP	久蓮松	0	3	ホフマン
FP	笠原	0	2	メーザー
FP	黒川	1	2	バウアー
FP	早川	1	1	ギゼラ
FP	鈴木	1	0	エルケ
FP	永井	0	0	ゲダル
FP	新保	0	3	クリスター
FP	加藤	0	2	ドリス
	7MT（4）	7	15	（4）

デンマーク 10（5－5、5－4）9 日本

	【日本】	得	【デンマーク】	得
GK	古谷	0	ヘルガ・ハンセン	0
GK	川崎	0	レーナ・ニールセン	0
FP	宇井	2	アナ・ハンセン	1
FP	久蓮松	0	ビルテ・ハンセン	1
FP	笠原	0	ミッケルセン	0
FP	黒川	0	アンネ・M・ニールセン	3
FP	早川	3	アンデルセン	1
FP	鈴木	3	クリスチャンセン	1
FP	永井	1	レーネ・ハンセン	1
FP	加藤	0	ニールソン	1
FP	新保	0	ラムセセン	1
	7MT (0)	9	(2)	10

ユーゴ 9（5−3、4−2）5 日本

	【日本】	得	【ユーゴ】	得
GK	古谷	0	イストバノビッチ	0
GK	川崎	0	ミラディノビッチ	0
FP	宇井	1	ザマルツヤ	0
FP	久蓮松	0	セゼッチ	3
FP	黒川	0	ラドウノビッチ	1
FP	早川	3	バルト	0
FP	鈴木	1	ベイノビッチ	2
FP	笠原	0	ベコビッチ	2
FP	新保	0	ニンコビナ	0
FP	永井	0	トーマゼック	0
FP	加藤	0	レーベルニャック	1
	7MT (1)	5	(0)	9

▽7・8位決定戦

日本 6（4−1、2−4）5 ポーランド

【最終順位】①ハンガリー＝初優勝②ユーゴ③西ドイツ④チェコ⑤デンマーク⑥ルーマニア⑦日本⑧ポーランド

第4回（一九七一（昭46）年12月・オランダ）

【日本代表】▽監督 山田計（日本

	【日本】	得	【ポーランド】	得
GK	古谷	0	シション	0
GK	川崎	0	ヌナラ	0
FP	鈴木	1	ヤボルスカ	0
FP	久蓮松	0	ドウーダ	0
FP	早川	3	テエカ	0
FP	宇井	1	ミカルスカ	1
FP	黒川	0	トボラ	1
FP	加藤	0	ボラニー	1
FP	笠原	1	レギエン	1
FP	永井	0	ハリュノビカ	1
FP	新保	0	グツイク	1
	7MT (0)	6	(0)	5

協会常務理事）▽コーチ 宇津野年一、井薫▽GK 小原名苗（大洋デパート）、北岡千賀（愛知教員ク）▽FP 枝尾清女、三宅美智子、垂水秀代、渡辺須和子、米恵美子、島田夏枝（以上大洋デパート）滝口治代、牧野涼子古佐原ひろ子（以上東京重機）、寺尾由美子三浦朝子（以上大崎電気）三毛直子（田村紡）＝平均身長160cm

▽予選リーグA組

西ドイツ 10（5−4、5−3）7 日本

	【日本】	得	【西ドイツ】	得
GK	北岡	0	アイツヒナウァー	0
GK	小原	0	メンツェル	0
FP	枝尾	0	ジーベルト	0
FP	垂水	6	キント	0
FP	米	0	ホエイ	1
FP	牧野	1	レイトウェスナー	6
FP	古佐原	0	ワルツラウド	0
FP	島田	0	ハーゲンバッハ	1
FP	滝口	0	ヴェルツ	2
FP	三宅	0	クルズ	0
FP	三毛	0		
FP	渡辺	0		
	7MT (4)	7	(1)	10

デンマーク 11（4−4、7−3）7 日本

	【日本】	得	【デンマーク】	得
GK	小原	0	アンネッテダール	0
GK	北岡	0	ハンセン	0
FP	枝尾	0	M・クリステンセン	0
FP	三宅	0	ラガーボン	1
FP	垂水	4	A・ニールセン	1
FP	米	0	L・クリステンセン	0
FP	牧野	1	L・ニールセン	0
FP	島田	1	ラスムッセン	8
FP	寺尾	0	リース	1
FP	滝口	0	セレンセン	0
FP	古佐原	1	ルートボールゲン	0
FP	三毛	0		
	7MT (1)	7	(6)	11

▽7〜9位決定リーグ

日本 12（6−7、6−5）12 ノルウェー

引き分け

	【日本】	得	【ノルウェー】	得
GK	小原	0	ウィラッセン	0
GK	北岡	0	ファウスク	0
FP	牧野	2	フラセット	8
FP	米	0	ツベテール	0
FP	垂水	5	ストロールバーグ	1
FP	島田	5	スケイ	1
FP	古佐原	0	ハルボルセン	1
FP	枝尾	0	B・アンデルセン	1
FP	滝口	0	ブレンネ	0
FP	三宅	0	M・アンデルセン	0
FP	三浦	0	ガンク	0
FP	三毛	0	アニスダール	0
	7MT (2)	12	(2)	12

オランダ 13（6−9、7−2）11 日本

【最終順位】①東ドイツ＝初優勝②ユーゴ③ハンガリー④ルーマニア⑤西ドイツ⑥デンマーク⑦ノルウェー⑧オランダ⑨日本

第5回（一九七三（昭48）年12月・ユーゴ）

【日本代表】▽団長 田村正衛（日

	【日本】	得	【オランダ】	得
GK	小原	0	マーネン	0
GK	北岡	0	ブーレーン	0
FP	垂水	6	カッペル	2
FP	米	0	ヘンドリックス	4
FP	三毛	1	ランツァート	1
FP	牧野	0	メイヤイェール	0
FP	古佐原	1	ピルラー	3
FP	島田	1	ギールディング	0
FP	滝口	0	ドラーネン	0
FP	三宅	0	アーツ	1
FP	枝尾	1	スミット	2
FP	渡辺	1		
	7MT (3)	11	(5)	13

本協会々長）▽監督 井薫▽コーチ 鈴木義男▽GK 小原名苗（大洋デパート）、和田祥子（大崎電気）▽FP 垂水秀代、米恵美子、島田夏枝、蔵田照美、山下恵美子（以上大洋デパート）、牧野涼子、古佐原ひろ子（以上東京重機）、鳥居君子（ブラザー工業）、高野晴子（日本ビクター）、三毛直子（田村紡）＝平均身長161cm

▽予選リーグB組

ルーマニア 24（10−4、14−8）12 日本

	【日本】	得	【ルーマニア】	得
GK	小原	0	イオネスク	0
GK	和田	0	モーゼ	0
FP	垂水	2	ズース	10
FP	米	0	アルギィール	4
FP	牧野	1	フルコォイ	1
FP	蔵田	2	コヨカル	4
FP	古佐原	6	オアンシア	1
FP	島田	1	ポパ	0
FP	三毛	0	ポトロビッチ	2
FP	山下	0	フリブナック	1
FP	鳥居	0	イリイ	0
FP	高野	0	ミクロス	1
	7MT (7)	12	(6)	24

ノルウェー 16（6−5、10−4）9 日本

	【日本】	得	【ノルウェー】	得
GK	小原	0	ファウスク	0
GK	和田	0	キウル	0
FP	垂水	1	ツベター	1
FP	米	0	ブレーヌ	0
FP	牧野	3	ハルボルセン	1
FP	蔵田	1	B・アンデルセン	2
FP	古佐原	1	ベンズバーグ	4
FP	島田	2	フラセット	5
FP	三毛	0	アニスダール	0
FP	鳥居	0	ヘシェン	0
FP	山下	1	G・アンデルセン	2
FP	高野	0	クヌドセン	1
	7MT (5)	9	(2)	16

▽9〜12位決定リーグ

日本 15（9−3、6−8）11 オランダ

	【日本】	得	【オランダ】	得
GK	小原	0	レインデルス	0
GK	和田	0	カンプ	0
FP	垂水	2	ストリットメイヤー	1
FP	牧野	2	プット	2
FP	米	0	T・ヘンドリックス	4
FP	山下	0	バールストラ	1
FP	三毛	0	Tr・ヘンドリックス	1
FP	蔵田	5	マルテン	0
FP	古佐原	4	ルテン	2
FP	島田	1	ジョン	0
FP	鳥居	0	クック	0
FP	高野	1	ギールデング	0
	7MT (5)	15	(1)	11

東ドイツ 17（10−4、7−8）12 日本

MEMO

第5回世界女子選手権は、はじめアジア地域から日本、韓国がエントリー、初の予選が48年4月12、14日東京、大阪で行われる予定だったが直前になり韓国が棄権した。

【日本】	得		得	【東ドイツ】
小原	0	GK	0	バルデベルグ
和田	0	GK	0	ブロス
垂水	2	FP	4	ゲールホフ
米	0	FP	2	ミハエリス
牧野	0	FP	1	ヤンカー
古佐原	3	FP	0	ユングハンス
蔵田	3	FP	1	ヘルビー
島田	3	FP	4	ティエック
鳥居	0	FP	2	ライター
三毛	0	FP	3	クレスマー
高野	1	FP	0	ハインリッヒ
山下	0	FP	0	ボムス
12	(2)	7MT	(2)	17

日本 13（8―7、5―3）10 西ドイツ

【日本】	得		得	【西ドイツ】
小原	0	GK	0	メンツェル
和田	0	GK	0	ランジェ
牧野	2	FP	2	ワグネル
古佐原	2	FP	0	ケスラー
垂水	3	FP	2	V・キント
島田	0	FP	0	クレブス
米	3	FP	1	I・キント
高野	1	FP	1	クルース
三毛	0	FP	0	ネウツェ
山下	0	FP	2	プラクト
鳥居	0	FP	2	ヤコブ
蔵田	2	FP	0	クスター
13	(2)	7MT	(2)	10

【最終順位】①ユーゴ＝初優勝②ルーマニア③ソ連④ハンガリー⑤ポーランド⑥チェコ⑦デンマーク⑧ノルウェー⑨東ドイツ⑩日本⑪西ドイツ⑫オランダ

第6回

◆アジア地域第1次予選（一九七五（昭50）年三月・韓国）

【日本代表】▽団長 安藤純光（日本協会常務理事）▽監督代行 渡辺慶寿▽コーチ 池田鉄哉▽GK 和田祥子（立石電機）、渡辺久子（日本ビクター）、久保徳子（田村紡）▽FP 島田夏枝、蔵田照美、山下恵美子、紀野奈々美（以上立石電機）、加藤美起子、額賀美恵子、穂積美保子（以上日本ビクター）、古佐原ひろ子、菊地春美（以上東京重機）、松下仁美、河田栄子（以上田村紡）、有賀とも子（東北ムネカタ）＝平均身長162・9cm

日本 28（15―4、13―2）6 台湾

【日本】	得	
和田	0	K
渡辺	0	K
古佐原	9	F
島田	2	F
蔵田	2	F
加藤	0	F
額賀	6	F
山下	3	F
松下	2	F
有賀	0	F
菊地	3	F
河田	1	F
28	(2)	7MT

日本 22（13―11、9―6）17 韓国

【日本】	得	
和田	0	K
渡辺	0	K
古佐原	6	F
蔵田	4	F
島田	4	F
額賀	6	F
山下	0	F
菊地	2	F
加藤	0	F
松下	0	F
穂積	0	F
紀野	0	F
22	(7)	7MT

日本 45（21―3、24―1）4 台湾

【日本】	得	
久保	0	K
渡辺	0	K
古佐原	13	F
島田	4	F
蔵田	2	F
加藤	7	F
額賀	5	F
山下	2	F
松下	3	F
穂積	1	F
菊地	6	F
紀野	2	F
45	(7)	7MT

日本 23（9―10、14―6）16 韓国

【日本】	得	
和田	0	K
渡辺	0	K
島田	5	F
蔵田	4	F
額賀	4	F
菊地	1	F
古佐原	7	F
山下	1	F
松下	0	F
有賀	0	F
河田	0	F
加藤	1	F
23	(5)	7MT

【順位】①日本②韓国③台湾

◆同第2次予選＝決勝（一九七五（昭50）年3月・東京）

【日本代表】監督を井薫がつとめたほか、選手は第1次予選に同じ

日本 19（9―1、10―3）4 イスラエル

【日本】	得	
和田	0	K
渡辺	0	K
古佐原	6	F
島田	2	F
蔵田	4	F
山下	1	F
額賀	1	F
菊地	4	F
加藤	0	F
松下	0	F
河田	1	F
紀野	0	F
19	(8)	7MT

日本 22（9―4、13―4）8 イスラエル

【日本】	得	
渡辺	0	K
和田	0	K
古佐原	5	F
蔵田	4	F
山下	2	F
額賀	3	F
菊地	0	F
島田	4	F
松下	1	F
河田	0	F
加藤	2	F
穂積	1	F
22	(4)	7MT

（注）この2試合は、イスラエルに対する警備上の不安から観客をいっさいいれぬ「ドアー・クローズドゲーム」として行なわれた。

◆本大会（一九七五（昭50）年12月・ソ連）

【日本代表】▽団長 渡辺慶寿（日本協会常務理事）▽監督 井薫▽コーチ 鈴木義男▽GK 和田祥子（立石電機）、久保徳子（田村紡）、渡辺久子（日本ビクター）▽FP 島田夏枝（主）、蔵田照美、山下恵美子、紀野奈々美（以上立石電機）、加藤美起子、額賀美恵子、穂積美保子（以上日本ビクター）、古佐原ひろ子、菊地春美（以上東京重機）、松下仁美、河田栄子（以上田村紡）＝平均身長162・9cm

▽予選リーグA組

チェコ 21（11―10、10―3）13 日本

【日本】	得		得	【チェコ】
和田	0	GK	0	マカラクコーワ
久保	0	GK	0	ダティンスカ
古佐原	4	FP	1	ボレドビコーバ
島田	1	FP	1	マチソーバ
蔵田	0	FP	0	アンギャローバ
額賀	0	FP	3	バスソーバ
山下	2	FP	0	ミカルチコーバ
松下	4	FP	6	ホラローバ
菊地	0	FP	4	クツコーバ
河田	1	FP	0	ブルタコー
穂積	0	FP	4	ホルチノーバ
紀野	1	FP	2	ポラチコーバ
13	(2)	PT	(2)	21

ルーマニア 24（12―10、12―8）18 日本

【日本】	得		得	【ルーマニア】
和田	0	GK	0	イオネスク
渡辺	0	GK	0	ヨニカ
松下	6	FP	7	ゾース
山下	0	FP	8	アルギール
額賀	0	FP	0	ラクスタ
加藤	0	FP	0	ミホス
蔵田	5	FP	4	コヨカル
古佐原	2	FP	3	ミクロス
島田	5	FP	1	ボツシ
菊地	0	FP	0	ピッチゴォーイ
河田	0	FP	0	ルータス
穂積	0	FP	1	ホビネウ
18	(3)	PT	(2)	24

ノルウェー 16（7―3、9―5）8 日本

▽10〜12位決定リーグ

日本 17（11―5、6―5）10 アメリカ

日本 26（12―7、14―3）10 チュニジア

【最終順位】①東ドイツ＝2度目②ソ連③ハンガリー④ルーマニア⑤ユーゴ⑥チェコ⑦ポーランド⑧ノルウェー⑨デンマーク⑩日本⑪アメリカ⑫チュニジア

【日本】	得		得	【ノルウェー】
和田	0	GK	0	ファウスク
久保	0	GK	0	クウル
島田	1	FP	5	アニスダール
古佐原	1	FP	0	クヌドセン
松下	1	FP	3	ブレーヌ
蔵田	5	FP	1	アーギャルト
額賀	0	FP	5	アンデルセン
菊地	0	FP	0	ファイエ
加藤	0	FP	0	エリクソン
穂積	0	FP	2	ダニエルセン
紀野	0	FP	0	ハンセン
山下	0	FP	0	オルセン
8	(4)	PT	(3)	16

【日本】	得		得	【アメリカ】
和田	0	GK	0	トダール
渡辺	0	GK	0	シェフツ
蔵田	4	FP	0	ミラー
山下	1	FP	0	クラントン
島田	4	FP	0	ワシントン
古佐原	2	FP	8	フォレスト
松下	5	FP	1	リンドセイ
額賀	0	FP	1	ハレル
紀野	0	FP	0	ドワイト
穂積	1	FP	0	ジェラルド
河田	0	FP	0	ホルムス
菊地	0	FP	0	リリース
17	(2)	PT	(5)	10

【日本】	得		得	【チュニジア】
和田	0	GK	0	オムラーヌ
渡辺	0	GK	0	エスチェイク
古佐原	1	FP	1	スマドチ
松下	7	FP	0	クヘリイル
島田	0	FP	4	ベン・ラムト
蔵田	1	FP	0	ザラー
山下	1	FP	2	スリマンセ
穂積	3	FP	2	グッサニ
河田	5	FP	0	カムマミ
菊地	2	FP	0	クハマッシ
加藤	3	FP	1	ムラト
紀野	3	FP	0	フベス
26	(3)	PT	(3)	10

参考記録

◆第1回（一九五七（昭32）年・ユーゴ）

①チェコ②ルーマニア③ドイツ④ポーランド⑤デンマーク⑥オーストリア⑦ポーランド⑧スェーデン

公式国際試合

《男子》

11人制

▽昭和31年9月（大阪球場）
西ドイツ 27（15－9、12－7）16 日本

【西ドイツ】		【日本】
シンゲル	GK	光島（日体大出）
ブルンハルド	FB	天野（教大出）
ティーマン	FB	桜井（芝工大出）
ケスラー	HB	平地（教大出）
ルッフ	HB	山本（日体大出）
ギュンネマン	HB	中出（日体大出）
ヴァンケ	FW	小林（芝工大出）
H・ヴィル	FW	柳沢（日体大出）
ケンパ	FW	浅野（日体大出）
ターラー	FW	皆川（日体大出）
シェドリッヒ	FW	村田（日体大出）
46	ST	34
0	13MT	1

◇交代【日】FW高山（日体大出）

▽昭和31年9月（後楽園競輪場）
西ドイツ 28（14－5、14－7）12 日本

【西ドイツ】		【日本】
ネレン	GK	星野（教大出）
ブルンハルド	FB	遠藤（日体大出）
ティーマン	FB	桜井（芝工大出）
ケスラー	HB	斉藤（日体大出）
ルッフ	HB	山本（日体大出）
ギュンネマン	HB	平地（教大出）
H・ヴィル	FW	幸田（日体大出）
ケンパ	FW	新村（教大出）
ダーリンガー	FW	浅野（日体大出）
シェドリッヒ	FW	皆川（日体大出）
R・ヴィル	FW	佐野（教大出）
41	ST	32
0	13MT	2

◇交代【日】GK小野（日体大出）

▽昭和36年4月（テルアビブ）
日本 16（8－6、8－9）15 イスラエル

	【日本】	得
GK	福本	0
GK	今野	0
FB	村上	0
FB	佐藤	0
HB	田口	0
HB	深江	0
HB	服部	1
FW	高村	2
FW	井上裕	1
FW	近藤金	2
FW	山田	2
FW	竹野	8

ST…37　16

7人制

▽昭和39年3月（エブリュー）
フランス 27（13－8、14－6）14 日本

	【日本】	得
K	福本	0
K	尾形	0
F	竹野	5
F	東（嘉）	1
F	宮原藤	0
F	田口	2
F	北村尚	4
F	住広	2
F	新	0
F	井上素	0
F	金田	0

7MT（0）14

▽同（プラハ）
チェコ 40（21－1、19－6）7 日本

	【日本】	得
K	福本	0
K	尾形	0
F	田口	0
F	東（嘉）	0
F	竹野	5
F	宮原藤	0
F	北村尚	1
F	住広	0
F	新	1
F	井上素	0
F	金田	0
F	餅原	0

7MT（0）7

▽同（プラハ）
アラブ連合（エジプト）23（11－10、12－5）15 日本

	【日本】	得
K	尾形	0
K	福本	0
F	竹野	4
F	東（嘉）	2
F	宮原藤	0
F	田口	1
F	北村尚	1
F	住広	4
F	新	2
F	井上素	0
F	宮原宏	0
F	餅原	1

7MT（1）15

▽同（テルアビブ）
日本 20（8－7、12－9）16 イスラエル

	【日本】	得
K	福本	0
K		0
F	竹野	9
F	東（嘉）	1
F	宮原藤	1
F	田口	2
F	北村尚	1
F	住広	4
F	新	1
F	井上素	0
F	金田	0
F	餅原	1

7MT（2）20

▽同（レホボット）
イスラエル 13（8－6、5－5）11 日本

	【日本】	得
K	福本	0
F	北村尚	2
F	住広	3
F	新	0
F	東（嘉）	0
F	宮原藤	0
F	竹野	6
F	井上素	0
F	金田	0
F	宮原宏	0
F	餅原	0

7MT（2）11

▽昭和40年4月（広州）
中国 26（13－8、13－6）14 日本

	【日本】	得
K	福本	0
F	竹野	3
F	東	0
F	宮原	1
F	北村	2
F	青木	3
F	井上素	4
F	金田	0
F	市原	1

7MT（0）14

▽同（上海）
中国 26（13－7、13－7）14 日本

	【日本】	得
K	島崎	0
F	竹野	4
F	東	1
F	宮原	0
F	田口	0
F	北村	1
F	青木	6
F	井上	0
F	市原	1
F	金田	1
F	西村	0
F	森田	0

7MT（1）14

▽同5月（北京）
中国 22（12－7、10－9）16 日本

	【日本】	得
K	福本	0
K	島崎	0
F	竹野	6
F	東	3
F	宮原	0
F	北村	0
F	青木	2
F	井上	4
F	市原	0
F	金田	1
F	森田	0

F（審・岡村）

7MT（2）16

【中国遠征日本代表】▽団長 高嶋列（日本協会理事長）▽監督 岡村昭二▽コーチ 藤田信義▽マネ 河東田義郎▽GK 福本弘（大崎電気）、島崎政治（大阪イーグルス）▽FP 竹野奉昭、宮原藤支男、田口侑義、北村尚英、井上素行、金田純男、市原則之、西村功（以上大崎電気）東嘉伸、青木義男（以上大阪イーグルス）、森田謙喜（芝浦ク）＝平均身長170・5cm

▽昭和41年10月（駒沢）
中国 18（8－7、10－10）17 日本

	【日本】	得
K	尾形	0
K	竹下	0
F	青木義	0
F	青木孝	0
F	江名	1
F	北井	4
F	近藤信	3
F	飯端	2
F	山田	0
F	北村文	1
F	大西	0
F	近森	0
F	木野	6

F（審・佐野）

7NT（5）17

▽昭和42年1月（フロレスカ）
ルーマニア 34（19－5、15－4）9 日本

	【日本】	得
K	尾形	1
K	竹下	0
F	北村文	1
F	木野	1
F	近森	4
F	飯端	1
F	近藤信	1
F	北井	0
F	山田	0
F	飯田	0
F	青木義	0
F	大西	0

7MT（0）9

▽同（ヘルシンキ）
フィンランド 34（17－11、17－18）29 日本

	【日本】	得
K	尾形	0
K	竹下	0
F	江名	2
F	木野	8
F	近森	4
F	飯端	12
F	北井	3
F	青木義	0
F	関根	0
F	山田	0
F	近藤信	0
F	北村文	0

7MT（1）29

▽同（マドリッド）
スペイン 27（10－13、17－8）21 日本

	【日本】	得
K	竹下	0
F	北井	4
F	木野	4
F	近森	4
F	飯端	8
F	近藤信	1
F	江名	0
F	青木義	0
F	飯田	0
F	吉金	0
F	大西	0

7MT（1）21

▽昭和44年6月（ブダペスト）
日本 24（10－10、14－13）23 ハンガリー

	【日本】	得
K	福本	0
K	下里	0
F	竹野	2
F	飯田	4
F	有永	2
F	平岡	1
F	近森	3
F	木野	7
F	近藤信	4
F	野田	1

7MT（0）24

▽同（ブダペスト）
ハンガリー 31（18－12、13－8）20 日本

	【日本】	得
K	本田	0
K	福本	0
F	北井	1
F	木野	5
F	近森	3
F	近藤信	1
F	平岡	1
F	飯田	2
F	野田	2
F	早川	0
F	東（一）	1
F	有永	2
F	藤中	2

7NT（2）20

▽同（ザビドビッチ）＝第9回タシマイダンカップ
ソ連 30（15－5、15－8）13 日本

【日本】得
K 本田0 下里0
F 飯田2 有永1 平岡1 近森3 木野1 東(一)1 近藤信3 野田0 早川0 竹野1
7MT（0）13

日本 19（6—10、13—8）18 ユーゴ
【日本】得
K 福本0 下里0
F 飯田1 近森3 木野4 近藤信2 井上素5 野田4 早川0 東(一)0 平岡0 有永0
7MT（2）19

日本 15（6—4、9—8）12 ルーマニア
【日本】得
K 本田0 下里0
F 竹野2 飯田1 木野1 野田3 東(一)1 平岡1 近森2 北井0 近藤信1 藤中0
7MT（1）12

日本 21（12—10、9—11）21 ハンガリー
引き分け
【日本】得
K 福本0 下里0
F 野田4 井上素1 木野4 近森3 飯田4 竹野4 平岡0 有永1
7MT（1）21

【順位】①ソ連②ユーゴ③日本・ハンガリー⑤ルーマニア

▽昭和44年7月（キール）
西ドイツ 24（14—9、10—7）16 日本
【日本】得
K 福本0 本田0
F 竹野0 飯田2 平岡3 近森3 木野5 東(一)0 藤中1 近藤信2 井上素0 野田0
7MT（2）16

▽昭和45年3月（ヘーレン）
日本 18（6—11、12—6）17 オランダ
【日本】得
K 本田0 下里0
F 飯田3 斉藤1 近森2 東(一)3 江名1 野田2 木野4 早川0 中井1 藤中0
7MT（1）18

◇その他の出場者F近藤（得1）、竹野（得0）

▽同（ヒルバーサム）
日本 23（12—6、11—9）15 オランダ
【日本】得
K 下里0 本田0
F 野田4 江名0 近藤信2 木野5 近森7 飯田2 早川1 東(一)1 藤中1 中井0
7MT（1）23

▽同（ローマ）
日本 33（14—8、19—5）13 イタリア
【日本】得
K 本田0 下里0
F 飯田1 中井3 野田2 近藤信2 木野3 東(一)5 藤中4 近森2 斉藤7 江名0
7MT（0）33

◇その他の出場者F早川（得4）、竹野（得0）

▽同（テルアビブ）
日本 10（5—3、5—7）10 イスラエル
引き分け
【日本】得
K 下里0 本田0
F 近森1 野田0 木野3 東(一)0 江名0 近藤信5 飯田1 中井0 早川0 斉藤0
7MT（2）10

◇その他の出場者F藤中（得0）、竹野（得0）

▽同（セタル・ジョーサ）
日本 17（13—2、4—4）6 イスラエル
【日本】得
K 本田0 下里0
F 木野6 斉藤1 近藤信0 近森4 東(一)0 野田2 早川2 中井0 江名1 飯田1
7MT（0）17

◇その他の出場者F藤中（得0）、竹野（得0）

▽昭和46年9月（横浜）
スウェーデン 18（8—10、10—3）13 日本
【日本】得
K 本田0
F 飯田1 有永3 斉藤0 木野4 近森3 野田1 藤中0 東(一)0 早川0 大江1
（審・嶋田、ヤーネルスタム）
7MT（0）13

▽同（甲府）
スウェーデン 15（7—5、8—8）13 日本
【日本】得
K 本田0 大村0
F 木野2 野田2 近森3 有永5 飯田0 斉藤0 氷海1 東(一)0 大江0 花輪0
（審・安藤、ヤーネルスタム）
7MT（0）13

▽同（大阪）
日本 13（7—5、6—6）11 スウェーデン
【日本】得
K 本田0 下里0
F 飯田1 有永3 木野4 早川1 野田2 近森0 氷海1 新実1 藤中0 中井0
（審・藤田、ヤーネルスタム）
7MT（1）13

▽同（東京）
スウェーデン 11（7—3、4—3）6 日本
【日本】得
K 本田0 下里0
F 有永2 近森0 早川0 野田2 木野1 中井0 新実0 氷海0 飯田1 東(一)0
（審・岡前、ヤーネルスタム）
7MT（2）6

（注）ヤーネルスタム審判員はスウェーデン協会所属

▽昭和48年9月（東京）
ユーゴ 23（13—7、10—5）12 日本
【日本】得
K 本田0 下里0
F 木野3 氷海0 藤中1 飯田3 大江1 新実0 佐藤2 菊池0 夏目0 蒲生2
（審・安藤、佐野）
7MT（0）12

▽同（京都）
ユーゴ 23（14—10、9—4）14 日本
【日本】得
K 本田0 斉藤0
F 木野1 中村2 藤中2 氷海2 大江2 飯田0 佐藤1 菊池0 蒲生4 早川0
（審・稲石、岡本）
7MT（2）14

▽昭和49年2月（ベオグラード）
ユーゴ 36（21—16、15—8）24 日本
【日本】得
K 本田0 柳川清0
K 木野3 花輪0 大江1 藤中7 中井0 佐藤3 蒲生5 菊池3 村田1 夏目1
7MT（0）24

▽同（パンチェボ）
ユーゴ 27（15—7、12—10）17 日本
【日本】得
K 本田0 柳川清0
F 中井1 藤中2 佐藤4 木野3 大江0 花輪0 蒲生4 菊池3 柳川実0 村田0
7MT（4）17

◇その他の出場者▽FP夏目（得0）

▽昭和49年8月（東京）＝第21回NHK杯大会
東ドイツ 17（9—5、8—6）11 日本
【日本】得
K 本田0 斉藤0
F 蒲生0 木野0 藤中6 中井2 有永0 菊池2 佐藤1 佐々木0 花輪0 飯田0
（審・安藤、佐野）
7MT（1）11

▽昭和49年9月（東京）
東ドイツ 22（13—5、9—8）13 日本
【日本】得
K 斉藤0 本田0
F 中井1 藤中2 木野4 有永0 村田0 佐藤5 佐々木0 蒲生1 花輪0 菊池0
（審・安藤、佐野）
7MT（0）13

▽同（大阪）
東ドイツ 20（11—9、9—4）13 日本
【日本】得
K 本田0 斉藤0
F 有永4 木野1 中井0 藤中1 菊池1 蒲生0 津川0 佐藤3 村田2 穂積1
（審・安藤、佐野）
7MT（1）13

▽同（京都）
東ドイツ 17（10—4、7—12）16 日本

	【日本】	得
K	斉藤	0
	本田	0
F	中井	2
	藤中	3
	松原	3
	佐藤	3
	木野	4
	有永	0
	花輪	0
	村田	1
	菊池	0
	飯田	0
	7MT（3）	16

▽昭和50年9月（モントリオール）＝カナダカップ～プレオリンピック～

ソ連 28（12－7、16－6）13 日本

	【日本】	得
K	本田	0
	柴田	0
F	木野	1
	藤中	4
	中井	1
	佐藤	2
	花輪	0
	村田	2
	菊池	1
	柳川	2
	蒲生	0
	松原	0
	PT（0）	13

ポーランド 29（12－8、17－7）15 日本

	【日本】	得
K	本田	0
	柴田	0
F	藤中	3
	佐藤	4
	木野	1
	花輪	3
	村田	0
	蒲生	1
	菊池	2
	穂積	0
	中井	1
	飯田	0
	PT（0）	15

デンマーク 33（15－6、18－7）13 日本

	【日本】	得
K	本田	0
	柴田	0
F	木野	1
	藤中	1
	中井	2
	佐藤	5
	菊池	1
	村田	0
	柳川	1
	蒲生	2
	花輪	0
	松原	0
	PT（2）	13

日本 24（13－5、11－10）15 カナダ

	【日本】	得
K	柴田	0
	本田	0
F	佐藤	5
	中井	2
	藤中	3
	穂積	4
	木野	7
	蒲生	0
	村田	0
	菊池	2
	松原	1
	飯田	0
	PT（1）	24

日本 24（11－10、13－4）14 アメリカ

	【日本】	得
K	本田	0
	柴田	0
F	中井	5
	藤中	8
	佐藤	4
	木野	2
	蒲生	2
	菊池	0
	花輪	0
	穂積	3
	柳川	0
	飯田	0
	PT（2）	24

【順位】①ソ連②ポーランド③デンマーク④日本⑤アメリカ⑥カナダ

【カナダカップ日本代表】▽団長　荒川清美（日本協会理事長）▽監督竹野奉昭▽コーチ　東嘉伸▽GK　本田洋（大阪イーグルス）、柴田正章（本田技研鈴鹿）▽FP　藤中憲二、中井武三、花輪博、松原光三、柳川実（以上大同製鋼）、木野実、穂積豊彦（以上湧永薬品）、飯田信行（大崎電気）、佐藤要二（本田技研鈴鹿）、菊池悟（東京12ch・HC）、村田幸男（法大）、蒲生晴明（中大）＝平均身長181・3cm

公式国際試合
《女子》

▽昭和37年6月（ホッホ）

西ドイツ 12（2－3、10－1）4 日本

	【日本】	得
K	山田	0
	古谷	0
F	山崎	0
	磯部	1
	沢田	2
	黒川	0
	宇井	0
	青木	0
	塚原	0
	西村	1
	竹本	0
	太田	0
	ST29	4

▽同（ブッペタール）

西ドイツ 13（7－2、6－5）7 日本

	【日本】	得
K	篠崎	0
	古谷	0
F	山崎	0
	黒川	2
	沢田	2
	青木	0
	宇井	0
	田村	1
	磯部	2
	竹本	0
	塚原	0
	ST31	7

▽同7月（ブカレスト）

ルーマニア 26（13－1、13－2）3 日本

	【日本】	得
K	篠崎	0
	古谷	0
F	山崎	0
	西村	0
	青木	0
	磯部	1
	沢田	1
	宇井	0
	塚原	0
	田村	1
	黒川	0
	竹本	0
	ST…15	3

◇交代・GK山田、FP深津、太田（いずれも得0）

▽昭和40年11月（ブッペタール）

日本 12（6－4、6－4）8 西ドイツ

	【日本】	得
K	古谷	0
	川崎	0
F	宇井	1
	久蓮松	1
	笠原	2
	黒川	2
	早川	1
	鈴木	3
	加藤	0
	永井	2
	新保	0
	7MT（1）	12

▽同（ポルトドグリシィ）

日本 17（11－8、6－5）13 フランス

	【日本】	得
K	古谷	0
	川崎	0
F	新保	2
	早川	4
	黒川	2
	笠原	3
	鈴木	1
	久蓮松	0
	加藤	0
	永井	1
	宇井	4
	7MT（2）	17

▽昭和46年11月（グロニンゲン）

日本 14（6－6、8－6）12 デンマーク

	【日本】	得
K	北岡	0
	小原	0
F	寺尾	0
	三毛	2
	島田	2
	米	0
	牧野	3
	垂水	4
	渡辺	3
	古佐原	0
	枝尾	0
	三宅	0
	7MT（1）	14

▽同（サラフロレスカ）

ルーマニア 18（9－7、9－5）12 日本

	【日本】	得
K	北岡	0
	小原	0
F	枝尾	1
	垂水	2
	米	1
	渡辺	5
	牧野	1
	島田	2
	三宅	0
	古佐原	0
	三毛	0
	滝口	0
	7MT（0）	12

▽同（パリ）

日本 15（7－9、8－4）13 フランス

	【日本】	得
K	小原	0
	北岡	0
F	枝尾	1
	垂水	2
	米	1
	渡辺	10
	牧野	1
	島田	0
	三宅	0
	三浦	0
	三毛	0
	古佐原	0
	7MT（2）	15

▽同（パリ）

日本 13（7－3、6－4）7 フランス

	【日本】	得
K	小原	0
F	垂水	2
	渡辺	6
	牧野	2
	三毛	0
	古佐原	0
	島田	3
	枝尾	0
	米	0
	滝口	0
	三浦	0
	7MT（1）	13

▽昭和48年11月（ホーグベン）＝オランダ国際トーナメント＝

日本 16（7－5、9－5）10 オランダ

	【日本】	得
K	和田	0
	小原	0
F	三毛	0
	島田	2
	古佐原	2
	蔵田	1
	鳥居	6
	高野	3
	山下	0
	米	0
	牧野	0
	垂水	0
	7MT（2）	14

▽同（アーンヘム）＝同

日本 14（8－7、6－5）12 ノルウェー

	【日本】	得
K	和田	0
	小原	0
F	三毛	0
	島田	2
	蔵田	1
	古佐原	2
	鳥居	6
	高野	3
	山下	0
	米	0
	牧野	0
	垂水	0
	7MT（2）	14

【順位】①日本②オランダ③ノルウェー

▽同（パリ）

日本 18（9－8、9－6）14 フランス

	【日本】	得
K	和田	0
	小原	0
F	垂水	5
	牧野	5
	米	0
	三毛	0
	古佐原	5
	鳥居	1
	島田	0
	蔵田	2
	山下	0
	高野	0
	7MT（1）	18

▽昭和48年12月（ザグレブ）

ユーゴ 21（12－7、9－4）11 日本

	【日本】	得
K	和田	0
	小原	0
F	三毛	2
	古佐原	0
	山下	1
	高野	0
	島田	1
	蔵田	5
	垂水	0
	牧野	0
	米	0
	鳥居	2
	7MT（1）	11

▽同（バラディン）

ユーゴ 22（10－8、12－5）13 日本

	【日本】	得
K	小原	0
	和田	0
F	古佐原	3
	三毛	0
	山下	1
	高野	0
	島田	1
	蔵田	2
	鳥居	2
	米	1
	牧野	2
	垂水	1
7MT（2）		13

▽昭和50年11月（ベルリン）

東ドイツ 28（14—5 14—8）13 日本

	【日本】	得
K	久保	0
	和田	0
F	紀野	3
	穂積	1
	河田	3
	松下	3
	菊地	2
	蔵田	1
	古佐原	0
	島田	0
	山下	0
	額賀	0
ST（0）		13

▽同（ベルリン）

東ドイツ 32（17—2 15—6）8 日本

	【日本】	得
K	和田	0
	久保	0
F	松下	3
	河田	2
	紀野	3
	菊地	0
	加藤	0
	山下	0
	古佐原	0
	島田	0
	蔵田	0
	額賀	0
ST（0）		8

世界学生選手権《男子のみ》

第1回

（一九六三（昭38）年1月・スウェーデン）

【日本（全日本学生）代表】▽団長 棚橋義輝（関東学連会長）▽監督 渡辺一巳▽コーチ 勝繁夫▽GK 奥本義昭（同志社）、谷義信（芝浦工大）▽FP安達精太、与縄義昭中根敏男（以上立教）、村田陽之、森末和裕（以上関学）、坂井弘元（中央）、浅野和郎（京大）、諏訪紀一（慶応）、藤原侑（日体）、荘林康次（神戸大）、大高恒貴（甲南）、田口敬蔵（法政）、市原則之（広島商大）、=平均身長171cm

▽予選リーグA組

スウェーデン 26（13—12 13—3）15 日本

デンマーク 34（21—5 13—6）11 日本

	【日本】	得
K	谷	0
	奥本	0
F	浅野	1
	安達	8
	坂井	0
	諏訪	0
	藤原	0
	中根	0
	市原	3
	荘林	3
	森末	0
		15

	【日本】	得
K	奥本	0
	谷	0
F	安達	2
	浅野	1
	市原	4
	中根	0
	藤原	3
	森末	0
	諏訪	0
	荘林	1
	坂井	0
		11

スペイン 31（17—6 14—3）9 日本

	【日本】	得
K	谷	0
	奥本	0
F	森末	0
	村田	0
	浅野	3
	藤原	0
	安達	5
	中根	0
	市原	0
	荘林	1
	坂井	0
		9

【最終順位】①スウェーデン②西ドイツ③ルーマニア④デンマーク⑤ノルウェー⑥スペイン⑦日本

第6回

（一九七五（昭50）年1月・ルーマニア）

【日本（全日本学生）代表】▽団長 藤松博（全日本学連理事）▽監督 田中秀夫▽コーチ 小西博喜、植木一久▽GK 藤井信昭（大阪体大）、斉藤将一郎（日体）▽FP 松本義樹、大熊昌己、蒲生晴明（以上中央）、脇若正二、菊池悟（以上早稲田）、岸見主彦、布垣元也（以上中京）、大原真造（京都産大）、村田幸男（法政）、菅野肇（日体）、大庭泰（同志社）、山本伸二（名城）、中馬成一（九州産大）、能波羊二（大阪体大）。=平均身長180cm

▽予選リーグD組

ユーゴ 32（17—10 15—11）21 日本

	【日本】	得
K	斉藤	0
	藤井	0
F	脇若	2
	蒲生	6
	菊池	3
	布垣	0
	大庭	0
	中馬	0
	菅野	4
	山本	1
	村田	4
	大原	1
		21

ブルガリア 29（14—11 15—14）25 日本

	【日本】	得
K	藤井	0
	斉藤	0
F	脇若	1
	菊池	4
	村田	7
	蒲生	7
	中馬	0
	菅野	4
	山本	0
	松本	2
	大原	0
	布垣	0
		25

▽9～12位決定リーグ

フランス 29（14—13 15—10）23 日本

	【日本】	得
K	斉藤	0
	藤井	0
F	蒲生	4
	菊池	4
	大庭	0
	中馬	0
	村田	7
	菅野	0
	松本	4
	大原	3
	布垣	0
	脇若	1
		23

日本 22（7—6 15—6）12 イタリア

	【日本】	得
K	斉藤	0
	藤井	0
F	脇若	1
	村田	1
	菊池	4
	蒲生	4
	松本	1
	大庭	1
	中馬	1
	大原	4
	布垣	2
	菅野	3
		22

日本 25（10—15 15—8）23 チュニジア

	【日本】	得
K	藤井	0
	斉藤	0
F	蒲生	6
	村田	4
	菊池	4
	脇若	0
	菅野	2
	松本	2
	中馬	1
	大原	6
	布垣	0
	岸見	0
		25

【最終順位】①ルーマニア=2連勝②ソ連③ポーランド④スペイン⑤ユーゴ⑥チェコ⑦ブルガリア⑧西ドイツ⑨フランス⑩日本⑪チュニジア⑫イタリア

第7回

（一九七七（昭52）年1月・ポーランド）

【日本（全日本学生）代表】▽団長 中沢重夫（全日本学連理事長）▽監督 三沢澄▽コーチ 一宮昌平▽GK 岡部大（明治）、酒谷信彦（金沢工大）、小松伊佐夫（中央）▽FP 関健三、西窪勝広、坪子義明、長野透（以上中央）、鈴木健文、泉喜久男、洞ケ瀬直幸（以上早稲田）、後川一夫、大西和雄（以上日体）、生駒靖夫、北野勝也（以上京都産大）、千葉史信（東北学院）、勝地文雄（慶応）=平均身長176・8cm

▽予選リーグB組

ポーランド 36（18—11 18—9）20 日本

	【日本】	得
K	岡部	0
	小松	0
F	関	7
	後川	0
	千葉	2
	西窪	2
	鈴木	0
	泉	3
	生駒	5
	洞ケ瀬	1
	勝地	0
	大西	0
PT（2）		20

ルーマニア 24（13—10 11—9）19 日本

	【日本】	得
K	岡部	0
	酒谷	0
F	関	3
	西窪	2
	泉	1
	坪子	1
	生駒	7
	洞ケ瀬	4
	鈴木	0
	後川	1
	大西	0
	北野	0
PT（1）		19

チュニジア 24（11—15 13—6）21 日本

	【日本】	得
K	岡部	0
	小松	0
F	洞ケ瀬	4
	泉	1
	関	6
	千葉	2
	西窪	2
	生駒	5
	鈴木	0
	後川	0
	大西	1
	坪子	0
PT（0）		21

日本 棄権 ベルギー

▽7・8位決定戦

ブルガリア 26（12—12 14—13）25 日本

	【日本】	得
K	岡部	0
	小松	0
F	関	5
	生駒	4
	洞ケ瀬	4
	長野	4
	千葉	2
	泉	6
	勝地	0
	鈴木	0
	後川	0
	大西	0
PT（0）		25

【最終順位】①ルーマニア=3連勝②ユーゴ③ソ連④ポーランド⑤ハンガリー⑥チュニジア⑦ブルガリア⑧日本⑨アルジェリア⑩ベルギー

◇参考記録▽第2回（昭40）①西ドイツ▽第3回（昭43）①ソ連▽第4回（昭46）①ソ連▽第5回（昭48）①ルーマニア

国際試合

《男子》

▼第4回世界選手権参加時の転戦（昭和36年2月～4月）

フランス軍隊選抜	36	18―11	18―7	18	日本
日本	27	14―7	13―14	21	リヨン選抜
日本	22	13―8	9―10	18	アルザス
日本	23	11―6	12―15	21	ロレーヌ
日本	24	12―9	12―13	22	ステラ・サンモール
日本	26	8―10	18―10	20	ノルマンディ選抜
ディジョン	22	13―11	9―9	20	日本
日本	33	16―6	17―9	15	ブルゴーニュ選抜

～以上フランス～

日本	30	17―17	13―13	30	ハイデベルグ選抜

引き分け

日本	28	14―13	14―14	27	グンメルスバッハ
ベストハーレント	29	16―12	13―11	23	日本
ゾーリンゲン選抜	25	14―8	11―8	16	日本
日本	30	10―10	20―12	22	ギーセン
日本	13	3―5	10―7	12	フランクフルト
日本	13	6―5	7―7	12	マインタウス選抜

～以上西ドイツ～

チェコ選抜（全プラハ）	37	17―7	20―13	20	日本
北ボヘミアン	21	10―13	11―7	20	日本
モラビア州選抜	29	21―12	8―11	23	日本
東スロバキア	34	18―5	16―8	13	日本
西スロバキア	25	11―13	14―8	21	日本

～以上チェコ～

▼第1回世界学生選手権参加時の転戦（昭和37年12月～昭和38年1月）

ハンブルグ選抜	26	13―15	13―5	20	全日本学生
ブレーメン選抜	27	12―9	15―8	17	全日本学生
オエルデ選抜	19	7―10	12―7	17	全日本学生
ベッカム選抜	17	10―6	7―10	16	全日本学生
全日本学生	31	21―6	10―9	15	エッセン炭鉱HC
全日本学生	24	10―10	14―12	22	YMCAゲルセンキルヘン
全日本学生	14	4―8	10―5	13	ゲルセンキルヘンオール・スターズ
西ドイツジュニア	26	13―12	13―5	17	全日本学生

～以上西ドイツ～

全日本学生	11	5―3	6―4	7	スイス学生選抜
オッフェンベルグ選抜	12	8―2	4―3	5	全日本学生
全日本学生	10	7―3	3―4	7	全バーゼル

（注）以上3試合は同一日（12月29日）に12分ハーフで行われた。

～以上スイス～

【日本】

		得
K	谷	0
	奥本	0
F	市原	0
	坂井	0
	中根	1
	安達	3
	諏訪	0
	荘林	0
	森末	0
	浅野	3
	藤原	4
		11

全日本学生	25	13―9	12―10	19	ルンド・マルモ連合
ストックホルム選抜	34	17―13	17―7	20	全日本学生

～以上スウェーデン～

シェランHC	27	15―9	12―7	16	全日本学生
カルマボイスHC	24	15―9	9―12	21	全日本学生

～以上デンマーク～

パリ学生選抜	27	16―10	11―7	17	全日本学生

～以上フランス～

▼第5回世界選手権参加時の転戦（昭和39年2月～3月）

ナント選抜	18	12―10	6―7	17	日本
日本	26	12―12	14―11	23	ソショー選抜
日本	25	13―10	12―10	20	リヨン選抜
ステラ・サンモール	25	11―11	14―12	23	日本
日本	22	12―14	10―3	17	ディジョン選抜

～以上フランス～

日本	14	9―8	5―5	13	プラハ選抜
日本	45	23―2	23―3	5	ストコス炭鉱
日本	23	13―6	10―4	10	プラハ学生
日本	27	16―7	11―12	19	ロボシチェ選抜

～以上チェコ～

▼ステラ・サンモール（フランス）来日（昭和39年6月～7月）

全芝浦工大（東京）	22	11―11	11―6	17	ステラ
ステラ	16	7―2	9―10	12	全神奈川
千代田印刷機製造（東京）	21	10―4	11―8	12	ステラ
全同志社大（京都）	14	5―9	9―4	13	ステラ
ステラ	22	10―13	12―4	17	全桃山学院大（大阪）
ステラ	20	10―8	10―5	13	全山口
ステラ	25	13―11	12―6	17	全九州選抜
ステラ	26	13―6	13―10	16	全愛知
ステラ	26	12―9	14―6	15	本田技研鈴鹿（三重）
大崎電気（埼玉）	21	5―10	16―6	16	ステラ

▼西独艦ドイチェランド号ハンドボールチーム来日（昭和40年3月）

全東京	38	22―4	15―3	7	ドイッチェランド号HC

▼「全日本」中国遠征（昭和40年4月）

広州	29	13―8	16―11	19	日本
日本	30	13―10	17―10	20	安徽
上海	26	11―9	15―9	18	日本
安徽	19	10―9	9―8	17	日本
北京学生選抜	16	8―11	8―4	15	日本

▼中国ナショナル来日（昭和41年9月～10月）

芝浦工大（東京）	23	16―7	7―14	21	中国

得	【芝浦】		【中国】	得
0	山村	GK	陳維政	0
0	伊藤		曹俊鴿	0
11	近藤	FP	朱炳亢	2
3	岩崎		楊霊藩	6
1	関根		胡亦成	0
2	山田		関香閣	0
3	近森		徐国其	0
3	竹内		王洪橋	2
0	小林		劉延江	8
0	桧森		李智連	0
0	白神		鄧福岡	1
0	明石		荊元崙	0
0	高鍬		卜憲章	2
23	（2）	7MT	（4）	21

（審・岡村）

中国	24	12―9	12―5	14	全愛知
中国	27	14―5	13―5	10	全静岡
中国	14	5―5	9―8	13	全大阪
中国	31	19―5	12―11	16	全兵庫
中国	35	20―4	15―10	14	京都学生選抜
中国	31	18―7	13―6	13	全福岡
中国	24	12―4	12―7	11	全山口

▼第6回世界選手権参加時の転戦

（昭和42年1月〜2月）

日本 36（22−13、14−12）25 ルーマニア学生選抜
日本 32（12−7、20−15）22 ディナモ・ブカレスト
〜以上ルーマニア〜
日本 34（19−10、15−14）24 ティレセエ
ストックフォルム選抜 24（11−17、13−6）23 日本
日本 32（16−13、16−12）25 IKF・リーディンゲ
〜以上スウェーデン〜
日本 27（12−14、15−10）24 ボハルルラサリーマドリッド
〜以上スペイン〜
日本 27（13−6、14−11）17 ステラ・サンモール
日本 25（13−9、12−9）18 ストラスブルグ選抜
日本 34（17−11、17−7）18 ヴィルモンブル
日本 30（13−13、17−0）13 フランダース選抜
日本 26（11−11、15−7）18 ノルマンディ選抜
〜以上フランス〜

▼西ドイツ選抜来日（昭和42年9月）

全芝工大（東京）26（11−9、15−10）19 西ドイツ選抜
全立教（東京）24（11−6、13−5）11 西ドイツ選抜
西ドイツ選抜 23（14−9、9−12）21 東日本選抜
西ドイツ選抜 33（16−12、17−4）16 全仙台（宮城）
西ドイツ選抜 18（10−8、8−7）15 大崎電気（埼玉）
西ドイツ選抜 20（14−8、6−4）12 中大（東京）
西ドイツ選抜 17（11−2、6−5）7 全早稲田（東京）
西ドイツ選抜 17（9−3、8−7）10 菊松会（広島）
西ドイツ選抜 19（9−2、10−11）13 全京大（京都）
西ドイツ選抜 14（6−6、8−4）10 大阪イーグルス（大阪）
西ドイツ選抜 19（9−5、10−6）11 全静岡
西ドイツ選抜 24（11−8、13−8）18 桜友会（東京）
全日本 23（13−8、10−5）13 西ドイツ選抜

得	【全日本】			【西ドイツ】	得
0	福本（大崎電気）	GK	GK	デュエル	0
0	島崎（大阪イーグルス）			ケッセマイヤー	0
2	竹野（大崎電気）	FP	FP（審・佐野、岡前）	グルンワルド	3
5	近藤（大崎電気）			メンダッハ	5
2	北井（埼玉教員）			パール	1
2	木野（立大）			バーテル	0
5	近森（芝浦工大）			ゴルゲス	0
5	平岡（東京教大）			グッシェル	1
2	井上（大崎電気）			イバース	3
0	西村（大崎電気）			ヒルマー	0
0	金田（大崎電気）			ハルトビッヒ	0
23	（2）		7MT	（2）	13

▼「全日本」ヨーロッパ強化遠征（昭和44年5月〜7月）

日本 16（7−9、9−7）16 ボインツアHC
引き分け
日本 13（5−8、8−5）13 ガラミノ
ポリテヒニカ・チミソアラ 17（9−8、8−7）15 日本
日本 22（9−7、13−9）16 テヒメタール
日本 17（10−4、7−8）12 ロブリン
日本 19（9−9、10−8）17 ルゴシェ
日本 24（14−9、10−10）19 ブロイエテ・テレアジュン
日本 23（13−10、10−9）19 ディナモブラショフ
日本 22（10−7、12−12）19 シビュ選抜
日本 15（7−7、8−6）13 ルーマニア・ナショナルB
＜得点者＞野田5、飯田3、近藤信、近森、木野各2、平岡1
日本 12（7−6、5−5）11 ルーマニア・ナショナルB
＜得点者＞飯田5、近森、木野、近藤信各2、竹野1
〜以上ルーマニア〜
日本 30（13−14、17−13）27 コムロ
〜以上ハンガリー〜
日本 18（9−9、9−9）18 ハスロフ選抜
引き分け
日本 27（9−12、18−12）24 ラインハウゼン選抜
日本 16（10−8、6−5）13 西ベルリン選抜
〜以上西ドイツ〜

▼ボインツア・カップ争奪7人制国際リーグ（昭和44年6月5〜8日、ボインツア＝ルーマニア）

日本 22（10−7、12−9）16 ボインツア選抜（ルーマニア）
スパルタク・ブダペスト（ハンガリー）5（3−1、2−2）3 日本
日本 25（12−10、13−11）21 トラクトール・ブラショフ（ルーマニア）

【順位】①日本2勝1敗②ボインツア選抜2勝1敗③スパルタク・ブダペスト④トラクトール・ブラショフ

【日本代表】▽監督 村田弘 ▽コーチ 勝繁夫 ▽GK 福本弘、下里敏彦（以上大崎電気）、本田洋（日体大）▽FP 竹野奉昭（兼コーチ）、井上素行、近藤信行、飯田誠行、近森克彦、東一敏、平岡秀雄（以上大崎電気）、木野実、早川清孝（以上湧永薬品）、北井晴次（埼玉教員ク）、野田清（大同製鋼）、藤中憲二（日体大）、有永修二（立大）、中井武三（同志社大）＝平均身長178cm

▼第6回世界選手権参加時の転戦（昭和45年2月〜3月）

日本 17（10−9、7−8）17 デンマーク・ユースナショナル
引き分け
日本 21（9−10、12−11）21 KFUMオーハス
引き分け
ニコビング選抜 18（9−8、9−9）17 日本
〜以上デンマーク〜
日本 13（6−7、7−5）17 ハンブルグ選抜
日本 24（11−13、13−9）22 ブラウシュバイク警察HC
日本 23（13−9、10−8）17 オランダナショナルB
〜以上西ドイツ〜
＜得点者＞飯田5、中井4、早川、近藤信各3、木野、斉藤、江名各2、東（一）、藤中各1

▼vfL・グンメルスバッハ（西ドイツ）来日（昭和46年4月）

全日本 22（10−6、12−5）11 グンメルスバッハ
グンメルスバッハ 25（11−6、14−7）13 全同志社（京都）
グンメルスバッハ 21（13−8、8−6）16 大同製鋼（愛知）
グンメルスバッハ 23（10−7、13−3）10 清商ク（静岡）
グンメルスバッハ 17（6−5、11−6）11 大崎電気（埼玉）
グンメルスバッハ 24（16−8、8−4）12 日体大（東京）

▼湧永薬品（大阪）韓国遠征（昭和46年6月）

湧永薬品 17（11－5, 6－6）11 東洋公社
湧永薬品 16（10－5, 6－5）10 特殊金属
全慶熙大 14（7－7, 7－3）10 湧永薬品

得	【グンメルスバッハ】		【全日本】	得
0	カーター	GK	本田（大阪イーグルス）	0
0	ハマン	GK		
0	J・ブラント	FP	飯田（大崎電気）	2
2	リンゲルバッハ	FP	木野（湧永薬品）	4
2	ボルター	FP	野田（大同製鋼）	6
1	フェルドホフ	FP	斉藤（群馬教員ク）	2
4	シュミット	FP	氷海（日体大）	1
0	K・ブラント	FP	藤中（大同製鋼）	4
1	ケラー	FP	中井（大同製鋼）	0
1	ベステベ	FP	花輪（中大）	1
0	ブラウンスバイク	FP	東（大崎電気）	0
		FP	平岡（東京教員ク）	1
		FP	早川（湧永薬品）	1
		FP	近藤（大崎電気）	0

（審・山田 藤田）

7MT＝（日）0 （グ）1

▼スウェーデンナショナル来日（昭和46年9月）

スウェーデン 19（10－9, 9－6）15 関東学生選抜
スウェーデン 25（12－8, 13－3）11 本田技研鈴鹿（三重）
スウェーデン 28（11－7, 17－2）9 全熊本

▼THW・キール（西ドイツ）来日（昭和47年3月）

THW・キール 17（10－6, 7－8）14 全日体大（東京）
全日本 20（9－5, 11－6）11 THW・キール

得	【キール】		【全日本】	得
0	ホイグト	GK	馬渕（立大）	0
0	エールテル	GK	本田（大阪イーグルス）	0
2	バグーン	FP	木野（湧永薬品）	5
0	プレーン	FP	藤中（大同製鋼）	3
1	モール	FP	有永（東京海上火災）	2
0	ベルク	FP	野田（大同製鋼）	2
0	ハルプス	FP	飯田（大崎電気）	4
1	ニールゼン	FP	中井（大同製鋼）	1
4	ベルツ	FP	大江（芝浦工大）	0
2	グレーバー	FP	新実（芝浦工大）	0
1	シュッツ	FP	佐々木（中大）	3
0	チンマーマン	FP	氷海（日体大）	0
11	（0）	7MT	（0）	20

（審・山田 稲石）

THW・キール 22（14－4, 8－9）13 大崎電気（埼玉）

▼GW・ダンケルセン（西ドイツ）来日（昭和47年4月）

GW・ダンケルセン 32（17－7, 15－5）12 富士ク（静岡）
GW・ダンケルセン 22（13－8, 9－6）14 大同製鋼（愛知）
全日本 15（8－5, 7－6）11 GW・ダンケルセン

▼ミュンヘンオリンピック前哨戦（昭和47年8月）

日本 18（9－5, 9－5）10 ミルバスフォーフェン
日本 23（14－3, 9－4）7 アラッハ
日本 29（18－9, 11－12）21 TVS・オスト
〜以上西ドイツ〜

得	【ダンケルセン】		【全日本】	得
0	メイヤー	GK	本田（大阪イーグルス）	0
		GK	大村（全日体大）	0
1	ムンク	FP	有永（東京海上火災）	1
1	ベンク	FP	飯田（大崎電気）	3
0	クラマー	FP	木野（湧永薬品）	4
5	クロッケル	FP	野田（大同製鋼）	2
0	ドレッゲマイヤー	FP	中井（大同製鋼）	0
0	ブールメイスター	FP	佐々木（中大）	4
4	レーゼ	FP	大江（三菱レイヨン）	0
0	ホルストケッター	FP	早川（湧永薬品）	0
0	シュラー	FP	新実（本田技研鈴鹿）	0
0	リョッツゲ	FP	氷海（全日体大）	1
11	（2）	7MT	（2）	15

（審・稲石 藤田）

▼フランス海軍護衛艦「アミダル・シャネル」HC来日（昭和48年2月）

スワロー兵庫（兵庫）41（20－7, 21－9）16 アミダル・シャネル
滝川ク（兵庫）26（14－8, 12－11）19 アミダル・シャネル

▼FA・ギョッピンゲン（西ドイツ）来日（昭和48年4月）

大同製鋼（愛知）27（13－12, 14－6）18 FA・ギョッピンゲン
FA・ギョッピンゲン 18（8－3, 10－7）10 全京都産大（京都）
湧永薬品（大阪）21（11－10, 10－7）17 FA・ギョッピンゲン

▼ユーゴナショナル来日（昭和48年9月）

ユーゴ 35（19－10, 16－3）13 三景（東京）
ユーゴ 21（12－3, 9－8）11 大崎電気（埼玉）
ユーゴ 26（33－10, 13－6）16 大同製鋼（愛知）
ユーゴ 28（14－6, 14－8）14 湧永薬品（大阪）

▼第8回世界選手権参加時の転戦（昭和49年3月）

日本 15（7－6, 8－9）15 ベルリンSV92 引き分け
〜以上西ドイツ〜

▼スタジオン・IF（デンマーク）来日（昭和49年3〜4月）

スタジオン・IF 20（8－5, 12－2）7 静岡県教員団（静岡）
スタジオン・IF 17（9－3, 8－3）6 二和家具（岐阜）
スタジオン・IF 20（12－6, 8－1）7 愛知教員（愛知）
全日本 21（11－8, 10－2）10 スタジオン・IF
スタジオン・IF 17（7－6, 10－10）16 全大阪

▼愛知教員韓国遠征（昭和49年3月）

愛知教員 16（7－3, 9－6）9 釜山教員
愛知教員 20（7－9, 13－5）14 韓国外語大
愛知教員 15（4－5, 11－10）15 ソウル教員 引き分け

▼東ドイツナショナル来日（昭和49年9月）

東ドイツ 40（22－9, 18－11）20 全兵庫

得	【スタジオン】		【全日本】	得
0	L・ピーターセン	GK	本田（大阪イーグルス）	0
0	F・オルセン	GK	柳川清（大同製鋼）	0
5	フランドセン	FP	花輪（大同製鋼）	1
0	L・ニールセン	FP	菊池（早大）	1
1	B・ヨルゲンセン	FP	木野（湧永薬品）	7
3	T・ヨルゲンセン	FP	佐藤（本田技研鈴鹿）	2
1	ブロゴールド	FP	藤中（大同製鋼）	6
0	クリステンセン	FP	大江（三菱レ大竹）	0
0	O・ニールセン	FP	村田（法大）	0
0	ラスミュゼン	FP	柳川実（大同製鋼）	3
0	アンデルセン	FP	夏目（三重教員）	0
0	B・G・ピーターセン	FP	中井（大同製鋼）	0
10	（2）	7MT	（10）	20

（審・岡本 藤本）

東ドイツ 19（12－10, 7－8）18 大同製鋼

得	【東ドイツ】		【大同】	得
0	W・シュミット	GK	柳川清	0
0	ヴゥイス	GK		
1	ガンショウ	FP	藤中	3
1	ヒルデブラント	FP	加藤	3
5	P・ロスト	FP	中井	2
4	ラケンマハー	FP	松原	5
1	エンゲル	FP	花輪	3
2	ケーラー	FP	柳川実	2
0	D・シュミット	FP		
2	J・ロスト	FP		
0	ピーチュ	FP		
3	グルーナー	FP		
19	（1）	7MT	（2）	18

（審・稲石 奥村）

◇この他の出場者【ド】GKフォークト（得0）

▼第6回世界学生選手権参加時の転戦（昭和50年12月〜1月）

ルギ・ルンド 24（15－14, 9－5）19 全日本学生

テレボリ選抜 28（14—12、14—11）23 全日本学生
全日本学生 23（13—11、10—12）23 ヘルジンガー・IF 引き分け
〜以上スウェーデン〜
KFUMアーハス 29（18—12、11—10）22 全日本学生
〜以上デンマーク〜
テイミソアラ工業大 28（15—8、13—11）19 全日本学生
〜以上ルーマニア〜

▼バロンマノ・グラノリエルス（スペイン）来日（昭和50年4月）
グラノリエルス 22（12—14、10—8）22 熊本市商OB（熊本） 引き分け
大同製鋼（愛知） 17（6—9、11—6）15 グラノリエルス
グラノリエルス 19（9—8、10—5）13 岐阜教員（岐阜）
グラノリエルス 18（12—5、6—2）7 蒲郡ク（愛知）
グラノリエルス 24（11—11、13—7）18 静岡農高OBク（静岡）

▼プレ・オリンピック参加時の転戦（昭和50年9月）
日本 46（26—5、20—3）8 BC・オールスターズ
〜以上カナダ〜

▼ドロット・ハルムスタート（スウェーデン）来日（昭和51年4月）
湧永薬品（大阪） 25（12—11、13—8）19 ドロットハルムスタート
大同製鋼（愛知） 29（14—7、15—14）21 ドロットハルムスタート
ドロットハルムスタート 24（14—7、10—13）20 本田技研鈴鹿（三重）
ドロットハルムスタート 20（8—8、12—10）18 大崎電気（埼玉）
全日本 20（11—8、9—10）18 ドロットハルムスタート

【全日本】

	氏名	所属	得
GK	斉藤	日体大OB	0
GK	本田	大阪イーグルス	0
FP	木野	湧永薬品	0
FP	藤中	大同製鋼	5
FP	中井	大同製鋼	1
FP	佐藤	本田技研鈴鹿	1
FP	菊池	東京12ch	4
FP	蒲生	中大	5
FP	村田	三景	2
FP	佐々木	三景	2
FP	柳川	大同製鋼	0
FP	斉藤	大崎電気	0
7MT	（1）		20

【ドロット】

	氏名	得
GK	トーマソン	0
GK	アスバーグ	0
FP	H・ヨハンソン	1
FP	B・ハンソン	2
FP	アブラハムソン	4
FP	クリングバール	5
FP	ヤコブソン	0
FP	B・ヨハンソン	0
FP	ハッセルバーグ	2
FP	ベントソン	1
FP	ブローマン	1
FP	グンナー・ルンド	2
7MT	（2）	18

（審・岡前、佐野）

▼徳山ク（山口）韓国遠征（昭和51年11月）
ソウル教員選抜 27（13—17、14—8）25 徳山ク
裡里工高OB 14（8—6、6—6）12 徳山ク

▼第7回世界学生選手権参加時の転戦（昭和51年12月〜52年1月）
全日本学生 20（11—6、9—10）16 グリースハイム
ディッセンバッハ 23（13—8、10—8）16 全日本学生
全日本学生 27（15—14、12—13）27 ベンスハイム選抜 引き分け
グロスバルドスタット 14（6—4、8—5）12 全日本学生
全日本学生 13（5—4、8—8）12 イスラエル・ジュニアナショナル
全日本学生 14（8—3、6—8）11 ローア
（注）グロスバルドスタット戦後の3試合は同一日（1月2日）に15分ハーフで行われた。
ウーアバッハ選抜 27（14—15、13—10）25 全日本学生
全日本学生 24（9—8、15—14）22 キリッヒブロンバッハ
グルンシュタット 25（13—9、12—8）17 全日本学生
〜以上西ドイツ〜
タルノフ選抜 32（14—10、18—12）22 全日本学生
〜以上ポーランド〜

日台交流

▼台中県教員来日（昭和45年8月）
三重教員団 31（11—9、20—7）16 台中県教員

▼全名大ク（愛知）遠征（昭和46年3月）
全名大ク 37—14 台北師範専科
全名大ク 35—21 台北体育専科
全名大ク 25—5 台中県教員
全名大ク 32—13 台北師範大

▼広山国民小学校女子（台南）来日（昭和46年7月）
広山国少 28—10 愛知少年ハンドボール教室
広山国少 34—11 長森スポーツ少年団（岐阜）

▼愛知教員遠征（昭和47年3月）
愛知教員 26—15 高雄教員
愛知教員 29—16 台南県教員
愛知教員 26—16 台中県教員
愛知教員 15—7 台湾国大
愛知教員 16—9 台平市立大

▼二和家具（岐阜）遠征（昭和49年11月）
二和家具 29—18 高雄師範学院
二和家具 24—15 台中選抜
二和家具 21—14 樹人高級中学
二和家具 22—11 台北体育専科校

▼大崎電気男子（埼玉）遠征（昭和50年8月）
大崎電気 29—11 全台湾
大崎電気 26—11 全台湾
大崎電気 35—9 全台湾

▼本渡HC（熊本）遠征（昭和50年11月）
本渡HC 30—29 台湾師範大
本渡HC 27—22 樹人高級中学

▼名城ク（愛知）遠征（昭和51年5月）
名城ク 28—24 台湾省立体専
台湾必富 23—14 名城ク
嘉陽商工 24—23 名城ク
台中紡織 28—16 名城ク

▼全台北男子来日（昭和51年7月）
本渡ク（熊本） 21—19 全台北
全台北 20—12 鹿児島高校選抜
全台北 26—14 全天草高校選抜（熊本）
鹿児島教員 30—17 全台北
熊本教員 29—25 全台北
全台北 37—26 全天草（熊本）
全台北 26—22 熊本トヨタカローラ（熊本）
全台北 20—12 大崎愛好会（埼玉）

▼三春台ク（神奈川）遠征（昭和51年8月）
三春台ク 24—16 台北県選抜
三春台ク 20—17 嘉陽商工

日本——沖縄交流（高校記録のみ）

☆……47年に復帰するまで沖縄県は"外国"だった。
40年3月に初遠征した徳山高男女（山口）、熊本市商（男）、熊本市高（女）から45年までに全日本高校男女選抜軍、中部工大（愛知）、名城大（愛知）、大同製鋼（愛知）、スワロー兵庫、東海学生男女選抜軍が渡り親善を深めた。

◆全日本高校選抜遠征（40年12月24日〜41年1月3日）
▽男子
全本土選抜 44—7 那覇高
全本土選抜 42—13 琉球大学
全本土選抜 35—14 興南高
全本土選抜 47—6 沖縄工
▽女子
全本土選抜 32—3 那覇高
全本土選抜 25—6 琉球大学
全本土選抜 50—1 糸満高
全本土選抜 37—4 知念高

国際試合

＜男子11人制＞

▼ヒットラー・ユーゲントハンドボールチーム来日（昭和13年9月16日・東京、神宮競技場）

日本（日体）16（8—5、8—4）9 H・ユーゲント

【日体】		【H・ユーゲント】
徳永	GK	レデッカー
菅	FB	ヴィンタカー
陳	FB	フォルク
金	HB	シュビールマン
中島	HB	H・シュルツェ
李	HB	トロシャー
和田	FW（審・ローター）	シュレイ
馬場	FW	ハウツ
崔	FW	ベッカー
南	FW	オルツ
文	FW	ディットマン
11	GT	12
10	FT	18

（注）この試合が史上初の国際試合である

▼紀元二千六百年奉祝東亜競技大会ハンドボール（昭和15年6月9日神宮競技場、16日奈良橿原競技場）

日本（日体）8（4—5、4—0）5 在日ドイツ人選抜

日本（日体）8（3—1、5—4）5 在日ドイツ人選抜

▼訪日ドイツ艦隊との対抗試合（昭和17年11月29日、神宮競技場）

全日本学生・OB 8（4—4、4—3）7 訪日ドイツ艦隊・在日ドイツ人混成

【全日本学生・OB】		【ドイツ】
島田（日体OB）	GK	モッサネル
川村（日体OB）	FB	ハンジェ
若崎（日体OB）	FB	フィンク
荒川（日体）	HB	マッテルン
北川（日体OB）	HB	オーエミシェン
有元（慶応）	HB	ゾッフ
高橋（日体OB）	FW（審・外山）	ノイラッハ
島田（慶応）	FW	バッセルロス
高島（日体OB）	FW	ベルンスタイン
宮崎（早稲田）	FW	ヘンペル
林（早稲田）	FW	マルティウェルス
29	GT	26
17	FT	19

（注）国際試合のためピックアップチームが編成された最初の試合

▼枢軸国交歓球技大会（昭和18年12月5日、神宮競技場）

日本 11（8—7、3—4）11 在日ドイツ人選抜 引き分け

【日本】		【在日ドイツ】
林（和）（法大OB）	GK	モッサネル
釘貫（早大OB）	FB	ハンジル
横山（早大OB）	FB	フィンク
井上（慶大OB）	HB	ソック
藤田（日体OB）	HB	O・シュミット
酒井（早大OB）	HB	マッテルン
池田（日体OB）	FW	H・ベルンスタイン
林（理）（早大OB）	FW	ヘンペル
油井（日体OB）	FW	A・ベルンスタイン
高橋（日体OB）	FW	W・シュミット
島田（慶大OB）	FW	オーミィヒェン
18	FT	21
5	CT	2

◇交代【日】GK安田（慶応）、FB釘貫（早稲田）、HB井上（慶応）、FW宮本（日体OB）

（注）現在でいうナショナルチーム（日本代表）が編成されたのは、この試合が初めてといわれる。

▼西ドイツ選抜軍来日（昭和31年9月）

西ドイツ 19（8—3、11—5）8 全日本学生

西ドイツ 24（13—7、11—6）13 全東海

西ドイツ 21（10—4、11—5）9 富山ク

西ドイツ 22（12—3、10—3）6 全九州

西ドイツ 14（8—2、6—3）5 全山口

西ドイツ 18（8—3、10—7）10 関東学生連合

▼ルーマニア選抜軍来日（昭和35年6月）

ルーマニア 19（13—0、6—4）4 全早稲田（東京）

ルーマニア 28（17—5、11—2）7 全中大（東京）

ルーマニア 18（11—5、7—6）11 全日体（東京）

ルーマニア 24（12—5、12—6）11 全群馬

ルーマニア 23（16—5、7—10）15 全愛知

ルーマニア 19（9—4、10—7）11 全関学（兵庫）

ルーマニア 27（13—5、14—2）7 全北海道

ルーマニア 18（9—2、9—3）5 全仙台（宮城）

ルーマニア 23（9—2、14—4）6 全神奈川

ルーマニア 17（10—9、7—7）16 全芝浦工大（東京）

得	【芝浦】		【ルーマニア】	得
0	福本	GK	レドル	0
0	尾藤	FB	バレスク	0
0	村上	FB	K・セラル	0
0	勝倉	HB	マルク	0
1	田口	HB	ニテスク	0
1	高井	HB	V・セラル	0
8	佐藤	FW（審・岡村）	コスタケ弟	2
2	近藤	FW	コスケタ兄	1
3	山田	FW	ナデア	3
0	宮原藤	FW	ナト	5
1	宮原俊	FW	ブルガル	5
16	26	ST	35	17

◇交代【ル】GKカベルプッシュ（得0）、FWコバッシュ（得1）【芝】FW北村（得0）

▼イスラエル転戦（昭和36年4月）

日本 23（11—4、12—4）8 全ハポエル

日本 22（12—2、10—4）6 マカビ

（注）女子には11人制の国際試合記録はない

MEMO

今でこそハンドボールと云えばインドア、7人制だが、一九五〇年代までは内外とも11人制が主流だった。

日本では、女子は昭和31年度、男子は37年度まで主要大会はすべて11人制。

110m×65m（最大）のグランドに展開される攻防は、サッカーとはまた違った味の豪快さ、爽快さがあった。

ゴールエリアラインは13m フリースローラインは19m（一九五七年規則）。

国際試合

《女子》

▼第2回世界選手権参加時の転戦（昭和37年6月～7月）

日本 8（2－2、6－6）8 ベルリン選抜 引き分け

日本 14（7－2、7－4）6 メッチェンゲン選抜

日本 16（3－1、7－2、6－4）7 南バーデン選抜

（注）この試合は「15分・3ピリオド」システム

～以上、西ドイツ～

日本 16（5－7、11－6）13 トラクターHC

シビウ 18（10－7、8－10）17 日本

日本 7（4－1、3－4）5 アイアンツア

日本 10（2－2、8－4）6 メディアース

日本 18（5－2、13－4）6 テキステラ

～以上、ルーマニア～

日本 18（9－3、9－5）8 パリ選抜

～以上、フランス～

▼第3回世界選手権参加時の転戦（昭和40年10月～11月）

日本 15（5－7、10－5）12 リトビノフ選抜

日本 21（12－3、9－3）6 スパルタク・ハラディチャ

日本 16（3－1、13－7）8 トレンチーヌ

日本 16（8－4、8－5）9 フロホベッツ

日本 21（10－1、11－3）7 ビリナ選抜

日本 16（10－3、6－4）7 ロコモチバ・ルシアンスキー

日本 14（5－4、9－2）6 ニトラ

日本 33（16－3、17－1）4 スパルタク・アルマ・トルーカ

～以上、チェコ～

日本 14（5－3、9－1）4 アウスバールデス・ブレース連合

日本 9（6－4、3－5）9 ハンブルグ 引き分け

日本 16（6－3、10－3）6 フランクフルト

～以上、西ドイツ～

日本 27（13－2、14－0）2 US・イブリー

日本 13（5－5、8－3）8 FS・コロンブス

日本 16（8－1、8－1）2 ステラ・サンモール

日本 13（7－2、6－0）2 太西洋岸選抜

～以上、フランス～

▼西ドイツ選抜来日（昭和42年9月）

西ドイツ選抜 7（4－0、3－6）6 大崎電気（埼玉）

三菱鉛筆（山形）11（6－5、5－4）9 西ドイツ選抜

西ドイツ選抜 9（4－3、5－5）8 東日本選抜

大崎電気 12（6－6、6－5）11 西ドイツ選抜

西ドイツ選抜 12（7－6、5－3）9 東京重機（東京）

愛知紡（愛知）12（8－4、4－3）7 西ドイツ選抜

田村紡（三重）17（8－4、9－7）11 西ドイツ選抜

西ドイツ選抜 13（8－4、5－6）10 大洋デパート（熊本）

西ドイツ選抜 9（4－3、5－5）8 全大阪

西ドイツ選抜 13（7－3、6－1）4 全静岡

全日本 8（5－3、3－4）7 西ドイツ選抜

得	【西ドイツ選抜】		【全日本】	得
0	ホイヤー	GK	渡辺美（田村紡）	0
0	デバルト	GK		
0	ミューラー	FP	渡辺好（田村紡）	0
0	ケーラー	FP	水谷（田村紡）	0
1	ミルター	FP	小林（田村紡）	4
4	ネントビッヒ	FP	清水（田村紡）	1
1	ツン	FP	早川（大崎電気）	0
1	ロイター	FP	鈴木（大崎電気）	2
0	ボーリー	FP	種村（田村紡）	1
0	ケラー	FP	垂水（大洋デパ）	0
0	ビールカンツェ	FP	新保（大洋デパ）	0
7	（4）	7MT	（2）	8

（審・安藤 佐野）

▼第4回世界選手権参加時の転戦（昭和46年11月）

日本 19（12－7、7－3）10 フンデルGF

～以上、デンマーク～

日本 15（7－7、8－4）11 ボーレンゲ・HK

日本 20（10－3、10－8）11 ストックフォルム選抜

～以上、スウェーデン～

ブカレスト大学 18（11－7、7－7）14 日本

～以上、ルーマニア～

日本 26（14－3、12－5）8 アクイタイヌ

日本 30（16－3、14－0）3 アングレーム選抜

～以上、フランス～

日本 9（3－4、6－3）7 ハンブルグ選抜

日本 18（7－8、11－5）13 ニーダーライン選抜

日本 16（6－7、10－0）7 アイントラハト・ミンデン

日本 18（8－2、10－8）10 西ベルリン選抜

～以上、西ドイツ～

▼OSC・ラインハウゼン（西ドイツ）来日（昭和48年9月）

大洋デパート（熊本）18（6－2、12－1）3 ラインハウゼン

田村紡（三重）12（4－3、8－3）6 ラインハウゼン

大崎電気（埼玉）15（7－1、8－3）4 ラインハウゼン

ラインハウゼン 10（4－3、6－6）9 東京重機（東京）

日本ビクター（茨城）11（4－3、7－2）5 ラインハウゼン

▼第5回世界選手権参加時の転戦（昭和48年11月～12月）

日本 9（5－5、4－4）9 ニロックHC

～以上、オランダ～

日本 28（16－2、12－3）5 パリ地域中西部選抜

～以上、フランス～

▼第6回世界選手権参加時の転戦（昭和50年11月）

SC・マグデブルグ 20（10－6、10－9）15 日本

SC・ライプチヒ 19（11－9、8－7）16 日本

日本 15（7－10、8－3）13 ハローレン・ハーレ

日本 19（10－8、9－5）13 TSC・ベルリン

日本 26（12－7、14－11）18 エムポール・ロストック

～以上、東ドイツ～

MEMO

外国チームとの対戦を、ハンドボール界では「公式国際試合」と「国際試合」に分ける

「公式国際試合」は、両国ナショナルチームの対戦で、原則は審判員が第3国のこと「公式国際試合」に何回出たかは、選手にとって一つの〝勲章〟である。

このほかの試合は、公式戦にはちがいないが、通常「国際試合」としてのみ取扱われる

日韓交流定期戦

学生男子

第1回

（昭和36年10月・日体大遠征・全試合11人制）

日体 22—7 慶煕
日体 22—6 成均館
日体 26—10 慶北
日体 18—4 大邱学生選抜
日体 21—10 延世
日体 21—8 光州師範

第2回

（昭和38年6月・韓国学生選抜来日）

東海学生 21—14 韓国学生
日体 25（分）25 韓国学生
全関東学生 19—9 韓国学生
桃山学院 30—22 韓国学生
全京都学生 19—16 韓国学生
韓国学生 19—17 広島商大
▽親善試合
韓国学生 24—18 下松ク（山口）
韓国学生 29—19 徳山ク（山口）

第3回

（昭和44年7月・日体大遠征）

成均館 19—18 日体
日体 15—13 慶煕
日体 20—15 韓国学生選抜
日体 14—9 円光
日体 13—12 成均館
▽親善試合
全慶煕大 12—11 日体

第4回

（昭和45年6月・成均館大来日）

日体 15—14 成均館
成均館 17—16 関西学生
成均館 25—12 東北学生
成均館 25—16 東海学生
関東学生 19—14 成均館

第5回

（昭和46年7月・全日本学生選抜遠征）

全日本学生 21—8 円光
全日本学生 17—16 慶煕
全日本学生 15—13 成均館
全日本学生 15（6—4、9—10）14 韓国学生

得	日本学生		韓国	得
0	馬渕（立教）	GK	金昌鉱	0
0	森友（大経大）	GK	金永年	0
4	佐藤（中央）	FP	黄致範	2
4	氷海（日体）	FP	金弘植	4
1	荒井（法政）	FP	李鍾范	3
1	川上（関学）	FP	金在容	0
1	松原（日体）	FP	劉周俊	0
2	大江（芝工大）	FP	秋章云	4
2	明石（芝工大）	FP	牟鍾起	1
0	松井（同志社）	FP	金虎吉	0
0	中村（大体大）	FP	安真煥	0
0	夏目（中京）	FP	金栄会	0
15	（1）	7MT	（2）	14

▽親善試合
全日本学生 15（分）15 全円光大

第6回

（昭和47年6月・慶煕大来日）

慶煕 17—12 福岡学生選抜
慶煕 7（分）7 京都産大
慶煕 11—7 東海学生
関東学生 15—13 慶煕

第7回

（昭和48年6月・全日本学生選抜遠征）

全日本学生 18（12—12、6—6）18 韓国学生
引き分け

得	日本学生		韓国	得
0	福井（中京）	GK	金永年	0
0	柴田（法政）	GK		
3	山村（中央）	FP	金成奎	0
5	細江（日体）	FP	趙鉉哲	0
2	菊池（早稲田）	FP	鄭享均	0
5	柳（法政）	FP	金晩秋	0
0	津川（大経大）	FP	車聖福	4
0	夏目（中京）	FP	李鍾七	0
0	喜井（日体）	FP	金栄会	5
1	村田（法政）	FP	李明煥	1
0	川畑（早稲田）	FP	牟鍾起	0
1	中村（大体大）	FP	金成憲	7
1	牧野（同志社）	FP	金充洙	1
18	（1）	7MT	（4）	18

全日本学生 19—16 成均館
慶煕 16—10 全日本学生
全日本学生 20—16 円光
全日本学生 17—14 ソウル学生選抜

第8回

（昭和49年6月・成均館大来日）

成均館 28—15 福岡学生選抜
成均館 12—9 関西学生
成均館 22—15 東海学生
関東学生 21—17 成均館
成均館 33—16 日体

第9回

（昭和50年6月・全日本学生選抜遠征）

円光 18—13 全日本学生
成均館 27—21 全日本学生
全日本学生 25—18 清州
全日本学生 23—13 釜山大

第10回

（昭和51年6月・韓国学生選抜来日）

韓国学生 26—15 福国学生選抜
韓国学生 15—13 関西学生
韓国学生 19—16 東海学生
関東学生 22—20 韓国学生
▽親善試合
韓国学生 20（分）20 徳山ク（山口）

学生女子

第1回

（昭和46年6月・梨花女大来日）

日体 17—5 梨花女
梨花女 8—6 関西学生
梨花女 4（分）4 東海学生
東女体大 13—7 梨花女

第2回

（昭和48年6月・全日本学生選抜遠征）

全日本学生 9—7 梨花女
全日本学生 12—8 韓星女
▽親善試合
韓国ジュニア選抜 13—11 全日本学生
全慶煕 13—9 全日本学生
全日本学生 10—8 全鳳永ク

第3回

（昭和49年6月・梨花女大来日）

梨花女 15—8 福岡学生選抜
梨花女 11—10 関西学生
梨花女 11—3 東海学生
関東学生 16—10 梨花女
日体 15—11 梨花女

第4回

（昭和50年6月・全日本学生選抜遠征）

忠州工専 17—14 全日本学生
韓星女大 16—13 全日本学生
▽親善試合
全日本学生 16—14 仁川市庁
全日本学生 19—11 鳳永女ク

第5回

（昭和51年6月・忠州工専来日）

忠州工専 23—3 福岡学生選抜
忠州工専 18—6 関西学生
忠州工専 16—15 東海学生
忠州工専 24—12 関東学生
▽親善試合
忠州工専 17—7 徳山ク（山口）

高校男子

第1回

（昭和37年11月・全日本高校選抜遠征）

全日本高校 22—19 東星
全日本高校 17—8 麻浦
全日本高校 16—6 養成（この試合は11人制）
全日本高校 18—8 大倫（この試合は11人制）
全日本高校 14—7 晋成（この試合は11人制）
全日本高校 7（分）7 五山（この試合は11人制）

第2回

（昭和38年11月・韓国高校選抜来日）

明星（東京）19—11 韓国高校選抜
韓国高校選抜 38—18 茨城選抜
韓国高校選抜 24—19 名古屋選抜
韓国高校選抜 22—19 兵庫選抜
韓国高校選抜 23—17 大阪選抜
韓国高校選抜 37—20 福岡選抜

第3回

（昭和43年8月・下関中央工（山口）遠征）

下関中央工18—16朝鮮大付(韓)
大倫(韓) 16—12 下関中央工

第4回 (昭和44年8月・朝鮮大付属来日)

朝鮮大付 11—7 中大付(東京)
朝鮮大付 8(分)8 下関中央工(山口)

第5回 (昭和45年8月・新居浜工愛媛遠征)

東亜(韓) 16—4 新居浜工
麻浦(韓) 16—14 新居浜工

第6回 (昭和46年8月・東亜高来日)

東亜 14—12 湯沢(秋田)
東亜 19—10 中大付(東京)

第7回 (昭和47年8月・中大付(東京)遠征)

高麗商(韓) 12—11 中大付
中大付 16—11 清涼工(韓)

第8回 (昭和48年8月・高麗商来日)

高麗商 15—12 中大付(東京)
高麗商 17—13 名城大付(愛知)

第9回 (昭和50年8月・岩国工(山口)遠征)

岩国工 13(分)13 朝鮮大付(韓)
岩国工 17(分)17 東星(韓)

第10回 (昭和51年8月・高麗高来日)

高麗 19—8 日体荏原(東京)
高麗 16—14 下関中央工(山口)

高校女子

第1回 (昭和48年8月・慶熙女来日)

慶熙女 12—4 桜水商(東京)
小松市女(石川) 10—6 慶熙女

第2回 (昭和50年8月・小松市女(石川)遠征)

小松市女 12—8 聖貞女(韓)
忠州女商(韓) 11—9 小松市女

第3回 (昭和51年8月・忠州女商来日)

忠州女商 19—5 藤村女(東京)
大分東(大分) 15—10 忠州女商

社会人男子

第1回 (昭和45年11月・愛媛ク遠征)

釜山旅客自動車 12—10 愛媛ク
高麗セメント 13—9 愛媛ク
愛媛ク 10—9 高麗木材
愛媛ク 20—7 東洋公社
愛媛ク 22—17 麻浦ク

第2回 (昭和47年11月・釜山旅客自動車来日)

湧永薬品(大阪) 28—14 釜山旅客自動車
本田技研鈴鹿(三重) 23—11 釜山旅客自動車
新日鉄名古屋(愛知) 16—5 釜山旅客自動車
セントラル自動車(神奈川) 10—8 釜山旅客自動車
三景(東京) 19—8 釜山旅客自動車

第3回 (昭和48年10月・全日本実連ジュニア遠征)

全慶北大 16—13 実連J
実連J 14—13 釜山旅客自動車
実連J 12(分)12 高麗セメント
全慶熙大 25—19 実連J
全成均館大 27—23 実連J

第4回 (昭和50年5月・円光ク来日)

大阪社会人選抜 35—13 円光ク
全日本実連ジュニア 17—12 円光ク
円光ク 24—15 愛知実業団選抜
神奈川実業団選抜 15—14 円光ク
全日本自衛隊選抜 18—16 円光ク

第5回 (昭和51年11月・全日本実連ジュニア遠征)

実連J 16—14 ソウル教員
実連J 20—19 仁荷工専
実連J 26—15 忠南大
円光ク(全円光大) 20—19 実連J
実連J 21—15 釜山大ク

社会人女子

第1回 (昭和46年2月・白花醸造来日)

大崎電気(埼玉) 11—8 白花醸造
日本ビクター(茨城) 17—9 白花醸造
田村紡(三重) 8(分)8 白花醸造
白花醸造 10—8 ブラザー工業(愛知)
白花醸造 11—7 新居浜選抜(愛媛)

第2回 (昭和47年5月・全日本実業団選抜遠征)

白花醸造 15—10 全日本実業団
全日本実業団 17—12 鳳永ク
全日本実業団 26—4 全韓星女大
白花醸造 11—7 全日本実業団

第3回 (昭和49年3月・韓国ジュニア来日)

日本ビクター(茨城) 20—4 韓国J
東京重機(東京) 10—7 韓国J
韓国J 10—9 日立栃木(栃木)
ブラザー工業(愛知) 11—9 韓国J
田村紡(三重) 8—5 韓国J

第4回 (昭和49年5月・日本実業団選抜遠征)

日本実業団 10—4 釜山選抜
日本実業団 16—11 全聖貞
日本実業団 11—9 全鳳永
日本実業団 13—8 ソウル市ジュニア
▽エキシビジョン(非公式試合)
日本実業団 10—7 全鳳永

第5回 (昭和51年3月・仁川市庁来日)

大崎電気 14—8 仁川市庁
仁川市庁 12—10 日立栃木
ジャスコ(三重) 8—7 仁川市庁
ブラザー工業 12—11 仁川市庁

日本ハンドボール界
主　要　記　録

第Ⅱ部　全日本総合選手権
全日本総合室内（全日本選抜・NHK杯）

全日本総合選手権

第1回
（昭和25年1月21、22日・愛知県一宮市）

▼男子1回戦
大阪歯大（大阪）5 (3-1, 2-2) 3 岡崎ク（愛知）
関学（兵庫）棄権 北勢ク（三重）
全明大（東京）4 (3-1, 1-1) 2 倉敷ク（岡山）
日体「梅」（東京）18 (10-0, 8-0) 0 岐阜ク（岐阜）
全文理大（東京）20 (5-0, 15-0) 0 名古屋工大（愛知）
京阪ク（大阪）3 (1-1, 2-1) 2 名古屋ク（愛知）
▽同準々決勝
日体「桜」（東京）11 (3-2, 8-0) 2 大阪歯大
関学 3 (1-2, 2-0) 2 全明大
日体「梅」2 (1-0, 1-0) 0 京阪ク
全文理大 棄権 百舌鳥ク（大阪）
▽同準決勝
日体「桜」4 (2-0, 2-2) 2 関学
全文理大 6 (3-1, 3-1) 2 日体「梅」
▽同決勝
日体「桜」6 (0-4, 6-1) 5 全文理大
▼女子1回戦（参加3チーム）
愛知ク（愛知）4 (2-0, 2-0) 0 大阪ク（大阪）
▽同決勝

【日体】		【文理】
岡井	GK	高橋賢
花畑	FB	箱崎
中出		鈴木静
藤田信	HB	高橋健
神田		川島
荒川		安藤
高嶋	FW	岡村
村田	（審・若崎）	藤原
徳永		松本
山田		磯部
中西		井上
35	ST	12
29	FT	15

◇交代【文】▽FW佐野

愛知ク 4 (3-0, 1-2) 2 山梨師範（山梨）

【愛知】		【山梨】
岸本	GK	沢澄
佐藤	FB	手塚
加藤		滝口
築城	HB	長田
水野		鎮目
本多		深沢
黒柳	FW	小宮山
寺添	（審・花畑）	雨宮
正木		土屋
鈴木		今沢
酒井		原田
11	ST	13
16	FT	20

第2回
（昭和25年11月24～26日・東京駒沢）

▼男子1回戦
スワロー「松」（東京）10 (5-0, 5-1) 1 教大（東京）
オール・マルーン（東京）1 (0-0, 1-0) 0 駿台ク（東京）
スワロー「桜」（東京）5 (2-0, 3-1) 1 B・R・O（東京）
山梨大（山梨）棄権 仙台ク（宮城）
駿台クB（東京）棄権 赤門ク（東京）
全教大（東京）12 (4-1, 8-0) 1 スワロー「梅」（東京）
全山梨（山梨）没収試合 湘南ク（神奈川）
スワロー「松」6 (3-0, 3-2) 2 オール・マルーン
スワロー「桜」20 (8-0, 12-0) 9 山梨大
全教大 5 (3-0, 2-0) 0 駿台クB
日体大（東京）7 (3-2, 4-3) 5 全山梨
▽同準決勝
スワロー「松」9 (6-2, 3-6) 8 スワロー「桜」
全教大 13 (6-0, 7-1) 1 日体大
▽同決勝
スワロー「松」6 (4-1, 2-1) 2 全教大

得	【スワ】		【教大】	得
0	高倉	GK	高橋賢	0
0	若崎	FB	鈴木	0
0	日沖		箱崎	0
0	島田	HB	高橋健	0
0	稲石		川島	0
0	岡本		北村	0
1	勝	FW	端山	0
2	田中	（審・徳永）	藤原	0
0	槇		松本	1
3	皆川		岡村	0
0	宇津野		佐野	1
6	(20)	ST	(24)	2

スワロー「松」は初優勝

▼女子決勝（参加2チーム）
全山梨（山梨）2 (1-1, 1-1) 2 東京OGク（東京）
日没のため引き分け、翌日（11月26日）再戦となる
▽同・再戦
全山梨 3 (1-1, 2-1) 2 東京OGク

第3回
（昭和26年8月24～26日・石川県小松市）

▼男子1回戦

得	【山梨】		【東京】	得
0	桑原	GK	織田	0
0	手塚	FB	山下	0
0	奥山		梅野	0
0	深沢	HB	清和	0
0	井沢		箱田	0
0	手塚		井上	0
0	小宮山	FW	西上	0
0	雨宮	（審・山田）	小田	1
1	土屋		松木	1
1	原田		田中	0
1	今沢		有岡	0
3	(13)	ST	(7)	2

全山梨は初優勝

富山北岑ク（富山）14 (6-1, 8-0) 1 春日ク（奈良）
北辰ク（石川）6 (2-3, 4-2) 5 立命館大（京都）
全愛知（愛知）8 (3-1, 5-4) 5 全神奈川（神奈川）
日体大（東京）10 (6-4, 4-4) 8 桃蔭ク（大阪）
大阪歯大（大阪）棄権 菫ク（石川）
金沢ク（石川）棄権 関学（兵庫）
▽同準々決勝
スワロー・ク（東京）17 (8-0, 9-2) 2 富山北岑ク
全愛知 9 (8-0, 1-0) 0 北辰ク
日体大 9 (5-0, 4-4) 4 大阪歯大
全教大（東京）16 (7-1, 9-1) 2 金沢ク
▽同準決勝
全教大 12 (6-1, 6-3) 6 日体大
スワロー・ク 12 (6-1, 6-3) 4 全愛知
▽同決勝
スワロー・ク 10 (3-1, 7-4) 5 全教大

【スワ】		【教大】
岡井	GK	高橋賢
藤田八	FB	鈴木
中出	FB	西山
藤田信	HB	宮田
瀬尾	HB	高橋健
岡本	HB	柿沼
勝	FW	岡村
田中	FW	藤原
村田	FW	松本
皆川	FW	沢田
中西	（審・平岡）	佐野
(25)	ST	(17)
(23)	FT	(30)

スワローは2連勝

▼女子1回戦（参加3チーム）

全山梨（山梨）5（2−3, 2−1 : 0−1, 1−0）5 小松ク（石川）
引き分け
抽せんで全山梨の勝ち

▽同決勝

芙蓉ク（東京）3（1−0, 2−2）2 全山梨

【芙蓉】		【山梨】
織田	GK	沢澄
小林量	FB	平塚
青木	FB	奥山
田中	HB	深沢
佐々木	HB	井沢
千村	HB	萩野
鈴木	FW	小宮山
加藤	FW	雨宮
小林満	FW	土屋
小田	FW	原田
吉田	（審・徳永）	栗原
(12)	ST	(14)
(26)	FT	(22)

芙蓉クは初優勝

第4回 （昭和27年11月28〜30日・東京駒沢）

▼男子1回戦

全教大（東京）33（16−0, 17−1）1 岐阜大（岐阜）
セントポール（東京）11（9−5, 2−3）8 日体大B（東京）
全明大（東京）13（6−0, 7−5）5 芝浦工大（東京）
全明大B（東京）7（1−0, 6−5）5 全山梨（山梨）
スワロー（東京）16（6−6, 10−8）14 日体大（東京）
湘南ク（神奈川）14（9−9, 5−2）11 セントポールB（東京）

▽同準々決勝

全教大 5（3−1, 2−3）4 慶大（東京）
セントポール 10（5−3, 5−5）8 全明大
スワロー 10（5−0, 5−2）2 全明大B
早大（東京）14（6−3, 8−2）5 湘南ク

▽同準決勝

セントポール 11（6−4, 5−4）8 全教大
スワロー 5（4−3, 1−1）4 早大

▽同決勝

セントポール 14（2−6, 8−4 : 2−1, 2−0）11 スワロー

得	【セン】		【スワ】	得
0	浜田	GK	高倉	0
0	中村醇	FB	中出	0
0	土橋	FB	藤田八	0
1	浦上	HB	岡本	0
0	横田	HB	瀬尾	0
0	大嶽	HB	藤田信	0
3	杉山	FW	中西	3
5	進藤	FW	宇津野	1
2	勝	FW	小袋	3
2	阿佐美	FW	村田	1
1	小川	FW	皆川	3
14				11
	(44)	ST	(43)	

◇交代【セ】▽HB中村一（得0）【ス】▽FW田中（得0）
セントポールは初優勝

▼女子 行われず

☆……第4回大会までの名称「全日本選手権」を第5回大会から「全日本総合選手権」と改称

第5回 （昭和28年8月26〜28日・山梨県富士吉田市）

▼男子1回戦

全明大B（東京）7（3−2, 4−3）5 セントポールB（東京）
菊里ク（愛知） 棄権 茨城大（茨城）
日体大（東京）18（8−3, 10−0）3 浅陽ク（長野）
リミット・ク（東京）9（3−2, 3−4 : 2−2, 1−0）8 全明大

▽同2回戦

全日体大（東京）16（7−3, 9−5）8 全明大B
全教大（東京）26（15−0, 11−4）4 奈良ク（奈良）
全慶応（東京）12（6−4, 6−2）6 芝浦工大（東京）
早大（東京）23（14−1, 9−5）6 菊里ク
大阪ク（大阪）22（12−4, 10−5）9 リミット・ク
全山梨（山梨）17（6−0, 11−0）0 岐阜大（岐阜）
五陵ク（愛知）9（8−4, 1−3）7 桐生ク（群馬）
セントポール（東京）15（7−8, 8−5）13 日体大

▽同準々決勝

全日体大 9（4−6, 5−2）8 全教大
早大 4（2−1, 2−2）3 全慶応
大阪ク 20（11−0, 9−0）0 全山梨
セントポール 9（5−1, 4−2）3 五陵ク

▽同準決勝

全日体大 11（5−6, 6−1）7 早大
大阪ク 9（6−1, 3−2）3 セントポール

▽同3位決定戦

セントポール 17（9−5, 8−6）11 早大

▽同決勝

全日体大 9（4−1, 5−5）6 大阪ク

【日体】		【大阪】
片山	GK	高倉
望月	FB	中出
遠藤	FB	藤原
菊地	HB	朝日
山本	HB	高田
斉藤	HB	岡本
石田	FW	渡辺正
金原	FW	渡辺忠
浅野	FW	村田
皆川	FW	田原
高山	FW	三宅
(30)	ST	(26)
(26)	FT	(44)

全日体大は初優勝

▼女子1回戦

日女体短大（東京） 棄権 瑞陵ク（愛知）
全静岡城北高（静岡）11（6−3, 5−2）5 山梨高（山梨）
日体大（東京）5（2−2, 3−2）4 芙蓉ク（東京）

▽同準決勝

全山梨（山梨）11（3−2, 8−3）5 日女体短大
全静岡城北高 15（10−0, 5−2）2 日体大

▽同3位決定戦

日女体短大 6（2−2, 4−3）5 日体大

▽同決勝

全静岡城北高 7（3−1, 4−2）3 全山梨

【静岡】		【山梨】
杉山	GK	沢澄
遠藤	FB	菅沼
清水	FB	雨宮布
石野	HB	滝口
高橋	HB	内田
永田	HB	田村
太田	FW	井沢
勝間田	FW	雨宮幸
飯塚	FW	土屋
角野	FW	今沢
渡辺	FW	小俣
(23)	ST	(17)
(20)	FT	(23)

◇交代【山】▽HB倉鹿野
全静岡城北高は初優勝

第6回 （昭和29年11月21〜23日・神奈川県平塚市）

▼男子1回戦

世田谷工クB（東京）11（−　−）6 明星ク（東京）

▽同2回戦

セントポールB（東京）7（−　−）2 三高ク（東京）
芝浦工大（東京）5（−　−）4 明大（東京）
全早大（東京）17（−　−）4 仙台育英高ク（宮城）
日体大（東京）11（−　−）3 明大B（東京）
静岡大（静岡）9（−　−）3 世田谷工ク（東京）
全関学（兵庫）8（−　−）5 全教大（東京）
セントポール（東京）5（−　−）4 桜丘会（愛知）
桐生ク（群馬）6（−　−）2 三春台ク（神奈川）
全鎌倉（神奈川）11（−　−）4 富岡ク（群馬）
五陵ク（愛知）3（−　−）2 茨城大（茨城）
全法政二高（神奈川）5（−　−）4 全東大（東京）

全慶応（東京）18（ー、ー）2 全愛工ク（愛知）
全法大（東京）5（ー、ー）1 中大（東京）
全静岡（静岡） 棄権 三浦高ク（神奈川）
愛知学芸大（愛知） 棄権 兵庫工ク（兵庫）
全日体大（東京）17（9―0、8―0）0 世田谷工クB

▽同3回戦
全日体大 25（10―1、15―1）2 セントポールB
芝浦工大 9（7―0、2―0）0 桐生ク
全鎌倉 8（4―5、4―2）7 五陵ク
全慶応 17（7―0、10―2）2 全法政二高
全早大 12（10―3、2―2）5 日体大
全関学 15（9―0、6―1）1 静岡大
セントポール 5（1―1、4―1）2 全法大
全静岡 6（4―1、2―4）5 愛知学芸大

▽同準々決勝
全日体大 15（6―2、9―4）6 芝浦工大
全慶応 8（2―3、6―3）6 全鎌倉
全早大 14（6―4、8―3）7 全関学
セントポール 11（8―1、3―5）6 全静岡

▽同準決勝
全日体大 12（5―5、7―2）7 全慶応
全早大 9（8―3、1―5）8 セントポール

▽同3位決定戦
セントポール 9（6―2、3―5）7 全慶応

▽同決勝
全日体大 9（6―2、3―4）6 全早大

得	【早大】		【日体】	得
0	小林	GK	小野	0
0	渡辺	FB	望月	0
1	中子	FB	遠藤	0
0	大志田	HB	斉藤	1
0	隅田	HB	山本	0
0	真尾	HB	狩野	0
3	五十畑	FW	石田	3
0	吉田	FW	皆川	3
1	浅川	FW	浅野	1
0	樽見	FW	金原	1
1	松山	FW	幸田	0
6	(32)	FT	(32)	9

◇交代【日】FW片山、柳沢【早】FW岩木、佐藤（いずれも得0）

全日体大は2連勝

▼女子1回戦
大谷ク（大阪）4（ー、ー）3 太田二高（茨城）
水海道二高（茨城）5（2―0、3―0）0 平塚江南高ク（神奈川）
熊谷女高（埼玉） 棄権 平塚ク（神奈川）
両国ク（東京）×福島ク（福島）は両者棄権で不正立

▽同準々決勝
熊谷女高 4（3―0、1―3）3 日体大（東京）
水海道二高 4（2―0、2―3）3 二階堂ク（東京）
大谷ク 8（2―3、2―1：0―2、2―0：1―0、1―0）6 全山梨（山梨）

全静岡城北高（静岡）＝不戦勝

▽同準決勝
水海道二高 3（2―0、1―1）1 大谷ク
全静岡城北高 10（7―0、3―3）3 熊谷女高

▽同3位決定戦
熊谷女高 9（6―6、2―2：0―0、1―0）8 大谷ク

▽同決勝
全静岡城北高 9（4―2、5―0）2 水海道二高

得	【水海】		【静岡】	得
0	渡辺	GK	杉山	0
0	岡田	FB	遠藤	1
0	高木	FB	清水	0
0	中島	HB	岡本	0
0	深作	HB	佐野	0
0	宮本	HB	高橋	0
0	羽富	FW	梅原	2
0	田中	FW	藤波	3
0	中村	FW	角野	0
1	増山	FW	永田	0
1	吉川	FW	勝間田	3
2	(19)	FT	(27)	9

全静岡城北高は2連勝

第7回

（昭和30年8月25～27日・兵庫県明石市）

▼男子1回戦
明星ク（東京）25（ー、ー）7 富田林（大阪）
兵庫工ク（兵庫） 棄権 全茨城大（茨城）

▽同2回戦
日体大（東京）31（ー、ー）8 明星ク
芝浦工大（東京）24（ー、ー）7 大阪市大（大阪）
兵庫ク（兵庫） 棄権 呉宮原OB（広島）
全関学（兵庫）26（ー、ー）7 かがり火ク（岐阜）
教大（東京）25（ー、ー）4 甲南大（兵庫）
山口ク（山口）32（ー、ー）8 愛工OBク（愛知）
日体大C（東京）16（ー、ー）12 五陵ク（愛知）
三田ク（東京）23（9―2、14―1）3 大垣南高（岐阜）
セントポール・ク（東京）19（ー、ー）6 兵庫工ク
関大（大阪）19（ー、ー）15 全鎌倉ク（神奈川）
六陵ク（大阪）29（ー、ー）6 高津ク（大阪）
西日本日体OB（福岡）26（ー、ー）7 大阪歯大（大阪）
クローバー倶（京都）14（ー、ー）11 教大B（東京）
明大（東京）14（6―0、8―0）0 東京球友会（東京）
愛知学芸大（愛知）11（ー、ー）10 明石ク（兵庫）
日体大B（東京）10（ー、ー）8 全早大（東京）

▽同3回戦
日体大 25（ー、ー）15 芝浦工大
全関学 28（ー、ー）7 兵庫ク
教大 18（ー、ー）15 山口ク
三田ク 13（8―1、5―9）10 日体大C
関大 12（ー、ー：ー、ー）12 セントポール・ク 引き分け
抽せんで関大の勝ち
西日本日体OB 19（ー、ー）11 六陵ク
明大 16（ー、ー）4 クローバー倶
日体大B 19（ー、ー）17 愛知学芸大

▽同準々決勝
日体大 14（5―6、9―4）10 全関学
教大 15（5―4、10―5）9 三田ク
西日本日体OB 19（7―11、12―2）13 関大
明大 11（4―5、3―2：3―1、1―0）8 日体大B

▽同準決勝
教大 10（7―3、3―2）5 日体大
西日本日体OB 10（5―6、5―2）8 明大

▽同3位決定戦
明大 13（8―5、5―8）13 日体大 引き分け（両者3位）

▽同決勝
西日本日体OB 11（5―3、6―4）7 教大

【教大】		【西日】
星野	GK	光島
天野	FB	望月
須藤	FB	中出
佐々木	HB	狩野
平地	HB	山本
塩沢	HB	瀬尾
沢田	FW	中西
新村	FW	村田
大迫	FW	小袋
渡部	FW	高山
佐野	FW	石田
(2) (25)	13MT ST	(2) (30)

西日本日体OBは初優勝

▼女子1回戦
半田高（愛知） 棄権 大谷ク（大阪）

▽同準々決勝

寝屋川ク（大阪） 12 1 明石ク（兵庫）

稲沢ク（愛知） 13 2 梅花ク（大阪）

水海道二高（茨城） 7 4 岩和田ク（大阪）

半田高 9 8 日体大（東京）

▽同準決勝

半田高 4（2－3, 2－0）3 寝屋川ク

水海道二高 3（2－1, 1－1）2 稲沢ク

▽同3位決定戦

寝屋川ク 10（7－0, 3－3）3 稲沢ク

▽同決勝

水海道二高 8（3－4, 5－3）7 半田高

【半田】		【水海】
本間	GK	渡辺
岡戸 杉本	FB	古谷 色川
山本 村山 桑山	HB	石塚 富山 串田
沢田 瀬川 則武 黒野 滝本	FW	吉川 須賀 増山 中村 羽富
西岡 長坂	交代	飯島 本田

水海道二高は初優勝

第8回

（昭和31年8月4～8日・静岡県清水市）

▼男子1回戦

鎌倉学園OB（神奈川） 10 9 全立大（東京）

静大ク（静岡） 12 7 明星ク（東京）

全早大（東京） 16 15 富山ク（富山）

足利ク（栃木） 棄権 関東学院高ク（神奈川）

全芝工大（東京） 29 5 愛知学芸大（愛知）

全慶応（東京） 16 14 全静岡（静岡）

全日体大（東京） 26 6 五陵ク（愛知）

明大（東京） 25 10 奈良ク（奈良）

桜丘会（愛知） 14 10 全関学（兵庫）

日体大（東京） 19 7 鎌倉学園高（神奈川）

清水商高（静岡） 棄権 三浦学苑ク（神奈川）

岡崎ク（愛知） 8 2 慶大（東京）

芝浦工大（東京） 19 7 全茨城大（茨城）

セントポール・ク（東京） 棄権 桐生ク（群馬）

▽同2回戦

全教大（東京） 22（11－2, 11－2）4 鎌倉学園OB

全早大 15（8－1, 7－2）3 静大ク

全芝工大 22（13－2, 9－3）5 足利ク

全日体大 19（9－2, 10－4）6 全慶応

桜丘会 14（8－7, 6－5）12 明大

芝浦工大 13（8－1, 5－5）6 岡崎ク

清水商高 20（4－1, 3－4 : 8－6, 5－7）18 日体大

西日本日体OB（福岡） 14（8－6, 6－6）12 セントポール・ク

▽同準々決勝

全教大 19（14－3, 5－4）7 全早大

全日体大 20（3－3, 17－6）9 全芝工大

桜丘会 21（11－4, 10－3）7 清水商高

西日本日体OB 14（5－3, 9－3）6 芝浦工大

▽同準決勝

全日体大 8（3－5, 5－2）7 全教大

西日本日体OB 13（5－4, 8－5）9 桜丘会

▽同3位決定戦

全教大 22（11－4, 11－4）8 桜丘会

▽同決勝

全日体大 14（9－4, 5－3）7 西日本日体OB

【日体】		【西日】
小野	GK	光島
遠藤 堀	FB	望月 瀬尾
小鳥居 斉藤 森	HB	狩野 山本 中出
幸田 柳沢 浅野 皆川 竹野	FW	横瀬 中西 村田 高山 広末
（1）	MT	（0）
（31）	T	（36）

13MT

全日体大は2年ぶり3度目の優勝

▼女子1回戦

日体大（東京） 棄権 岩井高（茨城）

二階堂ク（東京） 10（4－1, 6－0）1 五陵ク（愛知）

▽同準々決勝

水海道二高ク（茨城） 7（3－1, 4－2）3 二階堂ク

全静岡北高（静岡） 11（3－0, 8－0）0 大谷高（大阪）

梅花学園（大阪） 棄権 稲沢ク（愛知）

半田高（愛知） 12（1－2, 3－0 : 5－4, 3－4）10 日体大

▽同準決勝

全静岡北高 3（1－0, 2－2）2 水海道二高ク

半田高 18（9－2, 9－1）3 梅花学園

▽同3位決定戦

水海道二高ク 8（5－1, 3－3）4 梅花学園

▽同決勝

半田高 9（4－3, 5－3）6 全静岡北高

【静岡】		【半田】
杉山	GK	本間
遠藤 岡本	FB	滝本 竹本
杉浦 佐野 永田	HB	八谷 黒野 西岡
手沢 湯沢 梅原 岡尾 藤波	FW	桑山 瀬川 則武 磯部 沢田
松浦 望月 吉沢	交代	青木 村瀬 田中

半田高は初優勝

第9回

（昭和32年7月27～31日・富山県氷見市）

▼男子1回戦

全芝工大（東京） 26（16－1, 10－0）1 都留ク（山梨）

中大（東京） 12（7－1, 5－2）3 篝火ク（岐阜）

京都パレス（京都） 棄権 奈良ク（奈良）

旭桜ク（東京） 14（6－3, 8－4）7 立命館大（京都）

千代田ク（東京） 15（8－4, 7－2）6 富山商高（富山）

山口ク（山口） 13（5－2, 8－3）5 府中ク（東京）

▽同2回戦

全日体大（東京） 11（4－3, 7－7）10 全芝工大

富山ク（富山） 8（5－0, 3－3）3 中大

富山商OB（富山） 9（5－4, 4－3）7 五商ク（東京）

桜丘会（愛知） 19（10－3, 9－3）6 京都パレス

全教大（東京） 12（8－3, 4－5）8 旭桜ク

芝浦工大（東京） 13（4－3, 5－5 : 1－3, 3－1）12 氷見高（富山）

千代田ク 12（5－3, 7－3）6 高岡三日会（富山）

西日本日体OB（福岡） 13（5－3, 8－7）11 山口ク

▽同準々決勝

全日体大 13（6－4, 7－4）8 富山ク

桜丘会 26（14－1, 12－1）2 富山商OB

全教大 10（3－6, 7－3）9 芝浦工大

西日本日体OB 23（1－2, 2－0 : 1－3, 5－3 : 8－7, 6－7）22 千代田ク

▽同準決勝

全日体大 12（5－5, 7－5）10 桜丘会

西日本日体OB 10（5—0 5—6）6 全教大

▽同3位決定戦

桜丘会 18（10—5 8—8）13 全教大

▽同決勝

全日体大 11（4—5 7—5）10 西日本日体OB

【日体】		【西日】
加藤	GK	光島
渡辺 堀田	FB	望月 岡本
梅田 東 松田	HB	狩野 森 森山
小林 大西 山野 長内 竹野	FW	丸岡 広末 幸田 村田 中西
(34)	ST	(33)
(15)	FT	(30)

全日体大は2年連続4度目の優勝

▼女子1回戦＝7人制初採用

日体大（東京）8（3—0 5—0）0 梅花学園（大阪）

愛知紡（愛知）7（1—1 6—1）2 有磯高（富山）

高岡商高（富山）2（1—1 1—0）1 二階堂ク（東京）

▽同準決勝

比美ク（富山）10（4—0 6—1）1 日体大

愛知紡 12（5—2 7—2）4 高岡商高

▽同3位決定戦

比美ク 2（1—0 1—1）1 高岡商高

▽同決勝

愛知紡 10（3—1 7—2）3 日体大

第10回

日・山口県下関市）（昭和33年8月19～23

▼男子1回戦

徳山高OB（山口）12（—　—）11 西南ク（福岡）

【日体】		【愛紡】
山川	GK	百瀬
馬場 国定	FB	則武 滝本
清田	HB	桑山
渡辺 板谷 竹田	FW	黒野 瀬川 平川
内田 雨宮 重光 岩上 桑原	交代	高城 伊藤 久保

愛知紡は初優勝

京都ク（京都）17（—　—）9 岡山工高（岡山）

岩国工高（山口）11（—　—）3 奈良高OB（奈良）

下関幡生工高OB（山口）14（—　—）7 奈良航空自衛隊幹部候補生学校（奈良）

宇部工OB（山口）18（—　—）2 都留ク（山梨）

小倉工OB（福岡）17（—　—）6 四日市商高（三重）

全教大（東京）20（—　—）4 下関西高旭陵ク（山口）

桜丘会（愛知）40（—　—）7 下関西高（山口）

呉ク（広島）15（—　—）6 福岡工OB（福岡）

山口ク（山口）20（—　—）15 住化菊本（愛媛）

全芝工大（東京）21（—　—）7 山口大（山口）

高津ク（大阪）20（—　—）8 済々黌高（熊本）

中大（東京）14（—　—）7 宇部曹達工業（山口）

下関幡生工高（山口）21（—　—）10 奈良育英OB（奈良）

▽同2回戦

全日体大（東京）14（7—1 7—2）3 徳山高OB

京都ク 16（8—5 8—2）7 岩国工高

下関幡生工高OB 11（7—5 4—3）8 宇部工OB

全教大 10（4—5 6—4）9 小倉工OB

桜丘会 30（12—5 18—1）6 呉ク

全芝工大 15（8—9 7—2）11 山口ク

中大 13（5—5 8—2）7 高津ク

西日本日体OB（福岡）26（13—2 13—3）5 下関幡生工高

▽同準々決勝

全日体大 20（10—7 10—4）11 京都ク

全教大 17（10—4 7—4）8 下関幡生工高OB

桜丘会 20（12—11 8—8）19 全芝工大

西日本日体OB 17（9—6 8—5）11 中大

▽同準決勝

全日体大 16（4—4 5—5 ： 3—3 4—1）13 全教大

桜丘会 15（6—3 9—6）9 西日本日体OB

▽同3位決定戦

西日本日体OB 12（2—3 10—3）6 全教大

▽同決勝

全日体大 19（9—9 10—8）17 桜丘会

▼女子1回戦

明善ク（福岡）9（4—0 5—1）1 岸和田ク（大阪）

南筑高（福岡）棄権 栃木高（栃木）

【日体】		【桜丘】
北川	GK	鈴木
東 滝口	FB	伊藤 中津
豊島 松田 梅田	HB	斉藤 横井 角井
井上 桑原 竹野 山下 大西	FW	高村 浅野 稲熊 牧野 長田
(0)	13MT	(3)
(36)	ST	(42)

全日体大は3年連続8度目の優勝

▽同準々決勝

明善ク 10（5—1 5—2）3 日体大（東京）

今治西高OG（愛媛）7（6—0 1—2）2 厚狭高（山口）

岩国商高（山口）7（1—0 6—3）3 北摂ク（大阪）

愛知紡（愛知）12（7—1 5—6）7 南筑高

▽同準決勝

明善ク 12（6—3 6—0）3 今治西高OG

愛知紡 17（11—1 6—6）7 岩国商高

▽同3位決定戦

岩国商高 7（3—0 2—5 ： 0—0 2—0）5 今治西高OG

▽同決勝

愛知紡 11（5—2 6—1）3 明善ク

【明善】		【愛紡】
大津	GK	百瀬
安徳 岩橋	FB	則武 滝本
宮崎	HB	桑山
檜橋 平尾 村田	FW	黒野 瀬川 沢田
仲 佐藤 古賀 原武 国武 寺崎	交代	平川 高城 伊藤 篠原

愛知紡は2連勝

第11回（昭和34年8月13日～17日・熊本県水俣市）

▼男子1回戦

芝浦ク（東京）22（10 12－2 2）4 熊本商高（熊本）
明大（東京）17（9 8－6 10）16 熊本商大（熊本）
全明大（東京）20（12 8－3 4）7 天草高ク（熊本）
芝浦工大（東京）33（18 15－0 1）1 四日市商高（三重）
熊本市商高（熊本）12（4 8－4 5）9 聖ポール倶（熊本）
中大（東京）棄権 大山町体協（富山）
天城高OB（岡山）12（－）11 住友化学菊本（愛媛）
豊陵会（大阪）15（－）11 福岡ク（福岡）
山口ク（山口）27（－）3 水俣ク（熊本）
全教大（東京）15（－）4 済々黌OB（熊本）
西南ク（福岡）26（－）6 鹿児島工高（鹿児島）
旭桜ク（東京）棄権 福岡工ク（福岡）
桜丘会（愛知）32（－）5 玉名高OB（熊本）

▽同2回戦

全日体大（東京）15（10 5－7 3）10 芝浦ク
明大 21（9 12－8 6）14 天城高OB
全明大 15（8 7－5 7）12 西日本日本OB（福岡）
中大 16（10 6－6 2）8 旭桜ク
芝浦工大（東京）17（10 7－9 6）15 桜丘会
全教大 19（2 1：2 1：7 6－1 1：2 1：8 5）18 小倉工OB（福岡）
豊陵会 19（10 9－6 6）12 山口ク
熊本市商高 13（6 7－5 5）10 西南ク

▽同準々決勝

全日体大 22（9 13－3 0）3 明大
豊陵会 22（12 10－8 7）15 全教大
全明大 19（10 9－4 0）4 熊本市商高
芝浦工大 15（8 7－3 6）9 中大

▽同準決勝

全日体大 23（14 9－12 6）18 豊陵会
芝浦工大 24（13 11－8 8）16 全明大

▽同3位決定戦

全明大 18（7 11－7 9）16 豊陵会

▽同決勝

芝浦工大 18（8 10－10 5）15 全日体大

【日体】		【芝浦】
北川	GK	福本
滝口	FB	尾藤
久保田	FB	田口
豊島	HB	村上
松田	HB	黒沢
東	HB	高井
竹野	FW	佐藤
大西	FW	服部
山野	FW	山田
福山	FW	宮原藤
井口	FW	宮原俊
38	ST	36
25	FT	20

◇交代【芝】FW塩川、GK鷹見、【日】FW山下、GK福田

芝浦工大は初優勝

▼女子1回戦

愛知紡（愛知）19（－）3 菊池農蚕高（熊本）
寝屋川ク（大阪）9（－）5 南筑高（福岡）
熊本市高（熊本）14（6 8－1 0）1 日女体短大（東京）
水海道二高ク（茨城）12（6 6－0 0）0 玉名高（熊本）
熊本ク（熊本）13（－）2 梅花ク（大阪）
八条ク（京都）8（－）3 水俣高（熊本）
清水女高（静岡）6（2 4－0 4）4 尚絅高（熊本）
日体大（東京）11（5 6－8 2）10 明善ク（福岡）

▽同準々決勝

愛知紡 5（2 3－1 0）2 寝屋川ク
熊本市高 6（2 0：0 4－0 1：0 4）5 水海道二高ク
日体大 2（2 0－0 0）0 清水女高
熊本ク 19（9 10－0 1）1 八条ク

▽同準決勝

愛知紡 11（2 9－2 1）3 熊本市高
熊本ク 13（5 8－2 1）3 日体大

▽同3位決定戦

熊本市高 6（3 3－2 1）3 日体大

▽同決勝

愛知紡 8（3 5－4 3）7 熊本ク

【熊本】		【愛紡】
境	GK	野崎
溝部	FB	滝本
蒲原	FB	山崎
井手	HB	瀬川
村上	FW	沢田
関	FW	青木
今池	FW	磯部
山崎	交代	黒野
内田	交代	桑山
	交代	大田
	交代	金沢
23	ST	22
1	7MT	1

愛知紡は3連勝

第12回（昭和35年8月11日～14日・秋田県大曲、湯沢）

▼男子1回戦

全立大（東京）16（11 5－7 8）15 住友化学菊本（愛媛）
全法政（東京）16（11 5－6 9）15 関西日体ク（大阪）
桜丘会（愛知）15（4 11－7 4）11 日体大（東京）
全教大（東京）21（12 9－9 6）15 桐生ク（群馬）
東北学院大（宮城）12（7 5－1 4）5 寝屋川ク（大阪）
京都ク（京都）11（7 4－1 2）3 明大（東京）
山陽ク（広島）棄権 全関学（兵庫）

▽同2回戦

芝浦工大（東京）24（10 14－4 3）7 全立大
白亜ク（岩手）11（1 3：3 4－0 0：5 2）7 全法政
法大（東京）21（9 12－1 1）2 大曲高（秋田）
桜丘会 22（13 9－6 6）12 明星ク（東京）
大崎電気（東京）13（7 6－4 6）10 全教大
全明大（東京）22（14 8－4 2）6 山陽ク
滴水会（東京）13（8 5－4 3）7 東北学院大
全日体大（東京）6（5 1－3 2）5 京都ク

▽同準々決勝

芝浦工大 11（6 5－4 0）4 白亜ク
桜丘会 9（5 4－3 5）8 全明大
大崎電気 11（6 5－3 5）8 滴水会
全日体大 12（7 5－2 3）5 法大

▽同準決勝

芝浦工大 20（10 10－6 1）7 桜丘会
大崎電気 12（4 1：2 5－1 0：3 4）8 全日体大

▽同3位決定戦

全日体大 18（7 11－6 5）11 桜丘会

▽同決勝

芝浦工大 13（2 3：1 7－1 1：5 3）10 大崎電気

得	【大崎】		【芝浦】	得
0	今野	GK	福本	0
0	高森	FB	尾藤	0
0	高橋	FB	村上	0
1	村上	HB	勝倉	0
0	黒沢	HB	田口	0
0	高井	HB	武井	1
2	宮原俊	FW	佐藤	4
0	中山	FW	北村	4
1	宮原藤	FW	山田	1
1	井上	FW	金山	1
5	竹野	FW	塩川	2
	31	ST	28	
	29	FT	37	

（審・勝）

【大】FW五十嵐（得0）
芝浦工大は2連勝

▼女子1回戦

寝屋川ク（大阪） 8（5—0 3—1）1 富士宮東高（静岡）
熊本商大ク（熊本） 28（13—2 15—0）2 全岩井高ク（茨城）
清水女商（静岡） 7（5—1 2—0）1 六郷高（秋田）

▽同準々決勝

水海道二高ク（茨城） 12（7—2 5—0）2 秋田和洋女高（秋田）
日体大（東京） 7（5—1 2—1）2 寝屋川ク
清水女商 4（2—3 2—0）3 梅花ク（大阪）
愛知紡（愛知） 6（1—3 5—2）5 熊本商大ク

▽同準備決勝

日体大 4（4—2 0—1）3 水海道二高ク
愛知紡 14（10—0 4—0）0 清水女商

▽同3位決定戦

水海道二高ク 8（3—0 5—1）1 清水女商

▽同決勝

愛知紡 10（3—3 7—2）5 日体大

得	【愛紡】		【日体】	得
0	野崎	GK	山田	0
0	山崎	FB	本多	0
0	宮本		藪田	0
2	塚原	HB	小林	3
3	磯部	FW		
1	青木		高木	1
4	沢田		高橋	0
0	金沢		村上	1
0	山田			
0	新美			
0	藪内			
10	(35)	ST	(28)	5
	(14)	FT	(24)	

愛知紡は4連勝

第13回

（昭和36年8月13日〜17日・岡山県倉敷市）

▼男子1回戦

全教大（東京） 30（15—1 15—3）4 小松実業高（石川）
全関学（兵庫） 18（7—6 11—4）10 福岡ク（福岡）
全同大（京都） 25（11—7 14—4）11 大阪府大（大阪）
法大（東京） 24（11—2 13—1）3 天城高OB（岡山）
明大（東京） 14（9—1 5—4）5 全大阪経大（大阪）
法友ク（東京） 16（8—6 8—8）14 全岡山（岡山）

▽同2回戦

イーグルス（大阪） 24（12—7 12—5）12 明星ク（東京）
立大（東京） 24（13—6 11—4）10 全岡山B（岡山）
全慶応（東京） 15（10—3 5—2）5 天城高（岡山）
京都ク（京都） 15（5—2 10—3）5 防衛大（神奈川）
明友会（東京） 14（6—5 8—2）7 津山商高（岡山）
弦月会（兵庫） 16（8—4 8—6）10 全盈進商（広島）
日体大（東京） 20（8—2 12—0）2 倉敷ク（岡山）
芝浦ク（東京） 22（9—3 13—2）5 愛知商ク（愛知）
山口ク（山口） 15（7—7 8—7）14 全関大（大阪）
早大（東京） 19（3—1 2—1 : 9—4 5—10）16 桃山学院大（大阪）
全日体大（東京） 16（8—2 8—6）8 明大
全同大 16（9—2 7—8）10 住友化学菊本（愛媛）
桜丘会（愛知） 24（15—7 9—3）10 法大
全関学 30（16—0 14—0）0 桃山ク（京都）
芝浦工大（東京） 28（14—3 14—4）7 全教大
大崎電気（東京） 22（10—5 12—3）8 法友ク

▽同3回戦

日体大 15（10—5 5—6）11 弦月会
芝浦ク 12（5—4 7—7）11 全慶応
大崎電気 17（9—3 8—5）8 早大
桜丘会 21（13—6 8—7）13 大阪イーグルス
全関学 17（11—7 6—3）10 山口ク
全日体大 21（11—9 10—5）14 立大
全同大 25（11—6 14—4）10 明友会
芝浦工大 15（7—6 8—2）8 京都ク

▽同準々決勝

芝浦工大 16（8—6 8—4）10 全同大
桜丘会 16（9—3 7—6）9 日体大
全日体大 18（10—7 8—7）14 芝浦ク
大崎電気 20（9—9 11—5）14 全関学

▽同準決勝

芝浦工大 21（11—8 10—6）14 桜丘会
大崎電気 14（8—9 6—3）12 全日体大

▽同3位決定戦

桜丘会 24（12—8 12—12）20 全日体大

▽同決勝

芝浦工大 17（8—5 9—9）14 大崎電気

【芝浦】		【大崎】
谷	GK	福本
勝倉	FB	高森
久保		高橋
中村	HB	村上
斉藤		田口
野村		高井
佐藤	FW	杉山
金山		小谷内
森田		宮原藤
北村		井上
越智	（審・荒川）	竹野
34	ST	34
29	FT	48

芝浦工大は3連勝

▼女子1回戦

全尼崎（兵庫） 13（7—0 6—1）1 日女体短大（東京）
三国丘ク（大阪） 9（1—3 8—2）5 日体大OG（東京）
青陵ク（岡山） 8（4—2 4—5）7 清水女商（静岡）
水海道二高（茨城） 9（3—2 6—3）5 梅花ク（大阪）
大洋デパート（熊本） 19（8—2 11—3）5 レナウン（東京）
大崎電気（東京） 12（5—2 7—1）3 稲沢高（愛知）
日体大（東京） 13（6—5 7—1）6 井原高ク（岡山）

▽同準々決勝

愛知紡（愛知） 15（7—4 8—0）4 全尼崎
三国丘ク 没収試合 青陵ク
大洋デパート 12（6—1 6—4）5 水海道二高
大崎電気 14（8—4 6—5）9 日体大

▽同準決勝

愛知紡 15（7—0 8—0）0 三国丘ク
大洋デパート 16（8—6 8—4）10 大崎電気

▽同3位決定戦

大崎電気 11（5—1 6—3）4 三国丘ク

▽同決勝

愛知紡 8（2—0 0—0 : 3—2 3—4）6 大洋デパート

【愛紡】		【大洋】
篠崎	GK	西村美
山崎	B	千原
宮本		徳永
塚原		井手
磯部	FW	今池
青木		久蓮松
山田		西村八
	（審・越智）	交代関
29	ST	19
38	FT	27
0	7MT	1

愛知紡は5連勝

第14回

（昭和37年8月19日〜23日・山口県徳山、下松市）

▼男子1回戦

神戸大（学連・兵庫） 18（7—5 11—6）11 日新製鋼呉（中国・広島）
桃山学院大（学連・大阪） 21（9—7 12—4）11 岐阜ク（東海・岐阜）
中大（学連・東京） 11（5—5 6—3）8 全明大（関東・東京）
全関学（近畿・兵庫） 23（8—6 15—6）12 東北学院大（東北・宮城）
同志社大（学連・京都） 20（3—2 3—3 : 9—8 5—6）19 全岡山（中国・岡山）

全教大（関東・東京）23（11－7、12－5）12 福岡北部ク（九州・福岡）
京都ク（近畿・京都）20（10－8、10－7）15 山口ク（山口）
法大（学連・東京）23（10－8、13－6）14 高津ク（近畿・大阪）
立大（学連・東京）20（12－6、8－6）12 徳山高（山口）

▽同2回戦
全日体大（日推・東京）27（11－8、16－2）10 神戸大
桃山学院大 18（9－8、9－9）17 明星ク（関東・東京）
芝浦工大（日推・東京）22（11－6、11－7）13 立大
中大 13（7－7、6－5）12 住友化学菊本（四国・愛媛）
大崎電気（日推・東京）18（10－6、8－2）8 全関学
広島商大（学連・広島）18（8－5、10－10）15 京都ク
全教大 13（7－5、6－6）11 同志社大
桜丘会（日推・愛知）18（9－8、9－7）15 法大
（ ）内の日推は日本協会推せんを示す

▽同準々決勝
全日体大 24（10－6、14－6）12 桃山学院大
大崎電気 25（13－8、12－4）12 広島商大
桜丘会 17（8－9、9－5）14 全教大
中大 没収試合 芝浦工大

▽同準決勝
全日体大 13（9－2、4－0）2 中大
大崎電気 10（4－3、6－6）9 桜丘会

▽同決勝
大崎電気 17（7－3、10－8）11 全日体大

得	【大崎】		【日体】	得
0	福本	GK	島崎	0
0	高森	FB	北岡	0
0	高橋	FB	久保田	0
1	村上	HB	蓮井	0
0	田口	HB	田上	0
0	高井	HB	東	0
0	金田	FW	小林	2
2	小谷内	FW	北山	3
1	宮原藤	FW	井上	1
6	井上	FW	栗山	2
7	竹野	FW	青木	3
17	（2）	14MT	（5）	11

◇交代【大】FW坂野（得0）【日】FW河上（得0）
大崎電気は初優勝

▼女子1回戦
熊本市高（熊本） 棄権 尼崎高ク（兵庫）
豊陵ク（大阪）10（2－6、8－3）9 中京大（愛知）
秋田和洋女高（秋田）13（4－6、9－5）11 梅花ク（大阪）
寝屋川ク（大阪）15（8－2、7－2）4 岡山ク（岡山）

▽同2回戦
大崎電気（東京）17（9－0、8－2）2 豊陵ク
レナウン東京（東京）8（5－1、3－2）3 徳山高（山口）
日体大（東京）12（3－1、9－2）3 厚狭高（山口）
大洋デパート（熊本）16（10－4、6－2）6 秋田和洋女高
徳山ク（山口）11（7－7、4－3）10 熊本市高
田村紡（三重）9（6－4、3－2）6 レナウン大阪（大阪）
菊池農蚕高（熊本）18（9－2、9－3）5 日女体短大（東京）
愛知紡（愛知）9（6－4、3－3）7 寝屋川ク

▽同準々決勝
大崎電気 10（5－3、5－4）7 レナウン東京
大洋デパート 15（9－5、6－3）8 日体大
田村紡 18（6－6、12－10）16 徳山ク
愛知紡 12（8－4、4－3）7 菊池農蚕高

▽同準決勝
大洋デパート 10（6－2、4－3）5 大崎電気
愛知紡 19（13－4、6－6）10 田村紡

▽同決勝
愛知紡 6（2－2、4－2）4 大洋デパート

得	【愛紡】		【大洋】	得
0	篠崎	GK	木原	0
0	山崎	FP	久蓮松	2
2	宮本	FP	立山	1
2	塚原	FP	徳永	1
0	山田	FP	山口	0
1	青木	FP	千原	0
1	沢田	FP	西村	0
6	（2）	7MT	（3）	4

愛知紡は6連勝

第15回
（昭和38年8月21～25日・新潟県柏崎市）

▼男子1回戦＝7人制初採用
大崎電気（日推・東京） 棄権 安積ク（東北・福島）
法大（学連・東京） 棄権 甲南大（学連・兵庫）
京都ク（近畿・京都）24（11－13、13－9）22 教大（学連・東京）
芝浦工大（学連・東京）28（13－6、15－2）8 東北学院大（学連・宮城）
新三菱重工（特推・愛知）27（15－9、12－13）22 広島商大（学連・広島）
法友ク（関東・東京）21（13－7、8－11）18 新潟教員ク（新潟）
日野自動車（特推・静岡）19（9－8、10－5）13 山口大（学連・山口）
本田技研鈴鹿（特推・三重）30（15－10、15－2）12 柏崎高（新潟）
清商ク（東海・静岡）16（10－7、6－7）14 明大（学連・東京）
住化菊本（四国・愛媛）25（10－9、15－10）19 明石高O・B（近畿・兵庫）
小倉工O・B（九州・福岡）20（5－2：7－8、8－7）17 氷見ク（北信越・富山）
全岐阜（東海・岐阜）33（18－6、15－6）12 柏崎ク（新潟）
明星ク（関東・東京）21（11－9、10－10）19 桜丘会（日推・愛知）
立大（学連・東京）20（7－4、13－6）10 春日丘ク（近畿・大阪）
中大（日推・東京）15（8－7、7－5）12 山口教員団（中国・山口）
全日体大（日推・東京）28（18－4、10－6）10 桃山学院ク（近畿・大阪）
（ ）内の特推は日本協会推せんによる実業団チーム

▽同2回戦
大崎電気 31（17－3、14－8）11 静岡日野自動車
芝浦工大 45（24－3、21－5）8 本田技研鈴鹿
法大 25（12－8、13－7）15 中大
明星ク 30（17－11、13－8）18 全岐阜
清商ク 22（12－10、10－7）17 新三菱重工
京都ク 21（10－10、11－6）16 法友ク
全日体大 29（16－4、13－5）9 小倉工O・B
立大 25（17－5、8－2）7 住友化学菊本

▽同準々決勝
大崎電気 22（11－6、11－5）11 明星ク
立大 19（12－4、7－6）10 京都ク
芝浦工大 25（13－2、12－6）8 法大
全日体大 23（17－5、6－3）8 清商ク

▽同準決勝
立大 15（8－8、7－3）11 大崎電気
全日体大 17（7－8、10－5）13 芝浦工大

▽同決勝

立大 18（10‐6，6‐10，…，2‐0，0‐1）17 全日体大

【日体】得
GK 島崎 0、高橋 0
FP 久保田 0、青木 2、北山 2、東 4、藤原 0、井上 4、小林 5、蓮井 0、沢田 0

【立大】得
GK 尾形 0
FP 安達 4、中根 4、江名 6、田村 2、斉藤 0、高久保 0、松本 2、西村 0

18（2）7MT（2）17

立大は初優勝

▼女子1回戦
栃木女高（栃木）5（4‐1，1‐1）2 徳山高（山口）
東京重機（東京）10（5‐2，5‐5）7 梅花ク（大阪）
水海道二高（茨城）10（4‐4，6‐4）8 京都ク（京都）
レナウン（大阪）23（15‐1，8‐0）1 全中京大（愛知）
清水女高（静岡）11（4‐1，7‐2）3 高岡女高（富山）
徳山ク（山口）11（4‐2，7‐1）3 西峰ク（茨城）

▽同2回戦
愛知紡（愛知）8（4‐2，4‐5）7 栃木女高
大崎電気（東京）12（7‐4，5‐3）7 レナウン（大阪）
東京重機 22（9‐1，13‐1）2 巻高（新潟）
清水女高 14（8‐1，6‐2）3 全新潟（新潟）
田村紡（三重）15（6‐2，9‐1）3 日体大（東京）
常盤高（新潟）6（4‐2，2‐3）5 日女体短大（東京）
大洋デパート（熊本）8（6‐4，2‐3）7 徳山ク（山口）
レナウン東京（東京）18（8‐4，10‐5）9 水海道二高

▽同準々決勝
愛知紡 9（3‐1，6‐2）3 東京重機
レナウン東京 7（3‐3，4‐1）4 田村紡
大崎電気 22（13‐2，9‐3）5 清水女高
大洋デパート 19（9‐0，10‐1）1 常盤高

▽同準決勝
レナウン東京 8（5‐2，3‐4）6 愛知紡
大洋デパート 9（5‐6，4‐2）8 大崎電気

▽同決勝
大洋デパート 7（3‐2，4‐3）5 レナウン東京

【レナ】得
GK 山田 0、柿沼 0
FP 渡辺 1、太田 3、国岡 0、竹本 1、林（悠）0、斉藤 0、川上 0、林（優）0

【大洋】得
GK 木原 0
FP 立山 0、徳永 0、桜木 0、千原 0、西村 2、久蓮松 3、高山 2、中村 0

7（3）7MT（3）5

大洋デパートが初優勝

第16回

（昭和39年8月23〜27日・岐阜県高山市）

▼男子1回戦
芝浦工大（日推・東京）35（17‐4，18‐10）14 広島商大（中国・広島）
全立教（日推・東京）21（6‐9，15‐1）10 住化菊本（四国・愛媛）
東北学院大（学連・宮城）23（6‐9，12‐9，…，5‐2）20 岐阜大（学連・岐阜）
教大（学連・東京）30（12‐7，18‐6）13 本田技研鈴鹿（特推・三重）
G・T・C（岐阜）24（12‐7，12‐8）15 丸善石油（特推・和歌山）
桜丘会（東海・愛知）20（12‐9，8‐9）18 明大（学連・東京）
全桃山学院大（近畿・大阪）17（5‐7，12‐7）14 仙台一高（東北・宮城）
日体大ク（日推・東京）27（11‐6，16‐9）15 京大（学連・京都）
法大（学連・東京）23（9‐8，14‐8）16 中京大（学連・愛知）
足利球友会（関東・栃木）19（10‐3，9‐5）8 加納高（岐阜）
中大（学連・東京）18（8‐9，10‐7）16 日野自動車（特推・静岡）
常盤工業（特推・岐阜）23（14‐7，9‐8）15 日本鋼管（特推・神奈川）
早大（学連・東京）38（21‐6，17‐10）16 大分教員ク（九州・大分）
関学（学連・兵庫）42（17‐5，25‐6）11 法友ク（関東・東京）
全同志社大（近畿・京都）23（14‐10，9‐9）19 清商ク（東海・静岡）
大崎電気（日推・埼玉）34（16‐6，18‐1）7 大阪経大（学連・大阪）

▽同2回戦
全立大 40（22‐0，18‐4）4 足利球友会
大崎電気 40（15‐5，25‐8）13 中大
桜丘会 25（10‐12，15‐12）24 全桃山学院大
G・T・C 20（11‐10，9‐4）14 東北学院大
早大 19（10‐7，9‐5）12 常盤工業
関学 28（14‐7，14‐10）17 全同志社大
日体大ク 32（14‐9，18‐7）16 法大
芝浦工大 25（13‐6，12‐10）16 教大

▽同準々決勝
全立大 38（17‐9，21‐12）21 桜丘会
関学 16（9‐3，7‐7）10 芝浦工大
大崎電気 29（14‐3，15‐2）5 G・T・C
日体大ク 25（10‐6，15‐7）13 早大

▽同準決勝
全立大 23（16‐6，7‐8）14 関学
大崎電気 19（7‐9，12‐5）14 日体大ク

▽同決勝
大崎電気 15（9‐4，6‐9）13 全立大

【立大】得
GK 尾形 0、谷川 0
FP 江名 3、安達 4、中根 2、斉藤 2、木野 2、松本 0、藤城 0、伊東 0、北田 0

【大崎】得
GK 福本 0
FP 田口 0、小谷内 2、北村 1、金田 0、井上 3、竹野 9、坂野 0、宮原宏 0、餅原 0
（審・松本）

15（0）7MT（2）13

大崎電気は2年ぶり2度目の優勝

▽女子1回戦
日体大（東京）10（4‐4，6‐5）9 徳山ク（山口）
清水女高（静岡）11（4‐1，7‐5）6 大垣南高（岐阜）
ロンド工業（茨城）24（12‐1，12‐2）3 近江絹糸（岐阜）
東京重機（神奈川）14（6‐2，8‐1）3 高山高（岐阜）
徳山高（山口）15（3‐4，9‐8，…，3‐2）14 中京大（愛知）
加納高（岐阜）9（6‐1，3‐2）3 尼崎ク（兵庫）

▽同2回戦
大洋デパート（熊本）14（8‐1，6‐3）4 加納高
愛知紡（愛知）13（5‐2，8‐0）2 徳山高
レナウン（大阪）9（3‐2，6‐5）7 日体大
田村紡（三重）16（7‐0，9‐0）0 有磯高（富山）
大崎電気（埼玉）18（9‐1，9‐2）3 清水女高
揖斐川電工（岐阜）17（7‐2，10‐4）6 日女体短大（東京）

レナウン東京（東京） 17（8－2　9－0）2 東京重機
ロンド工業（茨城） 13（6－1　7－3）4 栃木女高（栃木）

▽同準々決勝

愛知紡 4（3－1　1－2）3 田村紡
大崎電気 15（5－6　10－0）6 揖斐川電工
レナウン東京 13（5－5　8－4）9 ロンド工業
大洋デパート 12（7－1　5－5）6 レナウン大阪

▽同準決勝

愛知紡 13（5－3　4－6：1－1　1－1：1－2　1－0）13 レナウン東京
引き分け
抽せんで愛知紡の勝ち
大崎電気 7（3－2　4－1）3 大洋デパート

▽同決勝

大崎電気 11（3－3　8－1）4 愛知紡

得	【大崎】		【愛紡】	得
0	古谷	GK	篠崎	0
0	川崎	GK	小林清	0
2	田村	FP（審・村田）	塚原	0
0	笠原		小林ト	0
2	宇井		関口	0
0	斉藤		古谷	3
3	鈴木		石川	0
3	永井		竹市	1
1	黒川		柴田	0
0	深津		横倉	0
11	（2）	7MT	（2）	4

大崎電気は初優勝

第17回
（昭和40年8月22～26日・大分市）

▼男子1回戦

関大（学連大阪） 26（14－5　12－8）13 常盤工業（東海岐阜）
中大（学連東京） 21（9－12　12－8）20 熊本教員ク（九州・熊本）
日大（関東東京） 21（10－8　11－5）13 宗形製作所（実連・大阪）
日体大ク（日推東京） 32（16－3　16－9）12 広島商大（学連広島）
奈良ク（近畿奈良） 34（14－14　20－4）18 大分教員（大分）
明大（学連東京） 16（6－8　10－4）12 日本鋼管（実連神奈川）
芝浦工大（日推東京） 26（11－7　15－7）14 本田技研鈴鹿（東海・三重）
慶大（学連東京） 15（6－7　9－7）14 住友化学菊本（四国・愛媛）
千代田印刷機製造（実連東京） 27（9－8　18－7）15 茨城大（学連茨城）
同志社大（日推京都） 26（12－10　14－10）20 順天堂ク（関東千葉）
京大（学連京都） 24（12－8　12－13）21 岡野バルブ（実連・福岡）
教大（学連東京） 22（8－10　14－7）17 徳山ク（中国山口）
東北学院大（学連・宮城） 33（14－14　19－6）20 大分ク（大分）

▽同2回戦

全立大（日推東京） 21（6－7　15－8）15 関大
中大 23（13－6　10－12）18 日体大
日体大ク 40（24－7　16－10）17 奈良ク
芝浦工大 29（14－5　15－10）15 明大
大阪イーグルス（近畿大阪） 19（5－8　14－6）14 慶大
同志社大 21（9－5　12－10）15 千代田印刷機製造
京大 18（12－10　6－6）16 教大
大崎電気（日推埼玉） 27（14－2　13－1）3 東北学院大

▽同準々決勝

全立大 28（9－5　19－6）11 中大
芝浦工大 31（15－6　16－7）13 日体大ク
大阪イーグルス 28（9－8　11－12：2－0　6－3）23 同志社大
大崎電気 29（13－3　16－7）10 京大

▽同準決勝

芝浦工大 15（8－5　7－6）11 全立大
大崎電気 21（10－4　11－7）11 大阪イーグルス

▽同決勝

大崎電気 23（11－5　12－6）11 芝浦工大

得	【大崎】		【芝浦】	得
0	福本	GK	渡辺	0
		GK	山村	0
1	田口	FP（審・佐野）	小林	1
0	小谷内		千ケ崎	0
0	北村		吉金	1
4	金田		近藤	4
1	宮原藤		近森	2
6	竹野		岩崎	0
9	井上		関根	0
2	餅原		山田	0
0	西村		竹内	3
23	（3）	7MT	（5）	11

大崎電気は2年連続3度目の優勝

▼女子予選トーナメント1回戦

清水女高（静岡） 8（5－5　3－2）7 臼杵高（大分）
大分府内ライオンズ（大分） 9（2－1　7－3）4 大垣南高（岐阜）
田村紡（三重） 14（10－3　4－0）3 徳山高（山口）
愛知紡（愛知） 10（4－6　6－2）8 日体大（東京）
大分東高（大分） 15（7－6　8－4）10 揖斐川電工（岐阜）
東京重機（神奈川） 26（11－1　15－0）1 大分商高（大分）

▽同2回戦

大崎電気（埼玉） 22（12－0　10－0）0 清水女高
田村紡 18（10－1　8－1）2 大分府内ライオンズ
愛知紡 17（8－2　9－2）4 大分東高
大洋デパート（熊本） 13（6－4　7－7）11 東京重機

▽同決勝リーグ

大崎電気 9（5－2　4－3）5 田村紡
大洋デパート 8（5－3　3－2）5 愛知紡
大崎電気 13（9－3　4－3）6 愛知紡
大洋デパート 7（3－3　4－3）6 田村紡
大洋デパート 8（4－2　4－5）7 大崎電気

【大洋】
K｛山口、小原
F｛久蓮松、西村、高山、中村、枝尾、新保、射場、稲田、隈、木原、田中

田村紡 18（10－1　8－3）4 愛知紡

【順位】①大洋デパート＝2年ぶり2度目の優勝②大崎電気③田村紡④愛知紡

第18回
（昭和41年8月21～25日・埼玉県浦和市）

▼男子1回戦

常盤工業（東海岐阜） 27（14－7　13－11）18 中京大（学連愛知）
法大（関東東京） 20（12－8　8－3）11 埼玉教員ク（埼玉）
関学（学連兵庫） 14（7－5　7－6）11 千代田印刷機製造（実連・東京）
同志社大（日推京都） 25（11－4　14－9）13 大分ク（九州大分）
中大（学連東京） 21（8－7　13－2）9 住化菊本（実連愛媛）
星友会（近畿京都） 13（7－7　6－4）11 明大（学連東京）
大阪イーグルス（日推・大阪） 28（11－5　17－9）14 全広島商大（中国・広島）
全立大（日推東京） 22（10－3　12－2）5 西南学院大（学連・福岡）
日体大（学連東京） 22（12－6　10－4）10 本田技研鈴鹿（実連・三重）

新潟教員ク（北信越・新潟）没収試合 大阪経大（近畿・大阪）
関大（学連・大阪）20（10－6・10－11）17 桜丘会（東海・愛知）
滴水会（埼玉）26（14－8・12－9）17 東北大（東北・宮城）
東京教大（学連・東京）17（6－6・11－9）15 宗形製作所（実連・大阪）
甲南大（学連・兵庫）16（6－6・10－9）15 塩山ク（関東・山梨）

▽同2回戦

芝浦工大（日推・東京）25（11－6・14－4）10 常盤工業
関学 18（6－5・12－8）13 法大
同志社大 14（8－5・6－8）13 中大
大阪スイーグルス 20（6－7・14－5）12 星友会
全立大 14（4－5・10－6）11 日体大
関大 34（17－8・17－4）12 新潟教員
滴水会 17（7－10・10－6）16 東京教大
大崎電気（日推・埼玉）22（10－6・12－6）12 甲南大

▽同準々決勝

芝浦工大 25（9－9・16－6）15 関学
大阪スイーグルス 17（10－8・7－7）15 同志社大
全立大 24（11－6・13－13）19 関大
大崎電気 25（13－6・12－6）12 滴水会

▽同準決勝

芝浦工大 35（17－7・18－10）17 大阪スイーグルス
全立大 24（9－4・15－4）8 大崎電気

▽同決勝

全立大 21（9－8・12－6）14 芝浦工大

得	【立大】		【芝浦】	得
0	尾形	GK	山村	0
5	木野	FP	近藤	3
3	東		岩崎	3
0	北井		関根	0
4	北村		片山	0
4	野田	（審・岡村）	山田	2
0	藤城		近森	5
0	小野口		竹内	1
5	江名		小林	0
0	倉前		白神	0
21	（4）	7MT	（2）	14

全立大は初優勝

▼女子1回戦

昭島ク（東京）15（8－2・7－4）6 深谷女高（埼玉）
東京重機（神奈川）19（8－1・11－5）6 熊谷商高（埼玉）
日体大（東京）18（10－0・8－2）2 小山城南高（栃木）
大崎電気（埼玉）21（9－0・12－0）0 栃木女高（栃木）
愛知紡（愛知）14（9－6・5－1）7 清水女高（静岡）
三菱鉛筆（山形）19（9－0・10－2）2 浦和市高（埼玉）
田村紡（三重）18（11－5・7－4）9 大分府内ライオンズ・ク（大分）

▽同準々決勝

大洋デパート（熊本）18（8－4・10－3）7 昭島ク
日体大 16（7－6・9－4）10 東京重機
大崎電気 24（13－3・11－6）9 愛知紡
田村紡 14（8－1・6－3）4 三菱鉛筆

▽同準決勝

大洋デパート 14（8－2・6－6）8 日体大
大崎電気 8（4－2・4－4）6 田村紡

▽同決勝

大崎電気 12（4－3・8－1）4 大洋デパート

得	【大崎】		【大洋】	得
0	川崎	GK	山口	0
0	古谷	GK	小原	0
3	笠原	FP	新保	1
3	早川		中村	0
0	宇井		高山	0
2	黒川		射場	1
4	鈴木	（審・佐野）	今村	1
0	堀		枝尾	1
0	加藤		稲田	0
0	小林		木原	0
0	木幡		垂水	0
12	（0）	7MT	（0）	4

大崎電気は2年ぶり2度目の優勝

第19回

（昭和42年8月22～26日・福井県高浜町）

▼男子1回戦

大阪経大（学連・大阪）22（11－7・11－7）14 日本鋼管福山（実連・福島）
本田技研鈴鹿（実連・三重）25（13－11・12－10）21 東北学院大（東北・宮城）
埼玉教員ク（関東・埼玉）24（12－8・12－5）13 中大（学連・東京）
早大（学連・東京）31（11－4・20－4）8 奈良ク（近畿・奈良）
宗形製作所（実連・大阪）27（14－8・13－4）12 高知ク（四国・高知）
甲南大（学連・兵庫）20（12－7・8－9）16 福井教員（福井）
大阪スイーグルス（日推・大阪）19（8－5・11－11）16 中京ク（東海・愛知）
大崎電気（日推・埼玉）19（9－5・10－6）11 関大（学連・大阪）
氷見ク（北信越・富山）21（8－5・13－9）14 名古屋大（学連・愛知）
住化菊本（実連・愛媛）25（10－7・15－11）18 熊本教員（九州・熊本）
日体大（学連・東京）34（12－7・22－14）21 自衛隊勝田（関東・茨城）
同志社大（日推・京都）23（8－9・15－2）11 常盤工業（実連・岐阜）
東京教大（学連・東京）35（17－5・18－11）16 佐野工ク（近畿・大阪）
東北大（学連・宮城）25（12－6・13－12）18 福井大（福井）
芝浦工大（日推・東京）25（12－7・13－6）13 清商ク（東海・静岡）

▽同2回戦

全立大（日推・東京）28（12－3・16－9）12 大阪経大
大崎電気 29（12－7・17－5）12 氷見ク
埼玉教員ク 25（11－8・14－7）15 本田技研鈴鹿
日体大 31（18－4・13－9）13 住友化学菊本
早大 21（7－5・14－8）13 宗形製作所
東京教大 32（13－7・19－9）16 同志社大
芝浦工大 38（17－6・21－9）15 東北大

▽同準々決勝

大阪スイーグルス 29（7－12・22－5）17 甲南大
全立大 34（13－9・21－9）18 埼玉教員ク
大阪スイーグルス 21（11－3・10－7）10 早大
大崎電気 20（7－7・13－10）17 日体大
東京教大 26（12－10・14－8）18 芝浦工大

▽同準決勝

全立大 28（11－4・17－5）9 大阪スイーグルス
大崎電気 22（11－10・11－10）20 東京教大

▽同決勝

大崎電気 20（10－3・10－10）13 全立大

得	【大崎】		【立教】	得
0	福本	GK	天野	0
0	下里	GK	川口	0
0	金田	FP	木野	2
0	加藤		東	3
6	井上		北井	2
4	近藤	（審・佐野）	野田	0
5	西村		北村	4
5	竹野		小野口	2
0	片山		有永	0
0	田口		倉前	0
			加藤	0
20	（1）	7MT	（1）	13

大崎電気は2年ぶり4度目の優勝

▼女子予選リーグA組

大崎電気（埼玉）18（12－1・6－0）1 ブラザー工業（愛知）
有磯高（富山）13（6－1・7－4）5 宗形製作所（大阪）
ブラザー工業 7（7－3・0－2）5 有磯高
大崎電気 35（20－0・15－0）0 宗形製作所
ブラザー工業 18（8－2・10－6）8 宗形製作所

大崎電気 27（18−1 9−1）2 有磯高

▽同B組

小松女高OG（石川） 7（3−4 4−1）5 美和ク（東京）

田村紡（三重） 11（4−4 7−3）7 三菱鉛筆（神奈川）

田村紡 26（16−0 10−0）0 小松女高OB

三菱鉛筆 19（12−0 7−0）0 美和ク

三菱鉛筆 23（11−1 12−1）2 小松女高OG

田村紡 22（13−2 9−0）2 美和ク

▽同C組

大洋デパート（熊本） 27（14−0 13−4）4 清水女高（静岡）

全福井ク（福井） 12（9−3 3−3）6 日女体大（東京）

大洋デパート 26（19−1 7−2）3 全福井ク

清水女高 14（6−4 8−4）8 日女体大

清水女高 10（7−2 3−2）4 全福井ク

大洋デパート 28（11−2 17−1）3 日女体大

▽同D組

愛知紡（愛知） 13（5−6 8−2）8 東京重機（東京）

日体大（東京） 10（7−0 3−0）0 福井商高（福井）

愛知紡 17（7−0 10−2）2 福井商高

日体大 14（6−2 8−1）3 東京重機

東京重機 7（5−3 2−1）4 福井商高

愛知紡 10（6−6 4−2）8 日体大

▽同決勝トーナメント

大崎電気 12（7−5 5−3）8 愛知紡

田村紡 11（6−5 5−5）10 大洋デパート

▽同決勝

田村紡 7（4−3 3−2）5 大崎電気

得	【田村】		【大崎】	得
0	渡辺美	GK	川崎	0
0	坂上	GK	山田	0
1	種村	FP	加藤	0
1	渡辺好		早川	2
1	水谷		鈴木	1
3	小林		小林	1
1	清水		栗林	0
0	長谷川	（審・岡本）	木幡	1
0	甲村		山崎	0
0	吉岡		神藤	0
0	渡辺信		久保田	0

7（2）7MT（2）5

田村紡は初優勝

第20回
（昭和43年8月6〜10日・長崎市）

▼男子1回戦

大崎電気（日推・埼玉） 43（23−4 20−2）6 土佐高OB（四国・高知）

全長崎（長崎） 38（22−12 16−6）18 東北学院大（東北・宮城）

関大（学連・大阪） 26（15−12 11−9）21 住化菊本（実連・愛媛）

日体大（学連・東京） 30（17−3 13−9）12 福井教員（北信越・福井）

東京教大（日推・東京） 30（15−4 15−8）12 常盤工業（東海・岐阜）

大阪経大（近畿・大阪） 32（20−8 12−9）17 AOK栃木（関東・栃木）

中京大（学連・愛知） 29（16−7 13−11）18 日本鋼管福山（実連・広島）

大阪イーグルス（日推・大阪） 16（8−8 8−4）12 法大（学連・東京）

芝浦工大（日推・東京） 21（14−6 7−11）17 三景（実連・東京）

熊本ク（九州・熊本） 20（10−10 10−8）18 山口大（学連・山口）

中大（学連・東京） 31（15−11 16−13）24 全広島（中国・広島）

同志社大（学連・京都） 19（13−9 6−5）14 埼玉教員ク（関東・埼玉）

東北大（学連・宮城） 18（3−2 0−0 : 7−9 8−6）17 佐世保ク（長崎）

明大（学連・東京） 30（15−7 15−5）12 宗形製作所（実連・大阪）

関学（学連・兵庫） 31（19−4 12−9）13 桜丘会（東海・愛知）

全立大（日推・東京） 33（15−10 18−8）18 奈良ク（近畿・奈良）

▽同2回戦

大崎電気 38（22−8 16−8）16 全長崎

日体大 24（11−8 13−8）16 関大

東京教大 29（16−7 13−7）14 大阪経大

大阪イーグルス 22（10−8 12−8）16 中京大

芝浦工大 28（15−2 13−9）11 熊本ク

同志社大 27（14−14 13−11）25 中大

明大 22（12−4 10−6）10 東北大

全立大 35（15−5 20−6）11 関学

▽同準々決勝

大崎電気 23（11−9 12−10）19 日体大

東京教大 15（9−3 6−6）9 大阪イーグルス

芝浦工大 26（14−6 12−12）18 同志社大

全立大 24（13−4 11−8）12 明大

▽同準決勝

大崎電気 23（11−7 12−5）12 東京教大

全立大 32（19−9 13−9）18 芝浦工大

▽同決勝

全立大 23（11−8 12−6）14 大崎電気

得	【立大】		【大崎】	得
0	川口	GK	福本	0
0	馬渕	GK	下里	0
7	木野	FP	井上	7
1	北村		西村	0
6	野田		近藤	2
4	東		片山	0
2	小野口	（審・中西）	飯田	3
1	戸田		竹野	2
0	倉前		籏野	0
0	加藤		谷口	0
2	有永		太田	0

23（3）7MT（2）14

全立大は2年ぶり2度目の優勝

▼女子予選リーグA組

全福井（福井） 15（9−4 6−2）6 大洋紡（岐阜）

田村紡（三重） 11（7−3 4−4）7 全福井

田村紡 23（10−5 13−2）7 大洋紡

▽同B組

全夙川（兵庫） 10（6−3 4−2）5 佐世保商高（長崎）

大崎電気（埼玉） 23（11−0 12−0）0 佐世保商高

大崎電気 18（10−5 8−3）8 全夙川

▽同C組

東京重機（東京） 31（18−2 13−4）6 島原農高（長崎）

三菱鉛筆（神奈川） 24（12−4 12−2）6 島原農高

三菱鉛筆 8（4−2 4−3）5 東京重機

▽同D組

日体大（東京） 10（5−5 5−4）9 ブラザー工業（愛知）

大洋デパート（熊本） 24（13−4 11−2）6 ブラザー工業

大洋デパート 9（4−5 5−2）7 日体大

▽同決勝トーナメント1回戦

大洋デパート 15（7−6 8−2）8 田村紡

三菱鉛筆 13（11−1 2−1）2 大崎電気

▽同決勝

大洋デパート 12（7−5 5−5）10 三菱鉛筆

得	【大洋】		【三菱】	得
0	安部	GK	吉田	0
0	有働	GK	本庄	0
4	新保	FP	三井田	0
1	米		落合	6
3	渡辺		佐々木洋	0
2	射場		江川	0
0	田中	（審・狩野）	佐々木房	1
2	枝尾		阿部	0
0	三宅		小田島	0
0	下枝		姫野	2
0	島田		藤原	1

12（0）7MT（4）10

大洋デパートは3年ぶり3度目の優勝

第21回（昭和44年8月9～13日・盛岡市）

▼男子1回戦

全立大（日推東京）33（15 18／9 8）17 宗形製作所（近畿・大阪）
盛岡商友会（岩手）24（15 9／8 4）12 坂出常盤ク（四国・香川）
常盤工業（実連岐阜）28（14 14／9 9）18 仙台大（東北宮城）
大崎電気（日推埼玉）41（22 19／0 6）6 東北大（学連宮城）
全東京教大（関東・東京）25（16 9／8 7）15 奈良ク（近畿奈良）
法大（学連東京）27（17 10／6 6）12 日新製鋼呉（中国・広島）
岩手教員（岩手）21（11 10／10 7）17 松山商大（学連愛媛）
明大（学連東京）24（12 12／7 2）9 長崎教員（九州長崎）
三景（実連東京）17（6 11／7 6）13 関大（学連大阪）
芝浦工大（学連東京）32（15 17／9 11）20 本田技研鈴鹿（東海・三重）
同志社大（学連京都）26（12 14／7 6）13 日進商会（実連神奈川）
中大（学連東京）25（15 10／5 7）12 福井教員（教連福井）
大阪イーグルス（教連・大阪）31（17 14／11 14）25 全国学院栃木（関東・栃木）
中京大（学連愛知）21（13 8／4 8）12 氷見ク（北信越富山）
住化菊本（実連愛媛）19（8 11／8 4）12 大阪経大（学連大阪）
日体大（日推東京）24（12 12／4 7）11 富士製鉄名古屋（東海・愛知）

▽同2回戦

全立大 29（17 12／8 6）14 法大
大崎電気 20（15 8／8 5）13 全東京教大
中大 24（15 9／9 9）18 住友化学菊本
大阪イーグルス 22（15 7／7 7）14 同志社大
常盤工業 27（12 15／10 6）16 岩手教員ク
明大 28（14 14／8 7）15 盛岡商友会
芝浦工大 25（11 14／5 3）8 中京大
日体大 20（13 7／3 4）7 三景

▽同準々決勝

全立大 24（14 10／7 5）12 大阪イーグルス
大崎電気 23（12 11／8 8）16 中央大
日体大 29（16 13／4 3）7 明大
芝浦工大 18（3 1：10 4／0 0：7 7）14 常盤工業

▽同準決勝

大崎電気 9（5 4／3 3）6 日体大
全立大 16（6 10／7 8）15 芝浦工大

▽同決勝

全立大 18（12 6／5 9）14 大崎電気

得	【立大】		【大崎】	得
0	馬渕	GK	福本	0
		GK	下里	0
5	小野口	FP	井上	0
0	加藤	FP	近藤	4
1	戸田	FP	近森	2
1	倉前	FP	飯田	4
6	木野	FP	東	2
5	野田	FP	平岡	1
		FP	西村	1
		FP	竹野	0

（審・岡井 近藤）

18（2）7MT（4）14

全立大は2年連続3度目の優勝

▼女子予選リーグA組

大洋デパート（熊本）15（4 11／5 0）5 日体大（東京）
東京重機（東京）22（11 11／0 3）3 宮城二女高（宮城）
東京重機 13（8 5／4 5）9 日体大
大洋デパート 19（9 10／1 1）3 宮城二女高
日体大 14（6 8／2 2）4 宮城二女高
大洋デパート 13（6 7／5 2）7 東京重機

▽同B組

田村紡（三重）28（16 12／1 1）2 日女体大（東京）
美和ク（東京）25（16 9／1 1）2 岩手女高（岩手）
美和ク 9（5 4／4 2）6 田村紡
日女体大 17（12 5／1 0）1 岩手女高
美和ク 17（9 8／2 2）4 日女体大
田村紡 24（12 12／2 1）3 岩手女高

▽同C組

全長崎（長崎）20（12 8／5 3）8 東北宗形製作所（福島）
大崎電気（埼玉）22（14 8／1 4）5 中京大（愛知）
大崎電気 23（13 10／4 2）6 全長崎
中京大 14（7 7／4 4）8 東北宗形製作所
全長崎 18（11 7／6 4）10 中京大
大崎電気 27（14 13／3 2）5 東北宗形製作所

▽同D組

三菱鉛筆（神奈川）18（7 11／3 2）5 大阪体大（大阪）
全岩手（岩手）6（5 1／1 4）5 ブラザー工業（愛知）
全岩手 14（5 9／1 6）7 大阪体大
三菱鉛筆 11（5 6／1 2）3 ブラザー工業
ブラザー工業 16（9 7／4 1）5 大阪体大
三菱鉛筆 10（5 5／1 2）3 全岩手

▽同決勝トーナメント1回戦

大崎電気 13（9 4／3 3）6 美和ク
大洋デパート 9（6 3／2 2）4 三菱鉛筆

▽同決勝

大洋デパート 13（5 8／1 2）3 大崎電気

得	【大洋】		【大崎】	得
0	小原	GK	山田	0
5	垂水	FP	久保田	0
0	米	FP	小林	1
1	渡辺	FP	木幡	0
0	三宅	FP	三浦	0
0	田中	FP	志摩	1
4	枝尾	FP	山崎	0
3	蔵田	FP	寺尾	0
		FP	山本	1

（審・佐々木兄弟）

13（3）7MT（1）3

大洋デパートは2年連続4度目の優勝

第22回（昭和45年8月18～22日・和歌山県打田町）

▼男子1回戦

東京教員（教連東京）18（10 8／10 6）16 全立大（日推東京）
清商ク（東海静岡）15（6 9／6 7）13 大阪経大（学連大阪）
同志社大（学連京都）25（16 9／5 9）14 日進商会（実連神奈川）
湧永薬品（近畿大阪）32（17 15／7 7）14 熊本トヨタ（九州・熊本）
中大（学連東京）26（14 12／6 9）15 自衛隊勝田（実連・茨城）
三景（実連東京）29（17 12／8 7）15 岩手教員ク（東北・岩手）
和歌山教員（和歌山）17（11 6／5 11）16 鹿児島大（学連鹿児島）
芝浦工大（学連東京）33（18 15／4 5）9 北農ク（北信越長野）
日体大（学連東京）16（4 12／7 5）12 埼玉教員ク（教連・埼玉）
大阪イーグルス（教連・大阪）53（26 27／8 4）12 坂出常盤ク（四国・香川）

丸善石油（和歌山） 26（10―10、8―8；3―3、1―1；3―0、1―2）24 広島商大（学連広島）
常盤工業（実連岐阜） 18（10―5、8―5）10 桃山学院大（学連・大阪）
住化菊本（実連愛媛） 23（13―5、10―3）8 名城大（学連愛知）
全日体大（関東東京） 25（10―8、15―2）10 日新製鋼呉（中国・広島）
大同製鋼（東海愛知） 32（18―13、14―8）21 奈良ク（近畿奈良）
大崎電気（日推埼玉） 27（13―3、14―4）7 岩手大（学連岩手）

▽同2回戦

東京教員 19（9―9、10―9）18 清商ク
湧永薬品 27（14―10、13―8）18 同志社大
三景 19（11―7、8―7）14 中大
芝浦工大 27（11―7、16―6）13 和歌山教員
日体大 20（12―6、8―3）9 常盤工業
大阪スイーグルス 30（18―5、12―6）11 丸善石油
全日体大 14（7―5、7―7）12 住友化学菊本
大崎電気 15（5―7、10―6）13 大同製鋼

▽同準々決勝

湧永薬品 20（8―6、12―3）9 東京教員
芝浦工大 16（6―5、10―4）9 三景
日体大 21（11―13、10―3）16 大阪スイーグルス
大崎電気 21（10―5、11―4）9 全日体大

▽同準決勝

湧永薬品 24（12―6、12―9）15 芝浦工大
大崎電気 18（11―4、7―7）11 日体大

▽同決勝

大崎電気 14（3―6、8―5；1―0、2―1）12 湧永薬品

【湧永】	得		【大崎】	得
松田	0	GK	下里	0
今井	0	FP	西村	1
市原	1		近藤	1
木野	3		近森	0
早川	4		飯田	3
森	0		籏野	3
高橋	4		東	3
戸田	0		谷口	3
松井	0		林	0
久保	0		沢田	0
藤井	0		佐藤	0
馬野	0			

（審・狩野、近藤）

12（2）7MT（0）14

大崎電気は3年ぶり5度目の優勝

▼女子1回戦

東北宗形（福島） 9（5―4、4―1）5 中京大（愛知）
日体大（東京） 18（9―0、9―1）1 粉河高（和歌山）
全東教大（東京） 10（5―4、5―2）6 関西日体ク（大阪）
日本ビクター（茨城） 14（10―4、4―1）5 大阪体大（大阪）
山陽女OG（広島） 20（13―2、7―4）6 全夙川（兵庫）

▽同2回戦

大洋デパート（熊本） 21（8―5、13―1）6 東北宗形
東京重機（東京） 12（5―7、7―4）11 甲子園大（兵庫）
ブラザー工業（愛知） 14（7―9、7―3）12 全岩手（岩手）
美和ク（東京） 13（9―5、4―3）8 日体大
田村紡（三重） 17（10―3、7―3）6 全東教大
日本ビクター 19（10―0、9―2）2 和歌山ク（和歌山）
東女体大（東京） 21（12―8、9―1）9 大洋紡（岐阜）
大崎電気（埼玉） 27（14―2、13―0）2 山陽女OG

▽同準々決勝

大洋デパート 13（6―1、7―4）5 東京重機
美和ク 14（4―8、6―2；1―0、0―1；2―0、1―0）11 ブラザー工業
日本ビクター 6（4―2、2―3）5 田村紡
大崎電気 8（6―4、2―1）5 東女体大

▽同準決勝

大洋デパート 16（7―1、9―0）1 美和ク
大崎電気 9（4―4、5―3）7 日本ビクター

▽同決勝

大洋デパート 11（4―4、7―0）4 大崎電気

【大崎】	得		【大洋】	得
和田	0	GK	小原	0
小堀	0	FP	垂水	3
木幡	0		米	0
新島	0		渡辺	3
寺尾	1		三宅	0
三浦	3		島田	2
真田	0		枝尾	1
長谷川	0		小林	1
佐藤	0		村中	1
岩井	0		蔵田	0

（審・中井、川口）

4（0）7MT（1）11

大洋デパートは3年連続5度目の優勝

第23回

日・東京体育館（昭和46年12月15～19）

▼男子予選トーナメント1回戦

湧永薬品（日推大阪） 17（9―8、8―5）13 大阪スイーグルス（教連・大阪）
中大（学連東京） 39（21―3、18―8）11 自衛隊勝田（自連・茨城）
日体大（学連東京） 19（11―5、8―4）9 セントラル自動車（実連・神奈川）
芝浦工大（学連東京） 22（16―8、6―8）16 東京教員（東京）
大崎電気（日推埼玉） 28（18―3、10―4）7 桜丘会（全国社会人西地区・愛知）
大同製鋼（実連愛知） 31（16―9、15―4）13 大阪体大（学連大阪）
三景（実連東京） 23（12―10、11―8）18 AOK栃木（全国社会人東地区・栃木）
スワロー兵庫（教連・兵庫） 18（10―7、8―8）15 法大（学連東京）

▽同2回戦

湧永薬品 14（6―5、8―6）11 中大
日体大 19（8―8、11―8）19 芝浦工大
大崎電気 19（11―6、8―8）14 大同製鋼
三景 17（10―6、7―7）13 スワロー兵庫

▽同決勝リーグ

湧永薬品 8（5―5、3―3）8 日体大 引き分け
大崎電気 19（9―6、10―3）9 三景
大崎電気 11（7―3、4―4）7 日体大
湧永薬品 20（12―2、8―8）10 三景
日体大 19（10―5、9―4）9 三景
大崎電気 6（0―1、6―5）6 湧永薬品 引き分け

【大崎】
GK 下里、岩下
FP 近藤、近森、飯田、籏野、東、谷口、佐藤、林、沢田、西村、井上

【順位】①大崎電気＝2連勝6度目の優勝②湧永薬品③日体大④三景

▼女子予選トーナメント1回戦

大崎電気（実連埼玉） 10（4―2、6―5）7 日体大（学連東京）
日本ビクター（実連・茨城） 8（4―2、4―5）7 美和ク（東京）
東京重機（実連東京） 9（4―3、5―5）8 東京教大（学連東京）
田村紡（実連三重） 15（7―3、8―6）9 鹿児島ク（次年度国体地・鹿児島）

ブラザー工業（実連・愛知）24（15-3, 9-3）6 徳山OG（全国社会人・山口）
山陽女高（高体連・広島）13（4-6, 9-0）8 東女体大（学連・東京）

▽同2回戦

日本ビクター 13（4-3, 9-3）6 大崎電気
田村紡 16（5-3, 11-2）5 東京重機
ブラザー工業 8（3-3, 5-1）5 山陽女高

▽決勝リーグ

ブラザー工業 8（4-2, 4-3）5 田村紡
日本ビクター 4（2-0, 2-2）2 田村紡
日本ビクター 6（5-3, 1-2）5 ブラザー工業

【日ビ】K{渡辺 鈴木 F{蓮見二 江川 八重樫 阿部 蓮見彰 大塚 富山 谷沢 山口 黒川 高野 額賀 滝

【順位】①日本ビクター＝初優勝②ブラザー工業③田村紡

第24回

（昭和47年12月6～10日・東京体育館）

▼男子予選トーナメント1回戦

大崎電気（日推埼玉）29（17-9, 12-6）15 中大附属高（高体連・東京）
日体大（学連東京）22（11-11, 11-5）16 スワロー兵庫（教連・東京）
湧永薬品（日推大阪）23（13-10, 10-6）16 蒲郡ク（全国社会人西地区・愛知）
大同製鋼（実連愛知）17（10-8, 7-7）15 法大（学連東京）
三景（実連東京）16（8-5, 8-6）11 大阪経大（学連大阪）
中大（東京）29（17-5, 12-5）10 鹿屋第一航空群（自連・鹿児島）
本田技研鈴鹿（実連・三重）24（12-4, 12-11）15 同志社大（学連京都）
大阪イーグルス（教連・大阪）22（13-1, 9-8）9 三春台ク（全国社会人東地区・神奈川）

▽同2回戦

大崎電気 19（10-5, 9-3）8 三景
中大 16（9-6, 7-8）14 日体大
湧永薬品 21（10-5, 11-2）7 本田技研鈴鹿

▽同決勝リーグ

大同製鋼 17（5-9, 12-3）12 大阪イーグルス
大崎電気 19（10-2, 9-8）10 中大
湧永薬品 16（10-9, 6-7）16 大同製鋼
引き分け
湧永薬品 10（1-6, 9-4）10 大崎電気
引き分け
中大 25（12-9, 13-15）24 大同製鋼
湧永薬品 22（9-5, 13-9）14 中大
大同製鋼 13（8-6, 5-6）12 大崎電気

【湧永】K{今井 国本 F{市原 木野 早川 森 高橋 戸田 松井 藤井 菅 杉野 田中 山原

【順位】①湧永薬品＝初優勝②大崎電気③大同製鋼④中大（2、3位は得失点差による）

▼女子予選トーナメント1回戦

大洋デパート（実連・熊本）10（5-1, 5-5）6 美和ク（東京）
日体大（学連東京）12（5-1, 7-2）3 扇屋（次年度国体地・千葉）
田村紡（実連三重）16（5-1, 11-0）1 東女体大（学連東京）
東京重機（実連東京）13（9-5, 4-6）11 ブラザー工業（日推・愛知）
大崎電気（実連埼玉）12（6-3, 6-3）6 東京教大（学連東京）

▽同2回戦

大洋デパート 8（3-4, 5-2）6 田村紡
日本ビクター（日推・茨城）9（7-4, 2-3）7 大崎電気
東京重機 11（6-2, 5-6）8 日体大

▽同4～6位決定リーグ

田村紡 9（3-2, 6-3）5 大崎電気
日体大 8（3-2, 5-5）7 大崎電気
田村紡 14（6-5, 8-3）8 日体大

▽同決勝リーグ

大洋デパート 10（5-4, 5-1）5 日本ビクター
東京重機 13（6-4, 7-4）8 日本ビクター
東京重機 8（4-4, 4-1）5 大洋デパート

【重機】K{長岡 上杉 F{牧野 古佐原 市川 村上 葛西 鈴木 松本 生井 小沢 荒木 市山 菊地 折口

【順位】①東京重機②大洋デパート③日本ビクター④田村紡⑤日体大⑥大崎電気

第25回

（昭和48年12月12～16日・東京体育館）

▼男子予選トーナメント1回戦

湧永薬品（日推大阪）34（16-7, 18-9）16 海上自衛隊第三術科校（自連・千葉）
大崎電気（日推埼玉）19（10-5, 9-8）13 中京大（学連愛知）
大同製鋼（実連愛知）41（20-8, 21-11）19 東京教員（東京）
法政大（学連東京）14（8-7, 6-6）13 三春台ク（全国社会人東地区・神奈川）
本田技研鈴鹿（実連・三重）17（12-7, 5-6）13 日体大（学連東京）
大阪イーグルス（教連・大阪）19（9-8, 10-6）14 三菱レ大竹（実連・広島）
中大（学連東京）31（13-3, 18-9）12 京都ク（全国社会人西地区・京都）
三景（実連東京）27（14-9, 13-7）16 スワロー兵庫（教連・兵庫）

▽同2回戦

湧永薬品 19（14-7, 5-7）14 本田技研鈴鹿
大阪イーグルス 10（5-5, 5-2）7 大崎電気
大同製鋼 23（12-11, 11-9）20 中大
法政大 17（9-7, 8-6）13 三景

▽同決勝リーグ

大同製鋼 20（10-2, 10-9）11 大阪イーグルス
湧永薬品 20（8-7, 12-3）10 法政大
大同製鋼 30（16-3, 14-10）13 法政大
湧永薬品 16（6-6, 10-2）8 大阪イーグルス
大阪イーグルス 21（11-7, 10-8）15 法政大
大同製鋼 21（12-4, 9-9）13 湧永薬品

【大同】K{柳川清 倉谷 F{野田 藤中 加藤 中井 松原 花輪 北村 守田 東谷 柳川実 桐山 清崎

【順位】①大同製鋼＝初優勝②湧永薬品③大阪イーグルス④法政大

▼女子予選トーナメント1回戦

東京重機（日推東京）17（11-0, 6-5）5 武庫川女大（学連・兵庫）
田村紡（実連三重）14（7-4, 7-4）8 日体大（学連東京）
日本ビクター（次年度国体地・茨城）14（6-4, 8-3）7 東北ムネカタ（実連・福島）
日立栃木（実連栃木）14（5-6, 6-5 : 2-1, 1-0）12 東京学芸大（東京）

大崎電気（実連埼玉） 10（5－4，5－4）8 小松市女高（高体連・石川）

ブラザー工業（実連・愛知） 17（9－3，8－4）7 東京教大（学連東京）

▽同2回戦

日立栃木 13（3－5，4－2：2－1，0－1：4－1，0－1）11 東京重機

日本ビクター 12（6－3，6－1）4 ブラザー工業

田村紡 12（7－5，5－0）5 大崎電気

▽同4～6位決定リーグ

ブラザー工業 14（6－5，8－1）6 東京重機

東京重機 11（8－4，3－3）7 大崎電気

ブラザー工業 10（4－1，6－5）6 大崎電気

▽同決勝リーグ

日立栃木 8（2－4，6－4）8 田村紡　引き分け

田村紡 4（4－1，0－3）4 日本ビクター　引き分け

日本ビクター 11（7－1，4－6）7 日立栃木

【日ビ】K 渡辺 鈴木　F 池田 阿部 蓮見 谷沢 額賀 滝 川崎 加藤 滝本

【順位】①日本ビクター＝2年ぶり2度目の優勝②田村紡③日立栃木④ブラザー工業⑤東京重機⑥大崎電気

第26回

（昭和49年12月11～15日・東京体育館）

▼男子予選トーナメント1回戦

本田技研鈴鹿（実連・三重） 29（18－4，11－12）16 京都ク（全国社会人西地区・京都）

三景（実連東京） 31（13－7，18－4）11 久留米工高（高体連・福岡）

三菱レ大竹（実連・広島） 16（10－5，6－9）14 三春台ク（全国社会人東地区・神奈川）

大崎電気（実連埼玉） 24（8－5，16－7）12 同志社大（学連京都）

早大（学連東京） 20（8－8，12－11）19 法大（東京）

大阪イーグルス（教連・大阪） 22（11－5，11－2）7 海上自鹿屋（自連鹿児島）

湧永薬品（日推大阪） 23（11－8，12－8）16 中大（学連東京）

大同製鋼（日推愛知） 30（16－4，14－13）17 茨城教員（教連茨城）

▽同2回戦

三景 17（6－6，11－10）16 大阪イーグルス

湧永薬品 27（11－6，16－0）6 三菱レイヨン大竹

大同製鋼 17（10－4，7－2）6 大崎電気

本田技研鈴鹿 15（5－8，7－4：1－0，2－1）13 早大

▽同決勝リーグ

三景 14（5－8，9－6）14 湧永薬品　引き分け

大同製鋼 23（10－8，13－6）14 本田技研鈴鹿

三景 18（9－4，9－8）12 本田技研鈴鹿

大同製鋼 16（10－5，6－7）12 湧永薬品

湧永薬品 14（9－6，5－7）13 本田技研鈴鹿

大同製鋼 20（8－7，12－7）14 三景

【大同】K 柳川清 倉谷　F 野田 藤中 加藤 中井 松原 花輪 北村 守田 柳川実 石川 桐山 中本

【順位】①大同製鋼＝2連勝②三景③湧永薬品④本田技研鈴鹿（2、3位は得失点差による）

▼女子予選トーナメント1回戦

立石電機（実連熊本） 19（8－2，11－2）4 東女体大（学連東京）

日体大（学連東京） 11（4－5，7－5）10 日立栃木（実連栃木）

大崎電気（実連埼玉） 11（3－2，8－4）6 東花ク（東京）

東京重機（実連東京） 23（9－1，14－3）4 徳山高OG（全国社会人・山口）

田村紡（日推三重） 12（7－2，5－3）5 大谷高（高体連大阪）

日本ビクター（日推・茨城） 23（12－3，11－4）7 東京学芸大（学連・東京）

▽同2回戦

東京重機 10（5－6，5－3）9 立石電機

田村紡 11（6－2，5－2）4 日体大

日本ビクター 15（9－1，6－0）1 大崎電気

▽同4～6位決定リーグ

大崎電気 10（3－3，7－4）7 日体大

立石電機 19（10－3，9－5）8 日体大

立石電機 10（3－2，7－3）5 大崎電気

▽同決勝リーグ

東京重機 10（7－4，3－1）5 田村紡

日本ビクター 11（6－4，5－5）9 田村紡

東京重機 9（7－4，2－0）4 日本ビクター

【重機】K 三紙　F 古佐原 市川 菊地 折口 村上 町田 田中

【順位】①東京重機＝2年ぶり2度目の優勝②日本ビクター③田村紡④立石電機⑤大崎電気⑥日体大

第27回

（昭和50年12月10～14日・東京体育館）

▼男子予選トーナメント1回戦

湧永薬品（実連大阪） 30（15－9，15－5）14 清水高（高体連千葉）

大崎電気（実連埼玉） 21（15－3，6－9）12 海上自下総（自連・千葉）

本田技研鈴鹿（実連・三重） 31（12－6，19－6）12 法大（東京）

三陽商会（実連東京） 26（13－7，13－7）14 大阪教員（教連大阪）

大阪イーグルス（教連・大阪） 29（13－4，16－8）12 三春台ク（全国社会人東地区・神奈川）

中大（学連東京） 27（14－6，13－10）16 京都ク（全国社会人西地区・京都）

三景（日推東京） 24（10－7，14－10）17 大阪体大（学連大阪）

大同製鋼（日推愛知） 25（12－10，13－6）16 日体大（学連東京）

▽同2回戦

湧永薬品 22（8－3，14－5）8 大阪イーグルス

中大 18（8－7，10－7）14 大崎電気

本田技研鈴鹿 15（6－5，9－6）11 三景

大同製鋼 18（9－5，9－3）8 三陽商会

▽同決勝リーグ

湧永薬品 12（7－2，5－5）7 本田技研鈴鹿

大同製鋼 19（8－4，11－6）10 中大

湧永薬品 17（9－4，8－8）12 中大

大同製鋼 15（4－6，11－9）15 本田技研鈴鹿　引き分け

本田技研鈴鹿 13（8－6，5－6）12 中大

大同製鋼 14（6－3，8－5）8 湧永薬品

	【大同】
K	柳川清、倉谷
F	野田、藤中、柳川実、中井、松原、花輪、北村、守田、大原、中本、清崎、浦田

【順位】①大同製鋼＝3連勝②湧永薬品③本田技研鈴鹿④中大

▼女子予選トーナメント1回戦

東京重機（日推・東京）7（4－2、3－1）3 佐賀ク（次年度国体地・佐賀）

日本ビクター（日推・茨城）12（5－3、7－1）4 日体大（学連・東京）

田村紡（実連・三重）13（8－6、5－5）11 東京教大（東京）

ブラザー工業（実連・愛知）10（5－1、5－6）7 小松市女高（高体連・石川）

大崎電気（実連・埼玉）17（6－3、11－4）7 徳山ク（全国社会人・山口）

立石電機（実連・熊本）13（7－5、6－7）12 東女体大（学連・東京）

▽同2回戦

東京重機 7（2－1、5－5）6 ブラザー工業

日本ビクター 5（3－1、2－1）2 大崎電気

立石電機 11（4－5、7－3）8 田村紡

▽同4～6位決定リーグ

ブラザー工業 14（5－5、9－3）8 田村紡

大崎電気 10（5－6、5－4）10 田村紡　引き分け

ブラザー工業 8（2－1、6－4）5 大崎電気

▽同決勝リーグ

日本ビクター 9（5－4、4－0）4 東京重機

立石電機 7（3－1、4－0）1 東京重機

日本ビクター 11（6－3、5－4）7 立石電機

	【日ビ】
K	鈴木
F	蓮見、斉藤、小島、染谷、滝本、池田、羽鳥、高野、飯田

【順位】①日本ビクター＝2年ぶり3度目の優勝②立石電機③東京重機④ブラザー工業⑤大崎電気⑥田村紡

第28回

（昭和51年12月8～12日・東京体育館）

▼男子1回戦

早大（学連・東京）33（16－8、17－7）15 日本発条（実連・神奈川）

名城大（学連・愛知）24（8－7、16－11）18 茨城教員（教連・茨城）

神戸製鋼（実連・兵庫）31（19－9、12－6）15 自衛隊勝田（自連・茨城）

東京教大（学連・東京）22（11－6、11－6）12 日大（東京）

佐賀教員（教連・佐賀）22（10－8、12－10）18 トヨタ車体（実連・愛知）

京都産大（学連・京都）21（9－9、12－7）16 本田爽風会（全国社会人西地区・三重）

稲球会（全国社会人東地区・東京）29（13－4、16－10）14 スワロー兵庫（教連・兵庫）

中大（学連・東京）38（20－5、18－7）12 新日鉄名古屋（実連・愛知）

▽同2回戦

大阪イーグルス（NHL・大阪）21（8－8、13－7）15 東京教大

本田技研鈴鹿（NHL・三重）37（16－5、21－7）12 神戸製鋼

京都産大 17（7－9、10－6）15 日新製鋼呉（NHL・広島）

湧永薬品（NHL・広島）34（13－5、21－7）12 佐賀教員

中大 21（9－8、12－9）17 大崎電気（NHL・埼玉）

三景（NHL・東京）26（10－8、16－10）18 稲球会

大同特殊鋼（NHL・愛知）32（15－9、17－7）13 早大

名城大 19（7－9、12－9）18 三陽商会（NHL・東京）

▽同準々決勝

大同特殊鋼 34（16－7、18－5）12 名城大

本田技研鈴鹿 26（12－3、14－5）8 大阪イーグルス

湧永薬品 26（12－2、14－6）8 京都産大

三景 21（11－9、6－8：2－0、2－0）17 中大

▽同準決勝

湧永薬品 16（5－7、11－3）10 本田技研鈴鹿

大同特殊鋼 23（8－6、15－10）16 三景

▽同決勝

湧永薬品 17（8－8、9－5）13 大同特殊鋼

得	【湧永】		【大同】	得
0	福井	GK	柳川清	0
0	今井	GK	倉谷	0
4	津川	FP	北村	0
4	木野	FP	藤中	6
2	穂積	FP	柳川実	1
1	高橋	FP	中本	0
2	松本	FP	松原	2
3	山本	FP	花輪	2
1	戸田政	FP	中井	1
0	藤本	FP	野田	1
0	森	FP	大原	0
0	戸田栄	FP	清崎	0
17	（1）	PT	（2）	13

（審・岡前・佐野）

湧永薬品は4年ぶり2度目の優勝

▼女子1回戦

日本ビクター（NHL・茨城）26（15－1、11－4）5 佐賀女子（全国社会人・佐賀）

東北ムネカタ（NHL・福島）28（6－3、6－3）6 大阪体大（学連・大阪）

ブラザー工業（NHL・愛知）34（20－1、14－0）1 和歌山県商工信用組合（実連・和歌山）

日体大（学連・東京）7（4－2、3－3）5 大崎電気（NHL・埼玉）

東京重機（NHL・東京）18（9－1、9－7）8 大和銀行（実連・大阪）

日立栃木（NHL・栃木）13（7－4、6－3）7 東女体大（学連・東京）

ジャスコ（NHL・三重）16（8－3、8－2）5 武庫川女大（学連・兵庫）

立石電機（NHL・熊本）23（13－3、10－5）8 東京教大（東京）

▽同準々決勝

ブラザー工業 12（5－3、7－5）8 日体大

日本ビクター 17（10－2、7－4）6 東北ムネカタ

日立栃木 14（5－2、9－5）7 東京重機

立石電機 7（3－5、4－1）8 ジャスコ

▽同準決勝

日本ビクター 11（4－4、7－2）6 ブラザー工業

立石電機 12（4－3、8－2）5 日立栃木

▽同決勝

立石電機 11（4－3、5－6：0－0、2－1）10 日本ビクター

得	【立石】		【日ビ】	得
0	和田	GK	渡辺	0
0	丸山	GK	鈴木	0
2	篠田	FP	蓮見	2
2	山下	FP	額賀	4
1	蔵田	FP	加藤	0
3	紀野	FP	穂積	1
3	島田	FP	小島	2
0	池淵	FP	斉藤	1
0	林	FP	池田	0
0	平下	FP	染谷	0
0	実松	FP	藤原	0
0	橋ノ口	FP		
11	（1）	PT	（4）	10

（審・狩野・幸田）

立石電機は初優勝

（注）NHLは日本リーグの略

〔おことわり〕本号は特別発行の建前をとっておりますので、一般広告の一部と、協賛広告を掲載していません。

提供主、取扱い協会はご了解下さいますようにお願いいたします

なお、次号（4月号）から通常発行といたします。



新発売!!

ハンドボールＬＥ－ＳＰ

●サイズ　22.5～28.0

●カラー　白×赤オニツカライン

赤×白オニツカライン

俊敏な動きができる新鋭――

先制『攻撃』用

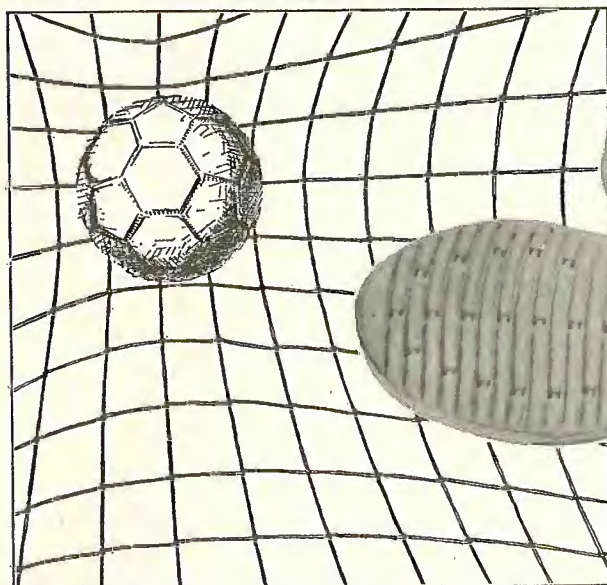


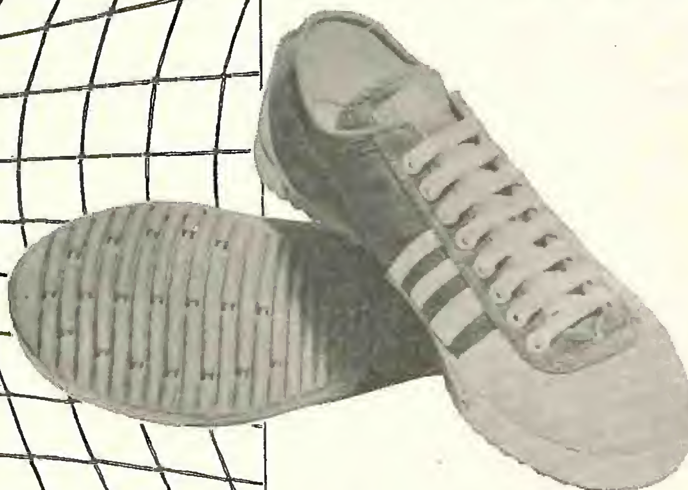
競技に適した軽くて動きのいい――

タイガー®ハンドボール

競技者を支える総合スポーツ用品メーカー　オニツカ株式会社　神戸・大阪・東京・福岡・名古屋・仙台・札幌

ファイトを更に、かきたてる信頼感。





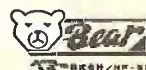
ハンドベアー　デラックス　〈HX〉

●サイズ／22.5～28●カラー／ブルー・ゴールド
姉妹品／ハンドベアー(革)

●横すべりやロスを解消するための斜線模様の合理設計底。(意匠登録390270号)

●適度の弾性を得る二重スポンジ・クッションの彫りの深い厚底。

●通気性にすぐれ、快適な足沿いと軽快な履き心地のために、疲れの少ないシューズとして好評をいただいております。



全日本選手権

《戦前の部》

第1回（昭和12年11月11～12日・東京、体育研究所グラウンド）

▽1回戦（＝準決勝）

日体（東京）16（9—0、7—4）4 青山師範（東京）

大塚ク（東京）12（4—0、8—1）1 慶大HB C（東京）

▽3位決定戦

青山師範 11（4—4、7—2）6 慶大HB C

▽決勝

大塚ク 6（2—0、4—4）4 日体

【日体】GK 中島　FB 入江、張　HB 林、朴、李　FW 財部、金、白、中川、崔

【大塚】GK 山内　FB 斉藤、高橋　HB 遠藤、山本、的場　FW 田島、崔、川田、円谷、新堀

0 CT 2
18 FT 10

（注）女子の試合はなし

第2回（昭和13年7月30～8月2日、東京神宮競技場ほか）

▽1回戦

日体（東京）17（7—6、10—1）7 慶大（東京）

明大（東京）13（6—0、7—2）2 早大（東京）

▽準決勝

日体 18（8—0、10—2）2 YMCA（東京）

明大 15（4—2、11—1）3 早大B

▽決勝

日体 17（10—6、7—3）9 明大

【明大】GK 渡辺　FB 武居、山口　HB 小野寺、吉山、佐久間　FW 筑紫、庄司、李、桜田、山田

【日体】GK 徳永　FB 菅、陳　HB 李、中島、洪　FW 文、南、崔、馬場、和田

0 13MT 5
43 ST 40

日体は初優勝

（注）女子の試合はなし

第3回（昭和15年10月27日～29日・東京、神宮競技場ほか）

▼男子1回戦

静専ク（静岡）7（5—3、2—1）4 早大（東京）

▽同準々決勝

日体（東京）9（7—0、2—0）0 静専ク

神戸ク（兵庫）4（2—0、2—1）1 茨城師範OBク（茨城）

大阪ク（大阪）7（3—1、4—0）1 文理大（東京）

慶大（東京）7（5—2、2—3）5 日体OB（東京）

▽同準決勝

日体 13（7—0、6—1）1 神戸ク

慶大 5（4—1、1—0）1 大阪ク

▽同決勝

日体 13（5—2、8—3）5 慶大

【慶大】GK 中村　FB 須藤、有元　HB 島田、大坪、井上　FW 内藤、林（吉）、西、和田、林（大）

【日体】GK 宮本　FB 島田、花畑　HB 川村、広井、山田文　FW 高島、棉本、徳永、山田計、四宮

1 13MT 0
18 FT 17

日体は2連勝

▼女子（第1回）1回戦

倉敷高女（岡山）棄権 茨城女子師範（茨城）

▽同準決勝

梅花高女（大阪）1（0—0、1—0）0 静岡高女（静岡）

倉敷高女（岡山）4（2—1、2—1）2 日体（東京）

▽同決勝

倉敷高女 3（1—2、1—0：0—0、1—0）2 梅花高女

【梅花】GK 平山　FB 内田、草刈　HB 奥野、高木、熊沢　FW 中村、加藤、山村、古田、植山

【倉敷】GK 太田　FB 三好、松田　HB 岡村、菅沼、三宅　FW 川上、西山、山本、片山、横溝

0 13MT 1
8 FT 10

第4回（昭和17年10月24～25日・東京日体グラウンドほか）

▼男子1回戦

日（東京）体 4—2 明大（東京）

▽同準々決勝

青山師範ク（東京）2—1 日体

慶大（東京）棄権 大阪ク（大阪）

早大（東京）4—1 法大（東京）

日体ク（東京）7—0 文理大（東京）

▽同準決勝

慶大 7—0 青山師範ク

日体ク 3—0 早大

▽同決勝

日体ク 7（6—0、1—1）1 慶大

日体クは初優勝

▼女子（第2回）1回戦

津山高女（岡山）1—0 日体（東京）

倉敷高女（岡山）3—2 梅花高女（大阪）

▽同決勝

倉敷高女 3（2—0、1—2）2 津山高女

倉敷高女は2連勝

MEMO

日本協会発足にさきがけた昭和12年の第1回全日本選手権は第9回明治神宮体育大会陸上競技の一部として行われた。

日本で最初の公式競技会は昭和12年10月23日東京・体育研究所で開かれた第1回関東選手権

◇

第4回(昭17)全日本についての資料は、ここに掲載した以外にありません。

大会の詳細、プログラムなどを日本協会へご提供下さい。

なお、全日本総合記録中、空白の部分についてもご教示を。

全日本総合室内選手権

第1回（昭和29年12月26～28日・大阪府立体育会館）

▼男子準々決勝
大阪ク（大阪）12－1 新生ク（大阪）
芝浦工大（東京）19－7 桃陵ク（大阪）
六陵ク（大阪）8－6 全大阪歯大（大阪）
日体大（東京）11－2 鳳高ク（大阪）
▽同準決勝
日体大 8－5 六陵ク
大阪ク 14－5 芝浦工大
▽同3位決定勝
六陵ク 11－7 芝浦工大
▽同決勝
日体大 9（6－4 3－4）8 大阪ク

▼女子1回戦
カリカチュア・ク（大阪）2－1 尚和ク（大阪）
都南ク（大阪）5－0 豊中高（大阪）
春日丘ク（大阪）6－0 大谷ク（大阪）
▽同準決勝
カリカチュア・ク 2－1 都南ク
春日丘ク 5－0 梅花学園（大阪）
▽同3位決定戦
梅花学園 3－2 都南ク
▽同決勝
春日丘ク 6（4－0 2－0）0 カリカチュア・ク

第2回（昭和31年3月10～13日・神奈川県平塚市見付台体育館）

▼男子準々決勝
大阪ク（大阪）11－10 教大（東京）
日体大B（東京）9－5 全芝工大（東京）
全兵庫（兵庫）13－4 久里浜ク（神奈川）
日体大（東京）18－7 立大（東京）
▽同準決勝
大阪ク 10－6 日体大B
日体大 13－5 全兵庫
▽同3位決定戦
日体大B 7－4 全兵庫
▽同決勝
日体大 8（2－2 6－1）3 大阪ク
日体大は2連勝

▼女子準決勝（＝1回戦）
日体大（東京）6－0 春日丘ク（大阪）
大谷高ク（大阪）6－4 平塚江南ク（神奈川）
▽同3位決定戦
大谷高ク 6－4 平塚江南ク
▽同決勝
日体大 2（2－0 0－1）1 大谷高ク
日体大は初優勝

第3回（昭和31年12月26～28日・大阪府立体育会館）

▼男子準々決勝
日体大（東京）11－5 全関学（兵庫）
旭桜ク（東京）9－6 神戸大（兵庫）
全日体大（東京）9－6 新生ク（大阪）
全芝工大（東京）13－2 西日本日体OB（福岡）
▽同準決勝
日体大 20－6 旭桜ク
全芝工大 9－4 全日体大
▽同3位決定戦
全日体大 13－9 旭桜ク
▽同決勝
全芝工大 10（3－4 3－2：1－1 0－0：1－0 2－1）8 日体大
全芝工大は初優勝

▼女子1回戦
半田高（愛知）7－3 春日丘ク（大阪）
全兵庫（兵庫）棄権 大谷ク（大阪）
▽同準決勝
日体大（東京）6－4 半田高
全兵庫 6（延）5 四日市高（三重）
▽同3位決定戦
半田高 14－3 四日市高
▽同決勝
日体大 6（1－0 5－0）0 全兵庫
日体大は2連勝

第4回（昭和33年1月5～7日・名古屋金山体育館）

▼男子準々決勝
全静岡（静岡）11－10 全愛知学芸大（愛知）
全芝工大（東京）6－5 全日体大（東京）
日体大（東京）11－6 全教大（東京）
全宮城（宮城）8－7 中京商高（愛知）
▽同準決勝
全芝工大 9－5 全静岡
日体大 19－7 全宮城
▽同決勝
日体大 8（6－1 2－6）7 全芝工大
日体大は2年ぶり3度目の優勝

▼女子準々決勝
半田高（愛知）14－2 都立二商高（東京）
沼津女高（静岡）棄権 平塚江南ク（神奈川）
愛知紡（愛知）5－4 栃木女高（栃木）
四日市高（三重）4－2 日女体短大（東京）
▽同準決勝
半田高 7－2 沼津女高
愛知紡 13－4 四日市高
▽同決勝
半田高 6（2－1 4－4）5 愛知紡
半田高は初優勝
（注）男女とも3位決定戦行われず

第5回（昭和34年1月5～7日・大阪府立体育会館）

▼男子準々決勝
全芝工大（東京）19－6 旭桜ク（東京）
全兵庫（兵庫）14－13 全明大（東京）
全日体大（東京）16－9 全教大（東京）
大阪ク（大阪）25－14 全宮城（宮城）
▽同準決勝
全芝工大 28－10 全兵庫
全日体大 13－10 大阪ク
▽同3位決勝戦
大阪ク 12－11 全兵庫
▽同決勝
全日体大 16（7－4 9－7）11 全芝工大
全日体大は初優勝

▼女子準々決勝
愛知紡（愛知）10－2 清水女高（静岡）
寝屋川ク（大阪）11－2 日体大（東京）
栃木女高（栃木）18－3 北摂ク（大阪）
尼崎ク（兵庫）12－9 大谷ク（大阪）
▽同準決勝
寝屋川ク 6－3 愛知紡
栃木女高 17－7 尼崎ク
▽同3位決定戦
愛知紡 11－7 尼崎ク
▽同決勝
寝屋川ク 9（7－1 2－3）4 栃木女高
寝屋川クは初優勝

第6回（昭和35年1月26～31日・東京台東体育館）

▼男子準々決勝
全芝工大(東京) 14―11 早大(東京)
滴水会(東京) 19―9 自衛隊久里浜(神奈川)
鎌倉学園高(神奈川) 15―5 福島ク(福島)
全日体大(東京) 16―11 芝浦ク(東京)
▽同準決勝
全芝工大 23―15 滴水会
全日体大 26―17 鎌倉学園高
▽同3位決定戦
鎌倉学園高 12―11 滴水会
▽同決勝
全芝工大 14 (7―8, 7―5) 13 全日体大
全芝工大は3年ぶり2度目の優勝
▼女子準々決勝
愛知紡(愛知) 11―8 日体大(東京)
桜水商高(東京) 5―4 大谷ク(大阪)
熊本ク(熊本) 9―6 水海道二高ク(茨城)
栃木女高(栃木) 12―7 清水女高(静岡)
▽同準決勝
愛知紡 13―4 桜水商高
熊本ク 11―5 栃木女高
▽同3位決定戦
栃木女高 18―2 桜水商高
▽同決勝
熊本ク 7 (4―4, 3―2) 5 愛知紡
熊本クは初優勝

第7回 (昭和36年1月24~28日・東京台東体育館)

▼男子準々決勝
大崎電気(東京) 11―7 旭桜ク(東京)
滴水会(東京) 16―8 東北学院大(宮城)
日体大(東京) 13―11 早大(東京)
全日体大(東京) 23―9 立大(東京)
▽同準決勝
大崎電気 10―8 滴水会
全日体大 35―22 日体大
▽同3位決定戦
滴水会 12―6 日体大
▽同決勝
全日体大 16 (7―8, 9―6) 14 大崎電気
全日体大は2年ぶり2度目の優勝
▼女子準々決勝
熊本商大(熊本) 15―3 大谷高(大阪)
栃木女高(栃木) 6―4 日体大(東京)
水海道三高ク(茨城) 8(延)5 清水女高(静岡)
愛知紡(愛知) 10―2 全熊谷女高(埼玉)
▽同準決勝
熊本商大ク 11―3 水海道二高ク
栃木女高 6(延)6 愛知紡
▽同3位決定戦
愛知紡 12―6 水海道二高ク
▽同決勝
熊本商大ク 9 (3―4, 6―0) 4 栃木女高
熊本商大クは初優勝

第8回 (昭和36年12月20~23日・東京体育館)

▼男子準々決勝
芝浦工大(東京) 24―4 明星ク(東京)
立大(東京) 18―9 日体大(東京)
全日体大(東京) 25―9 京都ク(京都)
大崎電気(東京) 16―9 滴水会(東京)
▽同準決勝
芝浦工大 17―9 立大
大崎電気 15―10 全日体大
▽同3位決定戦
全日体大 24―12 立大
▽同決勝
大崎電気 13 (3―6, 6―3, 2―1, 2―2) 12 芝浦工大
大崎電気は初優勝
▼女子準々決勝
愛知紡(愛知) 9―3 清水女高(静岡)
大崎電気(埼玉) 22―6 西峯ク(茨城)
日体大(東京) 8―7 栃木女高(栃木)
半田高(愛知) 17―9 大谷高ク(大阪)
▽同準決勝
愛知紡 14―8 大崎電気
日体大 13―9 半田高
▽同3位決定戦
半田高 8―7 大崎電気
▽同決勝
愛知紡 9 (4―3, 5―3) 6 日体大
愛知紡は初優勝

第9回 (昭和37年12月20~23日・東京体育館)

▼男子準々決勝
早大(東京) 21―15 芝浦ク(東京)
大崎電気(東京) 26―8 立大(東京)
全日体大(東京) 25―17 滴水会(東京)
芝浦工大(東京) 36―7 浦和市高(埼玉)
▽同準決勝
大崎電気 26―19 早大
全日体大 19―17 芝浦工大
▽同3位決定戦
芝浦工大 25―14 早大
▽同決勝
全日体大 12 (4―6, 8―5) 11 大崎電気
全日体大は
▼女子準々決勝
大洋デパート(熊本) 10―8 寝屋川ク(大阪)
愛知紡(愛知) 8―6 レナウン(東京)
大崎電気(埼玉) 13―7 日体大(東京)
静岡城北高(静岡) 15―6 田村紡(三重)
▽同準決勝
愛知紡 5―4 大崎電気
静岡城北高 9―8 大洋デパート
▽同3位決定戦
大洋デパート 9―7 大崎電気
▽同決勝
愛知紡 10 (3―4, 5―4, 1―1, 1―0) 9 静岡城北高
愛知紡は2連勝

第10回 (昭和38年12月19~22日・東京台東体育館)

▼男子準々決勝
立大(学連・東京) 25―14 滴水会(東京)
芝浦工大(学連・東京) 37―12 明大(学連・東京)
大崎電気(日推・埼玉) 30―19 教大(学連・東京)
全日体大(日推・東京) 24―15 清商ク(東海・静岡)
▽同準決勝
立大 18(延)16 芝浦工大
全日体大 18―13 大崎電気
▽同3位決定戦
大崎電気 20―19 芝浦工大
▽同決勝
全日体大 18 (9―11, 9―6) 17 立大
全日体大は2年連続4度目の優勝
▼女子準々決勝
大洋デパート(日推・熊本) 22―5 和洋女高(東北・秋田)
レナウン東京(東京) 10―9 田村紡(東海・三重)
静岡城北高(日推・静岡) 11―7 レナウン大阪(近畿・大阪)
大崎電気(日推・埼玉) 8―6 愛知紡(日推・愛知)
▽同準決勝
大洋デパート 10―7 レナウン東京
大崎電気 6―4 静岡城北高
▽同3位決定戦

レナウン東京 4（分）4 静岡城北高（両者3位）
▽同決勝
大崎電気 9（3－2／6－3）5 大洋デパート
大崎電気は初優勝

第11回（昭和39年12月16～20日・東京体育館）

▼男子決勝リーグ
大崎電気（日推・埼玉）28－9 同志社大（日推・京都）
全立大（日推・東京）23－15 日体大ク（日推・東京）
全立大 21－13 同志社大
大崎電気 15－13 日体大ク
同志社大 22－17 日体大ク
全立大 21－16 大崎電気
【順位】①全立大＝初優勝②大崎電気③同志社大④日体大ク
▼女子決勝リーグ
田村紡（日推・三重）6－4 大洋デパート（日推・熊本）
愛知紡（日推・愛知）4－3 レナウン（日推・東京）
田村紡 3－2 愛知紡
レナウン 6－5 大洋デパート
大洋デパート 10－7 愛知紡
田村紡 13－8 レナウン
【順位】①田村紡＝初優勝②大洋デパート③愛知紡④レナウン（2、3位は得点率による）

全日本選抜選手権（NHK杯全日本選抜大会）

☆……「全日本総合室内選手権」は第12回大会から「全日本選抜選手権」と改称。大会回数は継承。

第12回（昭和40年12月14日～19日・東京体育館）

▽男子予選リーグA組
大崎電気（埼玉）25－20 日体大ク（東京）
全立大（東京）24－13 同志社大（京都）
全立大 25－14 日体大ク
大崎電気 33－15 同志社大
全立大 14－11 大崎電気
日体大ク 23－20 同志社大
▽同B組
芝浦工大（東京）30－16 千代田印刷機製造（東京）
大阪イーグルス（大阪）16－16 関学（兵庫）引き分け
大阪イーグルス 23－15 千代田印刷機製造
芝浦工大 18－14 関学
芝浦工大 11－10 大阪イーグルス
関学 14－13 千代田印刷機製造
▽同決勝リーグ
全立大 16（6－7／10－5）12 大阪イーグルス
芝浦工大 16（10－6／6－5）11 大崎電気
全立大 22（10－8／12－4）12 大崎電気
芝浦工大 16（7－4／9－1）5 大阪イーグルス
芝浦工大 12（9－3／3－7）10 全立大
大崎電気 17（7－7／10－5）12 大阪イーグルス
全立大 22（10－8／12－4）12 大崎電気
芝浦工大 16（7－4／9－1）5 大阪イーグルス
【順位】①芝浦工大＝初優勝②全立大③大崎電気④大阪イーグルス
▼女子予選リーグA組
大洋デパート（熊本）14－3 東京重機（東京）
愛知紡（愛知）11－7 日体大（東京）
愛知紡 12－6 東京重機
大洋デパート 14－6 日体大
大洋デパート 12－5 愛知紡
日体大 11－10 東京重機
▽同B組
大崎電気（埼玉）10－2 三菱鉛筆（山形）
田村紡（三重）16－2 菊池農高（熊本）
田村紡 17－4 三菱鉛筆
大崎電気 10（分）10 菊池農高
大崎電気 4－2 田村紡
菊池農高 7－4 三菱鉛筆
▽同決勝リーグ
愛知紡 6（5－3／1－2）5 大崎電気
田村紡 10（7－4／3－3）7 大洋デパート
大洋デパート 13（6－0／7－1）1 愛知紡
田村紡 10（4－5／6－5）10 大崎電気 引き分け
田村紡 9（4－3／5－0）3 愛知紡
大洋デパート 7（3－1／4－5）6 大崎電気
【順位】①田村紡＝2年連続2度目の優勝②大洋デパート③愛知紡④大崎電気

☆……後援を受けているNHKの名をタイトルにかかげ「**NHK杯全日本選抜大会**」と改称。第17回から〝選手権〟の名は消える。

第13回（昭和41年12月21～25日・東京体育館）

▼男子予選リーグA組
大崎電気（埼玉）31－9 岐阜教員（岐阜）
芝浦工大（東京）20－11 同志社大（京都）
大崎電気 27－16 同志社大
芝浦工大 32－8 岐阜教員
同志社大 21－17 岐阜教員
芝浦工大 19－17 大崎電気
▽同B組
関大（大阪）19－14 大阪イーグルス（大阪）
全立大（東京）35－9 関学（兵庫）
大阪イーグルス 16（分）16 関学
全立大 17－8 関大
関大 17－13 関学
全立大 22－13 大阪イーグルス
▽同決勝リーグ
芝浦工大 17（9－8／8－6）14 関大
全立大 12（5－7／7－5）12 大崎電気 引き分け
大崎電気 20（9－6／11－6）12 関大
全立大 20（13－5／7－9）14 芝浦工大
芝浦工大×大崎電気、全立大×関大は予選リーグの記録を適用
【順位】①全立大＝2年ぶり2度目の優勝②芝浦工大③大崎電気④関大
▼女子リーグ（予選なし）
田村紡（三重）20（14－1／6－5）6 東京女体大（東京）
大崎電気（埼玉）5（3－1／2－1）2 三菱鉛筆（山形）
日体大（東京）10（3－4／7－4）8 東京重機（東京）
大崎電気 11（5－2／6－2）4 東女体大
田村紡 20（12－4／8－5）9 東京重機
大崎電気 12（6－1／6－0）1 日体大
日体大 7（4－2／3－2）4 三菱鉛筆
田村紡 12（8－2／4－2）4 三菱鉛筆
東京重機 13（5－3／8－4）7 東女体大
三菱鉛筆 9（3－2／6－0）2 東女体大
大崎電気 11（5－3／6－2）5 東京重機
田村紡 13（4－4／9－5）9 日体大
三菱鉛筆 8（3－4／5－1）5 東京重機
日体大 12（7－0／5－5）5 東女体大
大崎電気 8（4－1／4－3）4 田村紡

【順位】①大崎電気＝3年ぶり2度目の優勝②田村紡③日体大④三菱鉛筆⑤東京重機⑥東京女子体大

第14回 （昭和42年12月13～17・日・東京体育館）

▼男子予選リーグA組
大崎電気（埼玉） 17―4 全神奈川（神奈川）
芝浦工大（東京） 29―14 大阪イーグルス（大阪）
全神奈川 19―16 大阪イーグルス
芝浦工大 90―17 大崎電気
大崎電気 16（分）16 大阪イーグルス
芝浦工大 14―10 全神奈川
▽同B組
全立大（東京） 23―12 岐阜教員（岐阜）
東京教大（東京） 23―19 埼玉教員（埼玉）
東京教大 22―11 岐阜教員
全立大 26―17 埼玉教員
埼玉教員 23―12 岐阜教員
東京教大 14―11 全立大
▽同決勝リーグ
全立大 17（9―8、8―8）16 芝浦工大
大崎電気 17（9―7、8―3）10 東京教大
全立大 17（8―5、9―7）12 大崎電気
芝浦工大 20（11―6、9―5）11 東京教大
芝浦工大×大崎電気、東京教大×全立大は予選リーグの記録適用
【順位】①芝浦工大＝2年ぶり2度目の優勝②全立大③大崎電気④東京教大（1・2位、3・4位は得失点差による）

▼女子予選リーグA組
田村紡（三重） 11―7 三菱鉛筆（神奈川）
田村紡 7―6 日体大（東京）
三菱鉛筆 9―2 日体大
▽同B組
大崎電気（埼玉） 13―2 東京重機（東京）
愛知紡（愛知） 22―9 東女体大（東京）
愛知紡 7（分）7 東京重機
大崎電気 16―2 東女体大
東京重機 10―7 東女体大
大崎電気 12―6 愛知紡
▽同決勝リーグ
田村紡 8（4―3、4―1）4 愛知紡
三菱鉛筆 5（3―2、2―3）5 大崎電気 引き分け
三菱鉛筆 13（6―2、7―3）5 愛知紡
田村紡 6（3―2、3―3）5 大崎電気
大崎電気×愛知紡、田村紡×三菱鉛筆は予選リーグの記録を適用
【順位】①田村紡＝2年ぶり3度目の優勝②三菱鉛筆③大崎電気④愛知紡（2・3位は得失点差による）

第15回 （昭和43年12月18～22・日・東京体育館）

▼男子予選リーグA組
日体大（東京） 19―16 大阪イーグルス（大阪）
大崎電気（埼玉） 27―21 中大（東京）
日体大 18―13 中大
大崎電気 18―14 大阪イーグルス
中大 19―18 大阪イーグルス
日体大 13―12 大崎電気
▽同B組
芝浦工大（東京） 22―12 埼玉教員ク（埼玉）
全立大（東京） 23―11 三景（東京）
全立大 19―10 埼玉教員ク
芝浦工大 17―16 三景
全立大 29―12 芝浦工大
埼玉教員ク 19―15 三景
▽同決勝リーグ
日体大 15（4―8、11―3）11 芝浦工大
全立大 17（11―6、6―8）14 大崎電気
大崎電気 19（9―10、10―5）15 芝浦工大
全立大 15（7―5、8―7）12 日体大
全立大×芝浦工大、日体大×大崎電気は予選リーグの記録を適用
【順位】①全立大＝2年ぶり3度目の優勝②日体大③大崎電気④芝浦工大

▼女子予選リーグA組
菊池農高（熊本） 11―7 日体大（東京）
田村紡（三重） 30―6 東京重機（東京）
田村紡 17―3 菊池農高
東京重機 12―6 日体大
菊池農高 12―9 東京重機
田村紡 22―5 日体大
▽同B組
三菱鉛筆（神奈川） 27―5 中京大（愛知）
大崎電気（埼玉） 29―4 東女体大（東京）
大崎電気 18―3 中京大
三菱鉛筆 21―5 東女体大
東女体大 9―7 中京大
大崎電気 6―5 三菱鉛筆
▽同決勝リーグ
田村紡 6（2―4、4―1）5 三菱鉛筆
大崎電気 17（9―4、8―2）6 菊池農高
三菱鉛筆 15（6―5、9―2）7 菊池農高
大崎電気 8（4―4、4―3）7 田村紡
大崎電気×三菱鉛筆、田村紡×菊池農高は予選リーグの記録適用
【順位】①大崎電気＝2年ぶり3度目の優勝②田村紡③三菱鉛筆④菊池農高

第16回 （昭和44年12月19～21・日・東京体育館）

▼男子リーグ
全立大（東京） 22（16―7、6―6）13 中大（東京）
大崎電気（埼玉） 18（9―6、9―5）11 中大
全立大 16（6―6、10―9）15 日体大（東京）
大崎電気 14（8―6、6―3）9 日体大
中大 12（4―6、8―3）9 日体大
大崎電気 14（5―6、9―8）14 全立大 引き分け
【順位】①大崎電気＝8年ぶり2度目の優勝②全立大③中大④日体大（1・2位は得失点差による）

▼女子リーグ
三菱鉛筆（神奈川） 9（6―3、3―4）7 田村紡（三重）
大崎電気（埼玉） 11（6―5、5―1）6 大洋デパート（熊本）
田村紡 7（3―3、4―1）4 大崎電気
大洋デパート 8（5―2、3―1）3 三菱鉛筆
三菱鉛筆 8（5―4、3―3）7 大崎電気
大洋デパート 12（5―5、7―2）7 田村紡
【順位】①大洋デパート＝初優勝②三菱鉛筆③大崎電気④田村紡（1・2位は得失点差による）

第17回 （昭和45年12月18～20・日・東京体育館）

▼男子リーグ
湧永薬品（大阪） 26（14―5、12―9）16 埼玉教員ク（埼玉）
日体大（東京） 12（6―5、6―5）10 大崎電気（埼玉）
大崎電気 25（11―8、14―4）12 埼玉教員ク
日体大 13（6―7、7―3）10 湧永薬品
日体大 8（3―3、5―4）7 埼玉教員ク
湧永薬品 19（10―7、9―4）11 大崎電気
【順位】①日体大＝12年ぶり4度目の優勝②湧永薬品③大崎電気④埼玉教員ク

▼女子リーグ
大洋デパート（熊本） 16（7―1、9―4）5 全日本学生選抜

日本ビクター（茨城）10（8−5、2−5）10 大崎電気（埼玉） 引き分け

日本ビクター 9（3−0、6−2）2 全日本学生選抜

大洋デパート 13（7−3、6−6）9 大崎電気

大崎電気 12（4−3、8−4）7 全日本学生選抜

大洋デパート 6（4−2、2−2）4 日本ビクター

【順位】①大洋デパート＝2連勝②日本ビクター③大崎電気④全日本学生選抜

第18回 （昭和46年6月25〜27日・東京体育館）

▼男子リーグ

全日本学生 17（12−6、5−3）9 全日本実業団

全日本 18（8−3、10−9）12 全日本教職員

全日本実業団 24（10−5、14−5）10 全日本教職員

全日本 20（4−3、16−7）10 全日本学生

全日本教職員 19（11−8、8−7）15 全日本学生

全日本 16（5−8、11−5）13 全日本実業団

【順位】①全日本②全日本実業団③全日本学生④全日本教職員（2位以下は得失点差による）

▼女子リーグ

関東実業団選抜 10（7−3、3−4）7 東海実業団選抜

全日本 19（10−3、9−1）4 全日本学生

全日本学生 14（8−5、6−4）9 東海実業団選抜

全日本 19（10−1、9−2）3 関東実業団選抜

関東実業団選抜 8（3−7、5−1）8 全日本学生 引き分け

全日本 13（6−3、7−0）3 東海実業団選抜

【順位】①全日本②全日本学生③関東実業団選抜④東海実業団選抜（2、3位は得失点差による）

第19回 （昭和47年6月23〜25日・大阪市中央体育館）

大崎電気（埼玉実連）14（4−7、10−5）12 全日本教職員

全日本実業団 25（16−5、9−10）15 中大（東京学連）

全日本教職員 15（9−4、6−8）12 中大

全日本実業団 22（8−3、14−6）9 大崎電気

大崎電気 16（10−4、6−5）9 中大

全日本実業団 15（7−9、8−3）12 全日本教職員

【順位】①全日本実業団選抜②大崎電気③全日本教職員選抜④中大

▼女子リーグ

日本ビクター（実連・茨城）11（4−6、7−4）10 田村紡（実連三重）

大洋デパート（実連・熊本）11（5−2、5−4）5 日体大（学連東京）

大洋デパート 11（2−3、9−2）5 田村紡

日本ビクター 11（4−3、7−3）6 日体大

日体大 9（5−3、4−5）8 田村紡

大洋デパート 12（6−3、6−7）10 日本ビクター

【順位】①大洋デパート＝2年ぶり4度目の優勝②日本ビクター③日体大④田村紡

第20回 （昭和48年6月22〜24日・大阪市中央体育館）

▼男子リーグ

大同製鋼（愛知）27（13−9、14−7）16 全日本学生

湧永薬品（大阪）19（9−3、10−7）10 全日本教職員

大同製鋼 27（15−6、12−11）17 全日本教職員

湧永薬品 17（12−5、5−9）14 全日本学生

全日本教職員 19（10−3、9−7）10 全日本学生

大同製鋼 16（10−7、6−8）15 湧永薬品

【順位】①大同製鋼＝初優勝②湧永薬品③全日本教職員④全日本学生

▼女子リーグ

東京重機（東京）24（11−3、13−6）9 全日本学生

大洋デパート（熊本）9（2−0、7−4）4 日本ビクター（茨城）

東京重機 12（6−8、6−4）12 日本ビクター 引き分け

大洋デパート 15（9−2、6−8）10 全日本学生

日本ビクター 14（7−2、7−2）4 全日本学生

大洋デパート 13（5−3、8−2）5 東京重機

【順位】①大洋デパート＝2年連続7度目の優勝②東京重機③日本ビクター④全日本学生（2、3位は得失点差による）

☆……第21回（昭49）以降はNHK側の要望で〝国際化〟されることになり、国内大会としてはピリオドが打たれた。

第21回 （昭和49年8月31日・東京体育館）

東ドイツ 17−11 全日本男子

（注）本誌15頁参照

☒全日本選抜室内選手権新潟大会
（昭和38年1月5、6日新潟県柏崎市）

▽男子リーグ

大崎電気（東京）25−22 芝浦工大（東京）

芝浦工大（東京）17−16 全日体大（東京）

大崎電気 26−17 全日体大

【順位】①大崎電気②芝浦工大③全日体大

▽女子リーグ

愛知紡（愛知）6（延）4 大崎電気（東京）

愛知紡 7−5 静岡城北高（静岡）

静岡城北高 10−4 大崎電気

【順位】①愛知紡②大崎電気③静岡城北高

（お願い）掲載した記録に対する訂正、疑義、新資料の提供などは3月25日までに編集委員会宛にお送り下さい。

日本ハンドボール界主要記録

第Ⅲ部・全国中学生大会、全国高専選手権東西対抗

全国中学生大会

第1回

（昭和47年8月17～19日・愛知青少年公園）

▼男子1回戦

釧路北（北海道） 18（7−6, 11−6）12 香川大附属高松（四国・香川）

熊本マリスト学園（九州・熊本） 10（3−4, 7−3）7 いわき好間（東北・福島）

▽同準々決勝

名古屋東港（愛知） 20（12−1, 8−0）1 釧路北

氷見南部（北信越・富山） 9（5−3, 4−1）4 呉二河（中国・広島）

東陽・福泉南混成（近畿・大阪） 19（10−7, 9−2）6 熊本マリスト学園

加納（東海・岐阜） 15（10−3, 5−5）8 水海道（関東・茨城）

▽同準決勝

加納 15（5−5, 10−3）8 東陽・福泉南混成

名古屋東港 13（7−3, 6−4）7 氷見南部

▽同決勝

名古屋東港 9（6−3, 3−1）4 加納

▼女子1回戦

郡山二瀬（東北・福島） 5（1−2, 4−2）4 高松香東（四国・香川）

▽同準々決勝

堺福泉南（近畿・大阪） 12（5−4, 7−6）10 玉名玉南（九州・熊本）

豊橋南（愛知） 8（3−1, 5−6）7 小松丸内（北信越・石川）

水海道（関東・茨城） 20（12−5, 8−5）10 神辺（中国・広島）

加納（東海・岐阜） 7（3−2, 4−1）3 郡山二瀬

▽同準決勝

豊橋南 16（5−4, 11−4）8 水海道

堺福泉南 8（3−2, 5−3）5 加納

▽同決勝

堺福泉南 9（5−1, 4−7）8 豊橋南

第2回

（昭和48年8月16～18日・愛知青少年公園）

▼男子1回戦

笹島（愛知） 18（10−5, 8−5）9 大島（北信越・福井）

麻生第一（関東・茨城） 11（4−7, 7−1）8 大阪選抜（近畿）

▽同準々決勝

笹島 19（11−2, 8−1）3 御館（東北・福島）

釧路鳥取（北海道） 19（9−8, 10−5）13 香川（四国・香川）

戸町（九州・長崎） 13（8−5, 5−2）7 麻生第一

長森（東海・岐阜） 15（7−4, 8−8）12 柱野（中国・山口）

▽同準決勝

笹島 16（7−1, 9−5）6 釧路鳥取

長森 11（6−5, 5−4）9 戸町

▽同決勝

笹島 7（5−3, 2−3）6 長森

笹島は初優勝

▼女子1回戦

結城（関東・茨城） 10（5−4, 5−3）7 四日市中部（東海・三重）

小松南部（北信越・石川） 8（6−2, 2−1）3 大野（九州・長崎）

▽同準々決勝

福泉南（近畿・大阪） 14（7−2, 7−2）4 小松南部

結城 10（5−6, 5−3）9 二瀬（東北・福島）

加納（東海・岐阜） 11（9−3, 2−2）5 岩国（中国・山口）

上野（愛知） 10（7−2, 3−2）4 香東（四国・香川）

▽同準決勝

福泉南 6（5−0, 1−5）5 加納

上野 9（4−3, 5−2）5 結城

▽同決勝

福泉南 13（4−1, 9−5）6 上野

福泉南は2連勝

第3回

（昭和49年8月18、19日・奈良市中央体育館）

▼男子1回戦

左近山（関東・神奈川） 7（4−2, 3−2）4 高浜（北信越・福井）

東陽（近畿・大阪） 12（7−5, 5−3）8 桜明ク（東海・愛知）

▽同準々決勝

岐陽（中国・山口） 16（8−8, 8−3）11 釧路北（北海道）

戸町（九州・長崎） 11（5−2, 6−1）3 香川（四国・香川）

生駒（奈良） 13（7−8, 6−4）12 左近山

東陽 23（13−8, 10−3）11 黒石野（東北・岩手）

▽同準決勝

生駒 16（8−8, 8−3）11 岐陽

東陽 14（7−5, 7−5）10 戸町

▽同決勝

東陽 14（7−5, 7−5）10 戸町

東陽は初優勝

▼女子1回戦

玉造（関東・茨城） 7（4−3, 3−3）6 生駒（奈良）

大阪市選抜（近畿） 5（0−0, 1−1, …, 2−2, 2−2）5 岩国（中国・山口） 引き分け

抽せんで大阪市選抜の勝ち

▽同準々決勝

玉造 8（3−5、5−1）6 加納（東海 岐阜）
小川ク（九州 熊本）18（9−3、9−2）5 明倫（北信越 福井）
二瀬（東北 福島）9（7−2、2−5）7 大阪市選抜
香東（四国 香川）6（2−2、4−3）5 兵庫選抜（近畿）
▽同準決勝
小川ク 12（7−3、5−5）8 玉造
二瀬 10（6−3、4−2）5 香東
▽同決勝
小川ク 18（10−2、8−4）6 二瀬
小川クは初優勝

第4回（昭和50年8月17、18日・石川県小松市体育館）
▼男子1回戦
左近山（関東 神奈川）10（5−4、5−4）8 松橋（九州 熊本）
釧路北（北海道）12（5−2、7−2）4 桜町（四国 香川）
▽同準々決勝
大阪選抜（近畿）14（4−5、6−5、…、2−1、2−1）12 左近山
御桜ク（東海 愛知）14（10−5、4−6）11 氷見西部（北信越 富山）
釧路北 9（3−7、6−1）8 下松（中国 山口）
御幸（石川）10（6−3、4−0）3 東仙台（東北 宮城）
▽同準決勝
御桜ク 13（4−5、9−2）7 大阪選抜
釧路北 14（5−4、9−5）9 御幸
▽同決勝
御桜ク 16（11−6、5−8）14 釧路北
御桜クは初優勝
▼女子1回戦
玉造（関東 茨城）8（1−1、7−2）3 加納（東海 岐阜）
般若（北信越 富山）12（5−2、7−4）6 塩江（四国 香川）
▽同準々決勝
光陽（北信越 福井）12（5−2、7−5）7 岐陽（中国 山口）
小松南部（石川）10（5−2、5−2）4 般若
生駒（近畿 奈良）11（5−3、6−5）8 小川（東北 福島）
鶴城ク（九州 熊本）11（4−1、7−3）4 玉造
▽同準決勝
鶴城ク 9（6−3、3−3）6 光陽
生駒 11（8−3、3−5）8 小松南部
▽同決勝
鶴城ク 12（7−3、5−4）7 生駒
鶴城クは初優勝

第5回（昭和51年8月16、17日・大阪市中央体育館）
▼男子1回戦
氷見西部（北信越 富山）18（7−4、11−8）12 御東ク（東海 愛知）
昭島スポーツ少年団（関東・東京）10（3−5、7−4）9 松橋（九州 熊本）
下松（中国 山口）12（6−2、6−3）5 釧路北（北海道）
岩倉（近畿 和歌山）13（5−6、8−5）11 桜町（四国 香川）
生駒（近畿 奈良）21（10−2、11−1）3 潟東（北信越 新潟）
廿日市・呉選抜（中国・広島）15（9−6、6−2）8 平田野（東海 三重）
マリスト学園（九州・熊本）11（7−2、4−6）8 結城（関東 茨城）
茨木ク（大阪）15（5−4、10−5）9 郡山一（東北 福島）
▽同準々決勝
氷見西部 15（5−5、10−2）7 昭島スポーツ少年団
岩倉 14（7−5、7−6）11 下松
茨木ク 16（7−5、9−6）11 マリスト学園
生駒 15（4−5、6−5、…、3−0、2−4）14 廿日市・呉選抜
▽同準決勝
岩倉 13（6−5、7−6）11 氷見西部
生駒 12（6−4、6−1）5 茨木ク
▽同決勝
生駒 13（6−4、7−8）12 岩倉
生駒は初優勝
▼女子1回戦
小川（東北 福島）17（9−1、8−1）2 操南（近畿 岡山）
大平（関東 栃木）17（11−4、6−6）10 泉北ク（大阪）
氷川中ク（九州 熊本）10（8−1、2−2）3 光陽（北信越 福井）
名塚（東海 愛知）12（4−1、8−4）5 生駒（近畿 奈良）
鶴城ク（九州 熊本）9（3−2、6−0）2 小松南部（北信越 石川）
徳山住吉（中国 山口）4（2−1、2−2）3 玉造（関東 茨城）
長森ク（東海 岐阜）8（4−4、3−3、…、1−1、0−0）8 鳥屋城（近畿 和歌山）
引き分け
抽せんで長森クの勝ち
彦根西（近畿 彦根）10（3−3、7−4）7 塩江（四国 香川）
▽同準々決勝
大平 18（8−6、10−1）7 小川
氷川中ク 11（8−4、3−4）8 名塚
鶴城ク 9（5−3、4−4）7 長森ク
徳山住吉 7（5−2、2−2）4 彦根西
▽同準決勝
鶴城ク 10（2−4、5−3、…、3−0、0−0）7 徳山住吉
氷川中ク 11（4−3、7−4）7 大平
▽同決勝
氷川中ク 12（6−3、6−5）8 鶴城ク
氷川中クは初優勝

全日本中学選手権（戦前）

第1回（昭和15年10月27〜29日・東京神宮競技場）
▽1回戦
東邦商（愛知）3−2 静岡師範（静岡）
青山師範（東京）9−0 関西中（岡山）
天王寺中（大阪）7−1 浦和商（埼玉）
▽同準決勝
東邦商 3−1 新京商（満洲）
青山師範 4−2 天王寺中
▽同決勝
青山師範 5（3−0、2−3）3 東邦商

第2回（昭和17年10月20〜25日・東京日体球技場）
▽準々決勝
豊中中（大阪）3−0 熊本商（熊本）
府立工芸（東京）棄権 徴文中

東邦商（愛知） 5—1 関東学院（神奈川）
天王寺中（大阪） 5—0 智山中
▽準決勝
豊中中 8—0 府立工芸
天王寺中 5—2 東邦商
▽決勝
豊中中 6（4—2 2—2）4 天王寺中
（このあと行われず）
（注）1、2回とも女子は開かれていない。

全国高専選手権

第1回（昭和49年8月28、29日・新潟県柏崎市）

▽準々決勝
高知高専（高知） 21—9 一関高専（岩手）
大阪府立高専（大阪） 26—5 茨城高専（茨城）
明石高専（兵庫） 27—16 鳥羽商船（三重）
宇部高専（山口） 28—8 秋田高専（秋田）
▽準決勝
大阪府立高専 15—7 高知高専
宇部高専 18—11 明石高専
▽決勝
宇部高専 24（9—5 15—4）9 大阪府立高専

第2回（昭和50年8月28、29日・愛知県豊田市）

▽準々決勝
宇部高専（山口） 29—9 高知高専（四国・高知）
豊田高専（愛知） 17—14 呉高専（中国・広島）
大阪府立高専（近畿・大阪） 25—17 沼津高専（東海・静岡）
一関高専（東北・岩手） 19—7 鹿児島高専（九州・鹿児島）
▽準決勝
一関高専 12—7 宇部高専
大阪府立高専 13—12 豊田高専
▽決勝
大阪府立高専 20（12—9 8—9）18 一関高専

第3回（昭和51年8月23、24日・新潟県柏崎市）

▽準々決勝
大阪府立高専（大阪） 18—16 呉高専（中国・広島）
長岡高専（新潟） 20—7 沼津高専（東海・静岡）
宇部高専（中国・山口） 20—9 鹿児島高専（九州・鹿児島）
一関高専（東北・岩手） 20—11 桐蔭学園高専（関東・神奈川）
▽準決勝
大阪府立高専 12—11 長岡高専
一関高専 14—11 宇部高専
▽決勝
一関高専 21（10—5 11—8）13 大阪府立高専

東西対抗

一般

◇**第1回**（昭和13年11月21日・南甲子園運動場）
東（明大）軍 13（6—1 7—1）2 西（選抜）軍
（注）この試合は「国民精神作興体育大会（第2日）」の一競技として行われた。

◇**第2回**（昭和14年11月19日・明治神宮外苑競技場）
東（全関東）軍 16（8—4 8—1）5 西（関西選抜）軍

◇**第3回**（昭和16年1月19日・南甲子園運動場）
東（全日体）軍 13（7—0 6—0）0 西（全関西）軍

◇**第4回**（昭和18年1月17日・明治神宮外苑競技場）
東（全関東）軍 10（4—2 6—1）3 西（選抜）軍

◇**第5回**（昭和21年1月20日・西宮球技場）＝復活第1回
西（選抜）軍 7（2—2 5—0）2 東（選抜）軍

◇**第6回**（昭和22年1月19日・西宮球技場）
西（全関西）軍 5（3—1 2—1）2 東（全明大）軍

◇**第7回**（昭和23年1月25日・ナイルキニック・スタジアム〜旧神宮〜）
西（選抜）軍 11（6—5 2—3 …… 1—1 2—1）10 東（選抜）軍

◇**第8回**（昭和24年2月6日・愛知県一宮市）
西（選抜）軍 1（0—0 1—0）0 東（文理大）軍

◇**第9回**（昭和25年1月8日・香川県丸亀）
西（選抜）軍 6（2—1 4—1）2 東（東京ク）軍

◇**第10回**（昭和26年1月7日・静岡）
西（選抜）軍 10（4—2 6—1）3 東（東京ク）軍

◇**第11回**（昭和26年11月23日・愛媛県今治市）
西（選抜）軍 4（3—0 1—2）2 東（全教大）軍

◇**第12回**（昭和28年3月29日・東京駒沢競技場）
西（選抜）軍 8（4—3 4—2）5 東（選抜）軍

◇**第13回**（昭和29年1月15日・西宮球技場）
西（選抜）軍 8（4—2 4—4）6 東（選抜）軍

◇**第14回**（昭和30年1月16日・神宮競技場）
西（選抜）軍 11（7—4 4—2）6 東（選抜）軍

◇**第15回**（昭和30年12月18日・西宮球技場）
西（選抜）軍 12（5—4 7—4）8 東（選抜）軍

◇**第16回**・休会

◇**第17回**（昭和33年2月2日・東京体育館）＝7人制
東（選抜）軍 16（7—4 9—3）7 西（選抜）軍
（これ以後行われず）

一般女子

◇**第1回**（昭和22年1月19日・西宮球技場）
西（全関西）軍 2（1—1 1—0）1 東（全関東）軍

◇**第2回**（昭和25年1月8日・香川県丸亀市）
西（選抜）軍 4（2—1 2—0）1 東（東京ク）軍

◇**第3回**（昭和26年1月7日・静岡）
東（選抜）軍 4（0—2 2—0 …… 0—0 2—2）4 西（大阪ク）軍
引き分け

◇**第4回**（昭和26年11月23日・愛媛県今治市）
西（全大阪）軍 4（1—0 3—0）0 東（東京ク）軍
（これ以後行われず）

学生

◇**第1回**（昭和23年12月29日・西宮球技場）
東 軍 7（3—2 4—2）4 西 軍

◇第2回（昭和25年1月15日・西宮球技場）
西軍 4（3－2、1－1）3 東軍
▽OB戦 東OB6－4西OB

◇第3回（昭和26年1月15日・駒沢球技場）
西軍 10（4－2、6－2）4 東軍

◇第4回（昭和27年1月15日・西宮球技場）
西軍 10（5－1、5－4）5 東軍
▽OB戦 西OB9－4東OB

◇第5回（昭和28年1月15日・神宮競技場）
東軍 10（7－3、3－3）6 西軍
▽OB戦 東OB18－8西OB
（注）OB戦はこれ以後行われず

◇第6回（昭和29年1月15日・西宮球技場）
西軍 12（5－4、7－6）10 東軍

◇第7回（昭和30年1月16日・神宮競技場）
東軍 14（9－2、5－7）9 西軍

◇第8回（昭和30年12月18日・西宮球技場）
東軍 17（7－2、10－5）7 西軍

◇第9回（昭和34年11月29日・国立競技場）
東軍 18（7－9、11－7）16 西軍

◇第10回（昭和35年11月23日・西宮球技場）
西軍 16（8－9、8－5）14 東軍

◇第11回（昭和36年12月3日・豊中市服部緑地球技場）
西軍 14（6－5、8－5）10 東軍

◇第12回（昭和37年9月15日・名古屋市鶴舞公園球技場）
東軍 22（11－4、11－7）11 西軍

◇第13回（昭和38年9月22日・名古屋中京大グランド）＝7人制採用
東軍 27（13－7、14－6）13 西軍

◇第14回（昭和39年9月20日・名古屋金山体育館）
西軍 29（14－13、15－10）23 東軍

◇第15回（昭和40年9月19日・愛知県体育館）
東軍 26（15－9、11－15）24 西軍

◇第16回（昭和41年9月18日・愛知県体育館）
東軍 26（13－12、13－10）22 西軍

◇第17回（昭和42年9月17日・愛知県体育館）
東軍 27（18－5、9－12）17 西軍

◇第18回（昭和43年9月15日・愛知県体育館）
東軍 23（12－7、11－8）15 西軍

◇第19回（昭和44年9月7日・愛知県体育館）
西軍 17（11－5、6－11）16 東軍
▽女子（第1回）
西軍 9（5－4、4－3）7 東軍

◇第20回（昭和45年9月6日・愛知県体育館）
東軍 18（9－2、9－7）9 西軍
▽女子
東軍 11（6－1、5－2）3 西軍

◇第21回（昭和46年9月18日・愛知県体育館）
東軍 18（9－3、9－9）12 西軍
▽女子
東軍 11（9－1、2－3）4 西軍

◇第22回（昭和47年9月15日・愛知県体育館）
東軍 16（5－7、11－7）14 西軍
▽女子
東軍 15（6－1、9－1）2 西軍

◇第23回（昭和48年9月15日・愛知県体育館）
西軍 18（8－6、10－5）11 東軍
▽女子（第5回）
東軍 12（5－1、7－1）2 西軍

◇第24回（昭和49年9月15日・愛知県体育館）
東軍 15（5－8、10－4）12 西軍
▽女子
東軍 6（4－2、2－4）6 西軍
引き分け

◇第25回（昭和50年9月15日・愛知県体育館）
西軍 18（9－8、9－6）14 東軍
▽女子
西軍 9（6－2、3－6）8 東軍

◇第26回（昭和51年9月12日・石川県体育館）
東軍 23（14－10、9－9）19 西軍
▽女子
東軍 9（5－2、4－3）5 西軍

高校（単独校対抗）

◇第1回（昭和23年1月25日・ナイルキニック・スタジアム＝神宮）
東軍（世田谷工・東京）5（0－2、4－2、……、1－0、0－0）4 西軍（倉敷工・岡山）
▽女子
西軍（倉敷高女・岡山）7（4－1、3－0）1 東軍（第一師範・東京）

◇第2回（昭和24年2月6日・愛知県一宮市）
西軍（天王寺・大阪）5（4－1、1－2）3 東軍（鎌倉・神奈川）
▽女子
西軍（倉敷高女・岡山）2（1－1、1－0）1 東軍（足利女・栃木）

◇第3回（昭和25年1月8日・香川県丸亀市）
西軍（天王寺・大阪）6（2－1、4－1）2 東軍（世田谷工・東京）
▽女子
西軍（寝屋川・大阪）4（3－0、1－1）1 東軍（一宮・愛知）

◇第4回（昭和26年1月7日・静岡）
東軍（一宮・愛知）3（2－1、1－0）1 西軍（天王寺・大阪）
▽女子
西軍（寝屋川・大阪）8（3－1、5－1）2 東軍（涌谷・宮城）

◇第5回（昭和26年11月23日・愛媛県今治市）
東軍（桜台・愛知）4（4－0、0－1）1 西軍（津山成美・岡山）
▽女子
東軍（静岡城北）5（1－3、2－0、……、1－1、1－0）4 西軍（落合・岡山）
〔これ以後行われず〕

MEMO

東西対抗は現在では学生界に残るだけとなったが、かっては両地区で予選を行う部門もあり大きな催しだった。
特に高校は全日本高校選手権ができるまでこの勝者がチャンピオンと云えた。
東西の分けかたは東海が境で44年までは東、その後西に移った。

日本ハンドボール界
主要記録

第IV部　加盟団体選手権・日本リーグ

全日本実業団選手権

第1回（昭和35年12月3・4日・広島市）

▼男子決勝リーグ
大崎電気（東京）　9—8　三菱レ大竹（広島）
東洋工業（広島）　6—5　淀川製鋼（広島）
大崎電気　10—2　東洋工業
三菱レ大竹　12—8　淀川製鋼
三菱レ大竹　10—5　東洋工業
大崎電気　16—1　淀川製鋼
【順位】①大崎電気②三菱レイヨン大竹②東洋工業④淀川製鋼

▼女子　愛知紡（愛知）の認定優勝（ただし、この決定は38年2月に行われたもの）

第2回（昭和37年2月10、11日・東京台東体育館）

▼男子3位決定戦＝7人制初採用
自衛隊朝霞（埼玉）　16—5　柏崎市役所（新潟）
▽同決勝
大崎電気（東京）　32（17—6、15—5）11　住友化学菊本（愛媛）
大崎電気は2連勝

▼女子決勝リーグ
愛知紡（愛知）　25—3　レナウン（東京）
大崎電気（東京）　15—5　レナウン
愛知紡　16—3　大崎電気
【順位】①愛知紡＝2連勝②大崎電気③レナウン

第3回（昭和38年2月3、4日・豊橋市）

▼男子準々決勝
大崎電気（東京）　26—3　三菱レ大竹（広島）
盛岡市役所（岩手）　17—15　新三菱重工（愛知）
豊橋建設（愛知）　14—10　京都市役所（京都）
住友化学菊本（愛媛）　25—11　第32普通科連隊（東京）
▽同準決勝
大崎電気　26—8　盛岡市役所
住友化学菊本　25—15　豊橋建設
▽同決勝
大崎電気　24（12—6、12—4）10　住友化学菊本
大崎電気は3連勝

▼女子1回戦
大崎電気（東京）　12—4　田村紡（三重）
大洋デパート（熊本）　11—10　レナウン（東京）
▽同敗者戦
レナウン　9—5　田村紡
▽同準決勝
大崎電気　9—5　大洋デパート
愛知紡　12—2　レナウン
▽同決勝
愛知紡　13（9—4、4—4）8　大崎電気
愛知紡は3連勝

第4回（昭和39年2月8〜10日・大阪府立体育会館）

▼男子準々決勝
大崎電気（埼玉）　38—9　自衛隊勝田（茨城）
宗形製作所（大阪）　19—6　日本鋼管（神奈川）
岡野バルブ（福岡）　26—6　美津濃（大阪）
住化菊本（愛媛）　18—12　三菱レ大竹（広島）
▽同準決勝
大崎電気　22—4　岡野バルブ
宗形製作所　14—9　住化菊本
▽同決勝
大崎電気　27（18—6、9—4）10　宗形製作所
大崎電気は4連勝

▼女子準々決勝
大洋デパート（熊本）　16—4　東京重機（神奈川）
レナウン東京（東京）　9—4　田村紡（三重）
レナウン大阪（大阪）　8—5　愛知紡（愛知）
大崎電気（埼玉）　22—3　揖斐川電工（岐阜）
▽同準決勝
レナウン東京　9—6　大洋デパート
大崎電気　13—9　レナウン大阪
▽同決勝
レナウン東京　11（5—4、5—6 … 1—0、0—0）10　大崎電気
レナウン東京は初優勝

第5回（昭和40年2月4〜7日・大阪府立体育会館）

▼男子準々決勝
大崎電気（埼玉）　27—13　岡野バルブ（福岡）
日本鋼管（神奈川）　18—12　住友化学菊本（愛媛）
宗形製作所（大阪）　17—8　本田技研鈴鹿（三重）
千代田印刷機製造（東京）　20—6　三菱レ大竹（広島）
▽同準決勝
大崎電気　25—5　日本鋼管
宗形製作所　10—9　千代田印刷機製造
▽同決勝
大崎電気　27（15—7、12—5）12　宗形製作所
大崎電気は5連勝

▼女子決勝リーグ
大洋デパート（熊本）　12—4　熊亀ク（熊本）
大崎電気（埼玉）　9—5　大洋デパート
大崎電気　9—2　熊亀ク
【順位】①大崎電気＝初優勝②大洋デパート②熊亀ク

第6回（昭和41年2月2〜5日・大阪府立体育会館）

▼男子準々決勝
大崎電気（埼玉）　32—13　三菱重工（愛知）
住化菊本（愛媛）　19—14　日本鋼管（神奈川）
千代田印刷機製造（東京）　19—14　本田技研鈴鹿（三重）
宗形製作所（大阪）　11—10　三菱レ大竹（広島）
▽同準決勝
大崎電気　33—8　住友化学菊本
千代田印刷機製造　21—8　宗形製作所
▽同決勝

大崎電気 23（13—5／10—9）14 千代田印刷機製造

大崎電気は6連勝

▼女子リーグ

大洋デパート（熊本） 8—5 田村紡（三重）

愛知紡（愛知） 14—3 三菱鉛筆（東京）

大崎電気（埼玉） 6（分）6 愛知紡

大洋デパート 14—3 三菱鉛筆

田村紡 13—5 愛知紡

大崎電気 4—2 大洋デパート

大崎電気 20—2 三菱鉛筆

田村紡 13—1 三菱鉛筆

大洋デパート 13—4 愛知紡

田村紡 4—3 大崎電気

【順位】①大洋デパート＝初優勝②田村紡③大崎電気④愛知紡⑤三菱鉛筆（1、2位は得点率による）

第7回

（昭和42年2月4～8日・愛知県体育館）

▼男子準々決勝

大崎電気（埼玉） 30—9 日本鋼管川崎（神奈川）

常盤工業（岐阜） 23—13 日進商会（神奈川）

住化菊本（愛媛） 20—16 本田技研鈴鹿（三重）

宗形製作所（大阪） 26—12 日本鋼管福山（広島）

▽同準決勝

大崎電気 28—14 常盤工業

住友化学菊本 18—14 宗形製作所

▽同決勝

大崎電気 26（14—5／12—7）12 住友化学菊本

大崎電気は7連勝

▼女子リーグ

田村紡（三重） 14—2 三菱鉛筆（山形）

大崎電気（埼玉） 15—10 愛知紡（愛知）

大洋デパート（熊本） 11—6 三菱鉛筆

田村紡 12—7 愛知紡

大崎電気 8—5 三菱鉛筆

田村紡 10—7 大洋デパート

大崎電気 9—8 大洋デパート

愛知紡 12—10 三菱鉛筆

大洋デパート 14—8 愛知紡

田村紡 9—7 大崎電気

【順位】①田村紡＝初優勝②大崎電気③大洋デパート④愛知紡⑤三菱鉛筆

第8回

（昭和43年2月7～11日・熊本市体育館）

▼男子準々決勝

大崎電気（埼玉） 41—7 神戸製鋼（兵庫）

富士レジン（兵庫） 19—16 宗形製作所（大阪）

三景（東京） 37—8 川崎車輌（兵庫）

住化菊本（愛媛） 22—12 日本鋼管福山（広島）

▽同準決勝

大崎電気 43—13 富士レジン

住化菊本 16—12 三景

▽同決勝

大崎電気 21（11—8／10—7）15 住友化学菊本

大崎電気は8連勝

▼女子リーグ

大崎電気（埼玉） 14—8 愛知紡（愛知）

田村紡（三重） 7—3 三菱鉛筆（神奈川）

大洋デパート（熊本） 7—6 大崎電気

三菱鉛筆 15—8 愛知紡

大洋デパート 17—6 三菱鉛筆

田村紡 17—8 愛知紡

大崎電気 6—5 三菱鉛筆

田村紡 9—8 大洋デパート

大洋デパート 21—6 愛知紡

田村紡 11—8 大崎電気

【順位】①田村紡＝2連勝②大洋デパート③大崎電気④三菱鉛筆⑤愛知紡

第9回

（昭和44年2月8～12日・横浜文化体育館）

▼男子準々決勝

大崎電気（埼玉） 23—6 日本鋼管京浜（神奈川）

住化菊本（愛媛） 24—16 千代田印刷機製造（東京）

常盤工業（岐阜） 20—12 日進商会（神奈川）

三景（東京） 25—10 富士製鉄名古屋（愛知）

▽同準決勝

大崎電気 20—14 常盤工業

三景 22—21 住化菊本

▽同決勝

大崎電気 24（13—12／11—5）17 三景

大崎電気は9連勝

▼女子決勝リーグ

大洋デパート（熊本） 10—6 大崎電気（埼玉）

田村紡（三重） 9—5 三菱鉛筆（神奈川）

大洋デパート 6—4 三菱鉛筆

田村紡 15—12 大崎電気

三菱鉛筆 13—5 大崎電気

大洋デパート 11—9 田村紡

【順位】①大洋デパート＝3年ぶり2度目の優勝②田村紡③三菱鉛筆④大崎電気

第10回

（昭和45年2月7～11日・愛知県体育館）

▼男子決勝リーグ

大崎電気（埼玉） 26—15 常盤工業（岐阜）

三景（東京） 23—15 住化菊本（愛媛）

三景 24—20 常盤工業

大崎電気 14—9 住化菊本

常盤工業 26—12 住化菊本

大崎電気 19—14 三景

【順位】①大崎電気＝10連勝②三景③常盤工業④住友化学菊本

▼女子リーグ

大洋デパート（熊本） 28—3 大洋紡（岐阜）

大崎電気（埼玉） 15—10 東京重機（東京）

田村紡（三重） 9—5 ブラザー工業（愛知）

東京重機 15—9 ブラザー工業

田村紡 16—8 大洋紡

大洋デパート 14—7 大崎電気

大崎電気 20—5 大洋紡

大洋デパート 13—6 ブラザー工業

田村紡 11—7 東京重機

ブラザー工業 15—11 大洋紡

大洋デパート 12—6 東京重機

大崎電気 11—6 田村紡

東京重機 21—5 大洋紡

大崎電気 16—3 ブラザー工業

田村紡 9—8 大洋デパート

【順位】①大洋デパート＝2年連続3度目の優勝②大崎電気②田村紡④東京重機⑤ブラザー工業⑥大洋紡（1・2・3位は得失点差による）

第11回

（昭和46年3月2～7日・横浜平沼記念体育館）

▼男子5・6位決定戦

本田技研鈴鹿（三重） 21—14 宗形製作所（大阪）

▽同3・4位決定戦

大崎電気（埼玉） 16—11 三景（東京）

▽同1・2位決定戦

湧永薬品（大阪） 15（8—5／7—6）11 大同製鋼（愛知）

湧永薬品は初優勝

▼女子決勝リーグ

大崎電気（埼玉） 13—8 田村紡（三重）

大洋デパート（熊本） 10—3 東京重機（東京）

東京重機 14—9 大崎電気

大洋デパート 15—4 田村紡

東京重機 17—10 田村紡

大洋デパート 16—8 大崎電気

【順位】①大洋デパート＝3年連続4度目の優勝②東京重機③大崎電気④田村紡

第12回

（昭和46年、男子＝7月21～25日・名古屋市体育館、女子＝7月7～11日・熊本市体育館）

▼男子決勝リーグ

大崎電気（埼玉） 18―10 三景（東京）
大同製鋼（愛知） 11―6 湧永薬品（大阪）
湧永薬品 22―11 三景
大崎電気 13―8 大同製鋼
大崎電気 8（分）8 湧永薬品
大同製鋼 27―12 三景

【順位】①大崎電気＝2年ぶり11度目の優勝②大同製鋼③湧永薬品④三景

▼女子決勝リーグ

大洋デパート（熊本） 17―5 ブラザー工業（愛知）
東京重機（東京） 16―12 白花醸造（韓国・特別参加）
大崎電気（埼玉） 8―7 田村紡（三重）
大崎電気 14―5 ブラザー工業
東京重機 11―9 田村紡
大洋デパート 12―6 白花醸造
大洋デパート 15―5 大崎電気
白花醸造 14―7 田村紡
東京重機 6―4 ブラザー工業
白花醸造 16―9 ブラザー工業
大洋デパート 17―7 田村紡
東京重機 13―9 大崎電気
田村紡 15―10 ブラザー工業
白花醸造 16―12 大崎電気
大洋デパート 15―6 東京重機

【順位】①大洋デパート＝4年連続5度目の優勝②東京重機※白花醸造③大崎電気④田村紡⑤ブラザー工業

◇予選・白花19―7大洋紡（岐阜）

第13回

（昭和47年、男子＝9月27日～10月1日・名古屋市、女子＝7月11～16日・室蘭市）

▼男子決勝リーグ

大同製鋼（愛知） 13（分）13 大崎電気（埼玉）
湧永薬品（大阪） 11（分）11 三景（東京）
大崎電気 23―17 三景
大同製鋼 19（分）19 湧永薬品
大崎電気 12（分）12 湧永薬品
大同製鋼 30―10 三景

【順位】①大同製鋼＝初優勝②大崎電気③湧永薬品④三景（1、2位は得失点差による）

▼女子決勝リーグ

大洋デパート（熊本） 13―7 日本ビクター（茨城）
東京重機（東京） 17―10 田村紡（三重）
白花醸造（韓国・特別参加） 11―10 大崎電気（埼玉）
日本ビクター 15―11 白花醸造
東京重機 15―4 大崎電気
大洋デパート 11―4 田村紡
田村紡 16―6 大崎電気
東京重機 13―9 日本ビクター
大洋デパート 21―10 白花醸造
田村紡 9―7 日本ビクター
大洋デパート 16―4 大崎電気
東京重機 19―9 白花醸造
大崎電気 11―9 日本ビクター
田村紡 12―8 白花醸造
大洋デパート 13―10 東京重機

【順位】①大洋デパート＝5年連続6度目の優勝②東京重機③田村紡※白花醸造④日本ビクター⑤大崎電気（白花以下の順位は得失点差）

◇予選・白花 28―4 扇屋（千葉）

第14回

（昭和48年・男子＝7月11～15日、熊本市、女子＝7月4～8日岐阜市）

▼男子リーグ

大同製鋼（愛知） 10―8 本田技研鈴鹿（三重）
大崎電気（埼玉） 14―13 湧永薬品（大阪）
本田技研鈴鹿 15―14 大崎電気
大同製鋼 25―16 湧永薬品
本田技研鈴鹿16―14 湧永薬品
大同製鋼 15（分）15 大崎電気

【順位】①大同製鋼＝2連勝②本田技研鈴鹿③大崎電気④湧永薬品

▼女子決勝リーグ

大洋デパート（熊本） 12―5 ブラザー工業（愛知）
東京重機（東京） 20―13 大崎電気（埼玉）
田村紡（三重） 13―9 日本ビクター（茨城）
田村紡 10―8 ブラザー工業
東京重機 10―5 日本ビクター
大洋デパート 11―3 大崎電気
東京重機 16―12 ブラザー工業
大洋デパート 17―8 田村紡
日本ビクター 10―6 大崎電気
ブラザー工業 7―5 大崎電気
大洋デパート 9―7 日本ビクター
東京重機 13―10 田村紡
日本ビクター 12―7 ブラザー工業
田村紡 16―7 大崎電気
大洋デパート 13―7 東京重機

【順位】①大洋デパート＝6年連続7度目の優勝②東京重機③田村紡④日本ビクター⑤ブラザー工業⑥大崎電気

第15回

（昭和49年、男子＝5月25日～6月23日各地転戦、女子＝7月3～7日盛岡市）

▼男子リーグ

三景（東京） 13―7 本田技研鈴鹿（三重）
大同製鋼（愛知） 28―10 三菱レ大竹（広島）
三景 23―14 三菱レ大竹
大同製鋼 16―8 本田技研鈴鹿
本田技研鈴鹿 26―11 三菱レ大竹
湧永薬品（大阪） 15―11 大崎電気（埼玉）
大同製鋼 16―14 湧永薬品
大崎電気 24―11 三菱レ大竹
湧永薬品 24―20 三菱レ大竹
三景 21―19 大同製鋼
本田技研鈴鹿20―8 大崎電気
湧永薬品 25―9 本田技研鈴鹿
三景 21―17 大崎電気
湧永薬品 19―17 三景
大同製鋼 27―11 大崎電気

【順位】①大同製鋼＝3連勝②湧永薬品③三景④本田技研鈴鹿⑤大崎電気⑥三菱レイヨン大竹（1・2・3位は得失点差による）

▼女子決勝リーグ

東京重機（東京） 11（分）11 立石電機（熊本）
日本ビクター（茨城） 9―6 田村紡（三重）
東京重機 15―8 田村紡
立石電機 7（分）7 日本ビクター
田村紡 13―9 立石電機
東京重機 4（分）4 日本ビクター

【順位】①東京重機＝初優勝②日本ビクター③立石電機④田村紡（1 2位、3、4位は得失点差による）

第16回

（昭和50年、男子＝5月31日～6月22日各地転戦、女子＝5月23日～6月15日各地転戦）

▼男子リーグ

三景（東京） 13―8 大崎電気（埼玉）
大同製鋼（愛知） 24―8 三陽商会（東京）
湧永薬品（大阪） 22―12 日新製鋼呉（広島）
本田技研鈴鹿（三重） 20―12 三菱レ大竹（広島）
三陽商会 18―14 三景
大同製鋼 17―13 大崎電気
湧永薬品 23―5 三菱レ大竹
本田技研鈴鹿17―12 日新製鋼呉
湧永薬品 16―11 大崎電気
本田技研鈴鹿30―15 三陽商会
日新製鋼呉13―10 三菱レ大竹
大同製鋼 22―15 三景
大崎電気 32―9 三陽商会
湧永薬品 16―7 本田技研鈴鹿
三景 28―17 日新製鋼呉
大同製鋼 23―15 三菱レ大竹
三景 16―9 三菱レ大竹
湧永薬品 30―3 三陽商会
大崎電気 20―13 日新製鋼呉
大同製鋼 18―16 本田技研鈴鹿

三陽商会　14―12　三菱レ大竹
湧永薬品　18―8　三景
本田技研鈴鹿11（分）11大崎電気
大同製鋼　23―11　日新製鋼呉
大崎電気　28―7　三菱レ大竹
本田技研鈴鹿28―16　三景
三陽商会　19―14　日新製鋼呉
大同製鋼　17―13　湧永薬品

【順位】①大同製鋼＝4連勝②湧永薬品③本田技研鈴鹿④大崎電気⑤三景⑥三陽商会⑦日新製鋼呉⑧三菱レイヨン大竹（5、6位は得失点差による）

▼女子リーグ
田村紡（三重）　15―8　日立栃木（栃木）
日本ビクター（茨城）11―3　東北ムネカタ（福島）
東京重機（東京）　8―3　大崎電気（埼玉）
立石電機（熊本）　17―9　ブラザー工業（愛知）
田村紡　15―7　東北ムネカタ
日本ビクター―17―5　日立栃木
ブラザー工業14―10　東京重機
立石電機　13―7　大崎電気
ブラザー工業8―5　大崎電気
立石電機　17―10　東京重機
東北ムネカタ9―4　日立栃木
田村紡　8―5　日本ビクター
ブラザー工業15―4　東北ムネカタ
立石電機　6―4　日本ビクター
立石電機　19―4　東北ムネカタ
日本ビクター―9―6　ブラザー工業
大崎電気　6―4　日立栃木
田村紡　18―11　東京重機
田村紡　19―9　大崎電気
東京重機　17―14　日立栃木
東京重機　14―7　東北ムネカタ
日本ビクター―7―6　大崎電気
田村紡　16―2　ブラザー工業
立石電機　17―4　日立栃木
日本ビクター―13（分）13東京重機
ブラザー工業10―4　日立栃木
大崎電気　7―6　東北ムネカタ
田村紡　10―8　立石電機

【順位】①田村紡＝9年ぶり3度目の優勝②立石電機③日本ビクター④ブラザー工業⑤東京重機⑥大崎電気⑦東北ムネカタ⑧日立栃木

第17回
（昭和51年、男子予選＝5月8、9日東京、女子予選＝5月8、9日名古屋、男女決勝＝5月12～14日大阪）

▼男子決勝リーグ
大同製鋼（愛知）　24―16　本田技研鈴鹿（三重）
湧永薬品（大阪）　22―14　大崎電気（埼玉）
大同製鋼　17―8　大崎電気
湧永薬品　19―17　本田技研鈴鹿
本田技研鈴鹿31―13　大崎電気
大同製鋼　14―13　湧永薬品

【順位】①大同製鋼＝5連勝②湧永薬品③本田技研鈴鹿④大崎電気

▼女子決勝リーグ
立石電機（熊本）　14―6　日立栃木（栃木）
日本ビクター（茨城）7（分）7　ジャスコ（三重）
立石電機　7―6　日本ビクター
ジャスコ　12―5　日立栃木
立石電機　12―7　ジャスコ
日本ビクター―9―5　日立栃木

【順位】①立石電機＝初優勝②日本ビクター③ジャスコ④日立栃木（2、3位は得失点差による）

全国女子実業団大会（全日本実連会長杯）

第1回
（昭和48年7月6～8日・岐阜県民体育館）

▽リーグ（2回戦制）
日本耐酸壜（岐阜）　7―5　豊田工機（愛知）
日本耐酸壜　8―5　伏原紡織（愛知）
豊田工機　8―7　伏原紡織
豊田工機　6―2　日本耐酸壜
日本耐酸壜6―2　伏原紡織
豊田工機　15―0　伏原紡織

【順位】①豊田工機②日本耐酸壜②伏原紡織

第2回
（昭和49年6月8、9日・岐阜県民体育館）

▽リーグ
豊田工機（愛知）　13―8　伏原紡織（愛知）
三洋電機（岐阜）　13―11　大和銀行（大阪）
豊田工機　9―7　大和銀行
三洋電機　12―5　伏原紡織
伏原紡織　9―8　大和銀行
三洋電機　11―9　豊田工機

【順位】①三洋電機＝初優勝②豊田工機③伏原紡織④大和銀行

第3回
（昭和50年6月28、29日・岐阜県飛騨体育館）

大和銀行（大阪）　14―7　豊田工機（愛知）
三洋電機（岐阜）　16―10　伏原紡織（愛知）
豊田工機　18―3　岐阜市民病院（岐阜）
伏原紡織　没収試合　大和銀行
三洋電機　15―2　岐阜市民病院
伏原紡織　9―7　岐阜市民病院
大和銀行　13―6　三洋電機
豊田工機　18―8　伏原紡織
大和銀行　15―8　岐阜市民病院
豊田工機　8―6　三洋電機

【順位】①豊田工機＝3年ぶり2度目の優勝②大和銀行③三洋電機④伏原紡織⑤岐阜市民病院（1・2位、3・4位は得失点差による）

第4回
（昭和51年6月4～6日・岐阜県大垣市）

▽決勝リーグ
北国銀行（石川）　30―4　豊田工機（愛知）
大和銀行（大阪）　19―7　三洋電機（岐阜）
大和銀行　16―4　豊田工機
北国銀行　25―4　三洋電機
三洋電機　14―13　豊田工機
北国銀行　14―9　大和銀行

【順位】①北国銀行＝初優勝②大和銀行③三洋電機④豊田工機

実業団上位―下位入替戦

▼男子・昭和51年度（＝第1回、51年3月、名古屋）

▽リーグ
日新製鋼呉（L⑦・広島）　21―10　神戸製鋼（T②・兵庫）
三菱レ大竹（L⑧・広島）　22―13　トヨタ車体（T①・愛知）
三菱レ大竹　22―9　神戸製鋼
日新製鋼呉　22―16　トヨタ車体
日新製鋼呉　13―10　三菱レ大竹
トヨタ車体　9―7　神戸製鋼

日新と三菱レが残留

（注）Lは日本実業団リーグ、Tは全国実業団トーナメントの略

▼女子・昭和51年度（＝第1回、51年2月、東京）
日立栃木（選手権⑧）　24―3　豊田工機（会長杯①）

日立が残留

▼女子・51年度リーグ（全日本実業団選手権）新加盟チーム決定戦（51年4月、名古屋）
ジャスコ（三重）　10―7　大和銀行（大阪）

MEMO

一九七六年十月現在、国際ハンドボール連盟加盟国は65（ヨーロッパ27、アフリカ19、アジア13、アメリカ6）競技人口は二百八十四万人と云われる。ほかに仮加盟国3、未加盟国は日本協会調べで22。

日本(51年度)は、登録チーム総数二三六二、人口は三九、六九九人である。チーム数の69％が高校（男女）。

全国実業団トーナメント《男子のみ》

第1回（昭和45年2月7～11日・名古屋市）

▽準々決勝
日新製鋼呉（広島）22—20 日本鋼管福山（広島）
宗形製作所（大阪）12—11 自衛隊勝田（茨城）
本田技研鈴鹿（三重）18—17 セントラル自動車（神奈川）
大同製鋼（愛知）27—16 富士レジン（兵庫）

▽準決勝
本田技研鈴鹿19—13 大同製鋼
宗形製作所23—14 日新製鋼呉

▽決勝
宗形製作所 18（9—5 9—8）13 本田技研鈴鹿

第2回（昭和46年2月7～11日・名古屋市）

▽準々決勝
湧永薬品（大阪）29—13 境港市役所（鳥取）
大同製鋼（愛知）30—17 セントラル自動車（神奈川）
大山商会（大阪）19—18 富士レジン（兵庫）
丸善石油下津（和歌山）27—14 自衛隊勝田（茨城）

▽準決勝
湧永薬品 28—11 丸善石油下津
大同製鋼 24—14 大山商会

▽決勝
湧永薬品 17（7—7 10—7）14 大同製鋼
湧永薬品は初優勝

第3回（昭和46年6月13～16日・山口県下松市）

▽準々決勝
日進商会（神奈川）28—16 日本鋼管福山（広島）
セントラル自動車（神奈川）25—17 自衛隊勝田（茨城）
丸善石油下津（和歌山）22—19 大山商会（大阪）
住化菊本（愛媛）26—17 トヨタ車体（愛知）

▽準決勝
セントラル自動車21—14 日進商会
住友化学菊本23—15 丸善石油下津

▽3位決定戦
日進商会 18—15 丸善石油下津

▽決勝
住友化学菊本 22（8—8 14—7）15 セントラル自動車
住化菊本は初優勝

第4回（昭和47年6月18～21日・岐阜市）

▽準々決勝
日本発条（神奈川）17—16 セントラル自動車（神奈川）
大山商会（大阪）21—16 トヨタ車体（愛知）
丸善石油下津（和歌山）22—14 金沢市役所（石川）
三菱レイヨン大竹（広島）19—11 神戸製鋼（兵庫）

▽準決勝
大山商会 22—16 日本発条
三菱レ大竹21—11 丸善石油下津

▽3位決定戦
日本発条 21—19 丸善石油下津

▽決勝
大山商会 13（7—7 6—5）12 三菱レイヨン大竹
大山商会は初優勝

第5回（昭和48年6月17～20日・福井市）

▽準々決勝
セントラル自動車（神奈川）22—19 三菱油化（三重）
新日鉄名古屋（愛知）24—18 川崎重工（兵庫）
二和家具（岐阜）14—13 神戸製鋼（兵庫）
日新製鋼呉（広島）22—14 トヨタ車体（愛知）

▽準決勝
セントラル自動車 12（延）9 新日鉄名古屋
日新製鋼呉14—9 二和家具

▽3位決定戦
二和家具 21—9 新日鉄名古屋

▽決勝
日新製鋼呉 12（5—5 7—5）10 セントラル自動車
日新製鋼呉は初優勝

第6回（昭和50年2月9～12日・広島県呉市）

▽準々決勝
日新製鋼呉（広島）14—10 自衛隊勝田（茨城）
大山商会（大阪）21—11 東京重機（東京）
三陽商会（東京）15—14 日本発条横浜（神奈川）
セントラル自動車（神奈川）16—8 住化菊本（愛媛）

▽準決勝
日新製鋼呉12—6 大山商会
三陽商会25—9 セントラル自動車

▽3位決定戦
大山商会20—12 セントラル自動車

▽決勝
日新製鋼呉 20（9—4 11—6）10 三陽商会
日新製鋼呉は2連勝

第7回（昭和51年2月8～11日・京都府舞鶴市）

▽準々決勝
自衛隊勝田（茨城）18—14 金沢市役所（石川）
トヨタ車体（愛知）19—10 大山商会（大阪）
神戸製鋼（兵庫）11—9 住化菊本（愛媛）
新日鉄名古屋（愛知）26—17 日本発条横浜（神奈川）

▽準決勝
トヨタ車体15—11 自衛隊勝田
神戸製鋼21—9 新日鉄名古屋

▽3位決定戦
新日鉄名古屋22（分）22 自衛隊勝田
両者3位

▽決勝
トヨタ車体 9（5—2 4—5）7 神戸製鋼
トヨタ車体は初優勝

MEMO

企業のチーム、いわゆる実業団が生まれたのは、男子では昭和14年発足の倉敷紡織岡山（岡山）、女子は32年誕生の愛知紡（愛知）が、それぞれ第一号といわれている。

全日本学生選手権

第1回
（昭和33年7月27～30日・東京駒沢）

▽準々決勝
日体 11—10 中央
芝浦工大 20—4 東北学院
関大 20—4 東大
立命館 13—11 京大
▽準決勝
日体 24（延）19 関大
芝浦工大 24—6 立命館
▽3位決定戦
関大 22—15 立命館
▽決勝
芝浦工大 18（7—6 11—6）12 日体

第2回
（昭和34年7月1日～5日・西宮球技場）

▽準々決勝
芝浦工大 19—8 早稲田
京大 8—6 東京教大
関大 16—5 立教
明治 15—11 関学
▽準決勝
芝浦工大 11—8 京大
明治 9—8 関大
▽3位決定戦
関大 13—8 京大
▽決勝
芝浦工大 18（8—6 10—5）11 明治
芝浦工大は2連勝

第3回
（昭和35年7月13日～17日・東京駒沢）

▽準々決勝
芝浦工大 15—14 日体
関学 23—14 京大
関大 13—8 慶応
明治 12—8 中央
▽準決勝
芝浦工大 11—9 関学
明治 15—10 関大
▽3位決定戦
関学 15—13 関大
▽決勝
芝浦工大 13（5—5 8—4）9 明治
芝浦工大は3連勝

第4回
（昭和36年6月28日～7月2日・豊中市）

▽準々決勝
日体 11—8 早大
中央 13—10 立教
中京 12—7 慶応
芝浦工大 19—3 熊本商大
▽準決勝
芝浦工大 19（延）11 日体
中央 14—12 中京
▽同3位決定戦
日体 22—19 中京
▽同決勝
芝浦工大 12（5—5 7—5）10 中央
芝浦工大は4連勝

第5回
（昭和37年7月22～26日・仙台市）

▽準々決勝
立教 13—11 中京
日体 15—12 法政
中央 14—12 慶応
芝浦工大 28—10 岐阜大
▽準決勝
芝浦工大 19—10 立教
日体 10—7 中央
▽同3位決定戦
日体 10—7 中央
▽同決勝
芝浦工大 12（7—4 5—7）11 日体
芝浦工大は5連勝
（注）この回は女子の部にエントリーが受けつけられたが中京（東海）のみ申しこみのため流会。

第6回
（昭和38年7月15～19日・東京四谷外濠公園）

▽準々決勝＝7人制初採用
芝浦工大 25—13 早稲田
立教 26—10 法政
広島商大 21—15 同志社
日体 34—14 慶応
▽同準決勝
立教 16—15 芝浦工大
日体 27—16 広島商大
▽同3位決定戦
芝浦工大 30—9 広島商大
▽同決勝
立教 16（6—6 10—7）13 日本
立教は初優勝

第7回
（昭和39年7月25～28日・広島市）

▽準々決勝
同志社 22—21 立教
広島商大 21—19 中央
芝浦工大 31—19 早稲田
関学 38—21 西南学院
▽準決勝
同志社 28—19 広島商大
芝浦工大 17—15 関学
▽3位決定戦
関学 30—21 広島商大
▽決勝
芝浦工大 17（6—8 11—7）15 同志社
芝浦工大は2年ぶり6度目の優勝

第8回
（昭和40年7月7～11日・東京駒沢）

▼男子準々決勝
芝浦工大 23—12 法政
日体 18—17 立命館
立教 18—14 教大
関学 26—12 甲南
▽同準決勝
芝浦工大 17—11 日体
立教 23—10 関学
▽同3位決定戦
関学 18—14 日体
▽同決勝
芝浦工大 15（10—3 5—6）9 立教
芝浦工大は2年連続7度目の優勝
▼女子（第1回）決勝リーグ
日体 16—4 日女体大
中京 6—5 日女体大
中京 10—5 東女体大
東女体大 8—4 日女体大
日体 14—2 中京
日体 18—5 東女体大
【順位】①日体②中京③東女体大④日女体大

第9回
（昭和41年7月13～17日・大阪府立大学）

▼男子準々決勝
芝浦工大 23—7 早稲田
中央 22（延）19 法政
同志社 20—18 関学
立教 24—17 大阪経大
▽同準決勝
芝浦工大 21—10 中央
立教 17—10 同志社
▽同3位決定戦
同志社 22—13 中央
▽同決勝
芝浦工大 15（7—7 8—5）12 立教
芝浦工大は3年連続8度目の優勝
▼女子決勝トーナメント1回戦
日体 14—7 中京
東女体大 10—6 中京女
▽同3位決定戦
中京 11—5 中京女
▽同決勝
日体 15（9—2 6—3）5 東女体大
日体は2連勝

第10回
（昭和42年7月11～15日・東京駒沢）

▼男子準々決勝
芝浦工大 21—11 日体
法政 20—16 慶応
東京教大 22—15 中央
立教 20—17 早稲田

▽同準決勝
芝浦工大 21―15 法政
立教 30―14 東京教大
▽同3位決定戦
東京教大 25―15 法政
▽同決勝
立教 24（10―9 14―13）22 芝浦工大
立教は4年ぶり2度目の優勝
▼女子決勝リーグ
日体 11―6 中京
東女体大 3―2 中京女
東女体大 12―5 中京
日体 12―4 中京女
中京 11―4 中京女
日体 10―7 東女体大
【順位】①日体＝3連勝②東女体大③中京④中京女

第11回 （昭和43年6月10～14日・松山市）

▼男子準々決勝
立教 22―16 早稲田
日体 14―11 法政
芝浦工大 24―11 中央
東京教大 16―13 中京
▽同準決勝
日体 16（延）15 立教
芝浦工大 25―21 東京教大
▽同3位決定戦
立教 20―15 東京教大
▽同決勝
日体 14（7―6 7―6）12 芝浦工大
日体は初優勝
▼女子決勝リーグ
日体 11―9 東女体大
中京 9―7 中京女
東女体大 20―4 中京女
日体 16―11 中京
日体 12―3 中京女
中京 16―15 東女体大
【順位】①日体＝4連勝②中京③東女体大④中京女

第12回 （昭和44年11月26～30日・東京駒沢）

▼男子準々決勝
日体 27―14 法政
関大 24―18 早稲田
中央 15―12 同志社
芝浦工大 16―7 中京
▽同準決勝
日体 14―8 関大
中央 20―19 芝浦工大
▽同3位決定戦
芝浦工大 21―19 関大
▽同決勝
日体 19（8―3 11―8）11 中央
日体は2連勝
▼女子（第5回）決勝リーグ
東女体大 11―5 東京教大
日体 9―7 東京教大
東女体大 9―4 日体
【順位】①東女体大＝初優勝②日体③東京教大

第13回 （昭和45年11月24～28日・大阪市中央体育館）

▼男子準々決勝
日体 19―10 立教
早稲田 17（分）17 日大
抽せんで早稲田の勝ち
同志社 19―12 中央
芝浦工大 30―9 桃山学院
▽同準決勝
日体 16―9 早稲田
同志社 14―11 芝浦工大
▽同3位決定戦
芝浦工大 19―9 早稲田
▽同決勝
日体 15（4―2 11―0）2 同志社
日体は3連勝
▼女子準々決勝
東女体大 7―3 日女体大
大阪体大 9（延）8 中京女
東京教大 5―4 中京
日体 10―5 甲子園
▽同準決勝
東女体大 8―3 大阪体大
日体 6―4 東京教大
▽同3位決定戦
東京教大 11―5 大阪体大
▽同決勝
日体 7（2―2 5―2）4 東女体大
日体は2年ぶり5度目の優勝

第14回 （昭和46年11月3～7日・東京駒沢）

▼男子準々決勝
日体 12―9 大阪体大
法政 6―5 京都産大
中央 21―10 名城
芝浦工大 12―5 中京
▽同準決勝
日体 13―6 法政
中央 18―10 芝浦工大
▽同5位決定戦
大阪体大 16―11 中京
▽同3位決定戦
法政 20―14 芝浦工大
▽同決勝
日体 12（7―3 5―5）8 中央
日体は4連勝
▼女子準々決勝
日体 16―3 中京女
東京教大 6―2 大阪体大
東京学芸大 4―2 中京
東女体大 13―10 甲子園女短
▽同準決勝
日体 11―9 東京教大
東女体大 11―3 東京学芸大
▽同3位決定戦
東京教大 11―5 東京学芸大
▽同決勝
日体 16（12―1 4―6）7 東女体大
日体は2年連続6度目の優勝

第15回 （昭和47年11月13～17日・大阪市中央体育館）

▼男子準々決勝
日体 16―9 京都産大
同志社 15―9 芝浦工大
法政 15―10 関大
大阪経大 15―10 中央
▽同準決勝
法政 13―10 大阪経大
日体 20―11 同志社
▽同3位決定戦
同志社 13―11 大阪経大
▽同決勝
日体 17（6―2 11―8）10 法政
日体は5連勝
▼女子準々決勝
日体 13―8 甲子園短大
東京教大 9―6 大阪体大
大阪教大 8（延）7 日女体大
東女体大 5―3 中京
▽同準決勝
東女体大 7―4 大阪教大
日体 12―4 東京教大
▽同3位決定戦
東京教大 5―4 大阪教大
▽同決勝
日体 16（7―1 9―2）3 東女体大
日体は3年連続7度目の優勝

第16回 （昭和48年11月20～24日・東京駒沢）

▼男子準々決勝
日体 21―9 明治
中央 19―6 東京学芸大
中京 13―11 名城
法政 16―10 京都産大
▽同準決勝
中央 13―12 日体
法政 14―10 中京
▽同3位決定戦
中京 16―9 日体
▽同決勝
法政 16（7―6 9―8）14 中央
法政は初優勝
▼女子準々決勝
日体 11―5 大阪体大
大阪教大 7―6 日女体大
東京教大 5―3 東京学芸大
武庫川女 3―1 東女体大

▽同準決勝
日　体 15―2 大阪教大
東京教大 7―5 武庫川女
▽同3位決定戦
武庫川女 6―3 大阪教大
▽同決勝
日　体 7（1―1 6―3）4 東京教大
日体は4年連続8度目の優勝

第17回（昭和49年11月20～24日・仙台市）

▼男子準々決勝
同志社 10―9 大阪体大
早稲田 22―9 京都産大
中　京 16―12 東京教大
中　央 18―16 日　大
▽同準決勝
早稲田 19―6 同志社
中　央 20―11 中　京
▽同3位決定戦
同志社 19―11 中　京
▽同決勝
早稲田 15（9―8 6―4）12 中　央
早稲田は初優勝
▼女子（第10回）準々決勝
東京学芸大 9―1 武庫川女
東女体大 10―7 東京教大
日　体 6―5 大阪体大
中　京 10―4 日女体大
▽同準決勝
日　体 10―3 中　京
東女体大 13―9 東京学芸大
▽同3位決定戦
東京学芸大 8―6 中　京
▽同決勝
日　体 12（3―3 4―4）7 東女体大
日体は5年連続9度目の優勝

第18回（昭和50年11月5～9日・福岡市民体育館）

▼男子準々決勝
大阪体大 17―13 早稲田
日　体 23―18 中　京
法　政 13―9 九州産大
中　央 27―10 日　大
▽同準決勝
大阪体大 14―7 日　体
中　央 17―14 法　政
▽同3位決定戦
日　体 29―18 法　政
▽同決勝
中　央 15（6―7 9―7）14 大阪体大
中央は初優勝
▼女子準々決勝
日　体 18―4 山口大
武庫川女 13―5 中　京
東女体大 9―6 大阪体大
東京学芸大 13―6 中京女
▽同準決勝
日　体 12―11 武庫川女
東女体大 14―6 東京学芸大
▽同3位決定戦
東京学芸大 11―10 武庫川女
▽同決勝
東女体大 10（6―0 4―4）4 日　体
東女体大は6年ぶり2度目の優勝

第19回（昭和51年11月24～28日・愛知県体育館）

▼男子準々決勝
中　央 22―13 早稲田
名　城 14―8 東北学院
東京教大 21―9 近　大
京都産大 14―13 大阪体大
▽同準決勝
中　央 16―12 名　城
東京教大 18―12 京都産大
▽同3位決定戦
京都産大 17―13 名　城
▽同決勝
中　央 15（7―6 8―5）11 東京教大
中央は2連勝
▼女子準々決勝
東女体大 8―2 東京教大
武庫川女 16―4 福岡教大
大阪体大 11―5 東京学芸大
日　体 16―6 成蹊女短大
▽同準決勝
東女体大 10―8 武庫川女
日　体 11―8 大阪体大
▽同3位決定戦
武庫川女 9―4 大阪体大
▽同決勝
日　体 8（4―4 4―2）6 東女体大
日体は2年ぶり10度目の優勝

全日本学生 王座決定戦

◇第1回（昭和23年12月19日・西宮球技場）
文理大（関東）5（2―1 3―3）4 関学（関西）
▽2位対抗
早稲田（関東）8―4 大歯大（関西）
◇第2回（昭和24年12月18日・東京駒沢）
関学（関西）5（3―3 2―1）4 日体（関東）
▽2位対抗
明治（関東）5―4 大工専（関西）
◇第3回（昭和25年12月10日・西宮）
関学（関西）5（2―2 1―1 … 1―0 1―0）3 早稲田（関東）
▽2位対抗
教大（関東）12―10 大歯大（関西）
◇第4回（昭和26年11月25日・東京駒沢）
関学（関西）8（5―4 3―3）7 立教（関東）
▽2位対抗
大歯大（関西）7―5 慶応（関東）
◇第5回（昭和27年12月14日・西宮）
関学（関西）9（4―3 5―4）7 日本（関東）
▽2位対抗
立教（関東）8―3 大歯大（関西）
◇第6回（昭和28年11月30日・神宮競技場）
関学（関西）13（6―5 7―6）11 早稲田（関東）
▽2位対抗
日体（関東）12―7 同志社（関東）
◇第7回（昭和29年12月4日・西宮）
関学（関西）9（5―1 4―5）6 日体（関東）
▽2位対抗
同志社（西）6（分）6 芝工大（東）
◇第8回（昭和30年11月26日・神宮）
日体（関東）10（4―4 6―5）9 関学（関西）
▽2位対抗
立教（関東）17―12 同志社（関西）
◇第9回（昭和31年12月22日・西宮）
芝浦工大（関東）9（5―5 4―3）8 関東（関西）
▽2位対抗
慶応（5大学）14―7 同志社（関西）
（注）2位対抗はこの回で終了
◇第10回（昭和32年12月15日・東京後楽園競輪場）
芝浦工大（東日本・関東）21（10―5 11―6）11 関学（西日本・関西）
◇第11回（昭和33年11月30日・西宮）
関学（西日本・関西）12（5―4 7―6）10 芝浦工大（東日本・関東）
◇第12回（昭和34年11月29日・国立競技場）
芝浦工大（東日本・関東）24（13―6 11―11）17 関学（西日本・関西）
◇第13回（昭和35年11月23日・西宮）
関学（西日本・関西）12（8―4 4―7）11 芝浦工大（東日本・関東）

◇第14回（昭和36年11月23日・東京小石川球技場）
芝浦工大（東日本・関東）18（8－7 10－6）13 同志社（西日本・関西）

◇第15回（昭和37年11月23日・西宮）
芝浦工大（東日本・関東）19（9－4 10－4）8 同志社（西日本・関西）

◇第16回（昭和38年11月23日・東京新宿体育館）＝7人制採用
芝浦工大（東日本・関東）25（14－13 11－4）17 同志社（西日本・関西）

◇第17回（昭和39年12月6日・大阪府立体育会館）
芝浦工大（東日本・関東）24（14－7 10－5）12 同志社（西日本・関西）

◇第18回（昭和40年11月23日・東京駒沢）
芝浦工大（東日本・関東）27（9－9 18－9）18 同志社（西日本・関西）

◇第19回（昭和41年12月3日・大阪府立体育会館）
立教（東日本・関東）28（15－7 13－3）10 同志社（西日本・関西）

◇第20回（昭和42年11月23日・東京駒沢）
立教（東日本・関東）22（9－7 13－3）10 関大（西日本・関西）

◇第21回＝最終回（昭和43年12月1日・大阪市中央体育館）
立教（東日本・関東）27（12－11 15－6）17 関大（西日本・関西）

日本リーグ

第1回（昭和51年9月4～23日・各地）

▼男子

大崎電気（埼玉）22（8－8 14－4）12 三陽商会（東京）
大同特殊鋼（愛知）30（16－8 14－8）16 三景（東京）
大阪イーグルス（大阪）21（12－8 9－12）20 日新製鋼呉（広島）
湧永薬品（広島）24（13－12 11－4）16 本田技研鈴鹿（三重）
三景 29（18－7 11－6）13 三陽商会
大同特殊鋼 30（19－13 11－6）19 大崎電気
本田技研鈴鹿 18（11－8 7－5）13 大阪イーグルス
湧永薬品 33（18－6 15－6）12 日新製鋼呉
大同特殊鋼 26（17－7 7－12）19 大阪イーグルス
湧永薬品 30（18－6 12－5）11 三陽商会
本田技研鈴鹿 14（7－8 7－6）14 三景
引き分け
大阪イーグルス 21（12－12 9－5）17 三陽商会
湧永薬品 21（11－9 10－12）21 大同特殊鋼
引き分け
本田技研鈴鹿 26（12－7 14－7）14 大崎電気
大同特殊鋼 42（22－5 20－7）12 三陽商会
本田技研鈴鹿 25（12－10 13－5）15 日新製鋼呉
三景 19（9－9 10－9）18 大崎電気
本田技研鈴鹿 24（15－6 9－4）10 三陽商会
大同特殊鋼 31（20－5 11－7）12 日新製鋼呉
湧永薬品 22（14－6 8－4）10 大阪イーグルス
大崎電気 22（13－9 9－13）21 日新製鋼呉
三景 22（14－11 8－7）18 日新製鋼呉
日新製鋼呉 18（9－4 9－7）11 三陽商会
大同特殊鋼 26（17－8 9－8）16 本田技研鈴鹿

【大同】K{清谷 川 F{田中実井原輪村原本崎田部
K{柳倉 F{野藤柳川中松花北大中清浦溝

大崎電気 23（11－9 12－9）18 湧永薬品
大阪イーグルス 20（11－6 9－12）18 三景
大阪イーグルス 16（10－9 6－7）16 大崎電気
引き分け
湧永薬品 26（15－7 11－3）10 三景

【順位】①大同特殊鋼②湧永薬品③本田技研鈴鹿④大崎電気⑤三景⑥大阪イーグルス⑦日新製鋼呉⑧三陽商会

▼女子

立石電機（熊本）10（6－5 4－4）9 日本ビクター（茨城）
大崎電気（埼玉）11（6－2 5－4）6 東北ムネカタ（福島）
立石電機 20（12－4 8－3）7 東北ムネカタ
日本ビクター 9（2－5 7－3）8 大崎電気
立石電機 14（8－6 6－5）11 日立栃木（栃木）
東京重機（東京）12（7－5 5－4）9 大崎電気
ジャスコ（三重）10（3－6 7－1）7 ブラザー工業（愛知）
日立栃木 9（5－5 4－3）8 大崎電気
東京重機 16（7－6 9－8）14 立石電機
ジャスコ 8（5－3 3－5）8 日本ビクター
引き分け
東京重機 16（7－6 9－2）8 ジャスコ
日本ビクター 16（9－4 7－2）6 ブラザー工業
東北ムネカタ 9（4－3 5－5）8 日立栃木
ブラザー工業 13（5－3 8－1）4 日立栃木
日本ビクター 13（8－4 5－4）8 東北ムネカタ
ブラザー工業 8（4－5 4－2）7 大崎電気
東京重機 9（5－3 4－4）7 日立栃木
立石電機 20（8－5 12－4）9 ジャスコ
日本ビクター 12（4－1 8－1）2 日立栃木
東京重機 13（1－6 12－1）7 東北ムネカタ
ジャスコ 14（7－4 7－5）9 大崎電気
立石電機 19（11－5 8－4）9 ブラザー工業
ブラザー工業 11（8－3 3－3）6 東北ムネカタ
日立栃木 11（4－5 7－3）8 ジャスコ
日本ビクター 12（9－6 3－4）10 東京重機
ジャスコ 13（6－2 7－5）7 東北ムネカタ
ブラザー工業 15（8－3 7－4）7 東京重機
立石電機 77（8－4 9－3）7 大崎電気

【立石】K{田山 和丸 F{田下 下野 田田 渕 林 松島 ノ口 篠山 平紀 島蔵 池 実田 橋

【順位】①立石電機②日本ビクター③東京重機④ブラザー工業⑤ジャスコ⑥日立栃木⑦大崎電気⑧東北ムネカタ

◆日本リーグ加盟第8チーム決定戦（昭和51年、男子＝6月26日呉市、女子＝8月15日大阪）

▽男子（リーグ）
トヨタ車体（愛知）19（7－10 12－6）16 神戸製鋼（兵庫）
日新製鋼呉（広島）20（11－6 9－5）11 トヨタ車体
日新製鋼呉 34（18－8 16－10）18 神戸製鋼
日新製鋼呉が日本リーグへ

▽女子（1試合）
ジャスコ（三重）24（11－4 13－2）6 大和銀行（大阪）

全日本高校選手権

第1回（昭和25年8月8～12日・大阪藤井寺）

▼男子準々決勝

足利（栃木）4—2 矢掛（岡山）
玉名（熊本）5—1 麻生（茨城）
天王寺（大阪）4—1 甲南（鹿児島）
済々黌（熊本）7（延）4 墨田川（東京）

▽同準決勝

足利 5—3 玉名
天王寺 4—3 済々黌

▽同3位決定戦

済々黌 — 玉名

▽同決勝

足利 4（2—1、2—2）3 天王寺

▼女子準々決勝

潮来（茨城）2（延・分）2 桜塚（大阪） 抽せん勝ち
操山（岡山）5—4 寝屋川（大阪）
青陵（岡山）・落合（岡山） 記録、対戦相手とも不明

▽同準決勝

操山 3—1 潮来
青陵 5—2 落合

▽同3位決定戦

潮来 3—1 落合

▽同決勝

操山 6（2—3、2—1 … 1—0、1—1）5 青陵

第2回（昭和26年6月12～15日・東京駒沢）

▼男子準々決勝

桜台（愛知）13—2 北野（大阪）
操山（岡山）7—6 墨田川（東京）
清水商（静岡）9—5 山口（山口）
世田谷工（東京）8—7 石橋（栃木）

▽同準決勝

桜台 14—4 操山
清水商 7—4 世田谷工

▽同3位決定戦

操山 11—7 世田谷工

▽同決勝

桜台 15（8—2、7—2）4 清水商

桜台は初優勝

▼女子準々決勝

青陵（岡山）6—1 涌谷（宮城）
大谷（大阪）4（分）4 一宮（愛知）
静岡城北（静岡）6—0 甲府二（山梨）
春日丘（大阪）4—2 操山（岡山）

▽同準決勝

青陵 8—2 大谷
春日丘 4—3 静岡城北

▽同3位決定戦

大谷 4—3 静岡城北

▽同決勝

青陵 11（6—0、5—1）1 春日丘

青陵は初優勝

第3回（昭和27年8月14～27日・大阪藤井寺）

▼男子準々決勝

清水商（静岡）14—4 豊中（大阪）
時習館（愛知）17—16 済々黌（熊本）
桐生工（群馬）10—2 桜台（愛知）
足利（栃木）11—2 福陵（福岡）

▽同準決勝

清水商 7—6 時習館
桐生工 3—2 足利

▽同3位決定戦

時習館 10—5 足利

▽同決勝

桐生工 9（2—1、3—4 … 1—1、3—1）7 清水商

桐生工は初優勝

▼女子準々決勝

春日丘（大阪）7—5 稲沢（愛知）
青陵（岡山）9—6 平沼（神奈川）
寝屋川（大阪）9—1 高岡中部（富山）
静岡城北（静岡）8—6 玉名（熊本）

▽同準決勝

青陵 9—6 春日丘
寝屋川 5—1 静岡城北

▽同3位決定戦

静岡城北 4—3 春日丘

▽同決勝

寝屋川 5（3—2、2—2）4 青陵

寝屋川は初優勝

第4回（昭和28年8月20～23日・東京駒沢）

▼男子準々決勝

天城（岡山）13—5 北野（大阪）
桜台（愛知）14—7 小松実業（石川）
函館工（北海道）9—5 桐生工（群馬）
沼津東（静岡）15—12 済々黌（熊本）

▽同準決勝

桜台 8—6 天城
函館工 8—7 沼津東

▽同3位決定戦

沼津東 7—4 天城

▽同決勝

桜台 8（4—2、4—1）3 函館工

桜台は2年ぶり2度目の優勝

▼女子準々決勝

彦根東（滋賀）8—6 函館中部（北海道）
静岡城北（静岡）6—2 青陵（岡山）
稲沢（愛知）14—4 熊本市立（熊本）
熊谷（埼玉）5—3 春日丘（大阪）

▽同準決勝

静岡城北 9—6 彦根東
稲沢 9—1 熊谷

▽同3位決定戦

彦根東 4—0 熊谷

▽同決勝

稲沢 6（2—3、4—2）5 静岡城北

稲沢は初優勝

第5回（昭和29年7月30日～8月4日・大阪藤井寺）

▼男子準々決勝

桜台（愛知）13—4 上田松尾（長野）
済々黌（熊本）13—12 津山（岡山）
豊中（大阪）10—5 岩国工（山口）
函館工（北海道）8—5 清水商（静岡）

▽同準決勝

桜台 10—7 済々黌
豊中 13—6 函館工

▽同3位決定戦

函館工 16—7 済々黌

▽同決勝

桜台 12（5—5、7—4）9 豊中

桜台は2年連続3度目の優勝

▼女子準々決勝

明善（福岡）5—4 稲沢（愛知）
春日丘（大阪）8—5 函館中部（北海道）
熊谷（埼玉）6—3 静岡城北（静岡）
寝屋川（大阪）7—0 青陵（岡山）

▽同準決勝
明　善　6—5　春日丘
寝屋川　7—1　熊　谷
▽同3位決定戦
熊　谷　7—6　春日丘
▽同決勝
寝屋川　5（2—2、3—0）2　明　善
寝屋川は2年ぶり3度目の優勝

第6回（昭和30年8月14〜17日・東京駒沢）

▼男子準々決勝
桜　台（愛知）12—9　天　城（岡山）
明星学苑（東京）13—9　済々黌（熊本）
足　利（栃木）5—4　那　賀（和歌山）
清水商（静岡）9—6　豊　中（大阪）
▽同準決勝
桜　台　17—7　明星学苑
足　利　5—4　清水商
▽同3位決定戦
明星学苑　11—7　清水商
▽同決勝
桜　台　10（9—1、1—4）5　足　利
桜台は3年連続4度目の優勝
▼女子準々決勝
寝屋川（大阪）6—4　水海道二（茨城）
稲　沢（愛知）6—3　熊本市立（熊本）
静岡城北（静岡）7—3　青　陵（岡山）
明　善（福岡）6—4　函館中部（北海道）
▽同準決勝
稲　沢　5—2　寝屋川
明　善　9—8　静岡城北
▽同3位決定戦
寝屋川　6—2　静岡城北
▽同決勝
明　善　6（3—1、3—3）4　稲　沢
明善は初優勝
（注）3位決定戦は今大会で中止

第7回（昭和31年8月15〜20日・大阪藤井寺）

▼男子準々決勝
桜　台（愛知）8—6　小　倉（福岡）
新居浜工（愛媛）12—5　小松実業（石川）
瑞　陵（愛知）11—9　豊　中（大阪）
下関幡生工（山口）6—5　明　星（東京）
▽同準決勝
桜　台　16—11　新居浜工
下関幡生工　8—7　瑞　陵
▽同決勝
桜　台　10（3—1、7—3）4　下関幡生工
桜台は4年連続5度目の優勝
▼女子準々決勝
明　善（福岡）8—7　熊本市立（熊本）
稲　沢（愛知）—　太田二（茨城）
寝屋川（大阪）12—2　青　陵（岡山）
静岡城北（静岡）4—3　函館中部（北海道）
▽同準決勝
稲　沢　10—9　明　善
寝屋川　8—9　静岡城北
▽同決勝
寝屋川　10（5—4、2—3、…、1—1、0—0、…、0—1、2—0）9　稲　沢
寝屋川は2年ぶり3度目の優勝

第8回（昭和32年8月6〜11日・愛媛県松山市）

▼男子準々決勝
桜　台（愛知）14—9　函館工（北海道）
那　賀（和歌山）13—10　済々黌（熊本）
兵庫工（兵庫）10—8　下関幡生工（山口）
中京商（愛知）7—6　上田松尾（長野）
▽同準決勝
桜　台　17—12　那　賀
中京商　10—7　兵庫工
▽同決勝
桜　台　18（6—5、12—5）10　中京商
桜台は5年連続6度目の優勝
▼女子準々決勝＝7人制初採用
寝屋川（大阪）2—1　熊本市立（熊本）
羽　咋（石川）6—3　尼　崎（兵庫）
水海道二（茨城）9—6　今治西（愛媛）
静岡城北（静岡）6—0　青　陵（岡山）
▽同準決勝
羽　咋　6—5　寝屋川
水海道二　4—2　静岡城北
▽同決勝
水海道二　6（2—0、4—0）0　羽　咋
水海道二は初優勝

第9回（昭和33年8月6〜10日・函館市）

▼男子準々決勝
清水商（静岡）15—10　桜　台（愛知）
徳　山（山口）5—4　那　賀（和歌山）
兵庫工（兵庫）9—6　仙台二（宮城）
氷　見（富山）14—12　盛岡一（岩手）
▽同準決勝
清水商　14—10　徳　山
兵庫工　9—6　氷　見
▽同決勝
清水商　12（7—6、5—4）10　兵庫工
清水商は初優勝
▼女子準々決勝
山　梨（山梨）5—3　水海道二（茨城）
寝屋川（大阪）3—2　半　田（愛知）
静岡城北（静岡）8—1　徳　山（山口）
熊本市立（熊本）14—6　尼　崎（兵庫）
▽同準決勝
寝屋川　4—3　山　梨
熊本市立　4—2　静岡城北
▽同決勝
寝屋川　9（4—1、2—5、…、2—1、1—2、…、0—0、0—0）9　熊本市立
引き分け（両校優勝）
寝屋川は2年ぶり4度目、熊本市立は初優勝。

第10回（昭和34年8月1日〜5日・仙台市）

▼男子準々決勝
鎌倉学園（神奈川）10—7　三国ケ丘（大阪）
新居浜工（愛媛）6—7　津山商（岡山）
中京商（愛知）10—4　八幡商（滋賀）
熊本市商（熊本）9—7　兵　庫（兵庫）
▽同準決勝
鎌倉学園　12—9　新居浜工
中京商　10—9　熊本市商
▽同決勝
中京商　15（7—5、8—8）13　鎌倉学園
中京商は初優勝
▼女子準々決勝
寝屋川（大阪）4—3　徳　山（山口）
半　田（愛知）5—3　静岡城北（静岡）
那　賀（和歌山）6—3　水海道二（茨城）
熊本市立（熊本）12—3　京都女（京都）
▽同準決勝
寝屋川　6—5　半　田

熊本市立 6―3 那賀

▽同決勝

熊本市立 10（3―2 / 7―6）8 寝屋川

熊本市立は2連勝

第11回（昭和35年7月31日～8月4日、岡山県倉敷市）

▼男子準々決勝

中京商（愛知） 8―3 塩山（山梨）
寝屋川（大阪） 10（延）8 鎌倉学園（神奈川）
桜台（愛知） 8―2 小松実業（石川）
清水商（静岡） 12―7 伏見（京都）

▽同準決勝

中京商 11―7 清水商
桜台 15―9 寝屋川

▽同決勝

中京商 12（3―3 / 5―5 …… 2―3 / 2―0）11 桜台

中京商は2連勝

▼女子準々決勝

熊本市立（熊本） 5―3 静岡城北（静岡）
半田（愛知） 5（分）5 抽せん勝 栃木女（栃木）
明善（福岡） 6―3 那賀（和歌山）
井原（岡山） 9―4 有磯（富山）

▽同準決勝

熊本市立 8―2 明善
半田 10―7 井原

▽同決勝

熊本市立 7（2―2 / 5―4）6 半田

熊本市立は3連勝

第12回（昭和36年7月30日～8月3日・氷見市）

▼男子準々決勝

清水商（静岡） 6―4 氷見（富山）
桜台（愛知） 11―1 鹿児島工（鹿児島）
中京商（愛知） 6―5 熊本市商（熊本）
盛岡一（岩手） 11―3 寝屋川（大阪）

▽同準決勝

中京商 13―9 盛岡一
桜台 15（延）14 清水商

▽同決勝

中京商 13（5―6 / 8―6）12 桜台

中京商は3連勝

▼女子準々決勝

栃木女（栃木） 4（分）4 抽せん勝 菊池農蚕（熊本）
半田（愛知） 7―5 静岡城北（静岡）
京都女（京都） 6（分）6 抽せん勝 熊本市立（熊本）
水海道二（茨城） 4―2 県尼崎（兵庫）

▽同準決勝

水海道二 13―4 京都女
半田 9―0 栃木女

▽同決勝

半田 12（5―2 / 7―1）3 水海道二

半田は初優勝

第13回（昭和37年7月29日～8月2日・小倉市）

▼男子準々決勝

中京商（愛知） 7―2 大石田（山形）
神代（東京） 11―10 清水東（静岡）
寝屋川（大阪） 13（延）9 新居浜工（愛媛）
桜台（愛知） 20―9 博多工（福岡）

▽同準決勝

神代 11―5 中京商
桜台 13―8 寝屋川

▽同決勝

桜台 14（4―7 / 10―3）10 神代

桜台は5年ぶり7度目の優勝

▼女子準々決勝

菊池農蚕（熊本） 7―3 半田（愛知）
秋田和洋女（秋田） 8―5 京都女（京都）
静岡城北（静岡） 8―2 井原（岡山）
稲沢（愛知） 8―3 水海道二（茨城）

▽同準決勝

静岡城北 8（延）7 稲沢
菊池農蚕 9―6 秋田和洋女

▽同決勝

静岡城北 9（5―2 / 4―5）7 菊池農蚕

静岡城北は初優勝

第14回（昭和38年8月4～9日・富士吉田市）

▼男子準々決勝＝7人制初採用

桜台（愛知） 15―4 修道（広島）
寝屋川（大阪） 33―12 桐生工（群馬）
中京商（愛知） 19―10 盛岡一（岩手）
徳山（山口） 28―15 伏見工（京都）

▽同準決勝

桜台 19―18 寝屋川
中京商 24―18 徳山

▽同決勝

桜台 14（6―8 / 8―5）13 中京商

桜台は2年連続8度目の優勝

▼女子準々決勝

静岡城北（静岡） 18―5 新居浜東（愛媛）
半田（愛知） 13―7 山陽女（広島）
栃木女（栃木） 14―6 徳山（山口）
水海道二（茨城） 10―8 熊本市立（熊本）

▽同準決勝

静岡城北 11―7 半田
栃木女 19―5 水海道二

▽同決勝

静岡城北 9（7―2 / 2―2）4 栃木女

静岡城北は2連勝

第15回（昭和39年8月2～7日・長野県上田市）

▼男子準々決勝

新居浜工（愛媛） 18―11 桜台（愛知）
明星（東京） 17―10 堺工（大阪）
徳山（山口） 24―10 清水商（静岡）
熊本市商（熊本） 16―13 加納（岐阜）

▽同準決勝

熊本市商 14―13 徳山
明星 13―8 新居浜工

▽同決勝

明星 10（4―5 / 6―1）6 熊本市商

明星は初優勝

▼女子準々決勝

栃木女（栃木） 20―4 深谷女（埼玉）
大分東（大分） 11―10 半田（愛知）
明善（福岡） 19―6 新居浜東（愛媛）
静岡城北（静岡） 6―5 菊池農蚕（熊本）

▽同準決勝

静岡城北 11―8 明善
栃木女 8―4 大分東

▽同決勝

栃木女 6（3―3 / 3―0）3 静岡城北

栃木女は初優勝

第16回（昭和40年8月2～7日・熊本市）

▼男子準々決勝

桜台（愛知） 23―14 明星（東京）
新居浜工（愛媛） 23―14 佐野工（大阪）
名城大付（愛知） 18―12 三国ケ丘（大阪）
清水市商（静岡） 14―10 函館東（北海道）

▽同準決勝

名城大付 19―14 清水市商
桜台 23―9 新居浜工

▽同決勝
名城大付 18（12—6 / 6—8）13 桜台
名城大付は初優勝

▼女子準々決勝
熊本市立（熊本） 10—7 栃木女（栃木）
山陽女（広島） 16—11 新居浜西（愛媛）
菊池農（熊本） 13—12 加納（岐阜）
静岡城北（静岡） 12（延）11 徳山（山口）

▽同準決勝
熊本市立 8—5 山陽女
静岡城北 11（延）7 菊池農

▽同決勝
静岡城北 8（5—4 / 3—3）7 熊本市立
静岡城北は2年ぶり3度目の優勝

第17回（昭和41年8月3〜8日・盛岡市）

▼男子準々決勝
桜台（愛知） 23—3 湯沢（秋田）
佐野工（大阪） 24—17 上田（長野）
明星（東京） 10—9 洛星（京都）
熊本市商（熊本） 9—7 名城大付（愛知）

▽同準決勝
桜台 18—9 佐野工
明星 11—6 熊本市商

▽同決勝
明星 8（2—1 / 6—4）5 桜台
明星は2年ぶり2度目の優勝

▼女子準々決勝
秋田和洋女（秋田） 9—8 静岡城北（静岡）
栃木女（栃木） 11—8 新居浜西（愛媛）
花巻南（岩手） 8—7 山陽女（広島）
夙川学院（兵庫） 8—5 大分東（大分）

▽同準決勝
秋田和洋女 6—3 栃木女
花巻南 10—3 夙川学院

▽同決勝
秋田和洋女 5（3—2 / 2—2）4 花巻南
秋田和洋女は初優勝

第18回（昭和42年8月2〜8日・和歌山市）

▼男子準々決勝
明星（東京） 21—9 湯沢（秋田）
中大付（東京） 19—9 添上（奈良）
氷見（富山） 15—9 横浜東（神奈川）
広（広島） 15—12 桜台（愛知）

▽同準決勝
明星 27—5 中大付
広 20—19 氷見

▽同決勝
明星 28（12—3 / 16—6）9 広
明星は2連勝

▼女子準々決勝
室蘭商（北海道） 8—4 涌谷（宮城）
山陽女（広島） 12—8 小高農（福島）
新居浜市商（愛媛） 3—1 栃木女（栃木）
花巻南（岩手） 11—8 名古屋女商（愛知）

▽同準決勝
室蘭商 9—5 山陽女
花巻南 5—3 新居浜市商

▽同決勝
花巻南 5（3—2 / 2—2）4 室蘭商
花巻南は初優勝

第19回（昭和43年7月29日〜8月3日・広島県廿日市町）

▼男子準々決勝
明星（東京） 12—7 塩山商（山梨）
下関中央工（山口） 13—6 三原工（広島）
中大附属（東京） 16—10 中京（愛知）
熊本市商（熊本） 18—14 滝川（兵庫）

▽同準決勝
下関中央工 13—9 明星
中大附属 17—5 熊本市商

▽同決勝
下関中央工 17（7—6 / 10—8）14 中大附属
下関中央工は初優勝

▼女子準々決勝
名古屋女商（愛知） 8—6 深谷女（埼玉）
新居浜市商（愛媛） 16—3 清水商（静岡）
山陽女（広島） 15—6 小高農（福島）
菊池農（熊本） 12—3 栃木女（栃木）

▽同準決勝
新居浜市商 7—2 名古屋女商
菊池農 15—6 山陽女

▽同決勝
菊池農 8（3—2 / 5—1）3 新居浜市商
菊池農は初優勝

第20回（昭和44年8月1〜8日・群馬県富岡市）

▼男子準々決勝
下関中央工（山口） 8—5 枚方（大阪）
富岡（群馬） 12—10 新居浜工（愛媛）
桐生工（群馬） 12—7 中京（愛知）
中大附属（東京） 21—12 佐世保北（長崎）

▽同準決勝
下関中央工 9—6 富岡
中大附属 15—8 桐生工

▽同決勝
下関中央工 12（8—6 / 4—5）11 中大附属
下関中央工は2連勝

▼女子準々決勝
栃木女（栃木） 10—9 室蘭商（北海道）
小平（東京） 11—9 小禄（沖縄）
和洋女（秋田） 8—2 大分東（大分）
新居浜市商（愛媛） 12—5 高崎市女（群馬）

▽同準決勝
新居浜市商 8—7 和洋女
栃木女 12—3 小平

▽同決勝
新居浜市商 10（4—2 / 6—2）4 栃木女
新居浜市商は初優勝

第21回（昭和45年8月3〜8日・滋賀県彦根市）

▼男子準々決勝
枚方（大阪） 16—11 下関中央工（山口）
加納（岐阜） 16—8 和歌山商（和歌山）
松蔭（愛知） 8—7 佐世保北（長崎）
新居浜工（愛媛） 13—12 中大附属（東京）

▽同準決勝
枚方 10—8 加納
新居浜工 12（延）11 松蔭

▽同決勝
新居浜工 9（5—4 / 4—4）8 枚方
新居浜工は初優勝

▼女子準々決勝
新居浜市商（愛媛） 11—7 神埼農（佐賀）
水海道二（茨城） 15—9 名古屋女商（愛知）
島原農（長崎） 6—5 夙川学院（兵庫）
静岡城北（静岡） 10—6 熊本市立（熊本）

▽同準決勝
水海道二 8—4 新居浜市商
島原農 6—5 静岡城北

▽同決勝
水海道二 6（4—3 / 2—2）5 島原農
水海道二は12年ぶり2度目の優勝

第22回（昭和46年8月2〜7日・愛媛県松山市）

▼男子準々決勝

湯沢（秋田）17（延）16 中大附属（東京）
桜台（愛知）20−13 堺工（大阪）
中京（愛知）16−12 熊本一工（熊本）
佐世保北（長崎）13−7 上田（長野）

▽同準決勝

湯沢 11−8 桜台
佐世保北 17−15 中京

▽同決勝

湯沢 15（6−7、9−4）11 佐世保北

湯沢は初優勝

▼女子準々決勝

別府青山（大分）7−4 花巻北（岩手）
静岡城北（静岡）7−4 名古屋女商（愛知）
山陽女（広島）10−8 涌谷（宮城）
和洋女（秋田）11−6 有磯（富山）

▽同準決勝

和洋女 16−4 別府青山
山陽女 8−4 静岡城北

▽同決勝

山陽女 5（4−0、1−4）4 和洋女

山陽女は初優勝

第23回（昭和47年8月2〜7日・山形県東根市）

▼男子準々決勝

中大附属（東京）14−12 清水商（静岡）
湯沢（秋田）9−8 都島工（大阪）
麻生（茨城）15−14 下関中央工（山口）
小倉西（福岡）23−10 伏見工（京都）

▽同準決勝

湯沢 10−8 小倉西
中大附属 17−13 麻生

▽同決勝

中大附属 12（6−3、6−6）9 湯沢

中大附属は初優勝

▼女子準々決勝

市邨学園高蔵（愛知）11−3 涌谷（宮城）
国学院栃木（栃木）11−5 和洋女（秋田）
深谷女（埼玉）4−2 市邨学園（愛知）
高水（山口）12−4 大谷（大阪）

▽準決勝

深谷女 7−5 高水
市邨学園高蔵 9−7 国学院栃木

▽決勝

深谷女 4（3−1、1−2）3 市邨学園高蔵

深谷女は初優勝

第24回（昭和48年8月2〜7日・三重県四日市市）

▼男子準々決勝

名城大付（愛知）12−11 中大附属（東京）
小倉西（福岡）17−13 八幡工（滋賀）
聖光学院工（福島）16−11 県岐阜商（岐阜）
湯沢（秋田）11−8 生駒（奈良）

▽同準決勝

小倉西 13−12 湯沢
名城大付 16−9 聖光学院工

▽同決勝

名城大付 11（6−4、5−4）8 小倉西

名城大付は初優勝

▼女子準々決勝

涌谷（宮城）11−7 熊本市立（熊本）
小松市女（石川）9−5 国学院栃木（栃木）
大分東（大分）12−10 甲子園学院（兵庫）
徳山（山口）14−8 小諸商（長野）

▽同準決勝

小松市女 8−4 涌谷
徳山 8−6 大分東

▽同決勝

小松市女 7（4−3、3−3）6 徳山

小松市女は初優勝

第25回（昭和49年8月2〜7日・北九州市）

▼男子準々決勝

久留米工（福岡）26−15 仙台育英（宮城）
湯沢（秋田）18−13 上田（長野）
岩国工（山口）19−12 慶応（神奈川）
小倉西（福岡）15−6 名南工（愛知）

▽同準決勝

久留米工 18（延）17 湯沢
小倉西 16−15 岩国工

▽同決勝

久留米工 14（7−4、7−7）11 小倉西

久留米工は初優勝

▼女子準々決勝

熊本女商（熊本）8−2 筑紫女学園（福岡）
新居浜商（愛媛）14−8 大分東（大分）
大谷（大阪）7−5 広島一女商（広島）
和洋女（秋田）13（延）9 徳山（山口）

▽同準決勝

新居浜商 6−4 熊本女商
大谷 13−2 和洋女

▽同決勝

大谷 11（5−4、5−6…0−0、1−0）10 新居浜商

大谷は初優勝

第26回（昭和50年8月2〜7日・山梨県塩山市）

▼男子準々決勝

久留米工（福岡）20−11 日川（山梨）
岩国工（山口）17−9 修道（広島）
拓大一（東京）17−12 大分東（大分）
清水（千葉）22−8 此花学院（大阪）

▽同準決勝

岩国工 14−11 久留米工
清水 9−6 拓大一

▽同決勝

清水 7（4−1、3−3）4 岩国工

清水は初優勝

▼女子準々決勝

小松市女（石川）15−6 市邨学園（愛知）
麻生（茨城）7−6 徳山（山口）
大分東（大分）14−5 国分実業（鹿児島）
清水市商（静岡）6−3 和洋女（秋田）

▽同準決勝

小松市女 13−7 麻生
大分東 16−5 清水市商

▽同決勝

小松市女 5（3−1、2−2）3 大分東

小松市女は2年ぶり2度目の優勝

第27回（昭和51年8月2〜7日・富山県氷見市）

▼男子準決勝

氷見（富山）19−10 川口工（埼玉）
下関中央工（山口）28−8 学法石川（福島）

▽同決勝

下関中央工 16（7−4、9−7）11 氷見

下関中工は7年ぶり3度目の優勝

▼女子準決勝

熊本女商（熊本）12−4 市邨学園（愛知）
大分東（大分）10−4 水海道二（茨城）

▽同決勝

大分東 9（5−2、4−3）5 熊本女商

大分東は初優勝

全日本自衛隊選手権

第1回（昭和44年7月11日・東京駒沢）

▽準々決勝
陸・勝田（茨城）16—14 海・大村（長崎）
海・下総（千葉）27—16 陸・船岡（宮城）
海・宇都宮（栃木）22—11 朝霞体育学校（埼玉）
海・鹿屋（鹿児島）20—14 陸・横須賀（神奈川）

▽準決勝
勝田 18（延）14 下総
鹿屋 20—6 宇都宮

▽3位決定戦
宇都宮 19—4 下総

▽決勝
勝田 15（8—3 7—8）11 鹿屋

第2回（昭和45年6月19日・東京駒沢）

▽準々決勝
陸・勝田（茨城）18—2 航・百里（茨城）
陸・宇都宮（栃木）10—8 陸・久里浜（神奈川）
防衛大（特別参加）12—3 陸・富士（静岡）
陸・第一施設団（東京）12—9 陸・仙台（宮城）

▽準決勝
防衛大 11—9 第一施設団
勝田 25—9 宇都宮

▽決勝
防衛大 21（11—8 10—7）15 勝田
防衛大は初優勝

第3回（昭和46年5月15、16日・東京駒沢第一）

▽準々決勝
陸・勝田（茨城）20—6 海・徳島（徳島）
海・宇都宮（栃木）22—8 陸・久里浜（神奈川）
海・第三術科校（千葉）13—8 陸・宇都宮（栃木）
海・鹿屋（鹿児島）20—4 勝田施設校生徒（茨城）

▽準決勝
勝田 13—5 第三術科学校
鹿屋 26—11 海・宇都宮

▽決勝
勝田 17（5—5 8—8 … 0—1 4—0）14 鹿屋
勝田は2年ぶり2度目の優勝
▽女子エキシビジョン①中央病院看護学生（東京）

第4回（昭和47年5月19～21日・東京駒沢）

▽準々決勝
陸・勝田（茨城）18—12 海・横須賀教育隊（神奈川）
海・第三術科学校（千葉）17—3 海・館空ク（千葉）
海・鹿屋（鹿児島）16—11 海・八戸（青森）
海・佐世保（長崎）棄権 海・宇都宮（栃木）

▽準決勝
勝田 19—4 第三術科学校
鹿屋 20—10 佐世保

▽決勝
鹿屋 18（6—5 12—7）12 勝田
鹿屋（第一航空群）は初優勝
▽女子エキシビジョン①高等看護学院（東京）

第5回（昭和48年5月24～26日・東京駒沢）

▽決勝トーナメント1回戦
海・第一航空群（鹿児島）18—10 少年工科学校（神奈川）
海・第三術科学校（千葉）21—4 陸・相馬ケ原（群馬）
海・佐世保地方隊（長崎）15—6 陸・宇都宮（栃木）
陸・勝田（茨城）14—8 海・第四航空群（千葉）

▽準決勝
第三術科学校 18—16 第一航空群
勝田 12—8 佐世保地方隊

▽決勝
第三術科学校 19（8—8 8—8 … 1—0 2—2）18 勝田
第三術科学校（下総）は初優勝。
▽女子エキシビジョン①高等看護学院（東京）

第6回（昭和49年6月26～30日・東京練馬自衛隊体育学校体育館）

▽決勝トーナメント準々決勝
海・第三術科学校（千葉）18—6 陸・宇都宮12特（栃木）
海・鹿屋（鹿児島）16—12 海・下総教育航空群（千葉）
海・佐世保地方隊（長崎）18—9 少年工科学校（神奈川）
陸・勝田（茨城）24—17 勝田施設学校（茨城）

▽準決勝
鹿屋 10—9 第三術科学校
勝田 22—12 佐世保地方隊

▽決勝
鹿屋 22（15—5 7—7）12 勝田
鹿屋（第一航空群）は2年ぶり2度目の優勝
▽女子エキシビジョン①朝霞ワック（埼玉）

第7回（昭和50年5月21、22日・東京駒沢）

▽決勝トーナメント準々決勝
海・鹿屋（鹿児島）24—14 三宿中央病院X線（東京）
海・下総（千葉）17—10 海・八二航空群（青森）
陸・勝田（茨城）23—11 陸・下志津（千葉）

▽準決勝
勝田 30—11 勝田施設学校（茨城）
下総 13—4 鹿屋

▽決勝
下総 17（8—4 9—7）11 勝田
下総は第5回についで2度目

▽少年の部（第1回）決勝
武山少年工科学校（神奈川）26—5 熊谷航空生徒隊（埼玉）
▽女子エキシビジョン①中央病院（東京）

第8回（昭和51年6月9～13日・東京駒沢）

▽決勝トーナメント準々決勝
海・下総（千葉）27—10 陸・木更津第一ヘリ団（千葉）
海・鹿屋（鹿児島）19—14 海・八二航空群（青森）
陸・久里浜（神奈川）20—15 陸・北海道第七師団
陸・勝田（茨城）20—7 陸・古河（茨城）

▽準決勝
下総 25—12 鹿屋
勝田 25—9 久里浜

▽決勝
下総 14（8—7 6—3）10 勝田
下総は2連勝（3度目）

▽少年の部決勝
勝田生徒（茨城）13—12 熊谷生徒（埼玉）
▽女子エキシビジョン①朝霞ワック（埼玉）

全国海上自衛隊大会

◇歴代優勝チーム
・第1回（昭47） 第1航空群（鹿児島）
・第2回（昭49） 第1航空群（鹿児島）
・第3回（昭51） 下総（千葉）

全日本教職員選手権

第1回（昭和33年8月14〜16日・東京駒沢）

▽決勝トーナメント1回戦
奈良興東倶20（延）16栃木教員ク
茨城教員ク18—9広島教員団
▽同決勝
茨城教員ク 22（10—5、12—7）12 奈良興東倶楽部

第2回（昭和34年7月7、8日・東京駒沢）

▽決勝トーナメント1回戦
東京教員団18—16山口ク
奈良興東倶24—17茨城教員団
▽同3位決定戦
山口ク18—13茨城教員団
▽同決勝
東京教員団 22（11—7、11—10）17 奈良興東倶楽部
東京教員団は初優勝

第3回（昭和35年8月19〜21日・東京駒沢）

▽決勝リーグ
神戸ストーク（兵庫）12—3高知ク
神戸ストーク18—8京都教員団
高知ク11—10京都教員団
【順位】①神戸ストーク＝初優勝②高知ク③京都教員団

第4回 中止

第5回（昭和37年8月11、12日・横浜市）

▽決勝トーナメント1回戦
全茨城教員団18—16長野教員ク
大阪教員ク32—19神戸ストーク（兵庫）
▽同3位決定戦
長野教員ク24—17神戸ストーク
▽同決勝
大阪教員ク 39（21—6、18—7）13 全茨城教員団
大阪教員クは初優勝

第6回（昭和38年8月21〜14日・京都市立体育館）

▽準々決勝
大阪教員団27—17新潟教員ク
兵庫教員28—17神奈川教員団
岡山教員ク18—15京都教員ク
熊本教職員ク30—13全茨城教員
▽準決勝
大阪教員団31—20兵庫教員
熊本教職員ク31—20岡山教員ク
▽同3位決定戦
兵庫教員34—21岡山教員ク
▽同決勝
大阪教員団 33（19—11、14—5）16 熊本教職員ク
大阪教員団は初優勝

第7回（昭和39年8月12〜14日・京都市体育館）

▽準々決勝
大阪イーグルス26—13福島教員ク
長野教員団19—18滋賀教員
スワロー兵庫23—16香川教員ク
熊本教員ク47—16興東ク（奈良）
▽準決勝
大阪イーグルス22—12長野教員団
熊本教員ク20—18スワロー兵庫
▽3位決定戦
スワロー兵庫24—23長野教員団
▽決勝
大阪イーグルス 19（9—7、10—10）17 熊本教員ク
大阪イーグルスは初優勝

第8回（昭和40年8月17〜19日・長崎国際体育館）

▽準々決勝
大阪イーグルス21—8福岡教員ク
G・T・C（岐阜）20—12大分教員
スワロー兵庫38—13三重教員ク
熊本教員37—14愛媛教員
▽準決勝
大阪イーグルス17—16G・T・C
熊本教員21—18スワロー兵庫
▽3位決定戦
G・T・C23—14スワロー兵庫
▽同決勝
大阪イーグルス 21（8—6、13—7）13 熊本教員
大阪イーグルスは4連勝

第9回（昭和41年8月15〜17日・水戸商高体育館）

▽準々決勝
大分教員17—9静岡教員団
岐阜教員ク25—13全茨城教員
神奈川教員団17—14福岡教員団
大阪イーグルス20—14桜友会（東京）
▽同準決勝
大阪イーグルス21—16大分教員団
岐阜教員ク19—13神奈川教員団
▽同3位決定戦
大分教員団27—12神奈川教員団
▽同決勝
大阪イーグルス 25（12—12、13—11）23 岐阜教員ク
大阪イーグルスは3連勝

第10回（昭和42年8月14〜16日・神戸市中央体育館）

▽準々決勝
大阪イーグルス55—5京都教員ク
茨城教員40—19愛媛教員
埼玉教員32—17スワロー兵庫
岐阜教員44—13長崎教員
▽準決勝
大阪イーグルス44—14茨城教員
埼玉教員17—13岐阜教員
▽同3位決定戦
岐阜教員26—21茨城教員
▽同決勝
大阪イーグルス 21（13—7、8—5）12 埼玉教員
大阪イーグルスは4連勝

第11回（昭和43年8月24〜26日・奈良橿原体育館）

▽決勝トーナメント1回戦
大阪イーグルス19—12福井教員
埼玉教員ク26—15岐阜教員
スワロー兵庫27—21静岡教員団
▽同準決勝
大阪イーグルス32—21福島教員
埼玉教員ク31—23スワロー兵庫
▽同3位決定戦
福岡教員25—20スワロー兵庫
▽同決勝
埼玉教員ク 17（7—7、10—7）14 大阪イーグルス
埼玉教員クは初優勝

第12回（昭和44年8月15〜17日・埼玉県上尾市）

▽準々決勝
東京教員17—13埼玉教員ク
岩手教員ク21（延）18愛知教員
スワロー兵庫20—13岐阜教員
大阪イーグルス27—18大分教員団
▽準決勝
東京教員16—14スワロー兵庫
大阪イーグルス20—11岩手教員
▽3位決定戦
岩手教員ク25—19スワロー兵庫
▽決勝
東京教員 20（11—10、9—7）17 大阪イーグルス
東京教員は初優勝

第13回（昭和45年8月14〜16日・三重県四日市市）

▽準々決勝
東京教員34—11千葉教員
スワロー兵庫33—18茨城教員
埼玉教員ク25—10沖縄教員
大阪イーグルス29—15福井教員
▽同準決勝
東京教員18—14スワロー兵庫
埼玉教員ク19（延）17大阪イーグルス
▽同3位決定戦
大阪イーグルス27—16スワロ兵庫
▽同決勝

埼玉教員ク 17（6−7 11−6）13 東京教員
埼玉教員は2年ぶり2度目の優勝

第14回（昭和46年8月18〜21日・鹿児島県隼人町）

▽準々決勝
スワロー兵庫15−13鹿児島教員団
埼玉教員ク30−5オールド・イーグルス（大阪）
大阪イーグルス 22−9 愛知教員
東京教員 19−13 熊本教員団
▽準決勝
スワロー兵庫18−16 埼玉教員ク
大阪イーグルス18−11東京教員
▽3位決定戦
東京教員 17−11 埼玉教員ク
▽決勝
大阪イーグルス 18（7−2 11−7）9 スワロー兵庫
大阪イーグルスは4年ぶり6度目の優勝

第15回（昭和47年8月17〜20日・千葉県佐原市）

▽準々決勝
大阪イーグルス 28−6 東京スターズ
埼玉教員ク20−9 広島教職員
千葉教員 22−11オールド・イーグルス（大阪）
スワロー兵庫22−16静岡教員団
▽準決勝
スワロー兵庫19−14 千葉教員
大阪イーグルス24−15埼玉教員ク
▽3位決定戦
千葉教員 16−15 埼玉教員ク
▽決勝
大阪イーグルス 20（8−9 12−10）19 スワロー兵庫
大阪イーグルスは2年連続8度目の優勝

第16回（昭和48年8月10〜13日・茨城県水海道市）

▼男子準々決勝
大阪イーグルス34−10栃木教員
茨城教員 9−8 埼玉教員ク
愛知教員 17−14和歌山教員ク
スワロー兵庫24−12静岡県教員団
▽同準決勝
大阪イーグルス25−8茨城教員
スワロー兵庫22−14 愛知教員
▽同3位決定戦
茨城教員 26−10 愛知教員
▽同決勝
大阪イーグルス 26（9−6 17−5）11 スワロー兵庫
大阪イーグルスは3年連続9度目の優勝
▼女子（第1回）リーグ
栃木教員 14−3 茨城教員
大阪教員 22−8 東京教員
大阪教員 6（分）6 栃木教員
茨城教員 14−9 東京教員
東京教員 8−7 栃木教員
大阪教員 7−3 茨城教員
【順位】①大阪教員②栃木教員③茨城教員④東京教員（3、4位は得失点差による）

第17回（昭和49年8月10〜13日・三重県四日市市）

▼男子準々決勝
大阪イーグルス24−17東京教員
愛知教員 9−7 三重教員
スワロー兵庫 16−12 オールドイーグルス（大阪）
茨城教員 17−10 千葉教員
▽同準決勝
大阪イーグルス27−12愛知教員
茨城教員 18−16スワロー兵庫
▽同3位決定戦
スワロー兵庫25−17 愛知教員
▽同決勝
大阪イーグルス 20（5−6 15−7）13 茨城教員
大阪イーグルスは4年連続10度目の優勝
▼女子リーグ
大阪教員 12−5 愛知教員
東京教員 14−8 愛知教員
大阪教員 12−10 東京教員
【順位】①大阪教員＝2連勝②東京教員③愛知教員

第18回（昭和50年8月10〜13日・佐賀県神埼町）

▼男子準々決勝
大阪イーグルス21−10鹿児島教員
愛知教員 37−17 高知教員
大阪教員ク17−12 栃木教員
オールド・イーグルス（大阪）24−11 福井教員
▽同準決勝
大阪イーグルス26−11愛知教員
オールド・イーグルス21（延）20 大阪教員ク
▽同3位決定戦
大阪教員ク25−12 愛知教員
▽同決勝
大阪イーグルス 32（17−5 15−7）12 オールドイーグルス
大阪イーグルスは5年連続11度目の優勝
▼女子1回戦
茨城教員 14−6 じゅうもんク（福岡）
熊本教員ク20−8 岐阜教員
愛知教員 12−4 兵庫教員ク
▽同準決勝
大阪教員女子13−4 茨城教員
愛知教員 21−6 熊本教員ク
▽同3位決定戦
茨城教員 12−8 熊本教員ク
▽同決勝
大阪教員女子 22（11−5 11−1）6 愛知教員
大阪教員女子が3連勝

第19回（昭和51年8月9〜12日・青森県野辺地町）

▼男子準々決勝
大阪イーグルス11−9千葉教員
スワロー兵庫18−2 栃木教員
茨城教員 38−7 ロイヤル・スワロー（兵庫）
佐賀若楠 22−15 静岡県教員団
▽同準決勝
大阪イーグルス11−7スワロ兵庫
茨城教員 23−13 佐賀若楠
▽同3位決定戦
スワロー兵庫19−15 佐賀若楠
▽同決勝
大阪イーグルス 23（9−6 14−5）11 茨城教員
大阪イーグルスは6年連続11度目の優勝
▼女子1回戦
岩手教員 16−5 岐阜女子教員
▽同準決勝
愛知教員 16−4 兵庫芙蓉ク
岩手教員 14−8 大阪教員
▽同3位決定戦
大阪教員 20−1 芙蓉ク
▽同決勝
岩手教員 10（3−3 7−3）6 愛知教員
岩手教員は初優勝

全国高校（旧制）大会

◇第1回（昭和22年7月23〜25日・京大）＝11人制
▽1回戦
水戸（茨城）4−2 四高（ ）
甲南（兵庫）6−2 三高（京都）
▽準決勝
大阪（大阪）9−3 水戸
甲南 8−0 浪速（大阪）
▽決勝
大阪 11−1 甲南
◇第2回（昭和23年7月29〜30日・京大）＝11人制
▽準決勝
大阪（大阪）6−3 甲南（兵庫）
浪速（大阪）4−3 四高（ ）
▽決勝
大阪 5−4 浪速
（注）大阪高は2連勝以後行われず。

主な全国大会

☒名古屋テレビ（NBN）杯全国選抜女子大会

◇第1回（昭和47年5月・名古屋）
全日本女子（第4回世界選手権代表） 11（5—4、6—2）6 全日本実業団女子選抜

◇第2回（昭和48年3月・名古屋）
▽準決勝
東京重機（東京） 14—10 田村紡（三重）
日本ビクター（茨城） 10—8 ブラザー工業（愛知）
▽3位決定戦
田村紡 11—8 ブラザー工業
▽決勝
東京重機 14（5—0、9—7）7 日本ビクター

◇第3回（昭和49年3月・名古屋）
▽リーグ
東京重機（東京） 15—4 日立栃木（栃木）
田村紡（三重） 10—8 ブラザー工業（愛知）
田村紡 20—6 日立栃木
日本ビクター 12—6 ブラザー工業
日本ビクター 11—9 田村紡
東京重機 11—5 ブラザー工業
日本ビクター 17—5 日立栃木
田村紡 7（分）7 東京重機
ブラザー工業 19—2 日立栃木
日本ビクター 13—7 東京重機
【順位】①日本ビクター＝初優勝②田村紡③東京重機④ブラザー工業⑤日立栃木（2、3位は得失点差による）

◇第4回（昭和50年3月・名古屋）
▽リーグ
日立栃木（栃木） 5—4 ブラザー工業（愛知）
東京重機（東京） 18—7 田村紡（三重）
日本ビクター（茨城） 12—7 ブラザー工業
東京重機 18—5 日立栃木
日本ビクター 16—6 日立栃木
東京重機 17—14 ブラザー工業
日本ビクター 9—6 田村紡
田村紡 17—7 日立栃木
ブラザー工業 11—4 田村紡
日本ビクター 10—7 東京重機
【順位】①日本ビクター＝2連勝②東京重機③田村紡・ブラザー工業・日立栃木

◇第5回（昭和51年3月・名古屋）
▽リーグ
ジャスコ（三重） 7—6 ブラザー工業（愛知）
ブラザー工業 12—10 日立栃木（栃木）
ジャスコ 7—3 大崎電気（埼玉）
ブラザー工業 10—2 大崎電気
ジャスコ 11—9 日立栃木
大崎電気 11—3 日立栃木
【順位】①ジャスコ＝初優勝②ブラザー工業③大崎電気④日立栃木

☒朝日招待全日本実業団男子選抜「4強」大会

◇第1回（昭和49年3月・名古屋）
▽リーグ
大同製鋼（愛知） 21—16 湧永薬品（大阪）
三景（東京） 18—9 大崎電気（埼玉）
湧永薬品 18—13 三景
大同製鋼 22—14 大崎電気
大同製鋼 27—20 三景
湧永薬品 17—14 大崎電気
【順位】①大同製鋼②湧永薬品③三景④大崎電気

◇第2回（昭和50年4月・東京）
▽リーグ
大崎電気（埼玉） 20—18 三景（東京）
大同製鋼（愛知） 24—11 湧永薬品（大阪）
湧永薬品 18—14 大崎電気
大同製鋼 23—14 三景
湧永薬品 23—15 三景
大同製鋼 22—10 大崎電気
【順位】①大同製鋼＝2連勝②湧永薬品③大崎電気④三景

◇第3回（昭和51年4月・東京）
▽1回戦
大同製鋼（愛知） 21—12 湧永薬品（大阪）
三景（東京） 28—13 大崎電気（埼玉）
▽3位決定戦
湧永薬品 24—16 大崎電気
▽決勝
大同製鋼 27（12—9、15—11）20 三景
大同製鋼は3連勝

☒「岐阜カップ」全国女子クラブ選手権大会

◇第1回（昭和51年12月18、19日 岐阜県民体育館）
▽準々決勝
台中紡織（台湾・特別参加） 19—7 伊吹ク（岐阜）
名古屋ク（愛知） 22—2 岐阜教員ク（岐阜）
笠松ク（岐阜） 7—6 静岡城北ク（静岡）
小松女高OGク（石川） 6—5 寝屋川ク（大阪）
▽準決勝
名古屋ク 16—9 台中紡織
小松女高OGク 23—3 笠松ク
▽決勝
小松女高OGク 15（8—1、7—1）2 名古屋ク

MEMO
本誌調べによると7人制における国内最高得点記録は、男子が昭和40年6月の第17回全日本総合選手権東京都予選で早大が明正クから奪った66点（失点8）女子が41年11月の第17回三重県総合選手権で田村紡が菰野高から奪った64点（失点1）である。

日本ハンドボール界 主要記録

第V部・国民体育大会（11人制時代）

第1回

（昭和21年11月1～3日・兵庫県西宮球技場）

▼一般男子・東西対抗

西（全関西）10（6－3、4－0）3 東（全関東）

▼一般女子・ブロック対抗準決勝

近畿（豊中高女・大阪）3－2 中四国（倉敷ク・岡山）

関東（日体・東京）棄権 東北・北海道（宮城師範・宮城）

▽同決勝

近畿 3（1－1、2－0）1 関東

▼中学男子・ブロック対抗準決勝

近畿（豊中・大阪）16－0 東海（沼津・静岡）

中四国（倉敷工・岡山）6－2 関東（都重機工・東京）

▽同決勝

近畿 11（4－0、7－0）0 中四国

▼学生男子・東西対抗

西（大阪歯専）5（4－1、1－0）1 東（早大）

（注）中学女子、学生女子は行われず

第2回

（昭和22年10月30日～11月2日・石川県金沢市）

▼一般男子・東西対抗

西（大阪ク）14（8－4、6－4）8 東（NOB）

▼一般女子・東西対抗

西（大阪ク）3（1－1、2－1）2 東（土浦ク・茨城）

▼中学男子準々決勝

香川（小豆島）5－1 神奈川（鎌倉）

大阪（天王寺）11－2 富山（富山）

兵庫（第一神戸工）2－1 石川（金沢一工）

岡山（倉敷工）3－2 愛知（熱田）

▽同準決勝

大阪 5－1 香川

岡山 4－1 兵庫

▽同決勝

大阪 5（3－1、2－2）3 岡山

▼中学女子準々決勝

大阪（茨木女）7－1 愛知（岡崎女）

石川（金沢一女）3－0 静岡（静岡女）

兵庫（明石女）7－0 富山（氷見女）

岡山（倉敷女）3－2 東京（第一師範予科）

▽同準決勝

大阪 12－0 石川

岡山 11－1 兵庫

▽同決勝

大阪 3（2－0、1－0）0 岡山

▼学生男子・東西対抗

東（早大）10（4－6、4－2 … 1－0、1－0）8 西（大阪歯大）

▼学生女子・東西対抗

東（埼玉女子師範）3（1－1、1－1 … 0－0、0－0 … 13MTにより 1－0）2 西（全石川選抜）

第3回

（昭和23年10月30日～11月3日・福岡県久留米市）

▼高校男子準々決勝

東京（世田谷工）7－1 熊本（済々黌）

香川（小豆島）10－1 広島（鯉城）

大阪（天王寺）6－0 富山（富山南部）

岡山（天城）－ 福岡（福岡西南）

▽同準決勝

岡山 4－3 東京

大阪 8－3 香川

▽同決勝

大阪 2（1－0、1－0）1 岡山

▼高校女子準々決勝

愛知（岡崎市立）8－0 熊本（熊本市立）

大阪（春日丘）9－0 静岡（静岡第二）

福岡（福岡京都）2－1 兵庫（甲南）

岡山（倉敷精思）8－3 栃木（足利）

▽同準決勝

大阪 6－0 福岡

岡山 6－0 愛知

▽同決勝

大阪 6（2－2、4－3）5 岡山

▼一般男子・ブロック対抗準々決勝

九州（全九州）8－3 中国（山口ク・山口）

関東（日体OB・東京）13－6 東北・北海道（仙台教員・宮城）

東海（全愛知）5－4 北信越（北友ク）

近畿（大阪ク）8－1 四国（香川同好会）

▽同準決勝

九州 6－5 関東

近畿 8－1 東海

▽同決勝

九州 3（2－2、1－0）2 近畿

▼一般女子・東西対抗

西（大阪ク）5（1－1、4－0）1 東（関東ク）

▼学生女子1回戦（参加3チーム）

山梨（山梨師範）1－0 東京（日体）

▽同決勝

山梨 棄権 東京（第一師範）

（注）学生男子は行われず

第4回

（昭和24年10月30日～11月3日・東京駒沢）

▼一般男子準々決勝

愛知（岡崎ク）5－4 山口（山口ク）

東京（東京ク）14－2 香川（香川桜ク）

熊本（熊本ク）11－1 宮城（仙台ク）

大阪（大阪ク）　7－0　新潟（全新潟）
▽同準決勝
東京　8－3　熊本
大阪　12－4　愛知
▽同3位決定戦
熊本　12－0　愛知
▽同決勝
東京　6（3－3、3－2）5　大阪

▼一般女子1回戦（参加5チーム）
大阪（大阪ク）　5－0　熊本（熊本ク）
▽同準決勝
岡山（倉敷精恩OG）　4－0　山梨（全山梨）
大阪　2－0　愛知（愛知ク）
▽同3位決定戦
愛知　2－0　山梨
▽同決勝
大阪　4（2－0、2－0）0　岡山

▼高校男子準々決勝
大阪（天王寺）　12－1　北海道（函館商）
岡山（津山）　－　富山（富山南部）
東京（世田谷工）　－　岩手（盛岡）
熊本（済々黌）　－　香川（小豆島）
▽同準決勝
大阪　3－2　岡山
東京　4－2　熊本
▽同3位決定戦
岡山　4－1　熊本
▽同決勝
大阪　5（2－3、3－0）3　東京

▼高校女子準々決勝
大阪（春日丘）　5－1　愛知（一宮）
石川（小松）　2（延）2　北海道（函館女）
引き分け、抽せんで石川の勝ち
岡山（岡山一女）＝対戦校、記録とも不明
神奈川（平塚女）　－　福岡（筑紫中央）
▽同準決勝
岡山　4－2　石川
大阪　6－4　神奈川
▽同3位決定戦
石川　5－4　神奈川
▽同決勝
岡山　4（2－0、2－1）1　大阪

第5回　（昭和25年10月28日～11月1日・愛知県一宮市）

▼一般男子準々決勝
愛知（愛知ク）　10－3　北海道（函館ク）
東京（東京ク）　10－2　山口（山口ク）
福岡（福岡ク）　17－1　石川（北辰ク）
大阪（大阪ク）　8－6　宮城（仙台ク）
▽同準決勝
福岡　10（延）9　東京
愛知　9－4　大阪
▽同3位決定戦
東京　7（延）5　大阪
▽同決勝
福岡　1（0－0、1－1）1　愛知
日没引き分け、再試合。
▽同決勝・再戦
福岡　7（3－2、4－2）4　愛知

▼一般女子1回戦（参加7チーム）
山梨（全山梨）　3－2　愛知（愛知ク）
石川（小松ク）　5－1　北海道（函館ク）
岡山（青陵OG）　19－1　福岡（筑紫ク）
▽同準決勝
大阪（大阪ク）　3－2　山梨
岡山　5－2　石川
▽同3位決定戦
山梨　8－0　石川
▽同決勝
岡山　3（1－1、2－1）2　大阪

▼高校男子準々決勝
栃木（足利）　12－2　兵庫（竜野）
愛知（一宮）　5－1　富山（高岡中部）
熊本（済々黌）　4－1　静岡（富士）
大阪（天王寺）　8－7　山口（山口）
▽同準決勝
熊本　0（延）0　大阪
引き分け。抽せんで熊本の勝ち
栃木　4－0　愛知
▽同3位決定戦
大阪　2－1　愛知
▽同決勝
栃木　3（1－2、1－0、0－0、0－0、1－0、0－0）2　熊本

▼高校女子準々決勝
愛知（瑞陵）　2－1　和歌山（那賀）
岡山（青陵）　7－1　栃木（宇都宮）
石川（小松）　3－1　茨城（太田二）
大阪（春日丘）　5－0　静岡（静岡城北）
▽同準決勝
岡山　3－0　愛知
大阪　7－0　石川
▽同3位決定戦
愛知　4（延）3　石川
▽同決勝
大阪　5（3－1、2－3）4　岡山

第6回　（昭和26年10月26～30日・広島県広島市）

▼一般男子準々決勝
大阪（大阪ク）　15－3　香川（香川教員団）
山口（山口ク）　5－2　愛知（愛知ク）
北海道（函館ク）　6－5　福岡（福岡ク）
東京（愛球ク）　9－6　宮城（仙台ク）
▽同準決勝
大阪　6－1　山口
北海道　8－6　東京
▽同3位決定戦
山口　8－7　東京
▽同決勝
大阪　4（3－2、1－1）3　北海道

▼一般女子準々決勝
岡山（岡山ク）　5－4　石川（小松ク）
北海道（函館ク）　2－1　山梨（全山梨）
大阪（大阪ク）　3－2　愛知（愛知ク）
宮城（仙台ク）　4－1　福岡（筑紫ク）
▽同準決勝
岡山　4－1　北海道
大阪　6－0　宮城
▽同3位決定戦
宮城　4－2　北海道
▽同決勝
岡山　7（1－1、6－1）2　大阪

▼高校男子準々決勝
愛知（桜台）　5－4　福岡（小倉中央）
愛媛（新居浜西）　6－0　北海道（函館商）
岡山（操山）　11－3　兵庫（兵庫工）
岩手（盛岡一）　3－2　広島（廿日市）
▽同準決勝
愛知　7－2　愛媛
岡山　7－5　岩手
▽同3位決定戦
岩手　3－2　愛媛
▽同決勝
愛知　9（5－2、4－2）4　岡山

▼高校女子準々決勝
岡山（青陵） 5―0 富山（八尾）
北海道（函館中部） 3―2 広島（呉三津田）
宮城（涌谷） 8―0 熊本（玉名）
大阪（寝屋川） 3（分）3 栃木（足利）
抽せん勝ち
▽同準決勝
岡山 11―2 北海道
宮城 6―3 大阪
▽同3位決定戦
大阪 8―0 北海道
▽同決勝
岡山 5（3―3 2―1）4 宮城

第7回 日・福島県福島市（昭和27年10月19～23）

▼一般男子準々決勝
福岡（福岡ク） 12―9 愛知（愛知ク）
神奈川（全神奈川） 10―7 北海道（サンダー）
大阪（大阪ク） 16―8 静岡（橘ク）
栃木（栃木ク） 9―8 宮城（仙台ク）
▽同準決勝
神奈川 14―6 福岡
大阪 16―4 栃木
▽同3位決定戦
福岡 17―7 栃木
▽同決勝
大阪 11（9―0 2―3）3 神奈川
▼一般女子準々決勝
北海道（北星ク） 7―4 大阪（大阪ク）
愛知（愛知ク） 7―2 石川（小松ク）
東京（東京ク） 6―4 福岡（福岡ク）
岡山（青陵OG） 13―9 宮城（涌谷ク）
▽同準決勝
北海道 6―4 愛知
岡山 8―4 東京
▽同3位決定戦
東京 10―8 愛知
▽同決勝
岡山 7（3―4 4―2）6 北海道
▼高校男子準々決勝
山口（山口） 5（分）5 大阪（豊中）
抽せん勝ち
熊本（済々黌） 9―7 岡山（津山北園）
愛知（桜台） 19―5 神奈川（鎌倉学園）
群馬（桐生工） 16―1 福岡（福陵）
▽同準決勝
熊本 9―4 山口
愛知 14―11 群馬
▽同3位決定戦
山口 9―1 群馬
▽同決勝
愛知 7（4―4 3―2）6 熊本
▼高校女子準々決勝
静岡（静岡城北） 14―8 岡山（青陵）
愛知（稲沢） 7―5 宮城（涌谷）
栃木（足利女） 7―5 滋賀（彦根東）
大阪（寝屋川） 10―2 富山（八尾）
▽同準決勝
愛知 16―12 静岡
栃木 7―5 大阪
▽同3位決定戦
大阪 3―1 静岡
▽同決勝
愛知 11（5―2 6―1）3 栃木

第8回 日・愛媛県今治市（昭和28年10月22～26）

▼一般男子準々決勝
山口（山口ク） 14―11 愛知（桜丘会）
宮城（仙台ク） 9―6 静岡（橘ク）
岩手（白亜ク） 8―7 山梨（全山梨）
大阪（大阪ク） 14―5 東京（茗球会）
▽同準決勝
山口 18―8 宮城
大阪 19―3 岩手
▽同3位決定戦
宮城 8―7 岩手
▽同決勝
大阪 14（6―4 8―4）8 山口
▼一般女子準々決勝
石川（小松ク） 9―6 熊本（熊本ク）
北海道（北星ク） 8―5 宮城（城台ク）
岡山（青陵OG） 5―4 東京（東京ク）
静岡（静岡城北ク） 5―3 愛媛（愛媛ク）
▽同準決勝
北海道 12―7 石川
静岡 7―4 岡山
▽同3位決定戦
岡山 12―3 石川
▽同決勝
北海道 9（5―4 4―3）7 静岡
▼高校男子準々決勝
愛知（桜台） 18―4 宮城（古川）
山口（岩国工） 7―6 静岡（清水商）
大阪（豊中） 9―7 滋賀（彦根東）
北海道（函館工） 7（分）7 東京（両国）
抽せん勝ち
▽同準決勝
愛知 10―6 山口
北海道 5―4 大阪
▽同3位決定戦
大阪 3―2 山口
▽同決勝
愛知 8（4―1 4―5）6 北海道
▼高校女子準々決勝
岡山（青陵） 5―1 広島（呉三津田）
愛知（稲沢） 12―2 山梨（山梨）
大阪（寝屋川） 5―3 静岡（静岡城北）
北海道（函館中部） 6―2 滋賀（彦根東）
▽同準決勝
愛知 8―3 岡山
大阪 11―3 北海道
▽同3位決定戦
北海道 10―7 岡山
▽同決勝
愛知 8（3―1 5―1）2 大阪

第9回 日・北海道函館市（昭和29年8月22～26）

▼一般男子準々決勝
大阪（大阪ク） 19―9 神奈川（三春台ク）
東京（東京ク） 17―9 長野（浅陽ク）
福岡（福岡ク） 11―6 茨城（全茨城）
愛知（桜丘会ク） 12―10 山口（山口ク）
▽同準決勝
東京 12―11 大阪
愛知 12―11 福岡
▽同3位決定戦
大阪 16―8 福岡
▽同決勝
東京 11（8―4 3―6）10 愛知
▼高校男子準々決勝
熊本（済々黌） 8―5 宮城（古川工）
愛知（桜台） 14―5 愛媛（新居浜工）
北海道（函館工） 12―6 長野（上田松尾）
大阪（豊中） 11―5 東京（世田谷工）
▽同準決勝
熊本 10―9 愛知
大阪 11―9 北海道
▽同3位決定戦
愛知 15―5 北海道
▽同決勝
熊本 9（3―3 6―4）7 大阪

▼高校女子準々決勝
岡山（青陵）7―3 愛媛（今治西）
愛知（稲沢）6―3 北海道（函館中部）
大阪（寝屋川）10―2 栃木（足利女）
福岡（明善）8―3 宮城（涌谷）
▽同準決勝
愛知 7―3 岡山
大阪 7―5 福岡
▽同3位決定戦
福岡 9―6 岡山
▽同決勝
大阪 4（2―1、2―2）3 愛知

第10回
（昭和30年10月31日～11月3日・神奈川県平塚市）

▼一般男子準々決勝
山口（山口ク）18―11 静岡（全静岡）
栃木（足利ク）12―11 兵庫（全兵庫）
北海道（サンダー）8―7 大阪（大阪ク）
愛知（桜丘会）19―9 富山（北岑ク）
▽同準決勝
山口 13―7 栃木
愛知 14―9 北海道
▽同3位決定戦
北海道 18―12 栃木
▽同決勝
山口 14（7―4、7―6）10 愛知
▼一般女子準々決勝
大阪（大阪ク）9―4 熊本（熊本ク）
神奈川（平塚江南ク）5―1 富山（八尾ク）
東京（日体大）9―5 愛媛（今治ク）
愛知（稲沢ク）6―5 北海道（北星ク）
▽同準決勝
大阪 10―1 神奈川
愛知 6―4 東京
▽同3位決定戦
東京 8―5 神奈川
▽同決勝
愛知 6（2―1、4―1）2 大阪
▼高校男子準々決勝
山口（下松工）8―7 大阪（豊中）
愛媛（新居浜工）10―7 東京（明星）
愛知（桜台）5―4 北海道（函館中部）
福岡（小倉工）9―6 石川（金沢市工）
▽同準決勝
山口 9―5 愛媛
愛知 13―7 福岡
▽同3位決定戦
愛媛 11―5 福岡
▽同決勝
愛知 14（7―5、2―4、…、2―3、3―1）13 山口
▼高校女子準々決勝
静岡（静岡城北）8―4 北海道（函館中部）
茨城（水海道二）7―4 岡山（青陵）
大阪（寝屋川）7―3 神奈川（平塚江南）
福岡（明善）11―2 宮城（涌谷）
▽同準決勝
静岡 7―6 茨城
福岡 5―4 大阪
▽同3位決定戦
大阪 6―4 茨城
▽同決勝
福岡 6（2―2、2―2、…、0―1、2―0）5 静岡

第11回
（昭和31年10月28日～11月1日・兵庫県加古川市）

▼一般男子準々決勝
大阪（大阪ク）23―8 静岡（清商OB）
山口（山口ク）13―10 福岡（福岡ク）
東京（東京ク）12―6 北海道（函館ク）
愛知（桜台ク）13―8 岡山（天城高OB）
▽同準決勝
山口 15―9 大阪
愛知 13―10 東京
▽同3位決定戦
大阪 17―12 東京
▽同決勝
愛知 13（2―4、11―4）8 山口
▼一般女子準々決勝
北海道（北星ク）12―11 山梨（梨窓ク）
兵庫（全兵庫ク）12―4 和歌山（那賀高OB）
大阪（大阪ク）7―6 静岡（城北OG）
福岡（明善ク）7―5 宮城（涌谷OG）
▽同準決勝
北海道 6―1 兵庫
福岡 7―3 大阪
▽同3位決定戦
大阪 7（分）7 兵庫（両県3位）
▽同決勝
福岡 4（2―2、2―0）2 北海道
▼高校男子準々決勝
北海道（函館工）8―4 岩手（盛岡一）
大阪（豊中）10―5 岡山（津山）
愛知（桜台）21―3 石川（金沢市工）
福岡（小倉工）10―8 兵庫（兵庫工）
▽同準決勝
大阪 9―7 北海道
愛知 11―3 福岡
▽同3位決定戦
福岡 8―7 北海道
▽同決勝
愛知 12（7―5、5―6）11 大阪
▼高校女子準々決勝
大阪（寝屋川）5―2 山口（徳山）
熊本（熊本市立）6―4 北海道（函館中部）
愛知（稲沢）6―0 愛媛（今治西）
兵庫（尼崎）4―2 茨城（水海道二）
▽同準決勝
熊本 5―4 大阪
愛知 6―3 兵庫
▽同3位決定戦
大阪 8―3 兵庫
▽同決勝
熊本 4（0―2、3―1、…、0―0、1―0）3 愛知

第12回
（昭和32年10月26～30日・静岡県清水市）

▼一般男子準々決勝
愛知（桜丘会）16―8 京都（京都パレス）
大阪（大阪ク）16―12 熊本（済々黌OB）
東京（東京ク）19―7 岩手（白亜ク）
山口（山口ク）23―11 福岡（福岡ク）
▽同準決勝
大阪 13―12 愛知
東京 11―8 山口
▽同3位決定戦
山口 12―9 愛知
▽同決勝
大阪 10（3―5、7―4）9 東京
▼一般女子準々決勝＝7人制初採用
愛知（全愛知）7―5 福岡（明善ク）
東京（日体大）12―2 高知（高知ク）

茨城（全茨城） 7―6 兵庫（尼崎ク）
静岡（静岡城北ク） 3―1 北海道（北星ク）
▽同準決勝
愛知 8―2 東京
静岡 5―4 茨城
▽同3位決定戦
茨城 5―3 東京
▽同決勝
愛知 6（3―1、3―3）4 静岡
▼高校女子準々決勝
兵庫（兵庫工） 11―10 岩手（盛岡一）
愛知（桜台） 17―10 北海道（函館工）
山口（下関幡生工） 12―6 愛媛（新居浜工）
静岡（清水商） 14―7 石川（小松実業）
▽同準決勝
愛知 11―10 兵庫
山口 7―6 静岡
▽同3位決定戦
静岡 15（分）15 兵庫
（両県3位）
▽同決勝
愛知 12（6―6、6―2）8 山口
▼高校女子準々決勝＝7人制初採用
大阪（寝屋川） 5―4 岡山（青陵）
静岡（静岡城北） 3―1 熊本（熊本市立）
福岡（明善） 8―5 京都（京都女）

愛知（半田） 7―4 石川（羽咋）
▽同準決勝
静岡 4―2 大阪
愛知 7―5 福岡
▽同3位決定戦
大阪 5―4 福岡
▽同決勝
静岡 8（2―3、3―2…1―0、2―2）7 愛知

第13回（昭和33年10月19～23日・富山県氷見市、八尾町）

▼一般男子準々決勝
富山（富山ク） 12―11 兵庫（全兵庫）
東京（芝浦ク） 17―12 静岡（清商ク）
大阪（大阪ク） 14―10 愛媛（住化菊本）
愛知（桜丘会） 28―8 茨城（全茨城）
▽同準決勝
東京 15―6 富山
愛知 17―15 大阪
▽同3位決定戦
大阪 16―12 富山
▽同決勝
東京 17（5―2、4―7…0―2、4―2…3―1、1―2）16 愛知
▼一般女子準々決勝
愛知（愛知紡） 8―6 福岡（明善ク）
富山（氷見ク） 4―3 山梨（梨窓ク）
茨城（全茨城） 5―3 北海道（函館フレップ）
大阪（寝屋川ク） 10―1 宮城（涌谷OG）
▽同準決勝
愛知 14―3 富山
大阪 14―1 茨城
▽同3位決定戦
茨城 5―2 富山
▽同決勝
大阪 5（4―1、1―3）4 愛知
▼高校男子準々決勝
兵庫（明石） 12―11 宮城（仙台二）
富山（氷見） 12―4 広島（盈進商）
長野（上田） 8―5 北海道（函館中部）
愛知（中京商） 12―9 山梨（日川）
▽同準決勝
富山 14―7 兵庫
愛知 16―6 長野
▽同3位決定戦
兵庫 9―8 長野
▽同決勝
富山 11（2―4、5―3…3―1、1―0）8 愛知
▼高校女子準々決勝
茨城（水海道二） 5―3 兵庫（尼崎）
富山（富山女） 9―8 福岡（明善）
山口（徳山） 4―2 大阪（寝屋川）
熊本（熊本市立） 12―6 愛知（半田）
▽同準決勝
茨城 7―4 富山
熊本 4―2 山口
▽同3位決定戦
山口 5―0 富山
▽同決勝
茨城 5（2―3、2―1…0―0、1―0）4 熊本

第14回（昭和34年10月25日～30日・東京駒沢）

▼一般男子準々決勝
北海道（函館サンダー倶） 14（延）12 京都（京都ク）
静岡（清商ク） 11―8 富山（全富山）
大阪（大阪ク） 13―9 神奈川（全神奈川）
福岡（福岡ク） 6（延）5 兵庫（神戸ク）
▽同準決勝
北海道 17―9 静岡
大阪 21（延）15 福岡
▽同3位決定戦
静岡 16（延）15 福岡
▽同決勝
大阪 17（9―6、8―7）13 北海道
▼一般女子準々決勝
大阪（寝屋川ク） 2―1 東京（日本体大）
宮城（涌谷OG） 3―2 富山（富山高OG）
福岡（明善ク） 3（分）3 抽せん勝 茨城（全茨城）
埼玉（全埼玉） 棄権 愛知（愛知紡）
▽同準決勝
大阪 5―0 宮城
福岡 8―5 埼玉
▽同3位決定戦
埼玉 4―1 宮城
▽同決勝
大阪 8（6―0、2―1）1 福岡
▼高校男子準々決勝
東京（神代） 8―6 宮城（仙台一）
神奈川（鎌倉学園） 5―2 富山（氷見）
熊本（熊本市立） 9―7 兵庫（明石）
愛媛（新居浜工） 棄権 愛知（中京商）
▽同準決勝
神奈川 12―11 東京
熊本 12―8 愛媛
▽同3位決定戦
東京 10―9 愛媛
▽同決勝
神奈川 6（4―3、2―2）5 熊本
▼高校女子準々決勝
宮城（涌谷） 3（分）3 抽せん勝 兵庫（県尼崎）
福岡（明善） 5―4 富山（有磯）
山口（徳山） 5―3 群馬（高崎市女）

熊本（熊本市立）5—2 岡山（井原）
▽同準決勝
宮城 11（延）9 福岡
熊本 7—3 山口
▽同3位決定戦
山口 11—3 福岡
▽同決勝
熊本 7（4—0 3—3）3 宮城

第15回（昭和35年10月23日〜27日・熊本県水俣市）

▼一般男子準々決勝
大阪（大阪ク）23—8 宮城（全仙台）
熊本（熊本ク）13—11 北海道（函館サンダー倶）
東京（大崎電気）22—11 愛媛（住化菊本）
愛知（桜丘会）14—9 福岡（福岡ク）
▽同準決勝
愛知 23（延）20 東京
大阪 20（延）18 熊本
▽同3位決定戦
東京 22—6 熊本
▽同決勝
愛知 16（6—9 10—5）14 大阪
▼一般女子準々決勝
大阪（寝屋川ク）8—2 富山（富山高OG）
東京（日体大）9—6 福岡（明善ク）
熊本（熊本商大ク）12—7 宮城（涌谷OG）
愛知（愛知紡）19—2 愛媛（新居浜ク）
▽同準決勝
愛知 15—7 東京
大阪 5（延）4 熊本
▽同3位決定戦
熊本 7—5 東京
▽同決勝
愛知 3（1—1 2—1）2 大阪
▼高校男子準々決勝
兵庫（明石）12—5 熊本（熊本市立）
静岡（清水市商）7—5 岩手（盛岡一）
愛知（中京商）16—9 京都（伏見）
広島（盈進商）10—7 和歌山（和歌山商）
▽同準決勝
兵庫 9—8 静岡
愛知 15—7 広島
▽同3位決定戦
広島 11—9 静岡
▽同決勝
愛知 12（5—2 7—3）5 兵庫
▼高校女子準々決勝
熊本（熊本市立）6—5 栃木（栃木女）
岡山（井原）13—5 兵庫（県尼崎）
宮城（涌谷）13—5 富山（富山女）
愛知（半田）19—8 福岡（明善）
▽同準決勝
愛知 14—4 宮城
熊本 10（延）6 岡山
▽同3位決定戦
岡山 7—3 宮城
▽同決勝
愛知 8（4—2 4—5）7 熊本

第16回（昭和36年10月9日〜12日・秋田県大曲、湯沢市）

▼一般男子準々決勝
愛知（桜丘会）14—3 山口（山口ク）
富山（氷見ク）8—4 岩手（全岩手）
東京（大崎電気）12—6 静岡（清商ク）
大阪（大阪ク）12—3 京都（京都ク）
▽同準決勝
愛知 12—10 富山
東京 11—10 大阪
▽同3位決定戦
大阪 17—12 富山
▽同決勝
東京 18（7—5 11—8）13 愛知
▼一般女子準々決勝
愛知（愛知紡）12—3 富山（富山女OG）
東京（日体大）19—3 秋田（全秋田）
熊本（大洋デパート）21—5 宮城（涌谷ク）
大阪（大阪ク）5—3 岡山（全岡山）
▽同準決勝
愛知 7—6 東京
熊本 3—1 大阪
▽同3位決定戦
東京 5（分）5 大阪
▽同決勝
愛知 6（2—0 4—1）1 熊本
▼高校男子準々決勝
群馬（桐生工）4—3 愛知（中京商）
岩手（盛岡一）3—0 秋田（湯沢）
東京（墨田川）4—3 山口（下関幡生工）
兵庫（兵庫工）4—3 北海道（函館工）
▽同準決勝
岩手 7—6 群馬
兵庫 8—6 東京
▽同3位決定戦
東京 9（分）9 群馬
（両者3位）
▽同決勝
兵庫 10（6—2 4—1）3 岩手
▼高校女子準々決勝
静岡（静岡城北）14—4 兵庫（県尼崎）
秋田（和洋女）10—7 愛媛（新居浜東）
茨城（水海道二）11—4 山口（徳山）
富山（富山女）9—4 熊本（菊池農蚕）
▽同準決勝
静岡 7（延）4 秋田
茨城 9—1 富山
▽同3位決定戦
富山 5—3 秋田
▽同決勝
茨城 4（2—0 2—3）3 静岡

第17回（昭和37年10月21〜26日・倉敷市）

▼一般男子準々決勝
東京（大崎電気）18—9 神奈川（全神奈川）
京都（全京都）11—10 愛媛（住化菊本）
大阪（大阪ク）25—15 群馬（桐生ク）
愛知（桜丘会）21—14 岡山（全岡山）
▽同準決勝
東京 22—10 京都
大阪 15—10 愛知
▽同3位決定戦
愛知 16—11 京都
▽同決勝
東京 18（9—8 9—9）17 大阪
▼一般女子準々決勝
愛知（愛知紡）21—3 宮城（涌谷OG）
大阪（大阪ク）13—8 山口（徳山ク）
熊本（大洋デパート）9—6 富山（富山女OG）
岡山（全岡山）12—10 東京（日体大）
▽同準決勝
愛知 9—7 大阪
熊本 11—5 岡山
▽同3位決定戦
大阪 11—6 岡山
▽同決勝
熊本 14（6—4 8—7）11 愛知
▼高校男子準々決勝
愛知（桜台）15—8 和歌山（和歌山商）

岡　山　15―7　埼　玉
（天城）　（浦和市立）
東　京　13―12　岩　手
（神代）　（盛岡一）
山　口　19（延）17　大　阪
（徳山）　（寝屋川）
▽同準決勝
愛　知　10―7　岡　山
東　京　15―12　山　口
▽同3位決定戦
山　口　18―10　岡　山
▽同決勝
愛　知　18（5―4, 13―10）14　東　京
▼高校女子準々決勝
愛　知　8―6　山　口
（稲沢）　（徳山）
茨　城　13―5　富　山
（水海道二）　（富山女）
熊　本　12―8　兵　庫
（菊池農蚕）　（県尼崎）
岡　山　8―6　秋　田
（井原）　（和洋女）
▽同準決勝
愛　知　7―6　茨　城
熊　本　10―6　岡　山
▽同3位決定戦
岡　山　9（分）9　茨　城
両県3位
▽同決勝
熊　本　13（7―6, 6―6）12　愛　知
（注）このあと第18回以降は全種別「7人制」となった。

沖縄特別国体

（昭和48年5月4〜6日・コザ市営体育館）＝高校女子のみ

▽準々決勝
長　野　13―6　神奈川
（小諸商）　（全神奈川）
熊　本　12―2　福　島
（熊本女商）　（全福島）
大　分　21―7　奈　良
（大分東）　（選抜）
沖　縄　18―3　鳥　取
（選抜）　（選抜）
▽準決勝
熊　本　12―7　長　野
大　分　16―10　沖　縄
▽3位決定戦
沖　縄　14―12　長　野
▽決勝
熊　本　12（5―6, 7―3）9　大　分

明治神宮体育大会（戦前）

☆……「明治神宮体育大会」は大正13年から昭和17年までに13回開かれている。

このうちハンドボールは第9回（昭12）に、陸上競技の一部として初めて行われた（＝本誌45頁・第1回全日本選手権の項参照）

第10回（昭14）は関東学生紅白対抗試合で参加、日体主力の白軍が早慶連合の紅軍を19―7（前半11―4）で破った。

第11回（昭15）は第2回全日本選手権（本誌45頁参照）を兼ねた。

第12〜13回には実施されなかった。

MEMO

日本ハンドボール史刊行の準備を進める日本協会は特に協会発足前（昭和11年以前）の資料収集に手をつくしているが、このほど、一般に刊行された文献としては最も古いと思われる記事を機関誌編集委員会が見つけた。

大正14年（一九二五）7月20日朝日新聞社から刊行された「運動競技全書」289〜290頁に大谷武一氏（故人・当時東京高等師範学校教授）が書いたもので、ハンドボールが最初に日本へ伝えられたのは、大正11年（一九二二）8月、同氏によるとされているだけに、この一文は、大谷氏が紹介時に述べた内容と殆ど同一とみられる。

◇　◇　◇

大正14年のハンドボール紹介記事

「ハンドボール」

東京高等師範学校教授　大谷　武一

ハンドボールは獨逸で盛んに行はれる遊技でありますが、このゲームは最も分り易く申し上げますとフットボールではボールを足で送るが、ハンドボールでは手で送るというのが重なる相違点で、その他は殆どア式フットボール（サッカー）と同じであると言ってよろしい。

競技の方法は各競技者は球を敵のゴールを通して投げこみ、味方のゴールを敵の投手に対して防ぐという働きをするのであります。

ゴールキーパーはゴールエリアに在る間は足で防ぐことが出来ます。競技者はボールを手にして3歩以上走ってはいけない。

詳しいルールを申し上げますと澤山ありますが、これくらゐで大體お解りのことと思ひます。

ホッケーはハンドボールによく似てボールを送る形式が違ふ丈けで、フットボールでは足で送りハンドボールでは手でパスし、ホッケーはステッキ（スティック）で送るといふ相違があるだけであります。

ハンドボールはア式フットボール（サッカー）に比して、一層體育的であると言はれて居りますがそれはフットボールは足だけを使用しますが、ハンドボールでは走り廻ることは足で行ひ、ボールの扱いは手で行ひます。ボールを手で扱ふ方が、足で扱ふよりは一層容易であります。それで兒童特に女子に適すると言はれて居ります。だからア式フットボールを始める前にハンドボールをやるとよいと思ひます。

相當進んだ者にはハンドボールは興味が少いかも知れませぬが、ア式フットボールをやる準備としてよい競技であると思ひます。

日本ではまだやって居ないやうでありますが、将来はかういふゲームは取入れるが宜からうと思ひます。季節は、このゲームはかなり活動的でありますから、秋の終り頃から冬、春の初めに掛けてよいスポート（スポーツ）であると思ひます。

御承知の通りボールゲームスとしては、その種類も澤山ありますが、多くは暖い時期に適した遊技になって居りますから、かういふ遊技を冬のスポートとして取入れることは非常によいと思ひます。

（注）一部の漢字を除いては原文のまま。（ ）内は編集委による。

MEMO

ニュース サマリー

51年12月〜52年1月

日本、8位に終わる

世界学生選手権

第7回世界学生選手権は1月10日から16日までポーランドのワルシャワ、タレノフ両市に日本など10ケ国が参加した。

大会直前、西ドイツなど6ケ国が出場をとりやめたため、予選リーグの組み直しが行われ、日本はB組でルーマニア、ポーランドに敗れたあと、6位内入賞をかけてチュニジアと対戦、激しい攻防の末、21—23で惜敗した。

このあとベルギーから不戦勝を拾ったものの1勝3敗となりA組4位・ブルガリアとの7〜8位決定戦を25—26で落とし、8位に終った。なお、大会前の西ドイツにおける親善試合は9戦5勝1分3敗。選手団は1月20日帰国した。（詳報次号）

3月26日からクウェートで

第1回アジア選手権

AHF（アジアハンドボール連盟）は、第1回アジア選手権〜男子のみ〜を、3月26日から4月6日までの12日間、予定どおりクウェートで開くと発表した。

日本協会は、すでに参加を表明しているが、代表チームについては1月29日の月例常務理事会で検討する。

いきなり入れ替え戦に

日本リーグ2部大会中止

日本リーグは、「入れ替え戦」につながる2部大会の開催を本誌既報のとおり準備していたが、12月20日までに男子は三菱レイヨン大竹(広島)、神戸製鋼(兵庫)、女子は大和銀行（大阪）がエントリーしたにとどまったため、内規により2部大会は開かず3月5、6日名古屋（ブラザー工業体育館）でいきなり入れ替え戦を行なう。

リーグ側は、男子が昨年7位の日新製鋼呉(広島)、同8位の三陽商会(東京)、女子が8位の東北ムネカタ(福島)。

男子の組み合せは近く発表されるが、男女とも同一カード2回戦制を採る。

小松市女高OGが優勝

全国女子クラブ選手権

第1回岐阜カップ全国女子クラブ選手権は昨年12月18、19日の両日岐阜県民体育館に全国6府県10チームと台中紡織(台湾)が特別参加して開かれ、インター・ハイ優勝経験者で固めた小松市女高OG（石川）が決勝で名古屋ク（愛知）を15—2（前半8—1）で破り優勝した。

台中紡織は、準決勝で名古屋クに敗れた。（詳報次号）

2月20日に全国代議員会

日本協会は、今春3月31日での任期満了にともなう役員改選などについて検討していたが、このほど全国会議の日程を次のように決め、発表した。

田村正衛会長勇退にともなう新会長の推たいは、早ければ2月20日の全国代議員会で行われよう。

ブロック、加盟団体の推せん理事〆切りは2月19日とされている

▽現行常務理事最終会議・2月19日15時▽定期全国代議員会・2月20日10時▽新全国理事会・3月20日10時〜いずれも東京・岸記念体育会館〜

なお、全日本学連理事会は2月12日、全国高体連ハンドボール部定例委員会は2月19日いずれも東京で開催の予定。

グンメルスバッハ、ソ連破る

西ドイツ紙〃ディ・ヴェルツ〃によると、西ドイツの強豪VfL・グンメルスバッハは、1月4日夜、地元でモントリオールオリンピック優勝国・ソ連と対戦14—11（前半8—4）で快勝、全ヨーロッパにセンセーショナルな話題を提供した。

横浜で実業団トーナメント

第8回全国実業団トーナメント(男子のみ)は、全国から32チームが参加して2月10日から12日までの3日間、横浜・平沼記念体育館を主会場にして行われる。

2連勝を狙うトヨタ車体（愛知）をはじめ、上り坂の神戸製鋼(兵庫)、古豪・住友化学菊本(愛媛)、丸善石油下津(和歌山)地元・日本発条、セントラル自動車などの優勝争いとみられる。

3月にTVスポーツ教室

NHKでは、今年の「スポーツ教室・ハンドボール」を3月5、12日午後6時〜7時、教育テレビで放映する。テーマはパスワーク。スタジオ解説者は池田鉄哉氏（全日本女子コーチ）。

ご注意・モルテンゴム工業株式会社製の「一九七七年手帳」に記載されている日本協会電話番号を〇三—四六七—七〇九七にご訂正下さい。

次号は4月（3月15日発行）です

本誌では今年度に限り、1月号（149号）を刊行、3月号は休刊させていただきます。

したがって、次号（151号）は4月号となり、3月15日ごろ発行の予定です。ご了承下さい。

日本協会編集委員会

★編集後記

□……いかにレコードを争うスポーツではないといっても、ハンドボール界の〈古い記録〉に対する関心の乏しさはひどく、日本協会には、ほとんど資料らしいものがありません。

40周年を前に、荒川清美理事長の意向もあって、この面の整備を心がけていましたが、とりあえず、主事業たる国際交流や全国大会（選手権）の集大成を150号記念としてまとめました。

□……必しも満足いく内容ではありませんし、特に紙数の関係から種別（加盟団体）選手権の全試合を収録できなかったことや、昭和38年以降（7人制統一後）の国体を見送らざるを得なかったのは残念です。

いずれ、主要地方大会史などとともに続篇を出す機会があればと思っています。

「球史」は青木敬子、「記録」は杉山茂が主に担当しました。

日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第一五〇号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
昭和五二年一月二十五日印刷 昭和五二年二月一日発行
発行所 日本ハンドボール協会
東京都渋谷区神南一-一-一
電話 代表(467)七〇九七
振替 東京五八三四八番
編集兼発行人 荒川清美
特価八百円(年間購読料二千七百円)